

第 I 部 調査概要

I 調査の目的と方法

1. 調査目的

派遣労働者の働き方については、これまで厚生労働省のアンケート調査などにより総括的に把握されてきているものの、個々の派遣労働者がどういった経緯、経路、理由で派遣労働者になり、派遣労働者としての満足、不満を抱き、今後自らのキャリアパスをどのようにしたいと考えているのか等については十分に把握されてきていない。また、派遣先企業が職場においてどのように派遣労働者を活用し、能力開発を行っているのか、派遣会社が派遣労働者のキャリアをどのように考え、管理、支援しているのかについても同様である。

そこで、本調査では、派遣元事業所、派遣先事業所、派遣労働者の三者に対し同時に調査することで、キャリア形成の行われ方、働き方の状況を多面的にとらえ、派遣労働におけるキャリア形成の現状と問題点を明らかにする。

本調査の総称を「派遣労働者のキャリアと働き方に関する調査」とし、以下のアンケート調査3本を実施した。

- ① 派遣元事業所調査「人材派遣会社におけるキャリア管理に関する調査」
- ② 派遣先事業所調査「派遣社員のキャリアと働き方に関する調査」
- ③ 派遣労働者調査「派遣社員のキャリアと働き方に関する調査」

本調査シリーズでは、③派遣労働者調査「派遣社員のキャリアと働き方に関する調査」について取りまとめた（①派遣元調査については、調査シリーズ No.78、②派遣先調査については調査シリーズ No.79 を参照いただきたい。）。

なお、本調査は、JILPT のプロジェクト研究サブテーマである「派遣労働者のキャリアパスに関する研究」に位置付けられていると同時に、厚生労働省職業安定局の要請調査でもある。

2. 調査対象と方法

＜派遣労働者調査＞「派遣社員の働き方とキャリアに関する調査」

- ◆ 対象：派遣先調査で対象とした事業所（表1）に勤める派遣労働者（合計 80,000 票）
- ◆ 方法：派遣先から労働者へ配布、郵送回収

※派遣先事業所は、全国において、表1の9業種（「製造業」「情報・通信業」「金融・保険業」「医療・福祉（医療業、福祉業のみ。）」「学研究、専門技術サービス業」「生活関連サービス業」「その他事業サービス業」「卸売・小売業」「運輸業（「道路貨物運送業」「倉庫業」のみ。）」）に該当し、従業員30人以上の事業所。帝国データバンクの事業所ファイルより10,000事業所を無作為抽出した。

※事業所規模の4階級に合わせて、以下のように配布数に3段階の傾斜をつける。

30～49人：6部／50～99人：8部／100～299人：10部／300人以上：10部

表 1 派遣先調査対象業種（H19 新・産業分類による）

大分類		中分類	対象項目
1	製造業	1 消費関連製造業	産業分類(H19改定版)中分類09～15
		2 素材関連製造業	産業分類(H19改定版)中分類16～24
		3 機械関連製造業	産業分類(H19改定版)中分類25～31
		4 上記以外の製造業	産業分類(H19改定版)中分類25～32
2	情報通信業	1 通信業	産業分類(H19改定版)中分類37
		2 情報サービス、インターネット付随サービス業	産業分類(H19改定版)中分類39、40
		3 放送・映像・音声・文字情報制作業	産業分類(H19改定版)中分類38、41
3	運輸業（道路貨物運送業・倉庫業に限る）	1 道路貨物運送業	産業分類(H19改定版)中分類44
		2 倉庫業	産業分類(H19改定版)中分類47
4	卸売・小売業	1 卸売業	産業分類(H19改定版)中分類50～55
		2 小売業	産業分類(H19改定版)中分類56～61
5	金融・保険業	1 金融業	産業分類(H19改定版)中分類62～66
		2 保険業	産業分類(H19改定版)中分類67
6	医療・福祉（医療業、福祉事業に限る）	1 医療業	産業分類(H19改定版)中分類83
		2 社会福祉・介護事業	産業分類(H19改定版)小分類853～855
7	学術研究、専門技術サービス業		産業分類(H19改定版)中分類71～74
8	生活関連サービス業		産業分類(H19改定版)中分類78～80
9	その他事業サービス業		産業分類(H19改定版)中分類92

3. 調査期間

2010 年 2 月 15 日から 3 月 3 日。調査時点は 2010 年 2 月 1 日現在。

3 月 10 日から 16 日にかけて派遣先事業所へ電話督促を行い、3 月 22 日まで回収期間を延長した。

4. 有効回収率と回収数

<派遣労働者調査>

有効回収数：4473 件

有効回収率（配布数 80,000 票に対して）：5.6%

（擬似的母数＊に対して）：46.1%

＊派遣労働者の正確な母数が不明であるため、擬似的に計算した。派遣先調査から、派遣労働者が就業している事業所は 39.3%（1,212 事業所）、これに配布数の平均 8 部をかけて 9,696 が擬似的母数。

※派遣先事業所調査

有効回収数：3085 件、有効回収率：30.9%

5. 調査で使用了業務リストについて

調査では（派遣元、派遣先、派遣労働者を通じて）46 の業務分類を使用した。これらの業務は、現在の政令 26 業務では、把握しきれない業務の派遣料金や賃金動向等を調べるために設けた。政令 26 業務との対応は表 2 の通りである。

表 2 本調査の業務リストと政令 26 業務との関係

調査票での番号	業 務	政令26業務との対応	調査票での番号	業 務	政令26業務との対応
〈オフィスワーク系〉			〈その他専門職系〉		
1	一般・営業事務・データ入力等 (事務用機器操作中心業務)	5号	26	機械設計	2号
2	一般・営業事務等(自由化業務。1以外の事務用機器操作を中心としない事務業務)	-	27	放送機器等操作	3号
3	ファイリング	8号	28	放送番組等における大道具・小道具	26号
4	財務	10号	29	放送番組等演出	4号
5	経理・会計	-	30	アナウンサー	22号
6	金融(銀行・証券・損保・生保・信販)事務	-	31	建築物清掃	14号
7	貿易・国際事務・取引文書作成	11号	32	建築設備運転・点検・整備	15号
8	受付・案内	16号	33	インテリアコーディネーター	21号
9	秘書	7号	34	研究開発	17号
10	通訳・翻訳・速記	6号	35	調査	9号
11	テレフォンオペレーター	-	36	駐車場管理	16号
12	その他の事務職	-	37	事業実施体制の企画、立案関係	18号
〈医療・福祉系〉			38	その他の専門職	-
13	医療事務	-	〈製造業務系〉		
14	医療・福祉・介護関連職	-	39	電気機械器具組立・修理	-
〈営業・販売系〉			40	半導体・電子機器製造組立・修理	-
15	テレマーケティングの営業	24号	41	輸送用機械組立・修理	-
16	セールスエンジニア、金融商品の営業	25号	42	その他の製造	-
17	販売	-	〈軽作業系〉		
18	デモンストレーター	12号	43	運送・運送補助	-
19	添乗	13号	44	倉庫作業	-
20	その他の営業・販売関連職	-	45	その他の軽作業	-
〈IT技術・クリエイティブ系〉			46	その他、上記に該当しない業務	
21	OAインストラクター	23号			
22	情報処理システム開発(SE・プログラマー等)	1号			
23	編集・印刷・DTPオペレーター	19号			
24	広告デザイン	20号			
25	その他の技術・クリエイティブ職	-			

6. 付属統計表の表側の説明

本報告書第二部の付属統計表の表側のカテゴリについては、表 3 の通り。また、問 4(1)「現在の派遣先の業務」を表側とした付属統計表も作成した。

表 3 付属統計表の表側

		選択肢
性別(F6)	男性	1
	女性	2
年齢(F6)	25歳未満	
	25～29歳	
	30～34歳	
	35～39歳	
	40～44歳	
	45～49歳	
	50～54歳	
	55～59歳	
	60歳以上	
最終学歴	中・高校	1,2
	専門学校	3
	短大	4
	大学・大学院	5,6
既・未婚(F6、2)	既婚	1
	未婚、離婚、死別	2,3
同居家族(F6、4)	一人暮らし	2
	同居家族あり	2以外
正社員経験の有無(F1)	あり	1に○あり
	なし	1に○なし
正社員希望(問42)	是非になりたい	1
	どちらかといえば、になりたい	2
	どちらかといえば、なりたくない	3
	全くなりたくない	4
雇用形態(問1)	登録型派遣社員	1
	常用型派遣社員(期間の定めあり)	2
	常用型派遣社員(期間の定めなし)	3
現在の派遣業務(問4、1)	オフィスワーク系	1～12
	医療・福祉系	13～14
	営業・販売系	15～20
	IT技術・クリエイティブ、専門職	21～38
	製造業務	39～42
	軽作業	43～45
	その他	46
現在の派遣先での通算派遣期間(問6)	1年以下	1,2,3
	1年超3年以下	4,5,6
	3年超	7
稼働経験のある派遣会社数(F3)	1社	1
	2～3社	2
	4社以上	3
都市区分	関東都市圏(東京・さいたま・千葉・横浜・川崎)	
	中部都市圏(名古屋・浜松・静岡)	
	関西都市圏(大阪・堺・神戸・京都)	
	九州都市圏(北九州・福岡)	
	上記以外の政令指定都市	
	政令指定都市以外の地区	

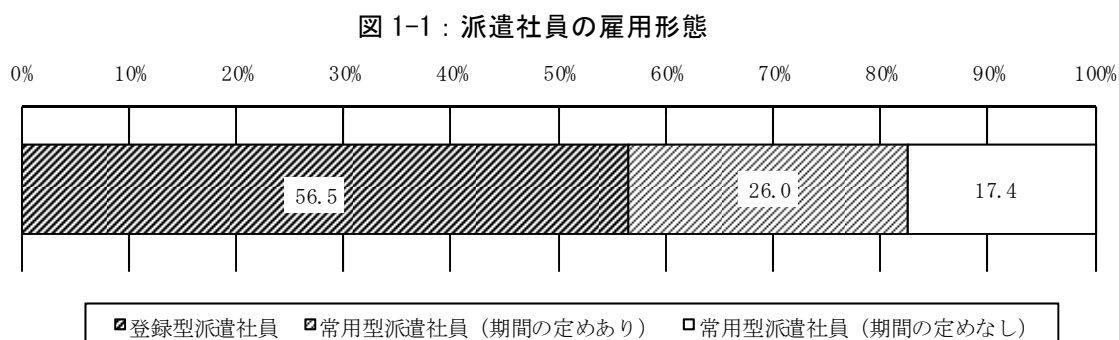
Ⅱ 調査の概要

1. 調査対象者の属性

1-1. 派遣社員の性別と年齢

派遣社員の雇用形態¹を尋ねたところ、「登録型派遣社員」が 56.5%、「常用型派遣社員（期間の定めあり）」が 26.0%、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」が 17.4%となっていた（図 1-1。以下、「派遣社員の雇用形態」について表記する場合、「派遣形態」と表現することにする。）。

調査対象の属性は表 1-1 のとおりである。性別は、女性が 7 割となっている。派遣形態別にみると、「登録型派遣社員」では女性 80.8%、男性 17.7%、「常用型派遣社員（期間の定めあり）」では女性 66.6%、男性 30.2%となっている一方で、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」では女性 37.4%、男性 60.8%となっており、男女の割合が逆転している。年齢は、いずれの派遣形態も 30～34 歳の割合がもっとも高い。最終学歴²は、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」では「高校」の割合がもっとも高く、次いで「大学」「短大」の順となっている。「常用型派遣社員（期間の定めなし）」では、「大学」の割合がもっとも高く、次いで「高校」「専門学校」の順となっている（参考として、未・既婚の別、子供の有無、同居家族の有無を掲載）。



¹ 本調査では、派遣社員の雇用形態について、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」の 3 択で尋ねている。本調査でいう「登録型派遣社員」とは、派遣会社に登録していて、派遣されている期間のみ派遣会社と雇用契約している者をいう。「常用型派遣社員（期間の定めなし）」とは、派遣会社との間で期間の定めのない雇用契約が交わされている者をいう。また、「常用型派遣社員（期間の定めあり）」とは、派遣会社との間で期間の定めのある雇用契約が交わされていて、過去 1 年を超えて雇用されているか、入社から 1 年を超えて雇用される見込みがある者としている。

² ここでの「最終学歴」とは、初めて仕事に就く直前の学歴のこと（中退を含む）。

表 1-1：派遣社員の属性（派遣形態別）

（単位＝％）

		派遣社員 （計）	登録型派遣 社員	常用型派遣社員 （期間の定めあり）	常用型派遣社員 （期間の定めなし）
総 数		4473	2529	1165	779
性別	男性	28.5	17.7	30.2	60.8
	女性	69.6	80.8	66.6	37.4
年齢	24歳以下	5.1	4.5	5.8	6.3
	25～29歳	17.1	17.1	15.5	19.8
	30～34歳	22.3	23.8	19.5	21.7
	35～39歳	17.7	18.9	15.5	17.1
	40～44歳	12.1	12.7	12.0	10.4
	45～49歳	8.1	7.7	9.5	7.2
	50～54歳	4.4	4.1	5.1	4.2
	55～59歳	2.6	2.1	3.4	3.0
	60歳以上	2.9	2.4	4.5	2.1
学歴	中学	1.9	1.5	2.3	2.2
	高校	34.7	35.4	38.2	27.5
	専門学校	15.7	15.1	14.6	19.4
	短大	18.6	21.5	18.5	9.2
	大学	25.8	23.9	23.3	35.6
	大学院	1.3	0.9	0.6	3.6
	その他	0.4	0.2	0.7	0.6
未・既婚	既婚	41.1	39.2	42.7	44.7
	離婚・死別	8.1	8.1	10.2	4.7
	未婚	48.9	51.2	44.1	48.8
子供の有無	いる	31.6	27.0	38.4	36.5
	いない	65.4	70.1	58.5	60.3
同居家族の有無	同居家族がいる	76.3	77.7	75.7	72.9
	一人暮らしである	19.7	18.6	19.1	24.0

※総数には、性別、年齢等が不明の者を含む。

1-2. 派遣社員の家族の状況

派遣社員の未・既婚をみると、57.0％と半数強が未婚（「未婚」と「離婚・死別」の合計。以下同じ。）である。派遣形態別にみると、「登録型派遣社員」では 59.3％が未婚となっている。男女別にみると、既婚者割合は男性 42.5％、女性 41.0％でほとんど差はない。派遣形態別に分けて男女別にみると、「登録型派遣社員」では、既婚者割合は男性よりも女性のほうがやや高い。一方、「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」では、男性のほうが女性に比べ既婚者割合が高い（表 1-2）。

男女に分けて年齢別に既婚者割合をみると、男女いずれも年齢が高くなるほど既婚割合は高まる（表 1-3）。調査では、正社員経験についても尋ねているため、正社員経験の有無別に分けたうえで、性・年齢別にみると、正社員経験の有無にかかわらず年齢が低くなるほど既婚者割合が低下する傾向には変わりがないものの、とくに正社員経験がない層の既婚者割合は、「30歳未満」で男性 6.3％、女性 9.7％となっている。この既婚者割合は、正社員経験のある「30歳未満」層（男性 14.3％、女性 21.4％）と比べて際立って低い。「30～35歳」層の既婚者割合でも、同様の傾向で正社員経験による差は大きい。正社員経験がない若年の派遣社員で既婚者割合がもっとも低いようだ（表 1-4）。

次に、同居家族の有無では、19.7%が一人暮らしだった。同居家族の有無を派遣形態別にみると、「一人暮らし」の割合は「常用型派遣社員（期間の定めなし）」で24.0%と最も高くなっている。そこで性別・未既婚³の別にこれをみると、「一人暮らし」の割合は、「男性・未婚」45.9%、「女性・未婚」28.4%などとなっている。男性未婚者のほうが女性未婚者よりも「一人暮らし」の割合が高いようである（表1-5）。

同居家族がいる者を対象に、これを未既婚別にみると、「未婚」の同居家族は、「自分の母親」が77.8%と最も多く、次いで「自分の父親」が65.4%となっており、6～7割が両親との同居であることがわかる。「既婚」の同居家族は85.1%が「配偶者・パートナー」となっている（表1-6）。

既婚者について配偶者の就業形態をみると、女性の配偶者の77.9%が正社員（夫が正社員）となっている一方で、男性の配偶者（妻）は42.1%が無職（いわゆる専業主婦）であり、「パート・アルバイト」が27.5%、「正社員」が16.1%、「派遣社員」が6.7%などとなっている。派遣形態別に分けたうえで男女別にみると、男性の配偶者（妻）が「正社員」とする割合は、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で低い（表1-7）。

なお、既婚者について男女で分けたうえで、子供の有無をみると、子供が「いる」とするのは、男性82.1%、女性54.2%。これを年齢別にみると、男女ともに年齢が高まるほど「いる」とする割合は高まる。正社員経験別にみると、男女いずれも、正社員経験のあるほうが「いる」とする割合が高い。配偶者の就業形態別にみると、男性の場合、子供が「いる」割合がもっとも高いのは、配偶者（すなわち妻）が「非正社員」の場合で88.3%、次いで、「無職」（いわゆる専業主婦）84.2%、「正社員」77.0%などの順となっている。一方、女性の場合、子供が「いる」割合がもっとも高いのは、配偶者（すなわち夫）が「無職」の場合で78.6%次いで、「正社員」54.5%、「その他」53.8%などの順となっている（表1-8）。

次に、子供が「いる」とする者を対象に、その人数をみると、子供が「2人以上」（「2人」と「3人以上」の合計。）とする割合は男性69.6%、女性70.9%でその割合にほとんど差はない。これを年齢別にみると、男女ともに、おおむね年齢が高まるほど、「2人以上」の割合は高まる。正社員経験の有無別にみると、男女いずれも、正社員経験のあるほうが「2人以上」とする割合が高い。配偶者の就業形態別にみると、男性の場合、「2人以上」の割合がもっとも高いのは、配偶者（妻）が「非正社員」の場合で74.2%、次いで、「無職」（いわゆる専業主婦）69.8%となっており、妻が「正社員」の場合59.7%でもっとも低くなっている（表1-9）。

³ ここでの「性別・未既婚の別」とは、性と未既婚の回答を組み合わせ、「男性・既婚」「男性・未婚」「女性・既婚」「女性・未婚」に分けたもの（以下、同じ）。

表 1-2：未既婚

(単位＝％)

		n数	既婚	未婚	無回答
全体	計	4473	41.1	57.0	1.9
	男性	1273	42.5	56.9	0.6
	女性	3111	41.0	58.2	0.7
登録型派遣社員	計	2529	39.2	59.3	1.5
	男性	447	34.7	64.4	0.9
	女性	2044	40.6	58.9	0.5
常用型派遣社員 (期間の定めあり)	計	1165	42.7	54.3	2.9
	男性	352	45.2	54.3	0.6
	女性	776	42.7	56.3	1.0
常用型派遣社員 (期間の定めなし)	計	779	44.7	53.5	1.8
	男性	474	47.9	51.7	0.4
	女性	291	40.2	58.8	1.0

表 1-3：男女別・年齢別にみた未既婚の状況

(単位＝％)

		n数	既婚	未婚	無回答
男性	計	1273	42.5	56.9	0.6
	30歳未満	316	11.7	87.0	1.3
	30～35歳未満	230	39.6	60.0	0.4
	35～40歳未満	196	42.3	57.1	0.5
	40～45歳未満	133	50.4	49.6	0.0
	45歳以上	313	72.8	26.5	0.6
女性	計	3111	41.0	58.2	0.7
	30歳未満	677	16.8	82.7	0.4
	30～35歳未満	764	36.5	62.8	0.7
	35～40歳未満	595	44.7	54.6	0.7
	40～45歳未満	408	53.9	45.6	0.5
	45歳以上	489	67.1	32.9	0.0

表 1-4：未既婚（正社員経験別にみた男女別・年齢別にみた未既婚の状況）

(単位＝％)

		正社員経験なし				正社員経験あり			
		n数	既婚	未婚	無回答	n数	既婚	未婚	無回答
男性	計	226	20.8	77.9	1.3	922	47.7	51.8	0.4
	30歳未満	128	6.3	91.4	2.3	175	14.3	85.1	0.6
	30～35歳未満	55	27.3	72.7	0.0	165	43.0	56.4	0.6
	35～40歳未満	23	47.8	52.2	0.0	169	41.4	58.0	0.6
	40～45歳未満	14	64.3	35.7	0.0	114	48.2	51.8	0.0
	45歳以上	6	66.7	33.3	0.0	299	73.2	26.4	0.3
女性	計	474	21.9	77.4	0.6	2405	45.2	54.3	0.4
	30歳未満	247	9.7	90.3	0.0	412	21.4	78.2	0.5
	30～35歳未満	148	28.4	70.9	0.7	606	38.6	60.7	0.7
	35～40歳未満	41	43.9	53.7	2.4	545	45.0	54.5	0.6
	40～45歳未満	18	44.4	50.0	5.6	383	54.8	44.9	0.3
	45歳以上	20	60.0	40.0	0.0	459	67.8	32.2	0.0

表 1-5：同居家族の有無

(単位＝％)

	n数	同居家族が いる	一人暮らし である	無回答
計	4473	76.3	19.7	4.0
<派遣形態別>				
登録型派遣社員	2529	77.7	18.6	3.8
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	75.7	19.1	5.2
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	72.9	24.0	3.1
<性別・未既婚別>				
男性・既婚	541	91.9	1.8	6.3
男性・未婚	724	52.9	45.9	1.2
女性・既婚	1277	94.4	0.6	4.9
女性・未婚	1812	70.0	28.4	1.7

表 1-6：同居家族（未既婚の別）

(単位＝％)

	n数	自分の父 親	自分の母 親	配偶者の 父親	配偶者の 母親	配偶者・ パート ナー	子供	兄弟姉妹	祖父母	その他	無回答
計	3414	34.8	42.3	3.2	4.8	45.1	33.4	9.9	2.5	2.1	1.0
既婚	1720	4.9	7.7	5.6	8.7	85.1	54.3	0.9	0.6	0.9	0.8
未婚	1661	65.4	77.8	0.7	0.8	4.2	11.9	19.1	4.5	3.4	1.1

※「同居家族がいる」を対象に集計。

表 1-7：配偶者の就業状況

(単位＝%)

		n数	正社員	パート・アルバイト	契約社員	派遣社員	自営業・自由業	無職	その他	無回答
合計	計	1837	59.4	9.4	3.1	4.7	7.1	14.1	1.7	0.5
	男性	541	16.1	27.5	4.1	6.7	1.5	42.1	1.7	0.4
	女性	1277	77.9	1.6	2.7	3.8	9.5	2.2	1.7	0.5
登録型派遣社員	計	991	68.7	5.0	2.3	4.9	8.6	8.5	1.3	0.6
	男性	155	10.3	26.5	3.2	10.3	2.6	44.5	1.9	0.6
	女性	829	79.5	1.1	2.2	3.9	9.8	1.8	1.2	0.6
常用型派遣社員 (期間の定めあり)	計	498	56.2	8.8	5.2	4.6	6.8	15.7	2.2	0.4
	男性	159	16.4	22.6	6.9	6.9	2.5	43.4	1.3	0.0
	女性	331	75.5	2.4	4.5	3.6	8.8	2.1	2.4	0.6
常用型派遣社員 (期間の定めなし)	計	348	37.6	22.4	2.3	4.0	3.2	27.9	2.3	0.3
	男性	227	19.8	31.7	2.6	4.0	0.0	39.6	1.8	0.4
	女性	117	73.5	2.6	1.7	4.3	9.4	5.1	3.4	0.0

※既婚者を対象に集計。

表 1-8：男女別にみた子供の有無（年齢別・正社員経験の有無別・配偶者の就業形態別）

(単位＝%)

	男性				女性			
	n数	いる	いない	無回答	n数	いる	いない	無回答
計	541	82.1	17.6	0.4	1277	54.2	45.2	0.6
<年齢別>								
30歳未満	37	59.5	37.8	2.7	114	23.7	74.6	1.8
30～35歳未満	91	70.3	29.7	0.0	279	28.7	71.3	0.0
35～40歳未満	83	80.7	19.3	0.0	266	45.5	54.1	0.4
40～45歳未満	67	79.1	20.9	0.0	220	66.4	33.6	0.0
45歳以上	228	91.7	7.9	0.4	328	85.4	14.3	0.3
<正社員経験の有無別>								
正社員経験なし	50	74.0	26.0	0.0	111	40.5	58.6	0.9
正社員経験あり	470	82.8	16.8	0.4	1150	55.6	43.8	0.6
<配偶者の就業形態別>								
正社員	87	77.0	23.0	0.0	995	54.5	45.0	0.5
非正社員	171	88.3	11.7	0.0	55	50.9	49.1	0.0
派遣社員	36	55.6	41.7	2.8	49	34.7	63.3	2.0
その他	17	76.5	23.5	0.0	143	53.8	44.8	1.4
無職	228	84.2	15.4	0.4	28	78.6	21.4	0.0

※既婚者を対象に集計。配偶者の就業形態の「その他」は、「自由業・自営業」「その他」の合計（以下同じ）。

表 1-9：男女別にみた子供の人数（年齢別・正社員経験の有無別・配偶者の就業形態別）(単位＝%)

	男性					女性				
	n数	1人	2人	3人以上	無回答	n数	1人	2人	3人以上	無回答
計	444	29.5	50.7	18.9	0.9	692	27.7	56.9	14.0	1.3
<年齢別>										
30歳未満	22	77.3	13.6	9.1	0.0	27	63.0	29.6	0.0	7.4
30～35歳未満	64	54.7	31.3	12.5	1.6	80	51.3	41.3	6.3	1.3
35～40歳未満	67	22.4	62.7	13.4	1.5	121	37.2	53.7	7.4	1.7
40～45歳未満	53	35.8	49.1	15.1	0.0	146	26.0	58.9	14.4	0.7
45歳以上	209	16.7	58.4	24.9	0.0	280	11.8	66.4	20.7	1.1
<正社員経験の有無別>										
正社員経験なし	37	51.4	43.2	5.4	0.0	45	42.2	42.2	13.3	2.2
正社員経験あり	389	27.5	51.9	20.1	0.5	639	26.6	58.1	14.1	1.3
<配偶者の就業形態別>										
正社員	67	37.3	40.3	19.4	3.0	542	27.9	57.9	12.7	1.5
非正社員	151	25.8	52.3	21.9	0.0	28	17.9	64.3	17.9	0.0
派遣社員	20	35.0	60.0	5.0	0.0	17	41.2	58.8	0.0	0.0
その他	13	30.8	53.8	15.4	0.0	77	29.9	46.8	22.1	1.3
無職	192	29.2	52.1	17.7	1.0	22	13.6	68.2	18.2	0.0

※既婚者で子供が「いる」と回答した者を対象に集計。

1-3. 派遣社員の住居及び通勤費、公的年金等の状況

現在の住居の状況を尋ねたところ、半数が「持ち家」で、「賃貸」は 38.9%だった。これを未婚・同居家族別⁴にみると、「賃貸」は「未婚で一人暮らし」が 84.8%と最も高い（表 1-10）。賃貸の場合の月当たりの家賃の平均は 64,863 円だった（表 1-11）。

通勤費の支給の有無についてみると、「通勤費なし」とする割合は、45.3%であり、何らかの支給があるのは（「全額あり」、「一部あり」の合計。）、52.2%だった。派遣形態別にみると、通勤費支給の「全額あり」とする割合は、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高い。派遣先の業務別⁵にみると、「通勤費なし」の割合は「オフィスワーク系」が 59.8%と最も高い。一方、「全額あり」の割合は「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」で 47.3%と最も高くなっている（表 1-12）。

通勤費の支給額の平均値を派遣形態別にみると、「全額あり」では、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高く、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」は月額 14,409 円となっている。「一部あり」でも、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高く、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」は月額 8,618 円だった（表 1-13）。

次に、社会・労働保険の加入状況をみると、「健康保険」が 84.5%、「雇用保険」81.1%となっており、「いずれも加入していない」のは 4.3%と少ない。派遣形態別にみると、「いずれも加入していない」とする割合は「登録型派遣社員」でわずかに高くなっている。派遣先の業務別にみると、「軽作業系」で「いずれも加入していない」とする割合は 15.4%と他より高くなっている。派遣元の雇用契約期間別にみると、3 カ月以上で「健康保険」「雇用保険」の加入割合はいずれの期間も約 8 割となっているが、3 カ月未満についてみると、「健康保険」は 6～8 割であり、3 カ月以上の加入割合よりも低い。「雇用保険」は 3 カ月未満では、期間が短くなるほどその加入割合は低下する傾向にある（表 1-14）。

公的年金の加入状況をみると、「派遣元会社の厚生年金に加入」は 77.8%となっている。派遣形態別にみると、「派遣元会社の厚生年金に加入」とする割合は「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高い。派遣先の業務別にみると、「加入していない」とする割合は、「軽作業系」が 16.8%と他に比べて高くなっている。派遣元の雇用契約期間別にみると、「派遣元会社の厚生年金に加入」の割合は、3 カ月以上で約 8 割となっているが、3 カ月未満についてみると、約 3～6 割となっている。公的年金に「加入していない」とする割合も、3 カ月未満で 1 割前後となっている（表 1-15）。

労働組合の加入状況では、「労働組合に加入している」のは 6.4%と少数である。これを派

⁴ ここでの「未婚・同居家族の別」とは、未婚と同居家族の有無の回答を組み合わせ、「既婚で同居家族あり」「未婚で同居家族あり」「既婚で一人暮らし」「既婚で一人暮らし」に分けたもの（以下、同じ。）。

⁵ 本調査では現在の派遣先の業務を 46 の選択肢で尋ねている。ここではそれらの業務を「オフィスワーク系」「医療・福祉系」「営業・販売系」「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」「製造業務系」「軽作業系」「その他」の 7 つの集約分類でまとめた（以下同じ。）。

遣形態別にみると、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高く、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」で 14.6%となっている。派遣先の業務別にみると、「医療・福祉系」が 23.1%ともっとも高く、次いで、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」で 12.3%などとなっている（表 1-16）。

表 1-10：住居の賃貸の別（未婚・一人暮らし別）

（単位＝％）

	n 数	持ち家	賃貸	無回答
計	4473	55.3	38.9	5.8
既婚で同居家族あり	1720	62.7	34.1	3.1
未婚で同居家族あり	1661	73.6	21.4	4.9
既婚で一人暮らし	19	21.1	73.7	5.3
未婚で一人暮らし	850	10.4	84.8	4.8

表 1-11：賃貸の場合の月当たりの家賃（派遣形態別）

（単位＝％）

	n 数	3 万円未満	3 万円から 6 万円未満	6 万円から 10 万円未満	10 万円以上	無回答	平均値 （円）
計	1740	4.7	32.8	44.9	9.5	8.1	64862.7
登録型派遣社員	1001	4.6	30.7	45.8	10.8	8.2	66478.9
常用型派遣社員（期間の定めあり）	419	5.3	36.8	40.8	8.4	8.8	62663.5
常用型派遣社員（期間の定めなし）	320	4.4	34.1	47.8	6.9	6.9	62697.7

表 1-12：通勤費支給の有無

（単位＝％）

	n 数	全額あり	一部あり	通勤費なし	無回答
計	4473	29.5	22.7	45.3	2.5
＜派遣形態別＞					
登録型派遣社員	2529	19.8	21.3	56.7	2.2
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	34.2	25.8	36.7	3.3
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	53.9	22.8	20.9	2.3
＜派遣先業務別＞					
オフィスワーク系	2344	25.5	13.4	59.8	1.4
医療・福祉系	160	30.6	46.9	19.4	3.1
営業・販売系	124	35.5	20.2	41.1	3.2
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	47.3	18.5	31.0	3.2
製造業務系	566	21.0	52.1	23.0	3.9
軽作業系	208	13.9	45.2	36.1	4.8
その他	77	28.6	35.1	33.8	2.6

表 1-13：通勤費の支給額（通勤費支給の全額・一部の別・派遣形態別）

（単位＝％）

	n 数	3000円 未満	3000～ 5000円 未満	5000円～1 万円未満	1万円以上	平均値 （円）
全額あり・計	960	6.1	8.9	26.7	58.3	12,552
登録型派遣社員	359	8.1	10.3	29.2	52.4	10,787
常用型派遣社員（期間の定めあり）	275	5.1	10.5	29.5	54.9	12,655
常用型派遣社員（期間の定めなし）	326	4.9	5.8	21.5	67.8	14,409
一部あり・計	861	16.5	23.2	35.8	24.5	6,769
登録型派遣社員	458	17.7	25.5	35.2	21.6	6,180
常用型派遣社員（期間の定めあり）	253	16.2	24.1	34.4	25.3	6,740
常用型派遣社員（期間の定めなし）	150	13.3	14.7	40.0	32.0	8,618

※無回答を除き集計。

表 1-14：社会・労働保険の加入状況（複数回答）

（単位＝％）

	n数	健康保険	雇用保険	いずれも 加入して いない	無回答
計	4473	84.5	81.1	4.3	2.0
<派遣形態別>					
登録型派遣社員	2529	83.6	81.4	5.3	1.7
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	85.2	81.5	2.9	3.3
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	86.3	79.5	3.1	1.4
<派遣先業務別>					
オフィスワーク系	2344	87.7	86.1	2.9	1.5
医療・福祉系	160	74.4	70.6	9.4	0.6
営業・販売系	124	79.0	76.6	4.8	2.4
I T技術・クリエイティブ、専門職系	936	87.0	81.6	1.6	2.9
製造業務系	566	79.3	78.6	8.0	1.8
軽作業系	208	70.2	51.4	15.4	2.4
その他	77	72.7	67.5	10.4	2.6
<派遣元の雇用契約期間別>					
1ヵ月未満	23	65.2	39.1	13.0	8.7
1ヵ月	156	81.4	74.4	8.3	1.9
1ヵ月超2ヵ月以下	140	78.6	73.6	10.0	2.9
2ヵ月超3ヵ月未満	113	71.7	77.0	7.1	0.0
3ヵ月以上6ヵ月未満	1481	86.4	84.9	3.2	1.6
6ヵ月以上1年未満	508	83.9	85.6	4.3	1.8
1年以上	820	85.2	81.6	3.8	3.0
期間の定めはない	1133	85.8	78.3	4.2	1.1

表 1-15：公的年金の加入状況

（単位＝％）

	n数	派遣元会社 の厚生年金 （自分名 義）に加入	国民年金 （自分名 義）に加入	第3号被保 険者として 加入	加入してい ない	無回答
計	4473	77.8	8.8	4.7	3.5	5.1
<性別・未婚別>						
男性・既婚	541	79.7	8.3	1.5	7.0	3.5
男性・未婚	724	71.5	13.1	1.0	7.6	6.8
女性・既婚	1277	75.6	6.4	14.3	1.3	2.4
女性・未婚	1812	83.1	8.9	0.8	2.2	5.0
<派遣形態別>						
登録型派遣社員	2529	76.4	9.9	5.2	3.9	4.6
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	78.3	7.6	4.4	3.5	6.2
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	81.6	7.1	3.9	2.1	5.4
<派遣先業務別>						
オフィスワーク系	2344	84.3	5.1	5.8	1.1	3.7
医療・福祉系	160	61.3	11.3	16.3	5.6	5.6
営業・販売系	124	65.3	18.5	2.4	4.0	9.7
I T技術・クリエイティブ、専門職系	936	85.1	5.4	1.3	2.5	5.7
製造業務系	566	64.5	18.2	2.5	7.8	7.1
軽作業系	208	42.3	26.9	6.7	16.8	7.2
その他	77	58.4	22.1	2.6	11.7	5.2
<派遣元の雇用契約期間別>						
1ヵ月未満	23	39.1	39.1	4.3	13.0	4.3
1ヵ月	156	66.0	12.8	7.1	6.4	7.7
1ヵ月超2ヵ月以下	140	59.3	19.3	4.3	12.9	4.3
2ヵ月超3ヵ月未満	113	59.3	21.2	5.3	11.5	2.7
3ヵ月以上6ヵ月未満	1481	82.4	7.4	3.8	2.5	3.8
6ヵ月以上1年未満	508	77.4	6.7	7.9	3.3	4.7
1年以上	820	78.9	6.3	4.8	3.0	7.0
期間の定めはない	1133	79.8	9.2	4.1	2.8	4.1

表 1-16：労働組合の加入状況

(単位＝%)

	n数	労働組合に 加入してい る	労働組合に 加入してい ない	わからない	無回答
計	4473	6.4	66.1	23.3	4.2
＜派遣形態別＞					
登録型派遣社員	2529	4.4	66.2	25.8	3.6
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	5.2	68.3	21.1	5.3
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	14.6	62.5	18.5	4.4
＜派遣先業務別＞					
オフィスワーク系	2344	4.2	68.2	24.4	3.2
医療・福祉系	160	23.1	45.6	28.1	3.1
営業・販売系	124	6.5	61.3	29.8	2.4
I T技術・クリエイティブ、専門職系	936	12.3	63.7	18.9	5.1
製造業務系	566	2.8	69.1	23.7	4.4
軽作業系	208	1.4	65.9	25.0	7.7
その他	77	5.2	66.2	23.4	5.2

2. 職業経歴

2-1. 初職に就いた年と就職活動

初職⁶についた年は表 2-1 のとおり。就職活動の有無について、初職入職年に分けて学歴別にみると、まず、「学校推薦」は学歴が低くなるほどその割合が高くなっており、「中学・高校」でもっともその割合が高い（表 2-2）。初職入社年が最近になるほど、「中学・高校」の「学校推薦」の割合は低下しており、バブル崩壊以降、就職氷河期を経るなかで、「学校推薦」を経て就職する割合が低下したことがうかがわれる（ただし、2005 年以降の「中学・高校」の「学校推薦」は 11.8%と高くなっている。）。なお、就職活動をした割合は、「2005 年以降」を除き、おおむね学歴が上がるほど高くなる傾向にある。「2005 年以降」では、「短大」が 65.1%就職活動をしたと回答しており、「しなかった」とする割合は 27.9%あった。

就職活動をした者について、初職入職年別に就職活動の困難度をみると、「困難だった」（「非常に困難」、「まあ困難」の合計。）とする割合は、「2000～2004 年」で最も高くなっており、「2005 年以降」では 64.0%と若干低下しているが、6 割台の高い水準が継続している（表 2-3）。就職困難度の有無について、初職入職年に分けて学歴別にみると、いずれの初職入社年層をみても、学歴が高くなるほど、就職困難を感じる割合が高くなる傾向にある（表 2-4）。

表 2-1：初職に就いた年

(単位＝%)

	n数	1989年以前	1990～1994 年	1995～1999 年	2000～2004 年	2005年以降	無回答
計	4473	27.2	14.7	17.8	19.2	10.1	11.1
登録型派遣社員	2529	26.0	16.0	18.5	19.6	8.9	11.0
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	32.4	13.2	15.6	17.6	8.8	12.4
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	23.2	12.8	18.5	20.0	15.9	9.5

⁶ ここでの初職とは、学校卒業後、初めて就いた仕事を指す（以下、同じ。）。

表 2-2：初職入社年・最終学歴別にみた就職活動の有無 (単位＝%)

		n 数	就職活動の有無			
			した	しなかつた	学校推薦	無回答
1989年以前	中学・高校	661	42.5	24.2	29.2	4.1
	専門学校	125	73.6	15.2	10.4	0.8
	短大	235	74.0	14.5	10.6	0.9
	大学・大学院	185	74.6	18.4	5.9	1.1
1990～1994年	中学・高校	268	51.9	22.0	25.0	1.1
	専門学校	125	76.0	18.4	5.6	0.0
	短大	147	85.7	8.2	5.4	0.7
	大学・大学院	115	83.5	11.3	3.5	1.7
1995～1999年	中学・高校	215	56.3	27.0	15.8	0.9
	専門学校	140	72.9	22.1	4.3	0.7
	短大	203	75.4	21.2	2.0	1.5
	大学・大学院	228	82.5	14.0	2.6	0.9
2000～2004年	中学・高校	185	58.9	34.1	5.9	1.1
	専門学校	145	71.7	24.1	2.8	1.4
	短大	130	75.4	23.1	0.8	0.8
	大学・大学院	390	81.5	17.4	0.3	0.8
2005年以降	中学・高校	85	49.4	37.6	11.8	1.2
	専門学校	90	81.1	16.7	2.2	0.0
	短大	43	65.1	27.9	2.3	4.7
	大学・大学院	225	80.4	18.7	0.0	0.9

表 2-3：初職入社年別にみた就職困難度 (単位＝%)

	n 数	非常に困難	まあ困難	さほど困難でなかった	困難ではなかった	無回答	困難だった	困難ではない
計	2914	24.5	28.9	28.3	17.5	0.8	53.4	45.8
＜初職入社年別＞								
1989年以前	692	8.1	23.1	38.7	29.8	0.3	31.2	68.5
1990～1994年	458	13.5	24.9	34.3	26.2	1.1	38.4	60.5
1995～1999年	569	35.1	33.2	20.9	9.8	0.9	68.4	30.8
2000～2004年	633	40.8	31.6	19.0	8.2	0.5	72.4	27.2
2005年以降	328	27.4	36.6	26.8	8.5	0.6	64.0	35.4

表 2-4：初職入社年・学歴別にみた就職困難度

(単位＝％)

		n 数	就職活動困難度					困難だった	困難ではなかった
			非常に困難	まあ困難	さほど困難でなかった	困難ではなかった	無回答		
1989年以前	中学・高校	281	3.2	14.6	38.8	43.4	0.0	17.8	82.2
	専門学校	92	13.0	15.2	48.9	22.8	0.0	28.3	71.7
	短大	174	8.6	32.8	37.4	20.1	1.1	41.4	57.5
	大学・大学院	138	13.8	34.1	33.3	18.8	0.0	47.8	52.2
1990～1994年	中学・高校	139	5.8	18.7	38.1	35.3	2.2	24.5	73.4
	専門学校	95	12.6	27.4	35.8	23.2	1.1	40.0	58.9
	短大	126	15.1	30.2	31.7	22.2	0.8	45.2	54.0
	大学・大学院	96	24.0	24.0	30.2	21.9	0.0	47.9	52.1
1995～1999年	中学・高校	121	14.0	28.9	41.3	14.9	0.8	43.0	56.2
	専門学校	102	34.3	27.5	22.5	15.7	0.0	61.8	38.2
	短大	153	42.5	32.7	14.4	9.2	1.3	75.2	23.5
	大学・大学院	188	43.6	39.4	12.8	3.2	1.1	83.0	16.0
2000～2004年	中学・高校	109	22.9	29.4	33.0	14.7	0.0	52.3	47.7
	専門学校	104	22.1	35.6	28.8	13.5	0.0	57.7	42.3
	短大	98	38.8	30.6	23.5	7.1	0.0	69.4	30.6
	大学・大学院	318	53.5	31.4	9.7	4.4	0.9	84.9	14.2
2005年以降	中学・高校	42	33.3	21.4	28.6	11.9	4.8	54.8	40.5
	専門学校	73	21.9	34.2	30.1	13.7	0.0	56.2	43.8
	短大	28	25.0	35.7	35.7	3.6	0.0	60.7	39.3
	大学・大学院	181	28.2	41.4	23.8	6.6	0.0	69.6	30.4

2-2. 初職の就業形態

初職の就業形態は、**75.5%**が「正社員」であり、「派遣社員」は**6.7%**となっている。しかし、初職入社年別では、最近になるほど、「正社員」の割合はおおむね低下する一方で、「派遣社員」の割合は高まっている。「契約社員」「パート・アルバイト」と「派遣社員」について、初職に就いた年別に比較してみると、**2004年**で「契約社員」**11.2%**、「派遣社員」**17.1%**となっており、この年に逆転して以降、おおむね初職が「契約社員」である割合は低下している。「パート・アルバイト」も、**2004年**に**22.4%**とピークを迎えた後、**2005年**で「パート・アルバイト」**9.4%**、「派遣社員」**18.1%**と両者の値が逆転して以降、おおむね初職が「パート・アルバイト」である割合は低下している（表 2-5）。

以上を踏まえると、バブル崩壊以降、初職が正社員である割合は低下していく反面、契約社員、パート・アルバイト、派遣社員の割合は次第に高まっていくが、**2004年**から**2005年**あたりで契約社員、パート・アルバイトと派遣社員の割合は逆転し、派遣社員の割合が高まる傾向にあることがわかる⁷。派遣法は、**1999年**改正により、派遣労働の対象業務が、製造業務など一部の業務を除き原則自由化され（ネガティブ・リスト化）、さらに、**2004年3月**の改正法施行により、製造業務における派遣労働が解禁されている。景気悪化の影響のみならず、法改正とともに、初職派遣社員の割合が高まった可能性が示唆される。

次に初職の就業形態を初職入社年に分けて、就職活動の有無別にみると、就職活動をした

⁷ ただし、本調査は派遣社員を対象にした調査であることから、近年になるほど、初職が派遣社員である可能性が高まることに留意。

者で「正社員」になった割合は初職入社年が最近になるほど、低下する傾向にある。「2005年以降」では、就職活動を経て正社員になった割合は 58.8%となっており、「派遣社員」は 27.1%となっている。なお、「1989 年以前」は就職活動をしなくとも、81.9%が正社員になっていたが、その割合は初職入社年が最近になるほど低くなる。就職活動をしない場合、「2000～2004 年」では、「パート・アルバイト」が 39.4%ともっとも高くなっているが、「2005 年以降」は「派遣社員」が 42.7%となっており、「パート・アルバイト」の 23.3%を上回っている（表 2-6）。

初職の就業形態は、初職が正社員の場合、「事務の仕事」の割合が 36.4%でもっとも高い（表 2-7）。初職正社員の場合の従業員規模は、「99 人以下」の割合が 31.0%ともっとも高く、次いで、「1000 人以上」が 28.4%となっている。これを初職入社年別にみると、入社年が最近になるほど、「99 人以下」の割合が高まる一方で、「1000 人以上」の割合が低くなる傾向にある（表 2-8）。

表 2-5：初職の就業形態

(単位=%)

	n数	正社員	契約社員	パート・アルバイト	派遣社員	その他	無回答
計	4473	75.5	5.3	9.3	6.7	0.9	2.3
< 初職入社年別 >							
1989年以前	1217	93.2	1.8	3.5	0.7	0.8	0.1
1990～1994年	659	87.3	3.0	6.1	1.8	1.5	0.3
1995～1999年	795	75.1	5.8	13.1	5.4	0.5	0.1
2000年	199	65.3	11.6	15.6	6.0	1.5	0.0
2001年	172	67.4	8.1	16.3	8.1	0.0	0.0
2002年	170	65.9	11.8	15.9	4.7	1.2	0.6
2003年	164	61.0	12.2	14.6	9.8	1.8	0.6
2004年	152	48.0	11.2	22.4	17.1	1.3	0.0
2005年	138	57.2	13.0	9.4	18.1	2.2	0.0
2006年	110	50.9	7.3	10.9	30.0	0.0	0.9
2007年	111	46.8	7.2	12.6	32.4	0.9	0.0
2008年	63	46.0	4.8	3.2	46.0	0.0	0.0
2009年以降	28	35.7	3.6	3.6	53.6	0.0	3.6

表 2-6：初職入社年・就職活動別にみた初職の就業形態

(単位=%)

		n 数	初職の就業形態					無回答
			正社員	契約社員	パート・ アルバイト	派遣社員	その他	
1989年以前	した	692	95.2	2.0	1.4	0.6	0.6	0.1
	しなかった	249	81.9	2.0	12.9	1.6	1.6	0.0
	学校推薦	243	97.9	1.2	0.0	0.0	0.8	0.0
1990～1994 年	した	458	93.4	2.2	2.2	1.3	0.7	0.2
	しなかった	109	53.2	9.2	26.6	4.6	6.4	0.0
	学校推薦	86	98.8	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0
1995～1999 年	した	569	83.3	4.9	6.5	4.6	0.5	0.2
	しなかった	167	42.5	10.2	37.7	9.0	0.6	0.0
	学校推薦	51	92.2	2.0	2.0	3.9	0.0	0.0
2000～2004 年	した	633	72.5	9.2	10.1	7.6	0.6	0.0
	しなかった	198	27.8	16.2	39.4	13.6	3.0	0.0
	学校推薦	17	64.7	11.8	5.9	5.9	0.0	11.8
2005年以降	した	328	58.8	7.9	4.9	27.1	0.6	0.6
	しなかった	103	21.4	11.7	23.3	42.7	1.0	0.0
	学校推薦	14	78.6	0.0	7.1	14.3	0.0	0.0

表 2-7：初職の就業形態

(単位=%)

		専門・技術的な仕事	事務の仕事	販売の仕事	営業の仕事	サービスの仕事	製造の技能工	その他	無回答
計	4473	24.1	32.7	8.4	4.9	12.5	8.5	5.5	3.5
＜初職の就業形態＞									
正社員	3379	26.0	36.4	7.3	6.2	9.4	8.5	4.9	1.4
契約社員	236	18.6	27.5	14.0	3.4	19.5	5.5	10.2	1.3
パート・アルバイト	418	11.0	15.3	19.6	0.2	40.0	4.1	6.9	2.9
派遣社員	298	32.9	30.9	3.7	1.0	6.7	18.5	5.4	1.0
その他	40	22.5	20.0	2.5	2.5	12.5	10.0	30.0	0.0

表 2-8：初職正社員の従業員規模（初職入社年別）

(単位=%)

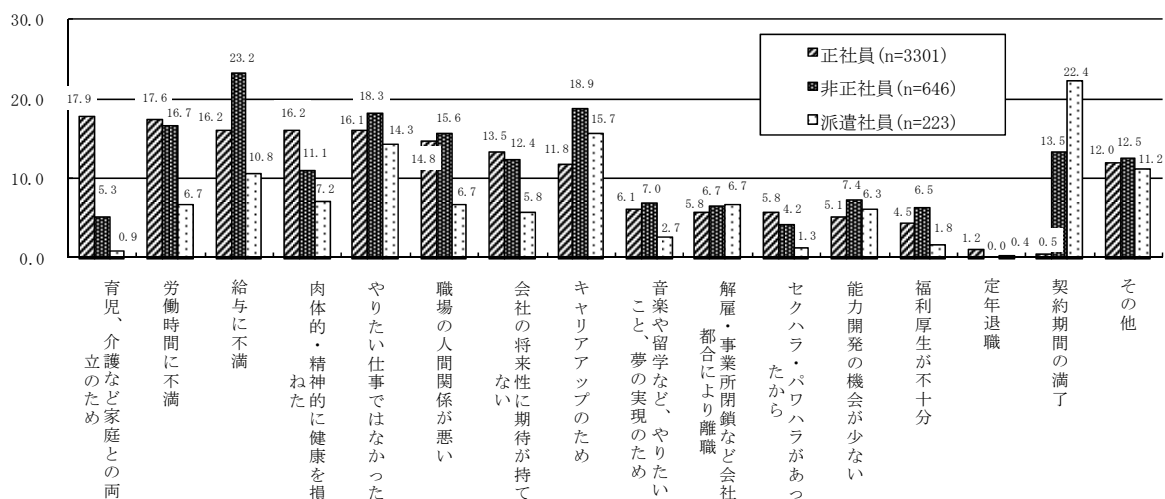
	n数	99人以下	100～299人	300～999人	1000人以上	無回答
計	3379	31.0	20.0	19.3	28.4	1.3
＜初職入社年別＞						
1989年以前	1134	25.1	19.2	18.5	36.0	1.1
1990～1994年	575	26.6	18.8	22.1	32.5	0.0
1995～1999年	597	36.0	20.6	18.4	23.6	1.3
2000～2004年	531	36.9	23.7	18.6	20.0	0.8
2005年以降	226	38.5	15.9	24.3	20.4	0.9

2-3. 初職の離職理由

初職の離職理由を「現在の派遣が初職のため、離職の経験がない」人を除いて集計したところ、正社員では、「育児、介護など家庭との両立のため」の割合が 17.9%でもっとも高く、次いで「労働時間に不満」が 17.6%、「給与に不満」が 16.2%、「やりたい仕事ではなかった」が 16.1%などとなっている。非正社員では、「給与に不満」が 23.2%、「キャリアアップのため」が 18.9%、「やりたい仕事ではなかった」が 18.3%などとなっている。派遣社員では、「契約期間の終了」が 22.4%、「キャリアアップのため」が 15.7%、「やりたい仕事ではなかった」が 14.3%などとなっている（図 2-1）。

図 2-1：初職の就業形態別にみた離職理由

(複数回答、単位=%)



2-4. 派遣社員の職業経歴

派遣社員の職業経歴について、初職とその後の正社員経験を組み合わせると⁸、「初職正社員で派遣」をしている者は 74.1%だった。「初職非正社員で正社員を経て派遣」をしている者は 5.4%、「初職非正社員で派遣」をしている者は 8.9%となっている。「初職派遣社員で正社員を経て派遣」をしている者は 0.8%、「初職派遣社員で派遣」をしている者は 5.6%となっている。そのため、何らかの正社員経験を経て派遣社員になっている者は 80.6%だった。

なお、これを初職入社年別にみると、最近になるほど、おおむね「初職正社員で派遣」の割合は低下する一方で、「初職派遣社員で派遣」の割合は高まる傾向にある（表 2-9）。

表 2-9：派遣にいたる経歴

（単位＝％）

	n数	初職正社員	初職非正社員		初職派遣社員		初職その他		無回答	何らかの正社員経験あり	正社員経験なし
		初職正社員で派遣	初職非正社員で正社員を経て派遣	初職非正社員で派遣	初職派遣社員で正社員を経て派遣	初職派遣社員で派遣	初職その他で正社員を経て派遣	初職その他で派遣			
計	4473	74.1	5.4	8.9	0.8	5.6	0.4	0.4	4.5	80.6	14.9
<初職入社年>											
1989年以前	1217	92.1	3.4	1.8	0.4	0.2	0.3	0.3	1.4	96.2	2.4
1990～1994年	659	86.3	5.2	3.9	0.9	0.9	0.8	0.6	1.4	93.2	5.5
1995～1999年	795	74.1	7.5	10.9	0.9	4.4	0.3	0.1	1.8	82.8	15.5
2000年	199	63.3	10.1	16.6	0.5	5.5	0.0	1.5	2.5	73.9	23.6
2001年	172	66.9	6.4	17.4	2.9	5.2	0.0	0.0	1.2	76.2	22.7
2002年	170	64.7	11.8	15.9	1.2	3.5	0.6	0.6	1.8	78.2	20.0
2003年	164	59.1	7.3	19.5	1.2	8.5	1.8	0.0	2.4	69.5	28.0
2004年	152	47.4	5.9	27.6	0.7	16.4	0.7	0.7	0.7	54.6	44.7
2005年	138	56.5	2.9	19.6	0.7	16.7	0.7	0.7	2.2	60.9	37.0
2006年	110	50.0	4.5	13.6	2.7	26.4	0.0	0.0	2.7	57.3	40.0
2007年	111	45.9	0.9	18.0	0.0	32.4	0.0	0.9	1.8	46.8	51.4
2008年	63	44.4	1.6	6.3	1.6	36.5	0.0	0.0	9.5	47.6	42.9
2009年以降	28	28.6	0.0	7.1	0.0	39.3	0.0	0.0	25.0	28.6	46.4

※「何らかの正社員経験あり」とは、「初職正社員で派遣」「初職非正社員で正社員を経て派遣」「初職派遣社員で正社員を経て派遣」「初職その他で正社員を経て派遣」の合計。「正社員経験なし」は、「初職非正社員で派遣」「初職派遣社員で派遣」「初職その他で派遣」の合計。

⁸ 本調査の回答者はすべて現在派遣社員である。本調査では、正社員や契約社員・パート・アルバイトなどの経験の有無は尋ねているが、どのような順序を経たかまでは聞いていない。したがって、ここでは初職の就業形態から、正社員の経験の有無を組み合わせ、現在派遣社員となっているかをみることにした（つまり、初職以降の非正社員等の経験は含めて検討していない）。そのため、例えば、初職正社員で非正社員を経て派遣になったケースは、「初職正社員で派遣」に類型している。なお、前述の表 2-5（初職の就業形態）と表 2-9（派遣にいたる経歴）で、初職正社員の割合が微妙に違うが、設問間の無回答等の関係で一致していない。

3. 派遣社員になった理由

派遣社員になった理由は、「正社員として働きたいが仕事が見つからなかった」の割合が36.6%と最も高く、次いで、「好きな勤務地、勤務期間、勤務時間を選べる」(23.8%)、「私生活（家庭、趣味、看護、介護）との両立が図れる」(23.3%)、「働きたい仕事内容を選べる」(19.5%)などの順となっている（図 3-1）。

派遣形態別にみると、「正社員として働きたいが仕事が見つからなかった」「好きな勤務地、勤務期間、勤務時間を選べる」「私生活（家庭、趣味、看護、介護）との両立が図れる」「働きたい仕事内容を選べる」「派遣元の仕事紹介が迅速で便利」「残業や休日出勤が少なくてすむ」「仕事の範囲や責任が明確だから」などの理由で、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」の順に割合が高くなっている。一方、「専門的な技術や資格を活かせる」では、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高い（図 3-2）。

図 3-1：派遣社員になった理由（複数回答、n=4473、単位＝％）

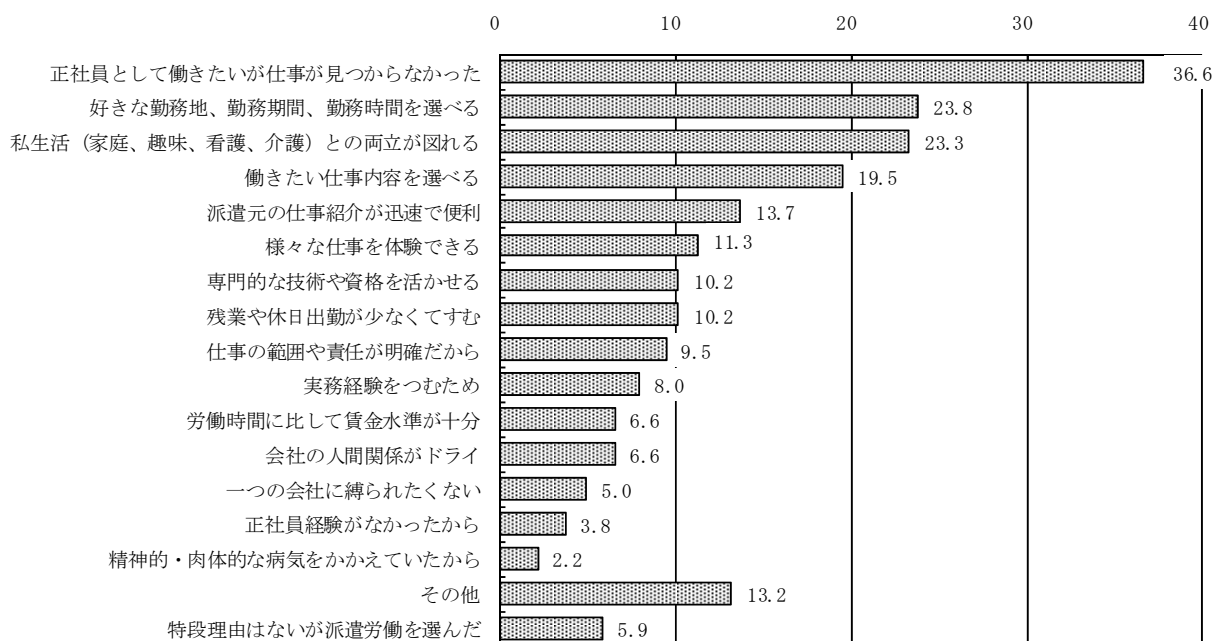
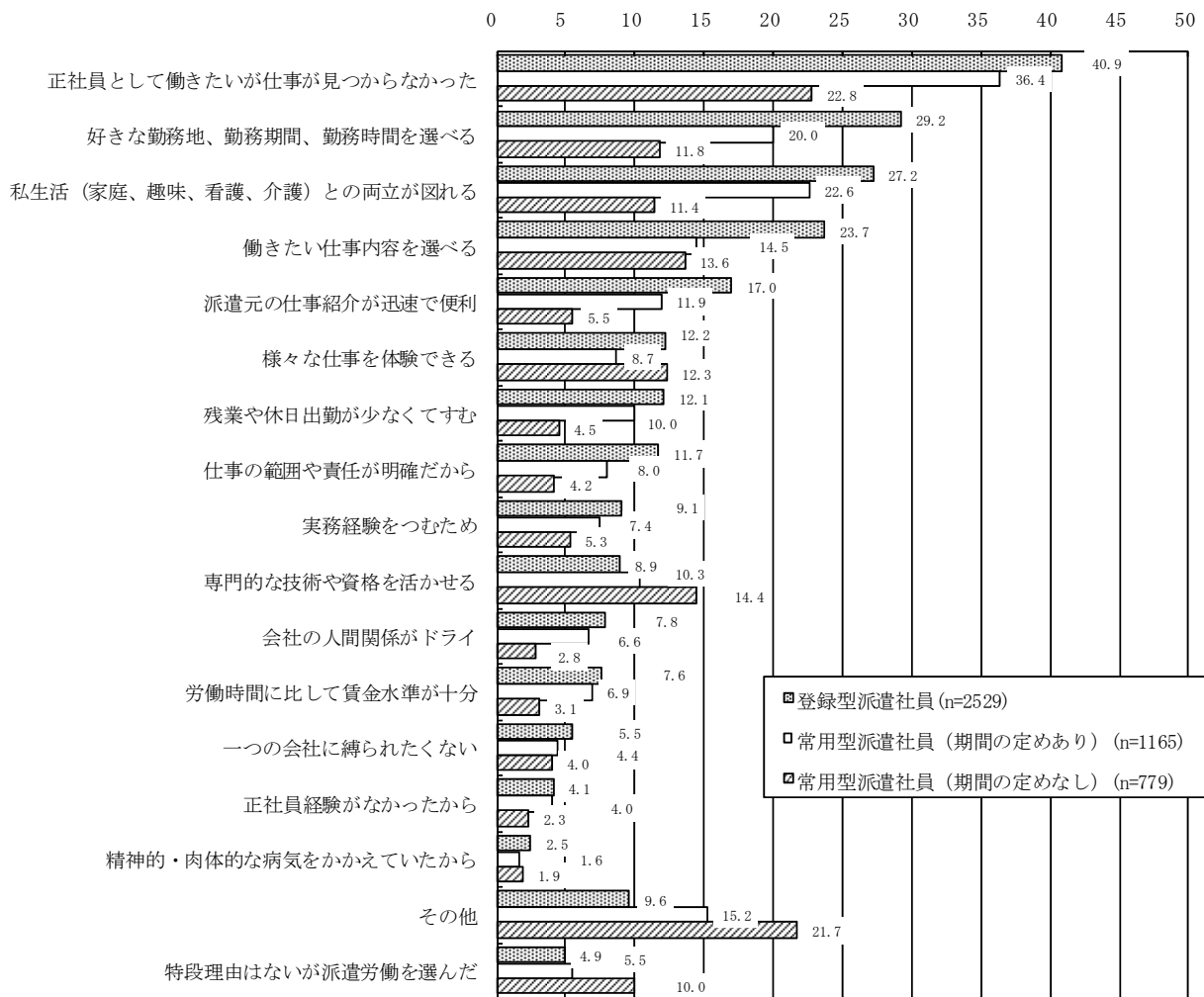


図 3-2：派遣社員になった理由（派遣形態別）（単位＝％）



4. 現在の派遣元

4-1. 登録派遣会社と稼働経験のある派遣会社

現在登録している派遣会社数の平均は、2.05 社。派遣形態別にみると、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」の順で平均値が高く、「登録型派遣社員」では 2.36 社である（表 4-1）。

一方、稼働経験のある派遣会社数の平均は、1.40 社。派遣形態別にみると、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」の順で平均値が高く、「登録型派遣社員」では 1.51 社である。分布をみると、「1 社」の割合は、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」が 75.7%、「常用型派遣社員（期間の定めあり）」が 71.5%と 7 割を占めるが、「登録型派遣社員」では「1 社」が 62.6%、「2 社」が 19.1%などとなっている（表 4-2）。

表 4-1：現在登録している派遣会社数

(単位＝%)

	n 数	1 社	2 社	3 社	4 社	5 社	6 社以上	無回答	平均値 (社)
計	4473	57.1	12.0	10.8	5.0	5.2	3.9	6.0	2.05
登録型派遣社員	2529	47.0	15.4	15.2	7.0	6.8	5.1	3.4	2.36
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	66.5	9.0	7.0	3.3	3.9	3.2	7.1	1.77
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	75.7	5.3	2.3	1.2	2.1	0.9	12.6	1.39

表 4-2：稼働経験のある派遣会社数

(単位＝%)

	総 数	1 社	2 社	3 社	4 社	5 社	6 社以上	無回答	平均値 (社)
計	4473	67.2	13.7	5.9	1.7	0.7	0.3	10.4	1.40
登録型派遣社員	2529	62.6	19.1	7.6	2.3	0.8	0.5	7.1	1.51
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	71.5	8.4	5.3	1.3	0.8	0.1	12.6	1.30
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	75.7	4.2	1.2	0.8	0.4	0.1	17.6	1.13

4-2. 派遣された派遣先事業所数

これまでに派遣された派遣先事業所数の平均値は、2.44 事業所。派遣形態別にみると、「登録型派遣社員」が 2.66 事業所と高く、「常用型派遣社員（期間の定めあり）」は 2.12 事業所、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」は 2.16 事業所となっている。分布をみると、「登録型派遣社員」で「1 事業所」が 38.5%と最も多く、次いで、「2 事業所」22.3%、「3 事業所」13.3%などとなっている。「常用型派遣社員（期間の定めあり）」では、「1 事業所」が 53.2%と過半数を占め、次いで、「2 事業所」17.3%、「3 事業所」8.8%などとなっている。「常用型派遣社員（期間の定めなし）」でも「1 事業所」が 51.6%と最も多く、次いで、「2 事業所」17.1%、「3 事業所」8.9%などとなっている。（表 4-3）。

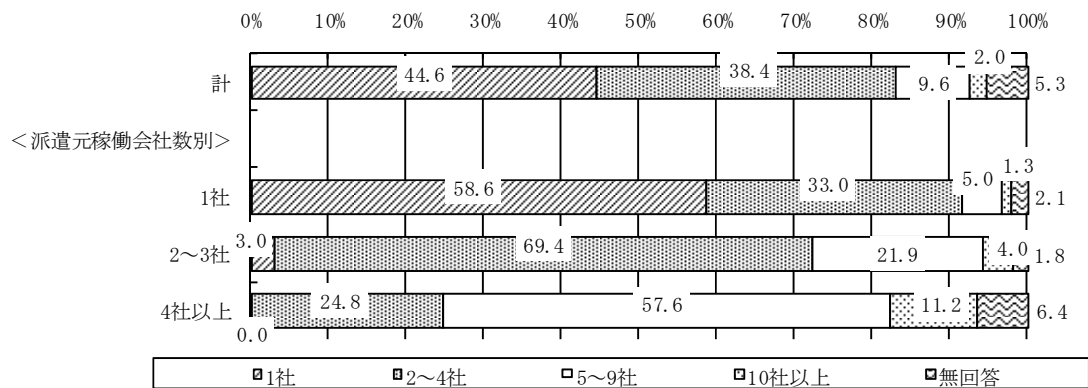
これを稼働会社数別にみると、稼働会社数が増えるほど派遣される事業所数も増える傾向にある（図 4-1）。

表 4-3：これまでに派遣された事業所数

(単位＝%)

	n 数	1 事業所	2 事業所	3 事業所	4 事業所	5 事業所	6～9 事業所	10 事業所以上	無回答	平均値 (事業所)
計	4473	44.6	20.1	11.4	6.9	5.1	4.5	2.0	5.3	2.44
登録型派遣社員	2529	38.5	22.3	13.3	8.4	5.8	5.7	2.3	3.7	2.66
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	53.2	17.3	8.8	5.5	4.5	3.3	1.5	5.8	2.12
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	51.6	17.1	8.9	4.2	3.6	2.6	2.2	9.9	2.16

図 4-1：派遣会社の稼働会社数別にみた派遣先事業所数



4-3. 現在の派遣元

現在の派遣元を選ぶ上で重視したことは、「登録後すぐに仕事を紹介できること」が 29.1%でもっとも多く、次いで、「大手、知名度があること」(26.1%)、「長期間働ける仕事を紹介できること」(26.0%)、「紹介できる仕事の数が多いこと」(21.0%) などが続く (図 4-2)。

これを派遣形態別にみると、「登録後すぐに仕事を紹介できること」「大手、知名度があること」「紹介できる仕事の数が多いこと」「派遣中のフォローが丁寧であること」などで、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員 (期間の定めあり)」「常用型派遣社員 (期間の定めなし)」の順で割合が高い。一方、「専門職種等の特殊なスキルの仕事を紹介できること」「コンプライアンスを徹底していること」などでは、「常用型派遣社員 (期間の定めなし)」「常用型派遣社員 (期間の定めあり)」「登録型派遣社員」の順で高い (図 4-3)。

図 4-2：現在の派遣元を選ぶ上で重視したこと (複数回答、n=4473、単位=%)

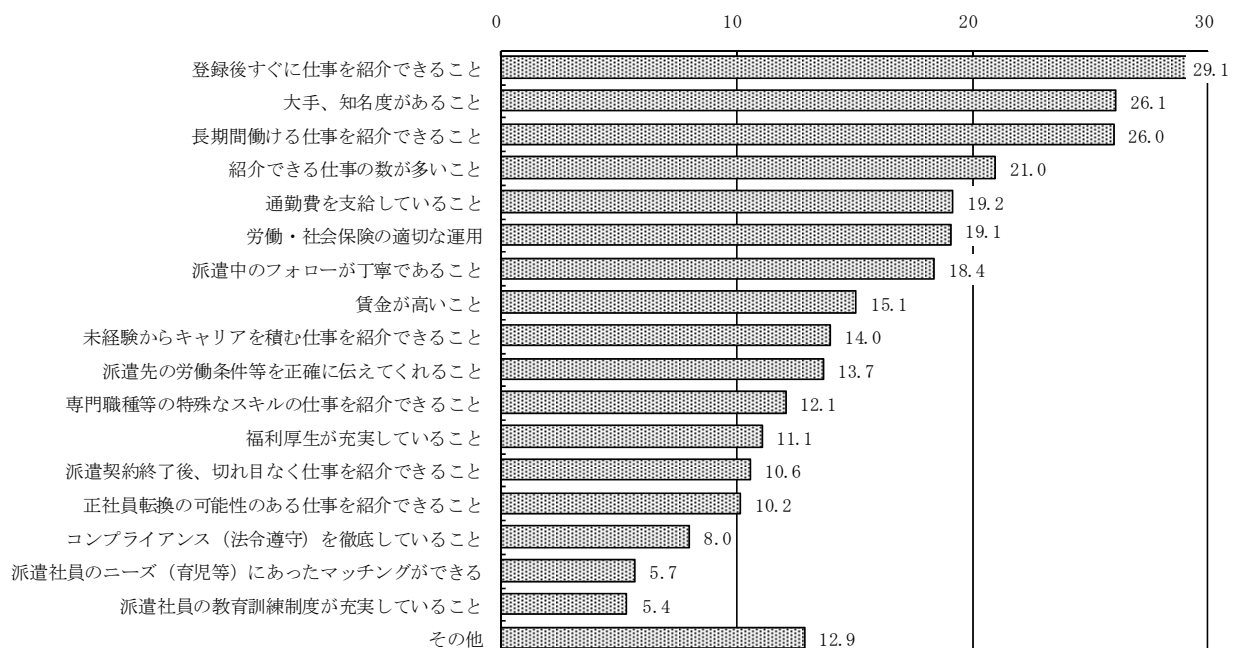
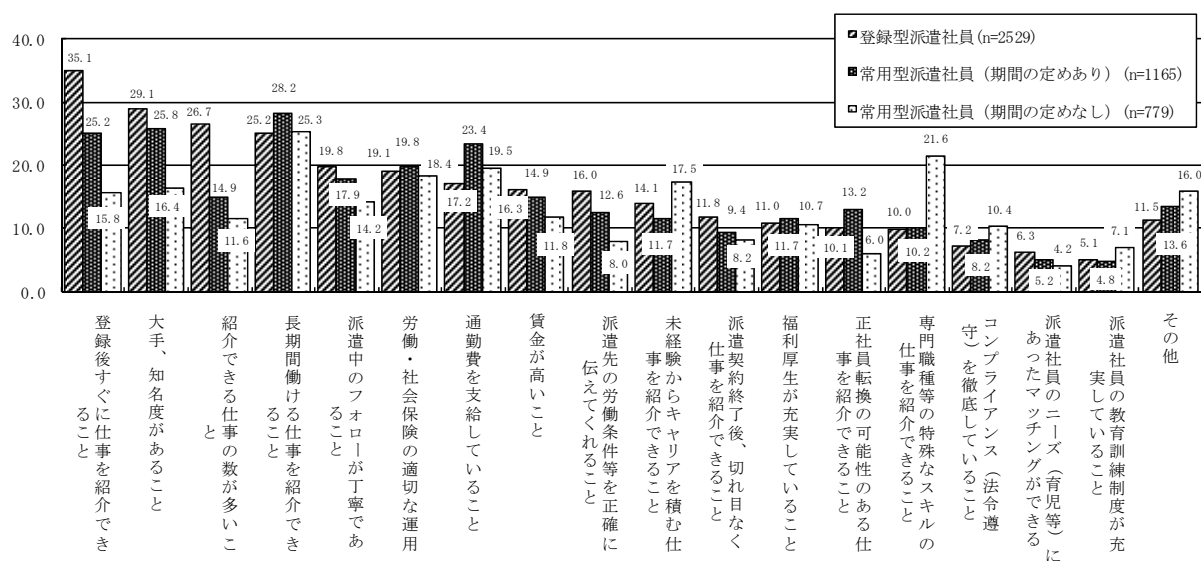


図 4-3：現在の派遣元を選ぶ上で重視したこと（派遣形態別、複数回答、単位＝％）



4-4. グループ会社の別

現在の派遣元が派遣先企業のグループ会社かどうかを尋ねたところ、派遣元がグループ会社だったのは 24.8%だった。これを派遣形態別にみると、「登録型派遣社員」が 20.8%、「常用型派遣社員（期間の定めあり）」が 37.6%、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」が 19.0%となっていた（表 4-4）。

表 4-4：派遣元は派遣先のグループ会社か

（単位＝％）

	n 数	グループ会社である	グループ会社ではない	わからない	無回答
計	4473	24.8	65.2	8.8	1.2
登録型派遣社員	2529	20.8	68.8	9.6	0.9
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	37.6	53.0	8.1	1.3
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	19.0	71.6	7.4	1.9

4-5. 現在の派遣元のフォローと派遣先の仕事の紹介

現在の派遣元のフォローについては、「3 カ月に 1 度くらい」が 27.3%でもっとも割合が高く、次いで、「1 カ月に 1 度くらい」が 26.5%となっており、「ほとんどフォローはない」は 18.2%などとなっている。派遣形態別にみると、「ほとんどフォローがない」とする割合は、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で割合が高い。

グループ会社の別⁹にみると、「グループ会社である」では「1 年に 1 度くらい」が 24.9%でもっとも割合が高く、次いで「ほとんどフォローはない」が 20.6%などとなっている。「グ

⁹ グループ会社の別は、「グループ会社である」と「グループ会社ではない・わからない」に分けている（以下同じ）。

グループ会社ではない・わからない」では、「3 カ月に 1 度くらい」が 30.8%でもっとも割合が高く、次いで「1 カ月に 1 度くらい」が 30.5%などとなっている。

派遣先の業務別にみると、「ほとんどフォローはない」とする割合が高いのは、「医療・福祉系」「軽作業系」「その他」「製造業務系」が 3 割台で高くなっている。

派遣元の雇用契約期間別にみると、雇用契約期間が「1 カ月未満」では「ほとんどフォローはない」が 52.2%と半数をしめる。雇用契約期間が「1 カ月」「1 カ月超 2 カ月以下」「2 カ月超 3 カ月未満」では、フォローが「1 カ月に 1 度くらい」がもっとも割合が高い。「3 カ月以上 6 カ月未満」では、フォローが「3 カ月に 1 度くらい」で 46.7%ともっとも割合が高く、次いで「1 カ月に 1 度くらい」で 30.3%となっている。「6 カ月以上 1 年未満」は、フォローが「1 カ月に 1 度くらい」で 22.2%ともっとも割合が高く、次いで、「半年に 1 度くらい」で 21.3%となっており、「ほとんどフォローはない」も 19.1%あった。「1 年以上」では、フォローが「1 年に 1 度くらい」が 30.6%ともっとも割合が高く、次いで「ほとんどフォローはない」が 22.2%となっている。「期間の定めはない」では、「1 カ月に 1 度くらい」が 28.9%ともっとも割合が高く、次いで「3 カ月に 1 度くらい」が 22.8%、「ほとんどフォローがない」が 20.9%となっている（表 4-5）。

調査では、現在の派遣元のフォローの満足度を尋ねている。それによれば、「満足している」（「満足」「やや満足」の合計。）は、58.7%となっており、「不満である」（「不満」「やや不満」の合計。）の 38.4%を上回っている。これを定期的なフォローの頻度別にみると、頻度が高まるほど「満足している」割合は高まる（図 4-4）。

次に、派遣元から切れ目なく仕事が紹介されているかについては、「紹介されている」は 35.5%であり、「紹介がほとんどされない」は 11.8%、「紹介されているが希望に添うのがない」が 4.0%となっている。それによれば、「紹介されている」とする割合は、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高い。グループ会社の別にみると、派遣元が「グループ会社である」とするほうが「紹介されている」とする割合が高い（図 4-5 参照。以下では、「派遣元からの切れ目のない紹介の状況別」と表記する。）。

調査では、現在の派遣元の仕事の紹介の満足度を尋ねている。それによれば、「満足している」（「満足」「やや満足」の合計。）は、68.5%となっており、「不満である」（「不満」「やや不満」の合計。）の 26.3%を上回っている。これを派遣元からの切れ目のない紹介の状況別にみると、「紹介されている」の「満足している」割合は 88.4%となっており、「紹介されているが希望に添うのがない」（44.7%）、「紹介がほとんどされない」（31.1%）よりも高い（図 4-6）。

表 4-5：派遣元の定期的なフォロー

(単位=%)

	n 数	月に数回	1 ヶ月に 1 度くらい	3 ヶ月に 1 度くらい	半年に 1 度くらい	1 年に 1 度くらい	ほとんど フォロー はない	回答
計	4473	8.7	26.5	27.3	8.5	8.9	18.2	1.9
＜派遣形態別＞								
登録型派遣社員	2529	7.6	28.9	32.5	7.3	6.5	15.5	1.7
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	9.5	20.5	22.3	8.4	16.0	21.5	1.8
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	11.0	27.7	17.8	12.3	6.3	22.0	2.8
＜グループ会社の別＞								
グループ会社である	1111	5.2	15.3	17.9	14.8	24.9	20.6	1.3
グループ会社ではない・わからない	3310	9.9	30.5	30.8	6.4	3.7	17.5	1.3
＜派遣先業務別＞								
オフィスワーク系	2344	3.0	27.1	35.7	8.7	12.2	12.4	0.9
医療・福祉系	160	8.8	22.5	20.6	5.6	5.0	35.6	1.9
営業・販売系	124	8.9	28.2	21.8	12.9	5.6	19.4	3.2
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	8.3	30.0	24.6	11.8	6.0	17.1	2.2
製造業務系	566	26.0	21.9	9.9	3.9	4.6	30.6	3.2
軽作業系	208	28.4	20.2	7.7	5.3	2.9	31.3	4.3
その他	77	10.4	28.6	15.6	6.5	3.9	31.2	3.9
＜派遣元の雇用契約期間別＞								
1ヵ月未満	23	17.4	21.7	4.3	4.3	0.0	52.2	0.0
1ヵ月	156	15.4	39.7	7.7	5.1	1.9	28.2	1.9
1ヵ月超2ヵ月以下	140	27.1	31.4	14.3	3.6	1.4	19.3	2.9
2ヵ月超3ヵ月未満	113	15.9	34.5	16.8	2.7	0.9	27.4	1.8
3ヵ月以上6ヵ月未満	1481	6.2	30.3	46.7	3.0	1.9	11.3	0.5
6ヵ月以上1年未満	508	7.7	22.2	18.9	21.3	10.2	19.1	0.6
1年以上	820	7.0	16.1	13.8	9.0	30.6	22.2	1.3
期間の定めはない	1133	9.5	28.9	22.8	11.3	5.2	20.9	1.4

図 4-4：現在の派遣元のフォローの満足度

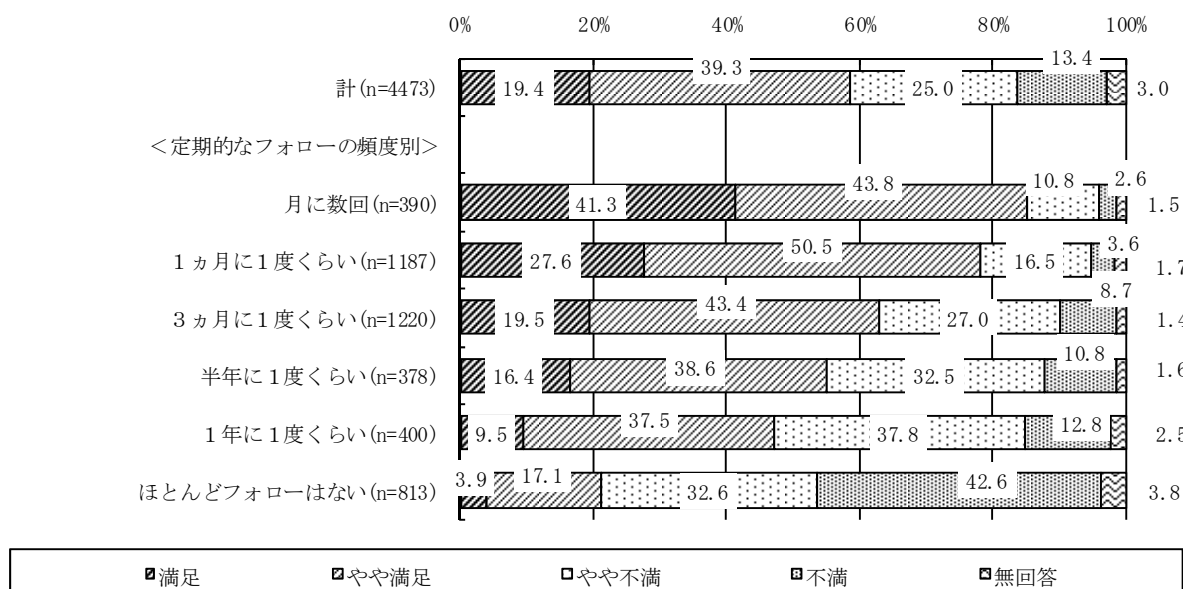


図 4-5：現在の派遣元から切れ目なく紹介されているか

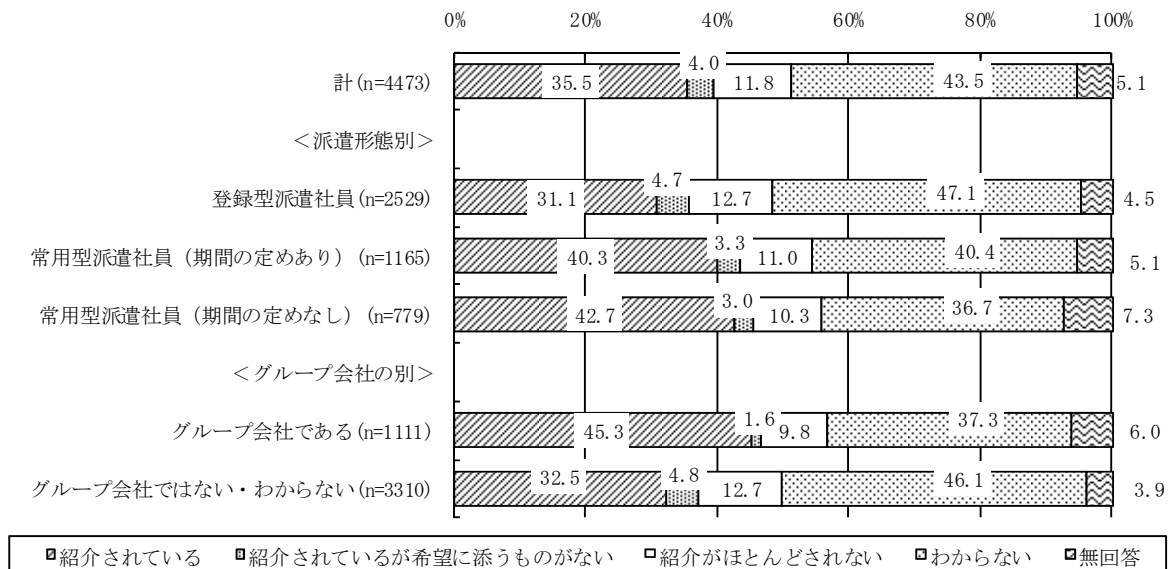
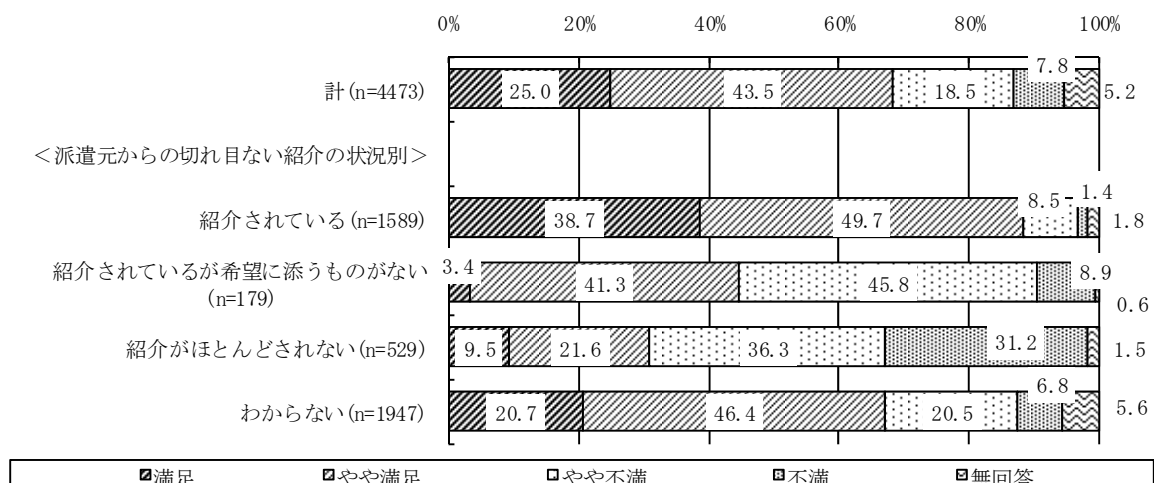


図 4-6：現在の派遣元からの仕事の紹介の満足度



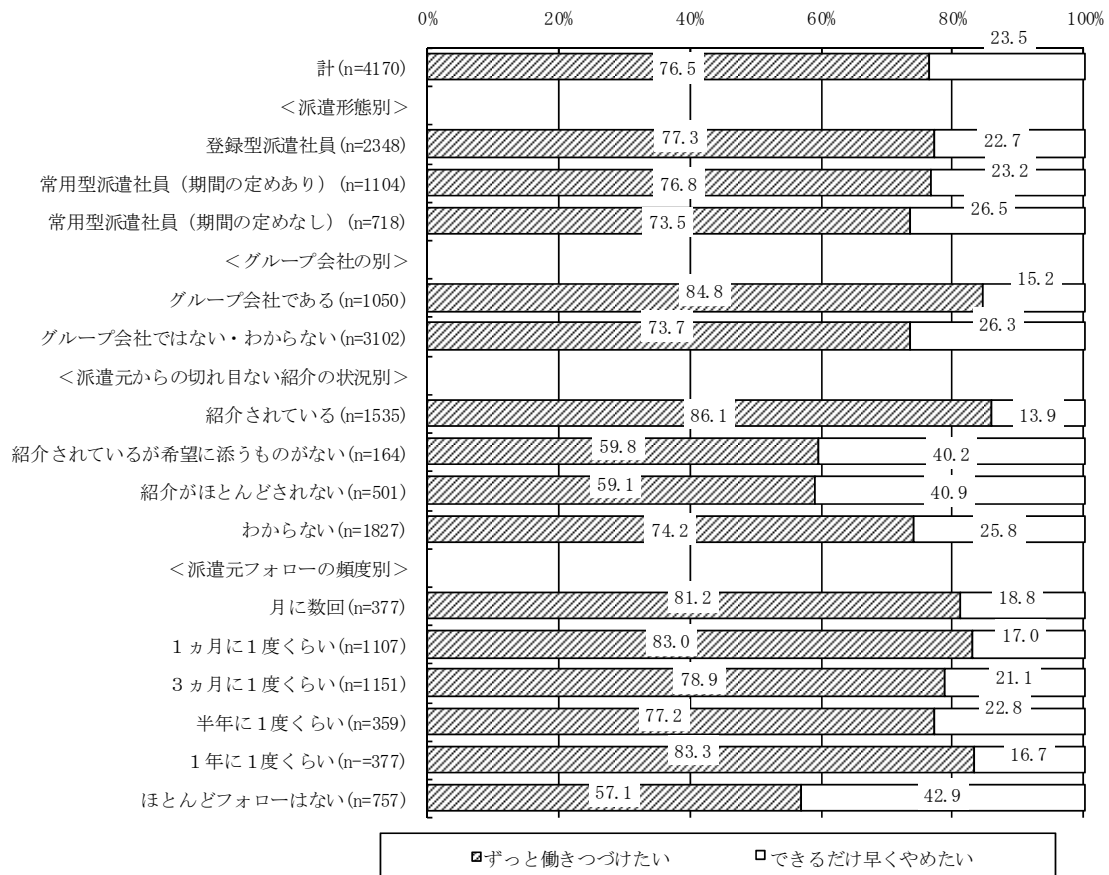
4-6. 現在の派遣元での継続意思

調査では派遣社員を続ける場合、ずっと現在の派遣元で働きたいと思うか尋ねている。それによれば、「ずっと働きつづけたい」とする者は76.5%だった（表 4-7）。これを派遣形態別にみると、いずれも7割台であり派遣形態でほとんど差はない。

グループ会社の別にみると、「ずっと働きつづけたい」とする割合は「グループ会社である」とする者のほうが高い。

これを派遣元からの切れ目ない紹介の状況別にみると、派遣元から仕事が「紹介されている」とする者で「ずっと働きつづけたい」割合が高くなっている。派遣元のフォローの頻度別にみると、「ほとんどフォローはない」とする者で、「ずっと働きつづけたい」割合が低くなっている（図 4-7）。

図 4-7：現在の派遣元での継続意思



※無回答を除き集計。

5. 現在の派遣先

5-1. 現在の派遣先の業務

現在の派遣先の業務は表 5-1 のとおりである¹⁰。これを派遣形態別にみると、「登録型派遣社員」では、「一般・営業事務・データ入力等」が 39.8%でもっとも割合が高く、次いで「その他製造」8.7%、「金融事務」5.9%などとなっている。「常用型派遣社員（期間の定めあり）」も、「一般・営業事務・データ入力等」が 28.6%でもっとも割合が高く、次いで「その他製造」11.1%、「金融事務」9.1%などが続く。一方、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」は、「情報処理システム開発」が 18.5%でもっとも割合が高く、次いで、「機械設計」13.9%、「一般・営業事務・データ入力等」13.6%などが続いている。

これを業務の大分類でまとめてみたものが図 5-1 である。「登録型派遣社員」では、「オフィスワーク系」が 63.0%を占めており、次いで、「製造業務系」12.5%、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」12.1%などとなっている。「常用型派遣社員（期間の定めあり）」も、「オフィスワーク系」が 50.1%ともっとも多く、次いで、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」17.9%、

¹⁰ 調査では派遣先の業務について 46 の選択肢で尋ねている。表 5-1 では、政令 26 業務との対応関係を示しているが、調査票上では、派遣契約上の内容について尋ねているわけではないことに留意。

「製造業務系」15.8%などとなっている。一方、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」は、「IT技術・クリエイティブ、専門職系」が54.3%と最も多く、次いで、「オフィスワーク系」が21.4%、「製造業務系」が8.5%などとなっている。

なお、参考として派遣先の業務を性別及び、性・年齢別にみた分布を表5-2にまとめた。

表5-1：現在の派遣先の業務

(単位=%)

		オフィスワーク系											医療・福祉系		営業・販売系							
	n数	一般・営業事務・ データ入力等	一般・営業事務等 (自由化業務)	ファイリング	財務	経理・会計	金融事務	貿易・国際事務・取 引文書作成	受付・案内	秘書	通訳・翻訳・速記	テレフォンオペレ ーター	その他の事務職	医療事務	医療・福祉・介護 職	テレマ ーケティング の営業	ア、金融商品の営業	セールスエンジニア	販売	デモン ストレー ター	添乗	その他の営業・販売 関連職
政令26業務との対応関係		5号		8号	10号			11号	16号	7号	6号					24号	25号			12号	13号	
計	4473	32.3	3.0	0.4	0.4	2.6	6.0	0.8	2.2	0.6	0.6	2.4	1.0	1.4	2.2	0.3	0.1	1.8	0.0	-	-	0.5
登録型派遣社員	2529	39.8	3.2	0.5	0.5	3.4	5.9	1.0	3.0	0.8	0.9	3.1	1.0	1.3	2.4	0.4	0.1	1.5	-	-	-	0.5
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	28.6	4.1	0.3	0.3	2.0	9.1	0.8	1.8	0.3	0.4	1.5	0.9	1.5	1.7	0.3	0.3	2.2	0.1	-	-	0.9
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	13.6	0.9	-	0.3	1.2	1.5	0.4	0.5	0.4	0.1	1.7	0.9	1.8	2.1	-	0.1	2.2	-	-	-	0.1

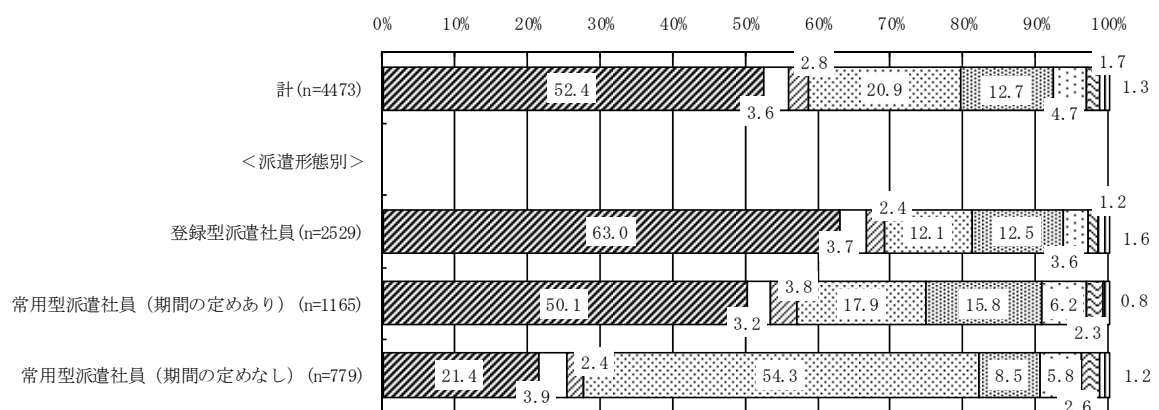
(続き)

	n数	IT技術系・クリエイティブ系						その他専門職系											
		O Aインストラクター	情報処理システム開発	編集・印刷・DTPオペレーター	広告デザイン	その他の技術・クリエイティブ職	機械設計	放送機器等操作	放送番組等における道具・小道具	放送番組等演出	アナウンサー	建築物清掃	建築設備運転・点検・整備	インテリアコーディネーター	研究開発	調査	駐車場管理	事業実施体制の企画・立案関係	その他の専門職
政令26業務との対応関係		23号	1号	19号	20号		2号	3号	26号	4号	22号	14号	15号	21号	17号	9号	16号	18号	
計	4473	0.6	5.0	0.6	0.2	2.4	3.8	1.1	0.0	0.3	0.1	0.3	0.3	0.0	3.1	0.2	0.0	0.1	2.8
登録型派遣社員	2529	0.5	1.2	0.8	0.2	2.2	1.1	0.5	-	0.3	-	0.1	0.2	0.0	2.9	0.2	0.0	0.0	1.7
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	0.6	4.0	0.5	0.3	1.9	2.7	1.5	0.1	0.3	0.2	1.1	0.3	-	1.2	0.3	-	0.1	2.7
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	0.8	18.5	0.5	-	4.0	13.9	2.2	-	0.5	0.1	-	0.5	-	6.4	0.3	-	0.3	6.4

(続き)

	n数	製造業務系				軽作業系			
		電気機械器具組立・修理	半導体・電子機器製造組立・修理	輸送用機械組立・修理	その他の製造	運送・運送補助	倉庫作業	その他の軽作業	無回答
政令26業務との対応関係									
計	4473	1.3	1.8	0.7	8.8	0.5	2.7	1.4	1.3
登録型派遣社員	2529	1.1	2.2	0.5	8.7	0.4	1.8	1.4	1.6
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	1.8	1.5	1.5	11.1	0.6	3.7	1.9	0.8
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	1.3	1.3	0.4	5.5	0.8	4.1	0.9	1.2

図5-1：現在の派遣先業務（大分類）



■オフィスワーク系 □医療・福祉系 ■営業・販売系 □IT技術・クリエイティブ、専門職系 ■製造業務系 □軽作業系 ■その他 ■無回答

表 5-2：派遣先業務別にみた性別及び、性別の年齢分布

(単位＝％)

		性別				性別の年齢分布											
		n 数	男性	女性	無回答	n 数	男性					n 数	女性				
							30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～45歳未満	45歳以上		30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～45歳未満	45歳以上
	計	4473	28.5	69.6	2.0	1273	24.8	18.1	15.4	10.4	24.6	6.7	3111	21.8	24.6	19.1	13.1
オフィスワーク系	一般・営業事務・データ入力等	1445	3.2	95.8	1.0	46	23.9	26.1	8.7	21.7	15.2	4.3	1384	20.3	29.6	20.8	12.4
	一般・営業事務等（自由化業務）	136	11.8	88.2	—	16	6.3	25.0	31.3	6.3	31.3	—	120	20.8	29.2	10.8	14.2
	ファイリング	16	—	93.8	6.3	—	—	—	—	—	—	—	15	20.0	13.3	26.7	20.0
	財務	18	22.2	77.8	—	4	25.0	—	—	—	75.0	—	14	14.3	28.6	28.6	7.1
	経理・会計	117	—	97.4	2.6	—	—	—	—	—	—	—	114	17.5	24.6	24.6	11.4
	金融事務	268	3.4	95.5	1.1	9	11.1	11.1	—	11.1	55.6	11.1	256	6.3	11.7	19.5	24.6
	貿易・国際事務・取引文書作成	37	10.8	89.2	—	4	25.0	25.0	—	—	50.0	—	33	18.2	27.3	27.3	12.1
	受付・案内	100	3.0	96.0	1.0	3	—	—	—	—	100.0	—	96	36.5	25.0	15.6	5.2
	秘書	26	—	96.2	3.8	—	—	—	—	—	—	—	25	32.0	16.0	28.0	12.0
	通訳・翻訳・速記	29	10.3	89.7	—	3	66.7	—	—	—	33.3	—	26	23.1	42.3	11.5	3.8
福祉系	テレホンオペレーター	109	11.0	86.2	2.8	12	41.7	25.0	25.0	—	—	8.3	94	25.5	10.6	17.0	14.9
	その他の事務職	43	20.9	76.7	2.3	9	11.1	11.1	11.1	11.1	55.6	—	33	18.2	27.3	12.1	18.2
	医療事務	63	4.8	95.2	—	3	66.7	33.3	—	—	—	—	60	45.0	15.0	20.0	10.0
	医療・福祉・介護関連職	97	11.3	86.6	2.1	11	27.3	9.1	—	—	54.5	9.1	84	13.1	19.0	20.2	17.9
	テレマーケティングの営業	13	15.4	84.6	—	2	—	50.0	—	—	—	50.0	11	18.2	27.3	9.1	27.3
	セールスエンジニア、金融商品の営業	6	83.3	16.7	—	5	—	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	1	—	—	—	—
	販売	80	23.8	75.0	1.3	19	31.6	15.8	10.5	10.5	21.1	10.5	60	31.7	26.7	11.7	10.0
	デモンストレーター	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	100.0	—
	その他の営業・販売関連職	24	50.0	50.0	—	12	8.3	25.0	—	8.3	58.3	—	12	25.0	—	25.0	41.7
	OAインストラクター	25	32.0	68.0	—	8	25.0	12.5	37.5	12.5	12.5	—	17	11.8	23.5	29.4	17.6
IT技術・クリエイティブ、専門職系	情報処理システム開発	222	75.2	23.9	0.9	167	24.6	18.0	24.0	11.4	15.6	6.6	53	17.0	30.2	24.5	9.4
	編集・印刷・DTPオペレーター	29	41.4	58.6	—	12	41.7	8.3	8.3	16.7	8.3	16.7	17	5.9	52.9	11.8	11.8
	広告デザイン	9	11.1	88.9	—	1	—	100.0	—	—	—	—	8	37.5	25.0	12.5	—
	その他の技術・クリエイティブ職	109	35.8	63.3	0.9	39	23.1	17.9	17.9	2.6	23.1	15.4	69	21.7	30.4	24.6	14.5
	機械設計	169	79.9	18.3	1.8	135	25.9	31.1	11.9	8.1	15.6	7.4	31	22.6	32.3	29.0	—
	放送機器等操作	47	53.2	44.7	2.1	25	16.0	20.0	24.0	16.0	20.0	4.0	21	38.1	28.6	9.5	9.5
	放送番組等における大道具・小道具	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	100.0	—	—	—
	放送番組等演出	15	66.7	26.7	6.7	10	30.0	20.0	30.0	10.0	10.0	—	4	50.0	—	50.0	—
	アナウンサー	3	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	3	33.3	—	66.7	—
	建築物清掃	15	6.7	26.7	66.7	1	—	—	—	—	100.0	—	4	—	—	—	100.0
製造業務系	建築設備運転・点検・整備	13	92.3	7.7	—	12	8.3	16.7	0.0	16.7	58.3	—	1	100.0	—	—	—
	インテリアコーディネーター	1	0.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	100.0	—
	研究開発	137	52.6	46.7	0.7	72	37.5	18.1	13.9	6.9	19.4	4.2	64	31.3	32.8	20.3	12.5
	調査	10	70.0	30.0	—	7	42.9	14.3	—	14.3	28.6	—	3	—	100.0	—	—
	駐車場管理	1	100.0	—	—	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—
	事業実施体制の企画、立案関係	4	50.0	50.0	—	2	—	—	50.0	—	50.0	—	2	50.0	—	50.0	—
	その他の専門職	126	57.1	37.3	5.6	72	19.4	19.4	18.1	12.5	27.8	2.8	47	23.4	23.4	10.6	6.4
	電気機械器具組立・修理	58	55.2	43.1	1.7	32	28.1	15.6	15.6	12.5	18.8	9.4	25	32.0	16.0	8.0	16.0
	半導体・電子機器製造組立・修理	82	53.7	39.0	7.3	44	29.5	27.3	9.1	4.5	22.7	6.8	32	31.3	15.6	21.9	9.4
	輸送用機械組立・修理	33	87.9	6.1	6.1	29	31.0	20.7	10.3	13.8	10.3	13.8	2	50.0	—	—	50.0
軽作業系	その他の製造	393	64.4	33.1	2.5	253	30.0	12.3	15.8	9.1	27.3	5.5	130	29.2	13.8	15.4	13.8
	運送・運送補助	24	83.3	12.5	4.2	20	10.0	5.0	—	20.0	55.0	10.0	3	33.3	66.7	—	—
	倉庫作業	120	73.3	25.0	1.7	88	20.5	14.8	17.0	14.8	23.9	9.1	30	36.7	13.3	16.7	3.3
	その他の軽作業	64	42.2	53.1	4.7	27	3.7	11.1	18.5	22.2	40.7	3.7	34	26.5	8.8	5.9	17.6
	その他上記に該当しない業務	77	46.8	50.6	2.6	36	8.3	16.7	11.1	5.6	44.4	13.9	39	33.3	7.7	5.1	7.7
	無回答	58	37.9	53.4	8.6	22	27.3	9.1	18.2	9.1	31.8	4.5	31	32.3	9.7	9.7	29.0

5-2. 現在の派遣先の派遣契約期間と通算の派遣期間

現在の派遣先での派遣契約期間は、「1 カ月超 3 カ月以下」が 43.1%と最も割合が高く、次いで「6 カ月超 1 年以下」が 18.8%、「3 カ月超 6 カ月以下」が 17.0%などとなっている（図 5-2）。これを派遣形態別にみると、「登録型派遣社員」で「1 カ月超 3 カ月以下」が 50.5%と半数を占め、その割合は、「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」よりも高い。

これを派遣先の業務別にみると、「オフィスワーク系」「営業・販売系」「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」「製造業務系」「軽作業系」などでは「1 カ月超 3 カ月以下」がもっと

も割合が高いが、6 カ月を超える契約期間もみられ、「医療・福祉系」「その他」「軽作業系」「営業・販売系」「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」でその割合が高い。これらの業務ではより長期の契約期間も見られるようである。

なお、「オフィスワーク系」及び「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」について、中分類¹¹に分けてみると、「オフィスワーク系」では、「26 業務」で「1 カ月超 3 カ月以下」が 51.3% ともっとも割合が高く、次いで「3 カ月超 6 カ月以下」が 17.2%、「6 カ月超 1 年以下」が 15.1% などとなっている。「26 業務以外のその他」も「1 カ月超 3 カ月以下」が 47.9% ともっとも割合が高く、次いで「3 カ月超 6 カ月以下」が 19.1%、「6 カ月超 1 年以下」が 16.0% などとなっている。一方、「26 業務以外の経理・会計・金融」は「1 カ月超 3 カ月以下」が 36.4% ともっとも割合が高いものの、次いで「6 カ月超 1 年以下」も 32.2% と割合が高く、「3 カ月超 6 カ月以下」が 18.7% などとなっている。また、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」について中分類でみると、いずれも「1 カ月超 3 カ月以下」がもっとも割合が高いものの、「機械設計」では、「3 カ月超 6 カ月以下」(29.0%)、「6 カ月超 1 年以下」(24.3%) の割合も高い (表 5-3)。

次に、現在の派遣先での通算の派遣期間¹²をみると、「1 年超 3 年以下」が 42.7% ともっとも割合が高い。「3 年以下」(「3 カ月以下」「3 カ月超 1 年以下」「1 年超 3 年以下」の合計。)の割合は 71.4% と約 7 割となっている。

派遣形態別にみると、「3 年超」(「3 年超 5 年以下」「5 年超 9 年以下」「10 年以上」の合計。)の割合は、「常用型派遣社員 (期間の定めなし)」「常用型派遣社員 (期間の定めあり)」「登録型派遣社員」の順で高く、登録型よりも期間の定めのある常用型、さらに期間の定めのない常用型になるほど、派遣先での通算の派遣期間は長くなるようである (図 5-3)。

派遣先の業務別にみると、「3 年超」の割合は、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」が 36.8% でもっとも高く、次いで、「オフィスワーク系」で 30.7% となっている。「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」を中分類でみると、「機械設計」が「3 年超」で 47.9% と約半数を占める。「オフィスワーク系」を中分類でみると、「26 業務以外の経理・会計・金融」の割合が 41.7% と高い (表 5-4 参照、より詳細には、業務ごとに記載した表 5-5 参照。)

なお、グループ会社の別でみると、「グループ会社である」ほうが、「3 年超」の割合が高くなっていた (表 5-4)。

¹¹ オフィスワーク系については、政令 26 業務に対応している「一般・営業事務・データ入力等」「ファイリング」「財務」「貿易・国際事務・取引文書作成」「受付・案内」「秘書」「通訳・翻訳・速記」を「26 業務」とし、26 業務ではない「経理・会計」「金融事務」を「26 業務以外の経理・会計・金融」とし、それ以外の「一般・営業事務等 (自由化業務)」「テレフォンオペレーター」「その他事務職」を「26 業務以外のその他」とした。また、「IT 技術・クリエイティブ・専門職系」については、「情報処理システム開発」「機械設計」「その他」に分けた (以下では、これらの分類を「オフィスワーク系」「IT 技術・クリエイティブ・専門職系」の中分類と表記する。)

¹² 調査票上、現在の派遣先の通算の派遣期間は、「3 カ月以下」「3 カ月超 6 カ月以下」「6 カ月超 1 年以下」「1 年超 1 年 6 カ月以下」「1 年 6 カ月超 2 年以下」「2 年超 3 年以下」「3 年超 (具体的な年数)」で尋ねている。3 年超の年数については実数で尋ねているため、3 年超についてはこれをカテゴライズした。

図 5-2：現在の派遣先の派遣契約期間

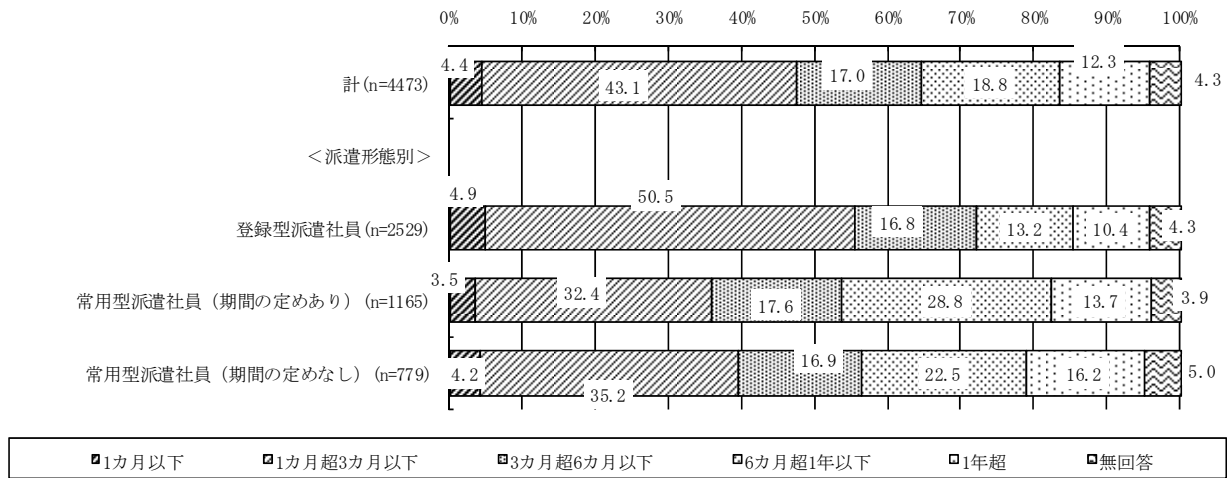
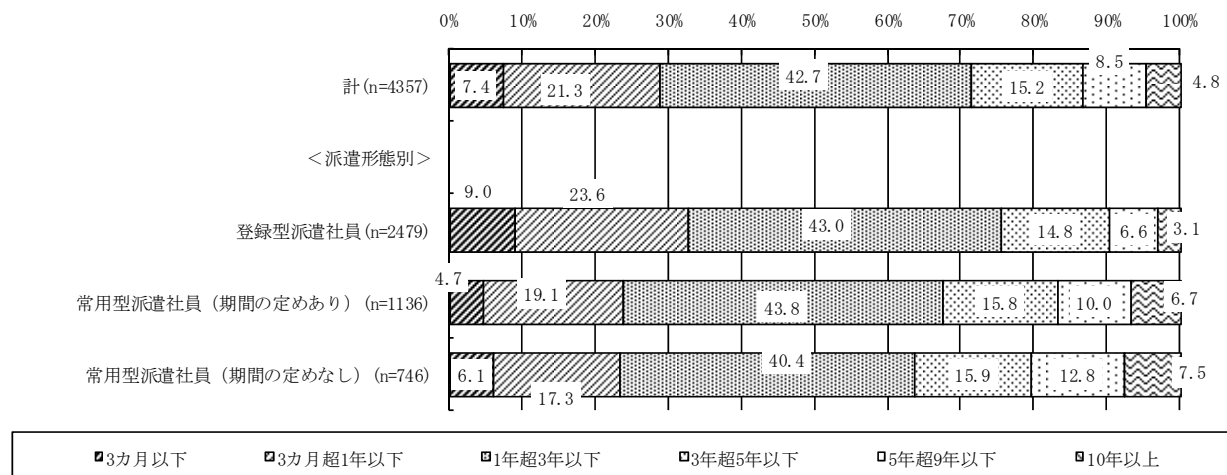


表 5-3：現在の派遣先の派遣契約期間

(単位=%)

	n数	1か月以下	1か月超3か月以下	3か月超6か月以下	6か月超1年以下	1年超	無回答
計	4473	4.4	43.1	17.0	18.8	12.3	4.3
<派遣先業務別>							
オフィスワーク系	2344	3.0	48.5	17.7	18.0	9.5	3.4
26業務	1671	3.1	51.3	17.2	15.1	9.9	3.5
26業務以外の経理・会計・金融	385	1.3	36.4	18.7	32.2	7.3	4.2
26業務以外のその他	288	4.9	47.9	19.1	16.0	10.4	1.7
医療・福祉系	160	1.9	25.0	11.9	27.5	27.5	6.3
営業・販売系	124	6.5	33.9	20.2	17.7	17.7	4.0
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	4.0	40.1	18.3	22.4	11.6	3.6
情報処理システム開発	222	5.0	46.4	18.5	15.8	10.4	4.1
機械設計	169	3.6	33.1	29.0	24.3	7.1	3.0
その他	545	3.7	39.6	14.9	24.6	13.6	3.7
製造業務系	566	11.0	43.3	14.8	13.1	13.3	4.6
軽作業系	208	7.7	26.9	13.9	22.1	23.1	6.3
その他	77	2.6	23.4	18.2	23.4	24.7	7.8

図 5-3：現在の派遣先の通算の派遣期間



※無回答を除き集計。

表 5-4：現在の派遣先での通算の契約期間

(単位＝％)

	n数	3カ月以下	3カ月超1 年以下	1年超3年 以下	3年超5年 以下	5年超9年 以下	10年以上	3年超計
計	4357	7.4	21.3	42.7	15.2	8.5	4.8	28.5
<派遣先業務別>								
オフィスワーク系	2304	4.9	17.8	46.6	17.1	8.8	4.8	30.7
26業務	1643	5.6	18.0	47.7	17.0	7.8	4.0	28.8
26業務以外の経理・会計・金融	379	3.2	14.0	41.2	18.5	14.0	9.2	41.7
26業務以外のその他	282	3.2	22.0	47.5	16.0	7.4	3.9	27.3
医療・福祉系	151	13.9	26.5	39.1	12.6	6.6	1.3	20.5
営業・販売系	119	8.4	26.1	40.3	11.8	9.2	4.2	25.2
IT技術・クリエイティブ、専門職系	915	5.4	17.3	40.5	17.0	11.6	8.2	36.8
情報処理システム開発	217	6.5	17.1	44.2	12.9	11.5	7.8	32.3
機械設計	167	3.0	13.8	35.3	21.6	15.0	11.4	47.9
その他	531	5.6	18.5	40.7	17.3	10.5	7.3	35.2
製造業務系	555	15.9	34.8	34.1	7.6	5.9	1.8	15.3
軽作業系	202	15.3	32.2	41.6	8.4	1.5	1.0	10.9
その他	69	8.7	29.0	36.2	17.4	5.8	2.9	26.1
<グループ会社の別>								
グループ会社である	1077	3.3	14.5	41.8	18.6	12.9	8.9	40.4
グループ会社ではない・わからない	3236	8.7	23.8	43.0	14.2	7.0	3.4	24.5

※無回答を除き集計。

表 5-5：現在の派遣先での通算の派遣期間

(単位＝％)

		26業務 との対 応	n数	現在の派遣先の通算の派遣期間						3年超計
				3カ月以下	3カ月超1 年以下	1年超3年 以下	3年超5年 以下	5年超9年 以下	10年以上	
計			4357	7.4	21.3	42.7	15.2	8.5	4.8	28.5
オ フ イ ス ワ ー ク 系	一般・営業事務・データ入力等	5号	1421	5.5	17.3	47.9	17.5	7.7	4.2	29.3
	一般・営業事務等（自由化業務）		132	5.3	20.5	43.9	16.7	7.6	6.1	30.3
	ファイリング	8号	16	12.5	31.3	31.3	18.8	6.3	0.0	25.0
	財務	10号	18	0.0	27.8	33.3	5.6	22.2	11.1	38.9
	経理・会計		113	6.2	16.8	49.6	15.0	7.1	5.3	27.4
	金融事務		266	1.9	12.8	37.6	19.9	16.9	10.9	47.7
	貿易・国際事務・取引文書作成	11号	37	8.1	16.2	56.8	5.4	13.5	0.0	18.9
	受付・案内	16号	98	7.1	23.5	39.8	19.4	6.1	4.1	29.6
	秘書	7号	26	3.8	15.4	57.7	19.2	3.8	0.0	23.1
	通訳・翻訳・速記	6号	27	3.7	22.2	63.0	7.4	3.7	0.0	11.1
	テレフォンオペレーター		107	0.9	25.2	53.3	10.3	9.3	0.9	20.6
	その他の事務職		43	2.3	18.6	44.2	27.9	2.3	4.7	34.9
福 医 祉 療	医療事務		58	5.2	17.2	41.4	22.4	12.1	1.7	36.2
	医療・福祉・介護関連職		93	19.4	32.3	37.6	6.5	3.2	1.1	10.8
営 業 系 ・ 販 売	テレマーケティングの営業	24号	13	0.0	23.1	46.2	23.1	7.7	0.0	30.8
	セールスエンジニア、金融商品の営業	25号	6	0.0	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	33.3
	販売		76	11.8	28.9	36.8	7.9	11.8	2.6	22.4
	デモンストレーター	12号	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
	その他の営業・販売関連職		23	4.3	21.7	47.8	13.0	0.0	13.0	26.1
I T 技 術 ・ ク リ エ イ テ ィ ブ 、 専 門 職 系	OAインストラクター	23号	25	0.0	12.0	40.0	36.0	12.0	0.0	48.0
	情報処理システム開発	1号	217	6.5	17.1	44.2	12.9	11.5	7.8	32.3
	編集・印刷・DTPオペレーター	19号	27	11.1	22.2	29.6	25.9	3.7	7.4	37.0
	広告デザイン	20号	9	11.1	22.2	22.2	11.1	22.2	11.1	44.4
	その他の技術・クリエイティブ職		108	9.3	23.1	42.6	12.0	9.3	3.7	25.0
	機械設計	2号	167	3.0	13.8	35.3	21.6	15.0	11.4	47.9
	放送機器等操作	3号	46	2.2	15.2	21.7	23.9	19.6	17.4	60.9
	放送番組等における大道具・小道具	26号	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
	放送番組等演出	4号	15	6.7	46.7	20.0	0.0	13.3	13.3	26.7
	アナウンサー	22号	3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	66.7
	建築物清掃	14号	14	0.0	0.0	92.9	0.0	7.1	0.0	7.1
	建築設備運転・点検・整備	15号	13	23.1	23.1	23.1	7.7	7.7	15.4	30.8
	インテリアコーディネーター	21号	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	研究開発	17号	134	2.2	13.4	52.2	21.6	6.7	3.7	32.1
	調査	9号	10	0.0	30.0	50.0	10.0	0.0	10.0	20.0
	駐車場管理	16号	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
	事業実施体制の企画、立案関係	18号	4	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	その他の専門職		120	6.7	20.0	34.2	15.0	13.3	10.8	39.2
製 造 業 務	電気機械器具組立・修理		57	14.0	29.8	38.6	7.0	8.8	1.8	17.5
	半導体・電子機器製造組立・修理		81	24.7	45.7	13.6	9.9	4.9	1.2	16.0
	輸送用機械組立・修理		33	21.2	51.5	21.2	3.0	3.0	0.0	6.1
	その他の製造		384	13.8	31.8	38.8	7.6	6.0	2.1	15.6
軽 作 業 系	運送・運送補助		23	4.3	39.1	47.8	8.7	0.0	0.0	8.7
	倉庫作業		117	17.1	33.3	41.0	6.0	1.7	0.9	8.5
	その他の軽作業		62	16.1	27.4	40.3	12.9	1.6	1.6	16.1
その他上記に該当しない業務			69	8.7	29.0	36.2	17.4	5.8	2.9	26.1

※1：13号の「添乗」はn=0だったため割愛。無回答を除き集計。

※2：「3年超計」は、「3年超5年以下」「5年超9年以下」「10年超」の合計。「3年超計」欄の網は、n=30以上で平均値を上回るものにつけた。

5-3. 現在の派遣先の仕事の派遣前の担い手

調査では、現在の派遣先の仕事を派遣前に誰が担っていたか尋ねている（以下では、「現在の仕事の派遣前の担い手」と略す。）。それによれば、派遣される前の担い手が「派遣社員」とするものが 43.9%と最も割合が高く、次いで、「正社員」が 31.9%となっている。4割強が、派遣社員の仕事を引き継いだと感じており、派遣社員の仕事が外部化され定着しつつある現状がうかがわれる。

これを派遣形態別にみると、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で正社員から引き継いだとする割合が高い。「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」に比べ、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」のほうが「正社員」が担っていた仕事をこなしている割合が高くなるようだ。

派遣先の業務別にみると、「正社員」から引き継いだ割合は、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」でもっとも高く、次いで、「医療・福祉系」「製造業務系」などが高い。「派遣社員」から引き継いだとしているのは「オフィスワーク系」で 52.4%と高い。これを中分類でみると、「26 業務」で 54.5%と高く、「26 業務以外の経理・会計・金融」でも 49.1%となっている（表 5-6）。

表 5-6：現在の仕事の派遣前の担い手

（単位＝％）

	n数	正社員	契約社員	パート・アルバイト	派遣社員	請負会社の社員	上記以外の人	同じような仕事をしていた人はいなかった	わからない	無回答
計	4473	31.9	2.9	5.0	43.9	1.8	0.7	5.8	6.5	1.5
<派遣形態別>										
登録型派遣社員	2529	29.5	3.1	5.3	46.9	0.9	0.4	5.4	6.7	1.7
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	32.5	3.1	5.2	45.4	1.8	1.2	5.1	4.8	0.9
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	38.8	1.8	3.9	32.0	4.9	0.9	8.2	8.1	1.5
<派遣先業務別>										
オフィスワーク系	2344	30.3	2.7	2.8	52.4	0.9	0.3	5.8	4.0	0.9
26業務	1671	28.2	2.6	2.5	54.5	0.7	0.3	6.5	3.9	0.8
26業務以外の経理・会計・金融	385	40.0	2.3	2.6	49.1	0.8	0.3	1.8	3.1	0.0
26業務以外のその他	288	29.5	3.8	4.9	44.8	2.1	0.0	7.3	5.6	2.1
医療・福祉系	160	35.6	1.3	10.6	35.0	0.0	1.3	3.1	11.9	1.3
営業・販売系	124	24.2	5.6	13.7	41.1	1.6	1.6	5.6	5.6	0.8
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	39.0	2.8	2.0	33.2	4.9	1.3	7.7	8.1	1.0
情報処理システム開発	222	41.0	0.5	0.0	19.4	11.3	1.8	13.5	12.2	0.5
機械設計	169	47.3	1.2	0.6	33.1	3.6	0.6	5.9	7.7	0.0
その他	545	35.6	4.2	3.3	38.9	2.8	1.3	5.9	6.6	1.5
製造業務系	566	35.2	2.5	6.9	36.6	1.8	1.2	3.4	10.4	2.1
軽作業系	208	15.4	3.4	22.6	38.5	0.0	0.5	7.2	11.1	1.4
その他	77	27.3	9.1	14.3	22.1	3.9	2.6	5.2	10.4	5.2
<グループ会社の別>										
グループ会社である	1111	35.2	3.1	2.5	45.8	1.5	0.5	5.8	4.1	1.5
グループ会社ではない・わからない	3310	30.8	2.8	5.8	43.4	1.9	0.8	5.9	7.2	1.4

5-4. 派遣先の仕事の修得期間と仕事のレベル

現在の派遣先での仕事を一通りこなせるようになった期間(以下、「仕事の修得期間」と略。)は、「2～3 カ月程度」が 30.6%と最も割合が高く、「1 カ月程度」が 22.4%、「半年程度」が 18.1%などとなっている。「3 カ月以下」(「2～3 カ月程度」「1 カ月程度」「1 週間」の合計。)は 62.8%であり、6 割強は 3 カ月程度以内に仕事を修得できたと感じているようだ。

これを派遣形態別にみると、「半年以上」(「半年程度」「1 年程度」「1 年以上」の合計。)の割合は、「常用型派遣社員(期間の定めなし)」「常用型派遣社員(期間の定めあり)」「登録型派遣社員」の順で高い。「常用型派遣社員(期間の定めなし)」では、「2～3 カ月程度」が 21.3%と最も割合が高いが、半年以上の割合が過半数を占めており(51.8%、「半年程度」(19.3%)、「1 年程度」(13.2%)、「1 年以上」(19.3%)の合計。)、修得期間に長期間を要する仕事をこなしている現状が垣間見える(図 5-4)。

派遣先の業務別にみると、「半年以上」の割合は、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」で 48.0%と最も高く、次いで、「オフィスワーク系」で 36.8%などとなっている。「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」を中分類でみると、「半年以上」の割合は、「機械設計」で 63.9%と高い(とくに「1 年以上」は 34.9%)。「オフィスワーク系」を中分類でみると、「26 業務以外の経理・会計・金融」で「半年以上」の割合は 43.4%と 4 割強を占める(表 5-7)。

次に、現在の仕事内容について、定型的かそれとも判断業務があるかについて尋ねたところ、「ほとんど指示に従い行う、主として定型的な仕事が多い」(以下、「定型的な仕事」と略。)が 28.6%、「おおむね指示を仰ぎながら、本人の判断もある程度必要な仕事である」(以下、「本人の判断もある程度必要な仕事」と略。)が 43.1%、「たまに指示を受ける程度で、おおむね本人の判断による仕事である」(「おおむね本人の判断による仕事」と略)が 23.5%、「ほとんど指示を受けることなく、本人の判断によって行われる仕事である」(以下、「本人の判断によって行われる仕事」と略。)が 4.7%となっている。「おおむね本人の判断でできる」(「おおむね本人の判断による仕事」「本人の判断によって行われる仕事」の合計。)とする割合は 28.3%と 3 割程度となっている。これを派遣形態別にみると、「おおむね本人の判断でできる」の割合は、「常用型派遣社員(期間の定めなし)」「常用型派遣社員(期間の定めあり)」「登録型派遣社員」の順で高い(図 5-5)。

これを派遣先の業務別にみると、「おおむね本人の判断でできる」とする割合は、「営業・販売系」で 39.0%と最も割合が高く、次いで、「軽作業系」(34.5%)、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」(32.8%)などとなっている。「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」を中分類でみると、「おおむね本人の判断でできる」割合は、「情報処理システム開発」で 44.1%と高く、「機械設計」も 34.5%となっている。「オフィスワーク系」を中分類でみると、「26 業務以外の経理・会計・金融」で 38.0%と高くなっている。グループ会社の別にみると、「グループ会社である」ほうが、「おおむね本人の判断でできる」の割合が高くなっていた。なお、現在の派遣先の勤続年数別にみると、派遣先の通算勤続期間が長くなるほど、「おおむ

ね本人の判断でできる」とする割合は高まる傾向にある（表 5-8）。

図 5-4：現在の仕事の修得期間

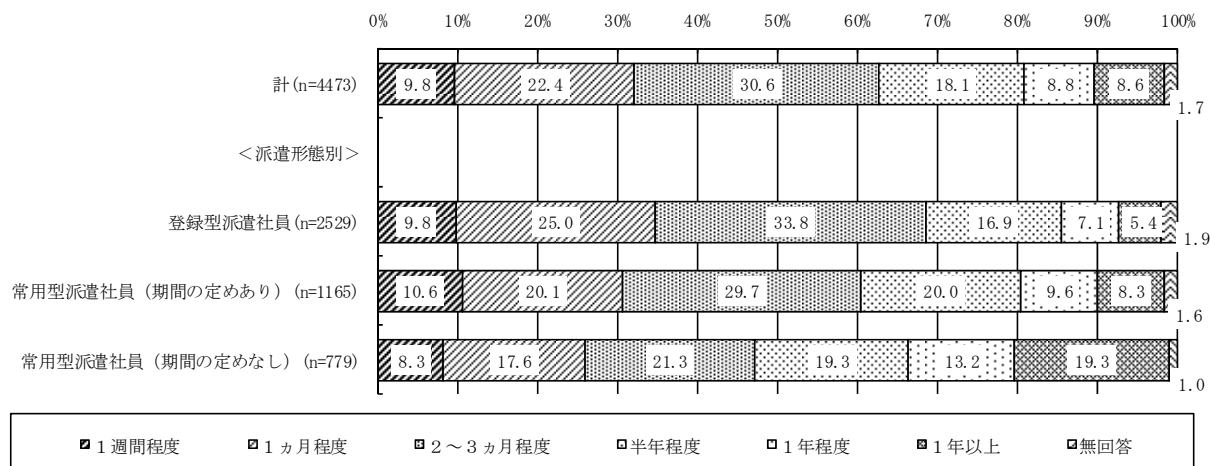
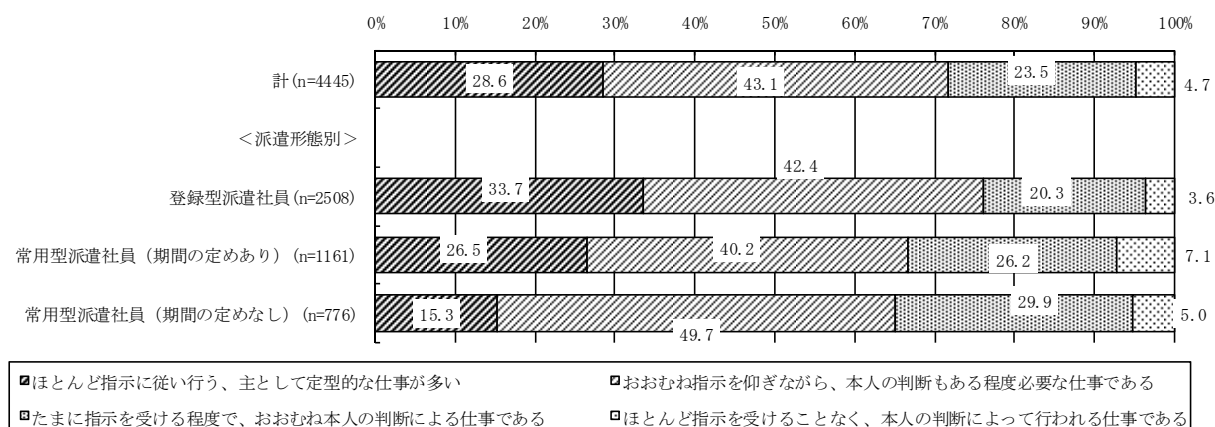


表 5-7：現在の仕事の修得期間

(単位=%)

	n数	1週間程度	1ヵ月程度	2～3ヵ月程度	半年程度	1年程度	1年以上	無回答	3ヵ月以内計	半年以上計
計	4473	9.8	22.4	30.6	18.1	8.8	8.6	1.7	62.8	35.5
<派遣先業務別>										
オフィスワーク系	2344	4.9	20.0	37.0	21.1	9.5	6.2	1.3	61.9	36.8
26業務	1671	4.5	21.6	37.8	20.1	9.7	5.2	1.0	64.0	35.0
26業務以外の経理・会計・金融	385	3.1	16.1	34.8	24.4	10.1	8.8	2.6	54.0	43.4
26業務以外のその他	288	9.4	15.6	35.4	22.2	7.6	8.7	1.0	60.4	38.5
医療・福祉系	160	6.3	24.4	38.8	20.0	5.0	3.8	1.9	69.4	28.8
営業・販売系	124	18.5	29.0	28.2	12.9	4.8	4.0	2.4	75.8	21.8
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	12.8	17.7	20.4	16.5	12.4	19.1	1.1	51.0	48.0
情報処理システム開発	222	14.4	21.6	14.0	18.5	13.1	17.6	0.9	50.0	49.1
機械設計	169	9.5	8.9	16.6	15.4	13.6	34.9	1.2	34.9	63.9
その他	545	13.2	18.9	24.2	16.0	11.7	14.9	1.1	56.3	42.6
製造業務系	566	18.6	35.0	22.1	12.2	4.2	5.8	2.1	75.6	22.3
軽作業系	208	23.1	27.4	30.3	10.6	2.9	3.4	2.4	80.8	16.8
その他	77	13.0	28.6	20.8	24.7	6.5	6.5	0.0	62.3	37.7

図 5-5：現在の派遣先の仕事のレベル



※無回答を除き集計。

表 5-8：現在の派遣先の仕事のレベル

(単位＝%)

	n数	ほとんど指示に従い行う、主として定型的な仕事が多い	おおむね指示を仰ぎながら、本人の判断もある程度必要な仕事である	たまに指示を受ける程度で、おおむね本人の判断による仕事である	ほとんど指示を受けることなく、本人の判断によって行われる仕事である	おおむね本人の判断のできる仕事
計	4445	28.6	43.1	23.5	4.7	28.3
<派遣先業務別>						
オフィスワーク系	2335	33.5	40.8	21.8	3.9	25.7
26業務	1664	36.6	41.2	18.7	3.5	22.2
26業務以外の経理・会計・金融	384	25.8	36.2	32.3	5.7	38.0
26業務以外のその他	287	25.8	44.6	25.4	4.2	29.6
医療・福祉系	159	17.6	55.3	21.4	5.7	27.0
営業・販売系	123	14.6	46.3	30.1	8.9	39.0
IT技術・クリエイティブ、専門職系	935	14.3	52.8	28.2	4.6	32.8
情報処理システム開発	222	5.0	50.9	41.0	3.2	44.1
機械設計	168	5.4	60.1	29.8	4.8	34.5
その他	545	20.9	51.4	22.6	5.1	27.7
製造業務系	564	35.3	37.6	21.8	5.3	27.1
軽作業系	206	33.0	32.5	26.2	8.3	34.5
その他	77	37.7	36.4	16.9	9.1	26.0
<グループ会社の別>						
グループ会社である	1106	25.3	40.3	27.1	7.2	34.4
グループ会社ではない・わからない	3290	29.8	44.0	22.2	4.0	26.2
<現在の派遣先の勤続年数別>						
3カ月以下	320	42.8	39.1	16.3	1.9	18.1
3カ月超1年以下	927	36.2	40.6	18.9	4.3	23.2
1年超3年以下	1855	28.4	45.4	22.9	3.3	26.2
3年超5年以下	661	20.3	45.2	27.5	7.0	34.5
5年超9年以下	372	19.4	41.7	31.5	7.5	39.0
10年以上	208	17.8	38.5	33.7	10.1	43.8

※無回答を除き集計。「おおむね本人の判断のできる」は、「たまに指示を受ける程度で、おおむね本人の判断による仕事である」「ほとんど指示を受けることなく、本人の判断によって行われる仕事である」の合計。

5-5. 派遣先で同じ仕事をしている従業員の状況

調査では、「あなたの職場で、あなたが現在行っている仕事について、同じような仕事をしている従業員」の有無について尋ねている。それによれば、「正社員でいる」とする者が 60.8% ともっとも多く、次いで、「派遣社員でいる」が 55.1% などとなっている。これを派遣形態別にみると、「正社員でいる」「派遣社員でいる」などで、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高い。

派遣先の業種別にみると、「正社員でいる」の割合が高いのは、「医療・福祉系」「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」「製造業務系」「営業・販売系」などとなっている（表 5-9）。

「あなたが普段、現在の派遣先での自分の働きぶりや労働条件（賃金や労働時間など）を考える際に、比較対象として考えているのは誰か」についても尋ねたところ、「同じ派遣先の派遣社員」とする者が 44.0% ともっとも割合が高く、次いで、「同じ派遣先の正社員」が 36.9% などとなっている。これを派遣形態別にみると、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で、「同じ派遣先の正社員」の割合が高い一方、「同じ派遣先の派遣社員」の割合は低下する（表 5-10）。

これを派遣先で同じ仕事をしている従業員別にみると、職場に同じ仕事をしている人が「正

社員でいる」とする者で、「同じ派遣先の正社員」を比較対象とする割合が 42.4%ともっとも高い。一方、「派遣社員でいる」とする者では、「同じ派遣先の派遣社員」を比較対象とする割合が 53.2%ともっとも高くなっている。その他、「契約社員でいる」とする者では、「同じ派遣先の派遣社員」が 44.1%ともっとも多いものの、「同じ派遣先の契約社員」が 17.1%であり、他に比べてその割合が高くなっている。「パート・アルバイト等でいる」とする者でも、「同じ派遣先のパート・アルバイト」が 19.1%で他に比べてその割合は高い。なお、「自分以外に同じような仕事をしている従業員はいない」とする者では、「同じ派遣先の正社員」を比較対象としている割合がもっとも高くなっている（図 5-6）。

表 5-9：現在の派遣先で同じ仕事をしている従業員の有無（複数回答）（単位＝％）

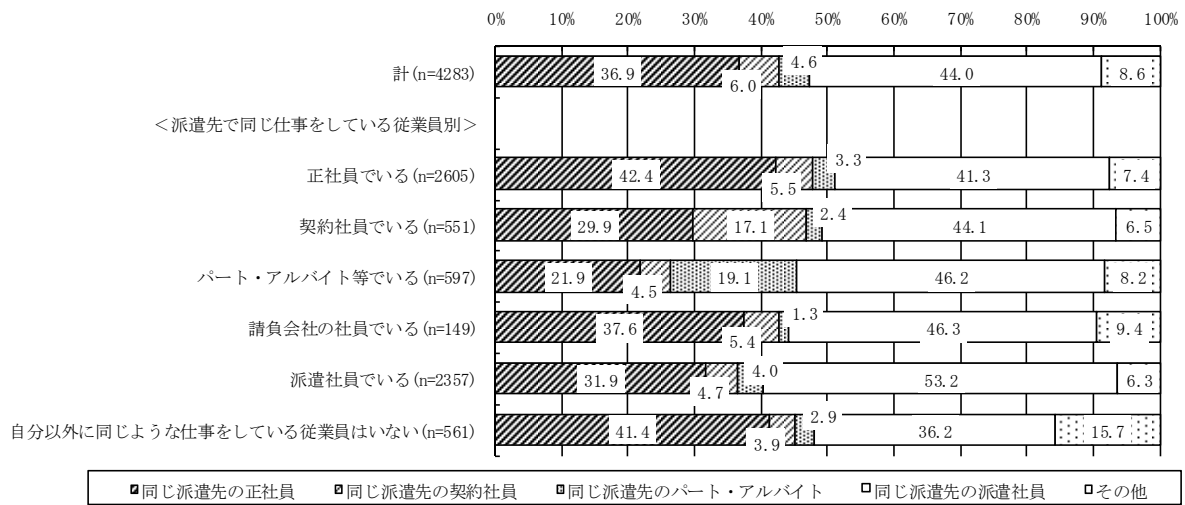
	n数	正社員でいる	契約社員でいる	パート・アルバイト等 でいる	請負会社の 社員でいる	派遣社員で いる	自分以外に 同じような 仕事をして いる従業員 はいない	無回答
計	4473	60.8	12.9	14.0	3.4	55.1	13.1	0.5
<派遣形態別>								
登録型派遣社員	2529	57.3	12.0	15.0	1.9	53.0	15.2	0.6
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	61.9	14.1	13.7	3.6	56.7	11.5	0.3
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	70.2	14.4	11.2	8.3	59.3	8.3	0.5
<派遣先業務別>								
オフィスワーク系	2344	54.0	8.4	8.0	1.0	49.0	19.1	0.2
26業務	1671	51.9	7.2	7.0	1.3	47.9	20.9	0.2
26業務以外の経理・会計・金融	385	62.6	4.7	5.7	0.0	43.6	16.1	0.0
26業務以外のその他	288	54.2	20.5	16.7	1.0	62.5	12.2	0.0
医療・福祉系	160	78.1	13.8	45.0	0.0	60.6	5.6	0.0
営業・販売系	124	62.1	25.8	39.5	3.2	65.3	6.5	0.8
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	73.6	17.2	7.2	10.6	63.2	7.3	0.0
情報処理システム開発	222	77.9	13.1	0.5	23.0	62.2	8.6	0.0
機械設計	169	79.3	11.8	3.0	7.7	72.8	4.1	0.0
その他	545	70.1	20.6	11.2	6.4	60.7	7.7	0.0
製造業務系	566	68.9	18.2	20.8	3.0	64.5	5.1	0.9
軽作業系	208	51.0	19.2	42.8	3.4	55.8	6.7	0.5
その他	77	53.2	19.5	40.3	2.6	50.6	9.1	0.0

表 5-10：現在の派遣先で労働条件などの比較対象（単位＝％）

	n数	同じ派遣先の 正社員	同じ派遣先の 契約社員	同じ派遣先の パート・アル バイト	同じ派遣先の 派遣社員	その他
計	4283	36.9	6.0	4.6	44.0	8.6
<派遣形態別>						
登録型派遣社員	2428	34.1	5.4	4.9	46.3	9.4
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1116	39.4	7.6	4.0	42.3	6.6
常用型派遣社員（期間の定めなし）	739	42.2	5.1	4.6	39.2	8.8
<派遣先業務別>						
オフィスワーク系	2256	38.4	5.3	2.8	44.3	9.2
26業務	1608	37.4	5.1	3.0	44.5	9.9
26業務以外の経理・会計・金融	374	46.8	4.8	1.6	40.1	6.7
26業務以外のその他	274	32.8	6.9	2.9	48.9	8.4
医療・福祉系	148	46.6	0.7	15.5	30.4	6.8
営業・販売系	120	24.2	15.0	8.3	45.0	7.5
IT技術・クリエイティブ、専門職系	900	41.0	6.0	1.3	42.7	9.0
情報処理システム開発	211	42.7	6.6	0.0	39.8	10.9
機械設計	165	37.6	3.6	0.0	53.3	5.5
その他	524	41.4	6.5	2.3	40.5	9.4
製造業務系	536	34.1	6.3	5.0	48.7	5.8
軽作業系	201	17.9	9.5	21.9	42.3	8.5
その他	75	21.3	8.0	13.3	44.0	13.3

※無回答を除き集計。

図 5-6：現在の派遣先での労働条件などの比較対象



5-6. 派遣先での仕事内容やスキル等の変化

調査では現在の派遣先で働き始めた時点と、現在を比べての変化について尋ねている。それによれば、「仕事の処理スピード(習熟度)」が上昇したという者が **76.2%** ともっとも多く、次いで、「自分自身のスキルレベル」「自分の仕事量」「仕事内容の範囲」などが続く。その一方で、「自分の仕事の取り組み意欲」は **48.2%** が上昇したとしつつも、**41.8%** が「ほとんど変化なし」であり、「低下」も **8.8%** 存在する。「仕事内容の難易度」も、「ほとんど変化なし」が **46.0%** で、「低下」が **4.2%** だった(図 5-7)。これを派遣先の勤続年数別にみると、「自分の仕事の取り組み意欲」を除き、勤続年数が高まるほど、割合が高まる傾向にある。「自分の仕事の取り組み意欲」は、派遣先での勤続が「5 年超」でも **52.8%** となっている(図 5-8)。

図 5-7：現在の派遣先で働き始めてからの変化

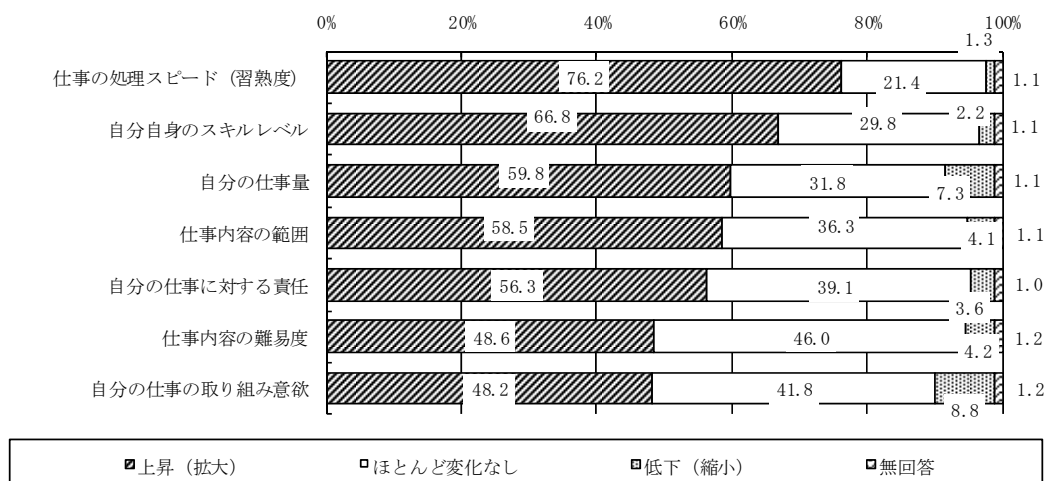
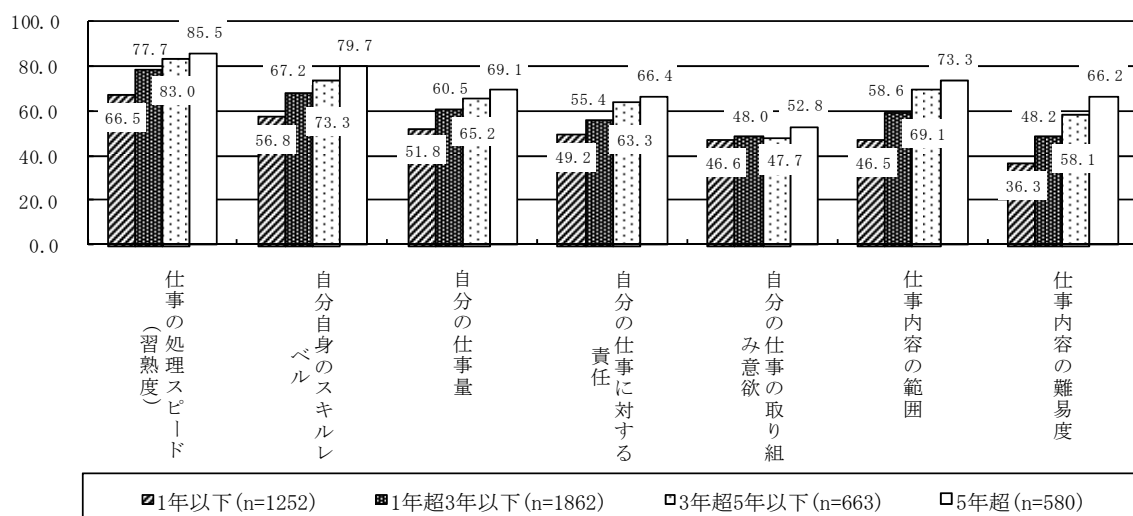


図 5-8：現在の派遣先で働き始めてからの仕事に係る項目での上昇（拡大）したとする者の割合
(派遣先での勤続年数別、単位＝%)



5-7. 派遣先の仕事内容の満足度

現在の派遣先の仕事内容の満足度は、「満足している」（「満足」「やや満足」の合計。）は74.9%だった。派遣形態別にみると、「満足している」割合は、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高い。

派遣先の業務別にみると、「満足している」の割合は、「製造業務系」でもっとも高く、次いで、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」「軽作業系」などが高い。

判断業務のレベル別に満足度をみると、「本人の判断もある程度必要な仕事」でもっとも「満足している」割合が高く、「本人の判断によって行われる仕事」で66.4%と他より低くなっている。

スキルレベルの変化別に満足度をみると、スキルが上昇するほど、「満足している」割合が高まる。その他、「仕事量」「仕事に対する責任」「仕事に対する難易度」「仕事内容の範囲」については、低下したという者に比べ、「上昇」「ほとんど変化なし」のほうが「満足している」とする割合が高い（表 5-11）。

表 5-11：派遣先の仕事内容の満足度

(単位＝%)

	n数	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	満足計	不満足計
計	4473	28.1	46.8	19.7	4.0	1.3	74.9	23.8
＜派遣形態別＞								
登録型派遣社員	2529	27.3	46.6	20.6	4.2	1.3	73.9	24.8
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	27.6	47.6	19.9	3.7	1.1	75.3	23.6
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	31.2	46.3	16.7	4.1	1.7	77.5	20.8
＜派遣先業務別＞								
オフィスワーク系	2344	25.5	46.4	22.5	4.6	1.0	71.9	27.1
26業務	1671	26.3	45.7	22.4	4.5	1.0	72.1	27.0
26業務以外の経理・会計・金融	385	22.9	48.6	22.6	4.4	1.6	71.4	27.0
26業務以外のその他	288	24.0	47.6	22.9	4.9	0.7	71.5	27.8
医療・福祉系	160	23.8	48.1	20.0	6.3	1.9	71.9	26.3
営業・販売系	124	30.6	42.7	20.2	4.8	1.6	73.4	25.0
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	33.2	46.3	16.0	3.6	0.9	79.5	19.7
情報処理システム開発	222	32.9	45.0	17.6	4.1	0.5	77.9	21.6
機械設計	169	33.7	45.0	17.8	1.8	1.8	78.7	19.5
その他	545	33.2	47.2	14.9	4.0	0.7	80.4	18.9
製造業務系	566	29.5	50.5	17.1	1.4	1.4	80.0	18.6
軽作業系	208	30.8	46.6	16.8	3.4	2.4	77.4	20.2
その他	77	32.5	37.7	14.3	10.4	5.2	70.1	24.7
＜仕事の判断業務のレベル別＞								
定型的な仕事	1272	28.1	45.2	19.9	5.0	1.9	73.3	24.8
本人の判断もある程度必要な仕事	1917	28.0	49.0	19.0	2.9	1.0	77.0	22.0
おおむね本人の判断による仕事	1045	27.6	47.2	20.6	3.7	1.0	74.7	24.3
本人の判断によって行われる仕事	211	32.2	34.1	22.3	10.4	0.9	66.4	32.7
＜自分自身のスキルレベル変化別＞								
上昇	2988	33.1	46.8	16.4	2.6	1.1	79.9	19.0
ほとんど変化なし	1334	18.6	48.3	26.2	5.8	1.0	66.9	32.1
低下	100	9.0	30.0	35.0	25.0	1.0	39.0	60.0
＜自分の仕事量の変化別＞								
上昇	2675	29.8	45.9	19.7	3.5	1.0	75.8	23.2
ほとんど変化なし	1422	27.4	51.2	17.2	3.3	0.9	78.6	20.5
低下	325	17.2	36.3	32.3	12.3	1.8	53.5	44.6
＜自分の仕事に対する責任の変化別＞								
上昇	2518	32.4	45.2	18.3	2.9	1.2	77.6	21.1
ほとんど変化なし	1749	23.6	50.3	20.6	4.6	0.9	73.9	25.2
低下	163	11.0	35.6	35.0	17.2	1.2	46.6	52.1
＜仕事内容の難易度の変化別＞								
上昇	2176	31.4	45.6	18.5	3.5	1.0	77.1	22.0
ほとんど変化なし	2059	26.1	49.6	19.9	3.3	1.1	75.8	23.2
低下	186	13.4	32.3	34.4	19.4	0.5	45.7	53.8
＜仕事内容の範囲の変化別＞								
拡大	2617	30.4	45.6	19.5	3.5	1.0	76.0	23.0
ほとんど変化なし	1624	26.5	50.1	18.7	3.4	1.3	76.6	22.1
縮小	182	11.0	37.4	33.5	17.6	0.5	48.4	51.1

6. 労働時間

6-1. 週当たり労働日数

派遣社員の週当たりの労働日数は、「5 日」がもっとも割合が高い（表 6-1）。これを派遣形態別にみると、わずかではあるが、「5 日未満」で「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」の順で割合が高い。

派遣先の業務別にみると、「5 日未満」は「医療・福祉系」「その他」「軽作業系」「営業・販売系」などで高い。性別・未婚既婚別にみると、「5 日未満」の割合は「女性・既婚」で高くなっている。年齢別にみると、「5 日未満」の割合は年齢が上昇するとともに高まる（表 6-1）。

表 6-1：週当たり労働日数

(単位＝%)

	n数	～1日	～2日	～3日	～4日	～5日	～6日	～7日	無回答	5日未満	5日	5日超
計	4473	0.2	1.0	2.1	3.5	88.8	3.8	0.1	0.6	6.7	88.8	3.9
<派遣形態別>												
登録型派遣社員	2529	0.1	0.9	2.3	3.8	89.1	3.1	0.1	0.6	7.1	89.1	3.2
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	0.3	0.7	2.1	3.7	88.0	4.3	0.1	0.9	6.8	88.0	4.4
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	0.3	1.5	1.4	2.1	89.0	5.3	0.0	0.5	5.3	89.0	5.3
<派遣先業務別>												
オフィスワーク系	2344	0.1	0.9	1.7	2.7	93.1	1.0	0.1	0.3	5.5	93.1	1.1
26業務	1671	0.1	0.7	1.0	2.3	94.3	1.3	0.1	0.3	4.1	94.3	1.3
26業務以外の経理・会計・金融	385	0.0	0.0	2.9	3.9	92.7	0.0	0.0	0.5	6.8	92.7	0.0
26業務以外のその他	288	0.7	3.1	4.2	3.8	86.5	1.0	0.3	0.3	11.8	86.5	1.4
医療・福祉系	160	0.6	1.3	9.4	11.9	59.4	16.9	0.6	0.0	23.1	59.4	17.5
営業・販売系	124	0.8	4.0	1.6	4.0	86.3	2.4	0.0	0.8	10.5	86.3	2.4
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	0.1	1.1	1.5	1.9	92.9	1.7	0.0	0.7	4.6	92.9	1.7
情報処理システム開発	222	0.0	0.0	0.5	0.0	99.1	0.0	0.0	0.5	0.5	99.1	0.0
機械設計	169	0.0	0.0	0.0	0.6	96.4	1.8	0.0	1.2	0.6	96.4	1.8
その他	545	0.2	1.8	2.4	3.1	89.4	2.4	0.0	0.7	7.5	89.4	2.4
製造業務系	566	0.0	0.0	0.9	4.1	83.0	10.8	0.0	1.2	4.9	83.0	10.8
軽作業系	208	0.0	0.5	4.8	8.2	73.6	12.0	0.0	1.0	13.5	73.6	12.0
その他	77	1.3	2.6	9.1	6.5	66.2	14.3	0.0	0.0	19.5	66.2	14.3
<性別・未既婚別>												
男性・既婚	541	0.2	0.7	4.3	3.3	85.2	4.4	0.0	1.8	8.5	85.2	4.4
男性・未婚	724	0.0	0.3	0.8	3.2	86.6	8.0	0.1	1.0	4.3	86.6	8.1
女性・既婚	1277	0.2	1.8	4.0	6.4	85.1	2.0	0.1	0.4	12.5	85.1	2.0
女性・未婚	1812	0.1	0.5	0.7	1.3	93.7	3.3	0.1	0.3	2.6	93.7	3.4
<年齢別>												
30歳未満	997	0.1	0.3	0.7	1.9	91.7	5.0	0.1	0.2	3.0	91.7	5.1
30～35歳未満	998	0.1	0.4	0.9	2.0	93.0	2.6	0.0	1.0	3.4	93.0	2.6
35～40歳未満	793	0.0	0.9	1.8	3.8	88.8	3.8	0.1	0.9	6.4	88.8	3.9
40～45歳未満	541	0.0	0.7	2.2	5.0	87.2	4.3	0.0	0.6	7.9	87.2	4.3
45歳以上	803	0.5	2.5	5.7	5.5	81.2	4.0	0.1	0.5	14.2	81.2	4.1

6-2. 週当たり労働時間

派遣社員の週当たりの労働時間は、「35～40 時間未満」が 28.5%と最も割合が高く、次いで「40 時間」26.9%、「週 35 時間未満」11.7%などとなっている。「40 時間超」（「40 超 45 時間未満」「45～50 時間未満」「50～55 時間未満」「55 時間以上」の合計。）について、派遣形態別にみると、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高い。

これを派遣先の業務別にみると、「40 時間超」の割合は、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」「製造業務系」などの順で割合が高い。「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」について中分類でみると、「40 時間超」の割合は、「情報処理システム開発」で 66.2%と高く、次いで「機械設計」63.9%となっている。

性別・未既婚別にみると、「40 時間超」の割合は、「女性・既婚」が 14.3%でもっとも低くなっている。年齢別にみると、年齢が高まるほど「40 時間超」の割合は低下する（表 6-2）。

表 6-2：週当たり労働時間

(単位＝%)

	n数	35時間未満	35～40時間未満	40時間	40超45時間未満	45～50時間未満	50～55時間未満	55時間以上	無回答	40時間超
計	4473	11.7	28.5	26.9	9.6	10.9	5.7	2.3	4.4	28.5
<派遣形態別>										
登録型派遣社員	2529	11.3	33.1	28.0	9.2	9.0	3.5	1.2	4.7	22.9
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	14.2	27.2	26.1	9.4	10.0	5.8	2.9	4.2	28.2
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	9.2	15.4	24.5	11.0	18.5	12.8	4.6	3.9	47.0
<派遣先業務別>										
オフィスワーク系	2344	11.9	39.8	27.0	8.1	6.8	2.3	0.4	3.6	17.7
26業務	1671	10.5	39.3	27.8	8.8	6.8	2.5	0.5	3.8	18.6
26業務以外の経理・会計・金融	385	15.6	46.2	22.9	5.2	5.2	1.6	0.3	3.1	12.2
26業務以外のその他	288	14.9	34.4	27.4	8.0	9.4	2.4	0.3	3.1	20.1
医療・福祉系	160	27.5	16.9	29.4	12.5	5.6	1.3	0.6	6.3	20.0
営業・販売系	124	15.3	20.2	33.1	9.7	8.9	4.0	2.4	6.5	25.0
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	7.7	17.2	22.1	13.1	20.0	12.2	4.8	2.9	50.1
情報処理システム開発	222	1.8	9.9	22.1	18.0	30.2	16.2	1.8	0.0	66.2
機械設計	169	5.9	5.3	23.1	10.7	20.7	20.7	11.8	1.8	63.9
その他	545	10.6	23.9	21.8	11.9	15.6	7.9	3.9	4.4	39.3
製造業務系	566	7.2	12.9	32.5	8.8	17.0	11.0	5.3	5.3	42.0
軽作業系	208	21.6	15.9	26.9	10.1	9.1	6.3	4.8	5.3	30.3
その他	77	23.4	15.6	27.3	5.2	5.2	7.8	2.6	13.0	20.8
<性別・未婚別>										
男性・既婚	541	11.8	11.8	25.0	9.8	16.6	14.8	6.1	4.1	47.3
男性・未婚	724	5.8	12.2	27.3	11.2	22.0	11.6	6.8	3.2	51.5
女性・既婚	1277	22.2	36.3	22.6	6.4	5.5	2.0	0.4	4.6	14.3
女性・未婚	1812	6.2	34.8	30.5	11.2	9.0	3.4	0.7	4.2	24.3
<年齢別>										
30歳未満	997	5.4	25.5	32.6	10.1	14.3	5.9	2.5	3.6	32.9
30～35歳未満	998	8.6	31.6	26.7	10.4	9.9	6.8	2.3	3.7	29.5
35～40歳未満	793	11.0	30.5	25.1	10.1	11.0	6.1	2.3	4.0	29.4
40～45歳未満	541	14.6	31.1	23.8	9.1	9.8	6.1	2.2	3.3	27.2
45歳以上	803	22.3	25.0	23.0	8.2	9.3	4.1	1.7	6.2	23.4
<週労働日数別>										
5日未満	300	78.7	1.3	3.0	2.3	2.7	0.3	1.0	10.7	6.3
5日	3972	6.7	31.7	29.7	10.1	10.8	5.8	1.9	3.4	28.5
5日超	173	9.8	5.8	8.7	12.1	29.5	14.5	13.3	6.4	69.4

6-3. 週当たり残業時間

派遣社員の週当たりの残業時間は、「0 時間（残業なし）」が 39.3% ともっとも割合が高くなっている。約 4 割は残業がほとんどない状態にある。週 10 時間以上残業をしている割合（月単位で考えると、月残業 40 時間以上）は 8.8% である。これを派遣形態別にみると、「10 時間以上」の割合は、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高く、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」で 18.2% となっている。

派遣先の業務別にみると、週当たり「0 時間（残業なし）」の割合は、「営業・販売系」が 50.0% ともっとも割合が高く、「医療・福祉系」「オフィスワーク系」「軽作業系」なども高い。これらの職種では半数程度がほとんど残業がない状態である。逆に「10 時間超」の割合については、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」「製造業務系」などの順で割合が高くなっていた。「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」について中分類でみると、「10 時間超」の割合は、「機械設計」で 35.5% と高く、次いで「情報処理システム開発」19.4% となっている。性別・未婚別にみると、週当たり「0 時間（残業なし）」の割合は、「女性・既婚」で 48.0% ともっとも高くなっている（表 6-3）。

他方、調査では、望ましい週当たりの残業時間も尋ねている。それによれば、望ましい残業時間が「0 時間（残業なし）」とするのは 34.5%となっている。残りの 62.4%（「0 超 5 時間未満」「5～10 時間未満」「10～20 時間未満」「20 時間以上」の合計。）は残業がしたいと考えていることになる。ただし、「0 超 5 時間未満」が 26.0%、「5～10 時間未満」が 22.9%、「10～20 時間未満」が 11.9%となっており、「20 時間以上」のような長時間の残業を希望する者はわずかである。

そこで、実際の週当たりの残業時間別に望ましい週当たりの残業時間をみると、実際の残業時間が「0 時間（残業なし）」の者の 56.9%が望ましい残業時間は「0 時間（残業なし）」でよいとしており、残りの約 4 割が残業をしたいと考えているものの、残業がない状況となっていることになる（表 6-4）。

次に、望ましい週当たりの残業時間について、性別・未既婚別にみると、「0 時間（残業なし）」としている割合が高いのは、「女性・既婚」で、次いで、「女性・未婚」「男性・既婚」「男性・未婚」の順となっている（つまり、「男性・未婚」「男性・既婚」「女性・未婚」の順で何らかの残業がしたいと考えていることが示唆される。）。同様に、未既婚・同居家族別にみると、「未婚で一人暮らし」で「0 時間（残業なし）」としている割合がもっとも低くなっている（表 6-5）。家賃などの生活費が必要な「未婚一人暮らし」で残業に対する希望があるのかもしれない。

表 6-3：週当たり残業時間

（単位＝％）

	n数	0時間 (残業なし)	0超5時間 未満	5～10時 間未満	10～20時 間未満	20時間以 上	無回答	10時間以 上
計	4473	39.3	31.1	14.9	8.1	0.6	5.9	8.8
<派遣形態別>								
登録型派遣社員	2529	43.7	32.3	12.7	5.1	0.2	5.9	5.4
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	34.6	33.9	15.5	8.8	1.0	6.2	9.9
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	32.1	23.4	21.2	16.8	1.4	5.1	18.2
<派遣先業務別>								
オフィスワーク系	2344	45.5	35.7	11.3	2.9	0.2	4.4	3.1
26業務	1671	46.9	35.7	9.7	2.9	0.3	4.5	3.2
26業務以外の経理・会計・金融	385	38.4	37.1	17.7	2.6	0.0	4.2	2.6
26業務以外のその他	288	46.5	34.0	12.5	3.1	0.0	3.8	3.1
医療・福祉系	160	46.3	41.3	5.6	0.6	0.0	6.3	0.6
営業・販売系	124	50.0	28.2	11.3	4.0	1.6	4.8	5.6
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	26.4	25.7	24.5	17.5	1.7	4.2	19.2
情報処理システム開発	222	16.7	28.8	33.8	18.5	0.9	1.4	19.4
機械設計	169	26.0	10.1	25.4	31.4	4.1	3.0	35.5
その他	545	30.5	29.4	20.4	12.8	1.3	5.7	14.1
製造業務系	566	30.9	20.8	20.8	17.0	0.9	9.5	17.8
軽作業系	208	43.8	26.0	9.1	10.6	0.5	10.1	11.1
その他	77	36.4	24.7	10.4	9.1	0.0	19.5	9.1
<性別・未既婚別>								
男性・既婚	541	29.6	19.4	21.4	21.3	1.5	6.8	22.7
男性・未婚	724	26.5	23.5	23.9	18.6	2.1	5.4	20.7
女性・既婚	1277	48.0	34.1	9.6	2.7	0.2	5.4	2.8
女性・未婚	1812	41.1	35.9	13.5	4.0	0.2	5.2	4.2
<年齢別>								
30歳未満	997	39.1	30.3	16.1	8.7	0.6	5.1	9.3
30～35歳未満	998	40.5	31.3	13.8	8.5	1.4	4.5	9.9
35～40歳未満	793	38.5	34.4	13.2	7.9	0.4	5.5	8.3
40～45歳未満	541	34.6	35.5	15.0	9.8	0.2	5.0	10.0
45歳以上	803	42.1	27.9	16.3	6.0	0.2	7.5	6.2

表 6-4：実際の週当たりの残業時間別にみた望ましい週当たりの残業時間 (単位＝%)

	n 数	望ましい残業時間					
		0時間（残業なし）	0超5時間未満	5～10時間未満	10～20時間未満	20時間以上	無回答
計	4473	34.5	26.0	22.9	11.9	1.6	3.0
<実際の残業時間別>							
0時間（残業なし）	1758	56.9	17.2	17.0	6.1	1.2	1.5
0超5時間未満	1393	23.8	51.2	18.2	4.7	0.6	1.6
5～10時間未満	667	15.3	13.9	51.4	16.3	1.5	1.5
10～20時間未満	364	8.0	5.5	24.2	57.7	3.8	0.8
20時間以上	29	10.3	0.0	24.1	37.9	27.6	0.0

表 6-5：望ましい残業時間 (単位＝%)

	n 数	0時間（残業なし）	0超5時間未満	5～10時間未満	10～20時間未満	20時間以上	無回答	10時間以上
計	4473	34.5	26.0	22.9	11.9	1.6	3.0	13.5
<性別・未既婚別>								
男性・既婚	541	25.7	13.1	26.2	27.4	3.9	3.7	31.2
男性・未婚	724	20.6	13.8	30.5	29.3	2.9	2.9	32.2
女性・既婚	1277	50.4	28.1	14.3	3.7	1.1	2.4	4.8
女性・未婚	1812	31.3	33.6	25.3	6.2	0.8	2.9	7.0
<年齢別>								
30歳未満	997	32.3	23.7	25.5	14.4	1.9	2.2	16.3
30～35歳未満	998	31.0	27.6	24.1	13.2	1.4	2.7	14.6
35～40歳未満	793	33.8	27.9	23.0	11.2	1.5	2.6	12.7
40～45歳未満	541	34.8	28.8	21.3	11.5	1.1	2.6	12.6
45歳以上	803	42.1	25.2	18.8	8.6	1.7	3.6	10.3
<未既婚・同居家族別>								
既婚で同居家族あり	1720	43.3	23.6	17.8	10.8	2.0	2.6	12.7
未婚で同居家族あり	1661	30.9	29.9	25.8	9.2	1.1	3.1	10.3
既婚で一人暮らし	19	36.8	10.5	31.6	15.8	0.0	5.3	15.8
未婚で一人暮らし	850	22.9	24.0	28.9	20.0	1.9	2.2	21.9
<住居の賃貸の別>								
持ち家	2473	37.8	26.4	21.8	9.5	1.5	3.0	11.0
賃貸	1740	29.7	25.5	24.8	15.5	2.0	2.5	17.4

6-4. 労働時間の満足度

現在の派遣先の労働時間の満足度をみると、「満足している」（「満足」「やや満足」の合計。）は 80.2%と高い。週当たりの残業時間別にみると、残業時間が少なくなるほど満足度はおおむね高まる傾向にある。「20 時間超」の「満足している」割合は 34.5%であり、週 20 時間を超えるような長時間の残業が満足度を下げているようである（図 6-1）。

派遣形態別にみると、「満足している」割合は、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」の順で高い。派遣先の業務別にみると、「満足している」の割合は、「その他」「軽作業系」「営業・販売系」などで低い。

性別・未既婚別にみると、「満足している」割合は、「女性・既婚」が 83.8%と最も割合が高い。逆に「男性・未婚」で他に比べてその割合は低くなっている。未既婚・同居家族別にみると、「未婚で一人暮らし」で「満足している」割合が 73.2%と比較的低くなっている（表 6-6）。

そこで、未既婚・同居家族別に分けて、週あたりの残業時間別にみると、「既婚で同居家

族あり」「未婚で同居家族あり」では、残業時間が少なくなるほど満足度は高まる傾向にあるが、「未婚で一人暮らし」では、残業が週あたり「0 超 5 時間未満」で 81.2% ともっとも「満足している」割合が高いものの、「0 時間（残業なし）」では、その割合は 66.7% と低くなっている。週残業 5 時間とすれば月単位で換算すると月 20 時間程度であるが、「未婚で一人暮らし」の場合、賃料や生活費のためか、残業がある程度あったほうが満足度は高まるようである（ただし、残業時間が長くなるほど満足度は下がり、「10 時間以上」の「満足している」割合は 63.6% ともっとも低い）（表 6-7）。

図 6-1：労働時間の満足度

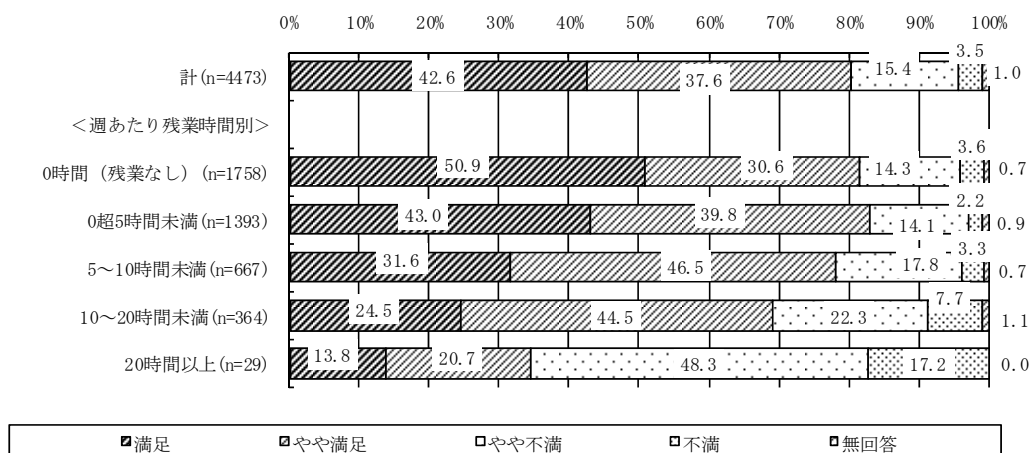


表 6-6：労働時間の満足度

(単位=%)

	n数	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	満足計	不満計
計	4473	42.6	37.6	15.4	3.5	1.0	80.2	18.9
< 派遣形態別 >								
登録型派遣社員	2529	45.2	36.1	14.6	3.1	0.9	81.3	17.7
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	41.0	38.6	16.0	3.3	1.0	79.6	19.3
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	36.3	40.8	17.1	4.9	0.9	77.1	22.0
< 派遣先業務別 >								
オフィスワーク系	2344	46.7	35.2	14.3	2.9	0.8	82.0	17.3
26業務	1671	48.1	34.5	14.2	2.6	0.6	82.6	16.8
26業務以外の経理・会計・金融	385	42.6	37.4	15.3	3.4	1.3	80.0	18.7
26業務以外のその他	288	44.1	36.5	13.9	4.5	1.0	80.6	18.4
医療・福祉系	160	37.5	42.5	15.0	4.4	0.6	80.0	19.4
営業・販売系	124	42.7	33.1	17.7	5.6	0.8	75.8	23.4
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	39.1	40.8	15.4	4.2	0.5	79.9	19.6
情報処理システム開発	222	37.4	46.4	14.4	1.4	0.5	83.8	15.8
機械設計	169	29.6	44.4	19.5	5.9	0.6	74.0	25.4
その他	545	42.8	37.4	14.5	4.8	0.6	80.2	19.3
製造業務系	566	34.1	43.5	18.2	3.0	1.2	77.6	21.2
軽作業系	208	37.0	37.5	18.3	5.8	1.4	74.5	24.0
その他	77	42.9	29.9	18.2	3.9	5.2	72.7	22.1
< 性別・未婚・同居家族別 >								
男性・既婚	541	38.8	40.5	14.8	4.4	1.5	79.3	19.2
男性・未婚	724	31.1	45.4	18.4	4.4	0.7	76.5	22.8
女性・既婚	1277	50.4	33.4	13.1	2.6	0.5	83.8	15.7
女性・未婚	1812	42.7	36.8	15.9	3.6	0.9	79.5	19.5
< 未婚・同居家族別 >								
既婚で同居家族あり	1720	47.0	35.3	13.6	3.3	0.8	82.3	16.9
未婚で同居家族あり	1661	43.3	38.2	14.8	3.0	0.7	81.5	17.8
既婚で一人暮らし	19	36.8	42.1	15.8	5.3	0.0	78.9	21.1
未婚で一人暮らし	850	31.4	41.8	20.5	5.4	0.9	73.2	25.9

表 6-7：未既婚・同居家族別にみた残業時間別の労働時間満足度

(単位＝%)

	n数	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	満足計	不満計
(既婚で同居家族あり)								
0時間(残業なし)	741	57.1	27.8	11.3	3.1	0.7	84.9	14.4
0超5時間未満	512	46.3	37.5	13.7	1.6	1.0	83.8	15.2
5～10時間未満	225	30.7	44.4	19.1	5.3	0.4	75.1	24.4
10時間以上	152	27.6	45.4	17.8	7.9	1.3	73.0	25.7
(未婚で同居家族あり)								
0時間(残業なし)	642	51.6	31.6	13.6	2.6	0.6	83.2	16.2
0超5時間未満	556	42.8	39.9	14.2	2.2	0.9	82.7	16.4
5～10時間未満	260	33.5	48.8	15.0	2.3	0.4	82.3	17.3
10時間以上	115	20.9	39.1	28.7	10.4	0.9	60.0	39.1
(未婚で一人暮らし)								
0時間(残業なし)	279	30.1	36.6	24.7	7.5	1.1	66.7	32.3
0超5時間未満	261	36.0	45.2	14.9	3.8	0.0	81.2	18.8
5～10時間未満	156	30.8	45.5	19.2	2.6	1.9	76.3	21.8
10時間以上	110	20.9	42.7	28.2	7.3	0.9	63.6	35.5

※「既婚で一人暮らし」(n=19)は割愛。

7. 賃金

7-1. 時給額

現在の派遣先の時給額の平均値は 1,345 円。派遣形態別にみると「登録型派遣社員」1,265 円、「常用型派遣社員(期間の定めあり)」1,319 円、「常用型派遣社員(期間の定めなし)」1,670 円となっている。平均値は、「常用型派遣社員(期間の定めなし)」「常用型派遣社員(期間の定めあり)」「登録型派遣社員」の順で高い(時給額の業務ごとの平均値の詳細は表 7-1 参照。)

時給額の分布をみると、「登録型派遣社員」は、「1000～1250 円未満」が 33.0%ともっとも割合が高く、次いで、「1250～1500 円未満」26.7%、「1500～2000 円未満」20.1%などとなっている。「常用型派遣社員(期間の定めあり)」も、「1000～1250 円未満」が 34.8%ともっとも割合が高く、次いで、「1250～1500 円未満」21.0%、「1500～2000 円未満」15.9%などとなっている。一方、「常用型派遣社員(期間の定めなし)」は、「1000～1250 円未満」が 22.0%ともっとも割合が高いものの、より時給額が高額な者の割合も高く、「1500 円以上」でみると、37.2%となっている。

派遣先の業務別にみると、「1500 円以上」の割合は、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」でもっとも高く、「軽作業系」「製造業務系」「医療・福祉系」で低い。

性別・未既婚別にみると、「男性・既婚」で「1500 円以上」の割合がもっとも高くなっている。年齢別にみると、「35～40 歳未満」でもっとも高い(表 7-2)。

なお、派遣先の勤続年数別にみると勤続年数が長くなるほど「1500 円以上」の割合は高まる傾向にある(図 7-1)。

表 7-1：現在の派遣先の時給額の平均値

(単位＝円)

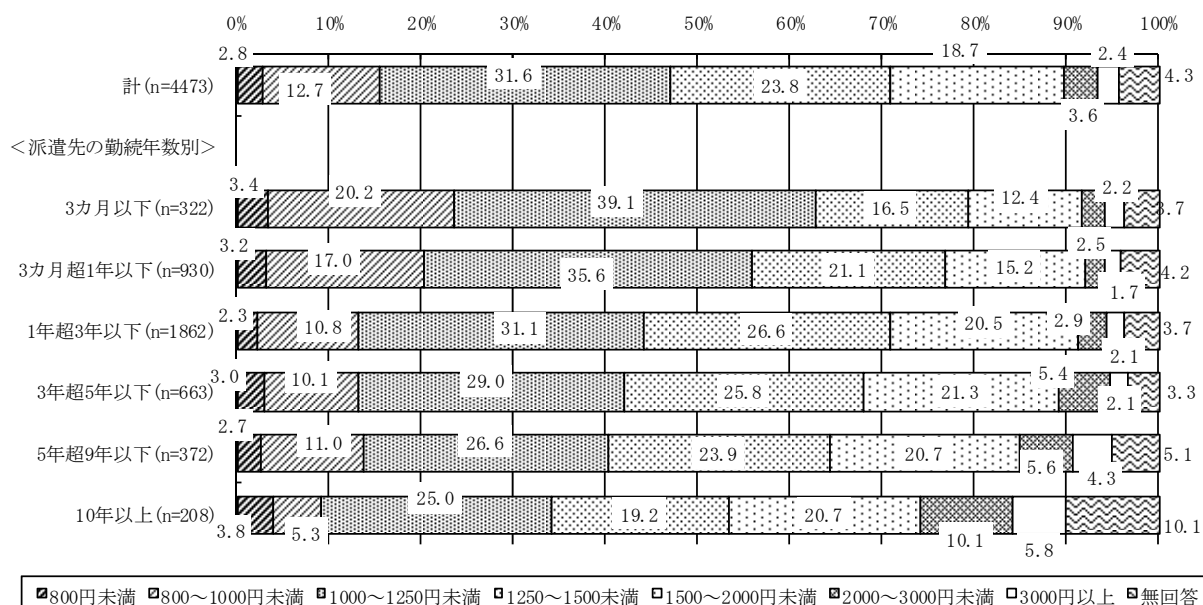
		全体				登録型派遣社員				常用型派遣社員 (期間の定めあり)				常用型派遣社員 (期間の定めなし)			
		度数	最小値	最大値	平均値	度数	最小値	最大値	平均値	度数	最小値	最大値	平均値	度数	最小値	最大値	平均値
計		4279	530	8000	1345.0	2467	530	4200	1265.2	1115	550	6200	1318.7	697	600	8000	1669.7
オフィス ワーク系	一般・営業事務・データ入力等	1415	700	3900	1291.3	986	700	2220	1298.1	326	700	3900	1276.1	103	720	2900	1274.8
	一般・営業事務等（自由化業務）	133	700	2000	1288.8	80	700	1750	1298.9	46	750	2000	1266.0	7	900	1875	1322.9
	ファイリング	16	800	1600	1243.8	12	800	1600	1258.3	4	1050	1400	1200.0	－	－	－	－
	財務	17	900	2600	1465.9	13	900	1860	1332.3	2	1600	2600	2100.0	2	1100	2300	1700.0
	経理・会計	111	750	1830	1340.6	80	750	1830	1334.0	23	939	1750	1368.2	8	1100	1550	1327.5
	金融事務	259	700	2500	1201.5	145	700	2100	1215.5	104	720	2100	1160.8	10	750	2500	1421.0
	貿易・国際事務・取引文書作成	36	1100	2200	1512.5	24	1100	2000	1535.4	9	1100	1700	1350.0	3	1500	2200	1816.7
	受付・案内	97	600	1800	1217.6	74	600	1800	1223.6	19	900	1700	1216.3	4	900	1500	1112.5
	秘書	26	800	1890	1377.5	20	800	1800	1371.5	3	1500	1890	1663.3	3	1000	1245	1131.7
	通訳・翻訳・速記	28	1300	3500	1732.5	23	1300	3500	1754.8	4	1500	1800	1662.5	1	1500	1500	1500.0
	テレフォンオペレーター	107	700	2000	1254.5	77	700	2000	1245.5	18	900	1650	1364.4	12	830	1500	1147.5
	その他の事務職	43	750	2500	1346.6	25	830	2500	1442.6	11	750	1700	1162.7	7	900	2050	1292.6
医療 福祉	医療事務	61	530	1440	874.5	31	530	1440	941.2	16	550	1300	862.9	14	600	1250	740.0
	医療・福祉・介護関連職	96	670	4400	1201.8	60	700	4200	1137.9	20	750	1900	1086.5	16	670	4400	1585.6
営業・ 販売系	テレマーケティングの営業	13	900	1600	1317.7	10	900	1600	1266.0	3	1420	1600	1490.0	－	－	－	－
	セールスエンジニア、金融商品の営業	5	1350	2000	1577.0	2	1350	1650	1500.0	3	1385	2000	1628.3	－	－	－	－
	販売	77	780	1800	1156.8	36	850	1460	1160.4	25	780	1800	1162.1	16	800	1500	1140.4
	デモンストレーター	1	1850	1850	1850.0	－	－	－	－	1	1850	1850	1850.0	－	－	－	－
	その他の営業・販売関連職	23	700	3300	1496.1	11	1000	2300	1604.2	11	700	3300	1378.6	1	1600	1600	1600.0
ＩＴ技 術・ク リエ イ ティ ブ、 専 門 職 系	ＯＡインストラクター	22	1000	2150	1416.6	12	1130	2150	1494.8	6	1000	1810	1358.3	4	1128	1500	1269.5
	情報処理システム開発	193	800	8000	2308.9	29	800	3500	1864.5	40	910	5000	2211.9	124	1000	8000	2444.1
	編集・印刷・ＤＴＰオペレーター	27	850	1930	1417.2	18	850	1700	1425.0	6	1050	1930	1463.3	3	1250	1300	1278.3
	広告デザイン	8	1000	2000	1556.3	6	1000	2000	1575.0	2	1400	1600	1500.0	－	－	－	－
	その他の技術・クリエイティブ職	102	1000	5080	1750.3	53	1080	2400	1505.8	22	1000	2000	1500.9	27	1000	5080	2433.3
	機械設計	148	950	6000	1911.0	28	950	2600	1613.4	29	1130	4800	1947.4	91	1031	6000	1990.9
	放送機器等操作	38	750	2955	1382.8	12	900	1500	1238.3	13	750	2955	1545.0	13	800	2774	1353.9
	放送番組等における大道具・小道具	1	940	940	940.0	－	－	－	－	1	940	940	940.0	4	860	1800	1282.5
	放送番組等演出	12	800	2500	1340.0	6	800	2000	1175.0	2	1400	2500	1950.0	－	－	－	－
	アナウンサー	3	1300	1800	1566.7	－	－	－	－	2	1300	1600	1450.0	1	1800	1800	1800.0
	建築物清掃	15	740	1795	1104.7	2	750	955	852.5	13	740	1795	1143.5	－	－	－	－
	建築設備運転・点検・整備	11	900	2500	1608.2	4	1150	2500	1697.5	4	900	2250	1650.0	3	1000	2000	1433.3
	インテリアコーディネーター	1	1400	1400	1400.0	1	1400	1400	1400.0	－	－	－	－	－	－	－	－
	研究開発	126	700	6200	1567.6	72	850	2000	1333.0	13	800	6200	2470.0	41	700	3750	1693.5
	調査	10	1000	5000	2005.7	5	1050	1420	1242.0	3	1000	5000	3266.7	2	1047	3000	2023.5
	駐車場管理	1	750	750	750.0	1	750	750	750.0	－	－	－	－	－	－	－	－
	事業実施体制の企画、立案関係	4	1780	3300	2520.0	1	1780	1780	1780.0	1	3300	3300	3300.0	2	2500	2500	2500.0
	その他の専門職	117	750	6000	1697.4	42	780	4000	1562.1	31	750	5500	1773.2	44	850	6000	1773.1
製 造 業 務 系	電気機械器具組立・修理	55	700	2000	1051.5	27	700	1200	931.1	19	700	2000	1114.5	9	850	1800	1280.0
	半導体・電子機器製造組立・修理	82	730	1900	1020.0	55	730	1390	1005.6	17	750	1600	1025.3	10	850	1900	1090.0
	輸送用機械組立・修理	31	900	1700	1160.5	13	1000	1700	1143.1	15	900	1600	1167.5	3	928	1375	1201.0
	その他の製造	383	550	4000	1107.2	215	750	2200	1046.0	128	550	4000	1162.9	40	850	3500	1257.9
軽 作 業 系	運送・運送補助	24	800	2000	1110.8	11	800	1300	1085.3	7	800	1200	1060.0	6	900	2000	1216.7
	倉庫作業	117	700	1800	1007.6	43	700	1330	991.1	43	700	1550	1006.9	31	750	1800	1031.6
	その他の軽作業	62	560	5000	1034.1	35	800	1400	986.5	21	560	5000	1133.8	6	800	1200	963.3
	その他上記に該当しない業務	75	730	5000	1251.2	30	730	3600	1187.5	25	730	5000	1152.8	20	750	3800	1469.9

表 7-2：現在の派遣先の仕事の時給額

(単位=%)

	n数	800円未満	800～1000円未満	1000～1250円未満	1250～1500円未満	1500～2000円未満	2000～3000円未満	3000円以上	無回答	1500円以上
計	4473	2.8	12.7	31.6	23.8	18.7	3.6	2.4	4.3	24.8
<派遣形態別>										
登録型派遣社員	2529	2.3	13.4	33.0	26.7	20.1	1.7	0.2	2.5	22.1
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	4.3	13.2	34.8	21.0	15.9	4.3	2.1	4.3	22.3
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	2.1	9.8	22.0	18.5	18.5	8.7	10.0	10.5	37.2
<派遣先業務別>										
オフィスワーク系	2344	2.0	8.4	33.0	29.8	23.2	1.1	0.1	2.4	24.4
26業務	1671	1.4	8.0	33.6	29.1	24.6	1.1	0.1	2.2	25.8
26業務以外の経理・会計・金融	385	4.2	10.1	34.3	28.8	17.9	0.8	0.0	3.9	18.7
26業務以外のその他	288	3.1	8.7	28.1	34.7	22.2	1.4	0.0	1.7	23.6
医療・福祉系	160	18.8	30.0	31.9	10.0	3.8	1.3	2.5	1.9	7.5
営業・販売系	124	1.6	16.1	26.6	35.5	12.9	2.4	0.8	4.0	16.1
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	0.7	2.9	16.0	23.0	23.8	13.0	10.1	10.4	47.0
情報処理システム開発	222	0.0	0.9	6.3	14.9	22.5	22.5	19.8	13.1	64.9
機械設計	169	0.0	0.6	9.5	27.8	18.9	20.1	10.7	12.4	49.7
その他	545	1.3	4.4	22.0	24.8	25.9	7.0	6.1	8.6	38.9
製造業務系	566	2.3	28.6	48.8	11.3	5.1	0.7	0.5	2.7	6.4
軽作業系	208	6.7	38.5	45.2	4.8	1.4	0.5	0.5	2.4	2.4
その他	77	11.7	31.2	22.1	11.7	11.7	5.2	3.9	2.6	20.8
<性別・未婚別>										
男性・既婚	541	1.8	7.6	22.4	14.4	18.1	14.2	11.6	9.8	44.0
男性・未婚	724	2.2	10.6	35.8	20.3	13.8	5.4	4.7	7.2	23.9
女性・既婚	1277	4.7	16.8	33.0	24.5	17.9	1.3	0.5	1.3	19.7
女性・未婚	1812	1.9	12.1	31.3	27.6	22.2	1.5	0.1	3.2	23.8
<年齢別>										
30歳未満	997	2.9	13.0	35.9	25.3	16.1	2.2	0.9	3.6	19.3
30～35歳未満	998	1.2	8.2	29.1	28.7	23.6	3.4	1.6	4.2	28.7
35～40歳未満	793	2.1	10.8	29.0	24.2	22.8	4.7	2.6	3.7	30.1
40～45歳未満	541	2.6	10.7	33.3	25.1	19.4	2.2	3.1	3.5	24.8
45歳以上	803	5.9	19.9	30.0	15.9	13.3	6.2	4.6	4.1	24.2

図 7-1：現在の派遣先の時給額



7-2. 世間相場に対する意識

調査では、「自分の賃金（時間給）について、同じ仕事内容の世間相場を意識するか」尋ねている。それによれば、「意識している」とする割合は、**55.7%**と半数強だった。これを派遣形態別にみると、わずかながら、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」の順で割合が高い。「常用型派遣社員（期間の定めなし）」は、「登録型派遣社員」に比べれば世間相場を意識する割合が低いようである。

これを稼働した派遣会社数別にみると、稼働経験のある派遣会社が増えるほど、世間相場を意識する割合が高まる傾向にある。

派遣先の業務別にみると、「医療・福祉系」や「営業・販売系」「オフィスワーク系」で「意識している」割合が高い。「オフィスワーク系」を中分類でみると、「**26 業務以外の経理・会計・金融**」で「意識している」割合が高い（表 7-3）。

表 7-3：自分の賃金の世間相場への意識

	n数	意識している	ほとんど意識していない
計	4418	55.7	44.3
<派遣形態別>			
登録型派遣社員	2503	57.2	42.8
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1152	54.5	45.5
常用型派遣社員（期間の定めなし）	763	52.7	47.3
<稼働した派遣会社数別>			
1社	2983	54.2	45.8
2～3社	874	61.4	38.6
4社以上	123	69.1	30.9

※無回答を除き集計。

表 7-3（続き）

（単位＝％）

	n数	意識している	ほとんど意識していない
計	4418	55.7	44.3
<派遣先業務別>			
オフィスワーク系	2333	57.5	42.5
26業務	1662	56.1	43.9
26業務以外の経理・会計・金融	383	63.7	36.3
26業務以外のその他	288	57.6	42.4
医療・福祉系	157	73.9	26.1
営業・販売系	122	69.7	30.3
IT技術・クリエイティブ、専門職系	921	52.9	47.1
情報処理システム開発	218	51.8	48.2
機械設計	168	54.8	45.2
その他	535	52.7	47.3
製造業務系	555	50.1	49.9
軽作業系	205	44.9	55.1
その他	73	50.7	49.3

7-3. 時給額上昇の相談の状況

調査では、現在の派遣先で働き始めてから、時間給の額の上昇について誰かに相談したことがあるか尋ねている。それによれば、「誰にも相談していない」が **70.1%**となっていた。派遣元に相談した者は **23.6%**、派遣先に相談した者は **6.2%**である（表 7-4）。

そこで、相談先を組み合わせると、「派遣先・派遣元双方に相談した」**3.4%**、「派遣元にのみ相談した」**20.2%**、「派遣先にのみ相談した」**2.8%**となっていた。派遣先の勤続年数別にみると、おおむね勤続年数が長くなるほど「派遣元・派遣先に何らかの相談をした」（「派遣先・派遣元に相談した」「派遣元に相談した」「派遣先に相談した」の合計。）とする割合が高い（ただし、「10 年以上」の者でも **64.4%**は「誰にも相談していない」者がいる。）（図 7-2）。

これを派遣形態別にみると、いずれの派遣形態も「誰にも相談しない」とする割合は 7 割前後と高水準を示している。派遣先の業務別にみると、「IT 技術・クリエイティブ、専門職

系」で「派遣元・派遣先に何らかの相談をした」者の割合が他に比べてわずかに高い。「誰にも相談していない」とする割合は、「医療・福祉系」と「軽作業系」で高くなっていた。

これを自分の賃金の世間相場への意識別にみると、世間相場を「意識している」とする者のほうが、「派遣元・派遣先に何らかの相談をした」の割合が高い。また、稼働派遣会社数別にみると、稼働した経験のある派遣会社の数が増えるほどその割合は高まる傾向にある。グループ会社の別にみると、グループ会社のほうが「誰にも相談していない」とする割合が高い。派遣元のフォローの頻度別にみると、頻度の上昇と相談とはあまり関係がないようである（表 7-5）。

表 7-4：時間給昇給の相談先（複数回答）

（単位＝％）

	n 数	派遣元	派遣先	労働組合	その他	誰にも相談 していない	無回答
計	4473	23.6	6.2	0.1	1.6	70.1	2.4
<派遣形態別>							
登録型派遣社員	2529	24.2	6.6	0.0	1.8	70.1	1.6
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	21.5	6.0	0.1	1.3	71.8	2.8
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	24.8	5.0	0.3	1.5	67.5	4.2

図 7-2：時給上昇の相談状況

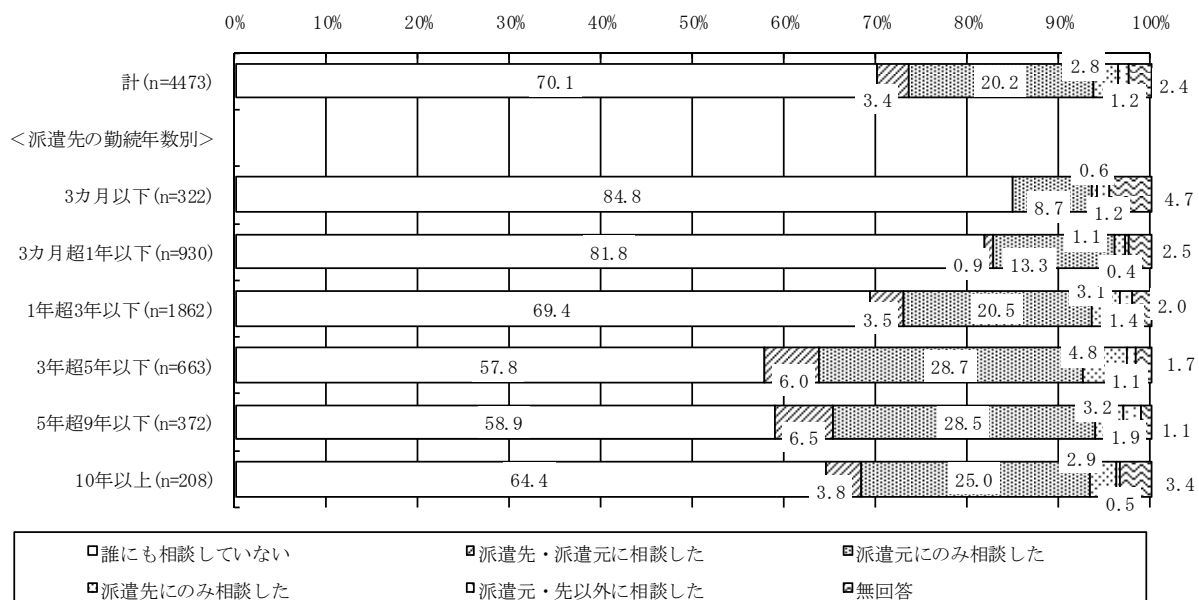


表 7-5：時給額上昇の相談状況

(単位＝%)

	n数	誰にも相談していない	派遣先・派遣元に相談した	派遣元にのみ相談した	派遣先にのみ相談した	派遣元・先以外に相談した	無回答	派遣元・派遣先に何らかの相談をした
計	4473	70.1	3.4	20.2	2.8	1.2	2.4	26.3
<派遣形態別>								
登録型派遣社員	2529	70.1	3.6	20.6	3.0	1.1	1.6	27.2
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	71.8	3.1	18.4	2.9	0.9	2.8	24.4
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	67.5	3.2	21.6	1.8	1.7	4.2	26.6
<派遣先業務別>								
オフィスワーク系	2344	70.0	4.0	20.9	2.9	1.4	1.0	27.7
26業務	1671	69.7	4.1	21.2	2.8	1.3	1.0	28.1
26業務以外の経理・会計・金融	385	72.2	3.4	18.7	2.9	1.6	1.3	24.9
26業務以外のその他	288	68.4	3.8	21.9	3.5	1.7	0.7	29.2
医療・福祉系	160	82.5	0.0	7.5	3.1	2.5	4.4	10.6
営業・販売系	124	71.8	0.8	17.7	1.6	1.6	6.5	20.2
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	65.1	4.7	23.5	2.5	1.0	3.3	30.7
情報処理システム開発	222	62.6	8.6	19.4	4.1	0.9	4.5	32.0
機械設計	169	60.4	3.0	32.5	1.8	0.6	1.8	37.3
その他	545	67.5	3.7	22.4	2.0	1.1	3.3	28.1
製造業務系	566	71.4	1.8	20.5	2.5	0.4	3.5	24.7
軽作業系	208	79.3	0.0	14.9	1.9	1.0	2.9	16.8
その他	77	71.4	1.3	10.4	7.8	1.3	7.8	19.5
<自分の賃金の世間相場への意識>								
意識している	2461	62.6	4.6	26.8	3.1	1.5	1.5	34.4
ほとんど意識していない	1957	80.7	2.0	12.4	2.5	0.8	1.7	16.8
<稼働派遣会社数別>								
1社	3011	71.0	3.2	19.9	2.8	1.3	1.8	25.9
2～3社	878	67.9	4.7	23.0	2.7	0.8	0.9	30.4
4社以上	125	66.4	2.4	27.2	1.6	0.8	1.6	31.2
<グループ会社の別>								
グループ会社である	1111	78.8	2.5	13.5	2.3	1.0	1.8	18.4
グループ会社ではない・わからない	3310	67.5	3.6	22.7	2.9	1.2	2.2	29.1
<派遣元の定期的なフォローの頻度>								
月に数回	390	68.7	2.3	21.5	1.5	1.5	4.4	25.4
1ヵ月に1度くらい	1187	68.1	3.8	22.3	2.6	0.9	2.3	28.7
3ヵ月に1度くらい	1220	64.0	4.1	25.4	4.0	1.1	1.4	33.5
半年に1度くらい	378	72.8	3.7	18.5	2.6	1.6	0.8	24.9
1年に1度くらい	400	85.8	1.0	9.3	1.3	0.8	2.0	11.5
ほとんどフォローはない	813	74.4	3.3	16.0	2.5	1.6	2.2	21.8

※「派遣元・派遣先に何らかの相談をした」は、「派遣先・派遣元に相談した」「派遣元にのみ相談した」「派遣先にのみ相談した」の合計。

7-4. 時給額の上昇経験

現在の派遣先で時給額の変化を尋ねたところ、「上がった」経験があるのは32.3%、「変わらない」が62.8%、「下がった」が4.9%だった。これを自分の賃金の世間相場への意識別にみると、意識の有無にかかわらず「上がった」とする割合は3割程度だった。時給額上昇の相談状況別にみると、「上がった」割合がもっとも高いのは、「派遣先・派遣元に相談した」で、次いで、「派遣先にのみ相談した」「派遣元にのみ相談した」の順。「誰にも相談していない」「派遣元・先以外に相談した」とする者の「上がった」とする割合は低い。

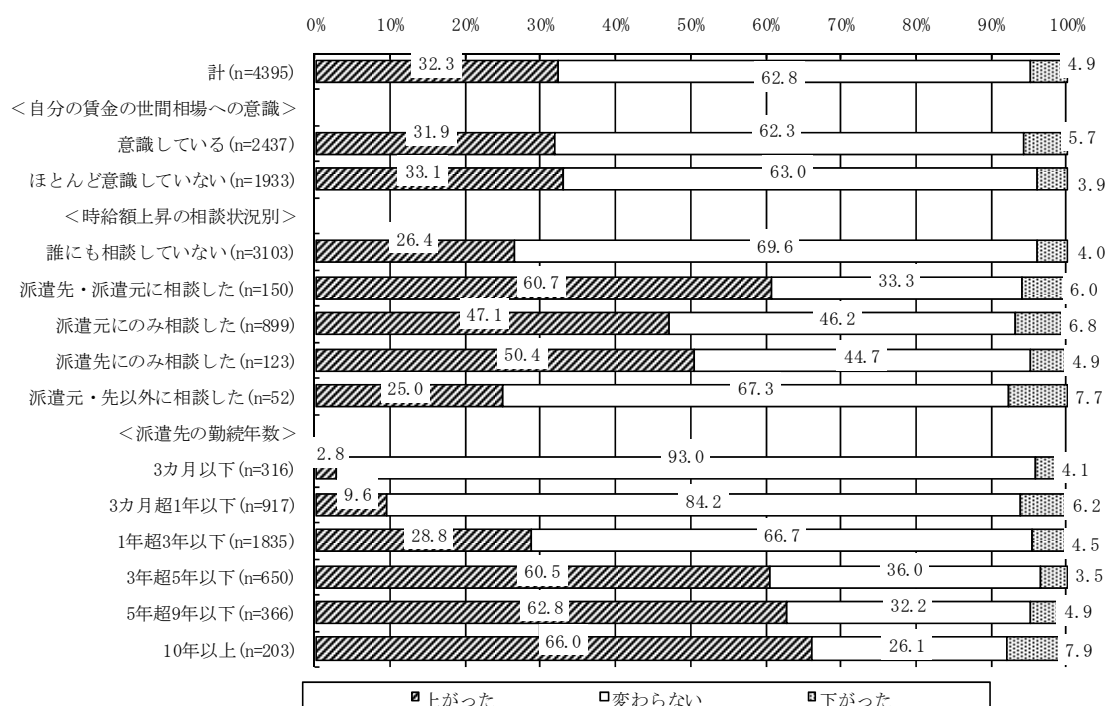
派遣先の勤続年数別にみると、勤続が長くなるほど「上がった」とする割合は高まる。「上がった」割合は、「3ヵ月以下」が2.8%、「3ヵ月超1年以下」で9.6%と低い、「1年超3年以下」では28.8%とその割合が高まり、3年超（「3年超5年以下」「5年超9年以下」「10年以上」）では6割が時給額の上昇を経験している（図7-3）。

次に、仕事量、仕事の責任、仕事の難易度、仕事の範囲の変化別にそれぞれみると、いずれも、「変化なし・低下（縮小）」よりも、「上昇（拡大）」のほうが「上がった」とする割合

は高い。なお、調査では、「現在の派遣先で、自ら進んで仕事の範囲を広げることがあります
か」についても尋ねている。そこで、自ら進んで仕事の範囲を広げることの有無別にみると、
仕事の範囲を広げることが多い者ほど、「上がった」とする割合は高い（表 7-6）。

なお、時給額の変化を派遣形態別にみると、いずれの派遣形態も「上がった」とする割合
は 3 割程度。「下がった」とする割合は、わずかではあるが、「常用型派遣社員（期間の定め
なし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で割合が高い。派遣先
の業務別にみると、「上がった」とする割合は、「オフィスワーク系」でもっとも高く、次い
で、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」などとなっている。逆に、「上がった」とする割
合が低いのは、「製造業務系」「その他」「医療・福祉系」「軽作業系」など（とくに「軽作業
系」では「下がった」とする割合が 9.2%と高い。）。「オフィスワーク系」を中分類でみると、
「26 業務以外の経理・会計・金融」で「上がった」とする割合がもっとも高かった。「IT 技
術・クリエイティブ、専門職系」を中分類でみると、「機械設計」で「上がった」割合がもっ
とも高い。グループ会社の別でみると、「グループ会社である」ほうが、「上がった」とする
割合が高い（表 7-7）。そこで、時給額の相談の有無別に分けたうえで、派遣元のグループ会
社の別にみると、「上がった」とする割合は、時給額の相談をした者では、「グループ会社で
ある」で 52.8%、「グループ会社ではない・わからない」で 47.1%となっており、「グループ
会社である」者のほうがわずかに高い。一方、時給額の相談をしなかった者では、「グループ
会社である」で 44.4%、「グループ会社ではない・わからない」で 19.4%となっており、「グ
ループ会社である」ほうが 25.0 ポイント高い（表 7-8）。

図 7-3：時給額の変化



※無回答を除き集計。

表 7-6：仕事の変化からみた時給額の変化の状況
(単位＝%)

	n数	上がった	変わらない	下がった
<仕事量の上昇の有無別>	4395	32.3	62.8	4.9
上昇	2636	37.4	58.0	4.6
変化なし・低下	1725	24.8	69.8	5.4
<仕事の責任の上昇の有無別>				
上昇	2473	37.0	58.2	4.7
変化なし・低下	1896	26.3	68.6	5.1
<仕事の難易度の上昇の有無別>				
上昇	2138	40.3	55.1	4.6
変化なし・低下	2222	24.9	69.9	5.2
<仕事範囲の拡大の有無別>				
上昇	2576	38.2	57.1	4.6
変化なし・低下	1786	24.0	70.7	5.3
<自ら進んで仕事の範囲を広げること>				
よくある	560	38.8	55.9	5.4
たまにある	2317	33.4	61.4	5.2
ほとんどない	1495	28.2	67.5	4.3

※無回答を除き集計。

表 7-7：時給額の変化の状況
(単位＝%)

	n数	上がった	変わらない	下がった
計	4395	32.3	62.8	4.9
<派遣形態別>				
登録型派遣社員	2511	30.3	65.8	3.9
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1144	35.5	59.3	5.2
常用型派遣社員（期間の定めなし）	740	34.1	58.1	7.8
<派遣先業務別>				
オフィスワーク系	2327	37.9	59.0	3.1
26業務	1658	36.2	60.9	2.9
26業務以外の経理・会計・金融	382	48.7	48.4	2.9
26業務以外のその他	287	33.8	61.7	4.5
医療・福祉系	160	17.5	79.4	3.1
営業・販売系	121	25.6	66.1	8.3
IT技術・クリエイティブ、専門職系	893	35.5	57.7	6.8
情報処理システム開発	211	30.3	59.7	10.0
機械設計	158	50.6	43.7	5.7
その他	524	33.0	61.1	5.9
製造業務系	558	15.6	76.7	7.7
軽作業系	206	21.8	68.9	9.2
その他	76	17.1	80.3	2.6
<グループ会社の別>				
グループ会社である	1096	45.6	50.5	3.8
グループ会社ではない・わからない	3256	27.9	66.9	5.3

※無回答を除き集計。

表 7-8：時給額の相談の有無別・グループ会社別にみた時給額の変化
(単位＝%)

			上がった	変わらない	下がった
相談あり	何らかの相談をした・計	1224	48.1	45.3	6.5
	＜グループ会社の別＞				
	グループ会社である	214	52.3	41.6	6.1
	グループ会社ではない・わからない	999	47.1	46.3	6.5
相談なし	誰にも相談していない・計	3103	26.4	69.6	4.0
	＜グループ会社の別＞				
	グループ会社である	867	44.4	52.5	3.1
	グループ会社ではない・わからない	2210	19.4	76.3	4.3

※無回答を除き集計。

7-5. 時給額の上昇額

現在の派遣先で時給額が「上がった」とする者について、その通算の上昇額を尋ねたところ、「50～100 円未満」が 29.2%と割合がもっとも高く、次いで「100～200 円未満」が 22.0%となっている。派遣形態別にみると、上昇金額は、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高い。派遣先の勤続年数別にみると、当然ながら勤続年数が上がるほど通算の上昇額は高まる。最近の単年度の上昇額をみるため、勤続が「1 年以下」の者について確認すると、「50～100 円未満」が 42.4%であり、次いで「100～200 円未満」が 28.3%となっていた（平均値は 103.6 円、中央値は 50 円。）（図 7-4 参照。なお、派遣形態別・派遣先の勤続年数別にみた上昇額については表 7-9 を参照。）。

時間給が上がった理由は、「派遣期間が長くなったから」が 49.5%と最も多く、次いで、「仕事の幅・量が増えたから」「習熟（熟練化）したから」「仕事ぶりが評価されたから」「仕事内容がより高度なものになったから」などの順となっている（図 7-5）。派遣形態別にみると、上位の順位にほとんど違いはないが、「仕事の幅・量が増えたから」「習熟（熟練化）したから」「仕事ぶりが評価されたから」「仕事内容がより高度なものになったから」「正社員

と同様の仕事をするようになったから」「リーダーなど、後輩社員を指導する立場になったから」などで、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」に比べ「常用型派遣社員（期間の定めなし）」のほうが割合が高くなっている。一方、「派遣期間が長くなったから」は、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」の順で割合が高い（図 7-6）。

図 7-4：時給の上昇額

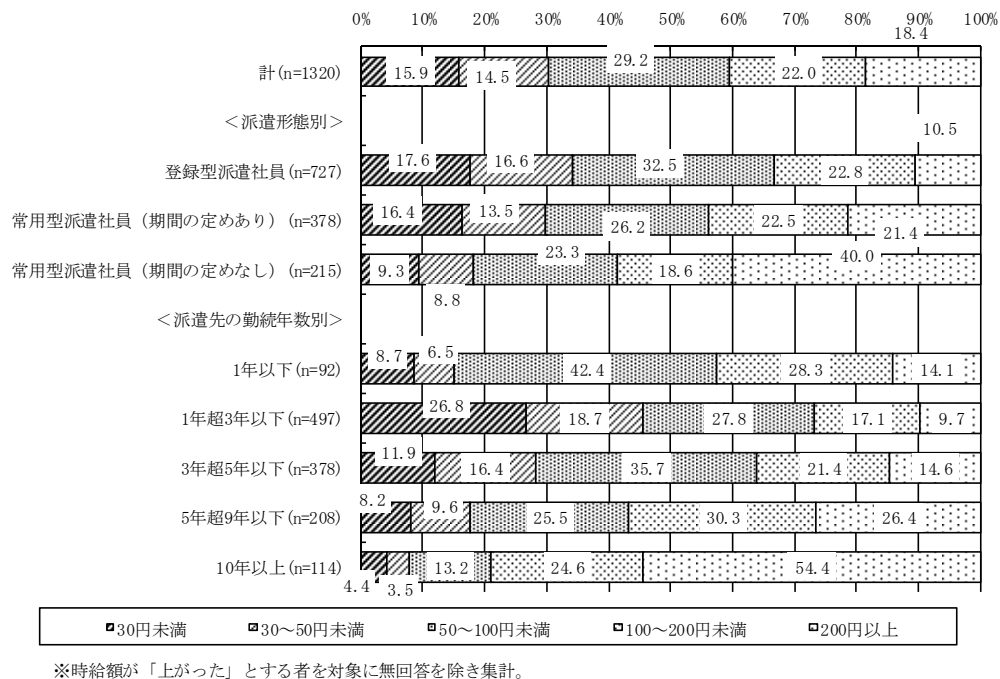


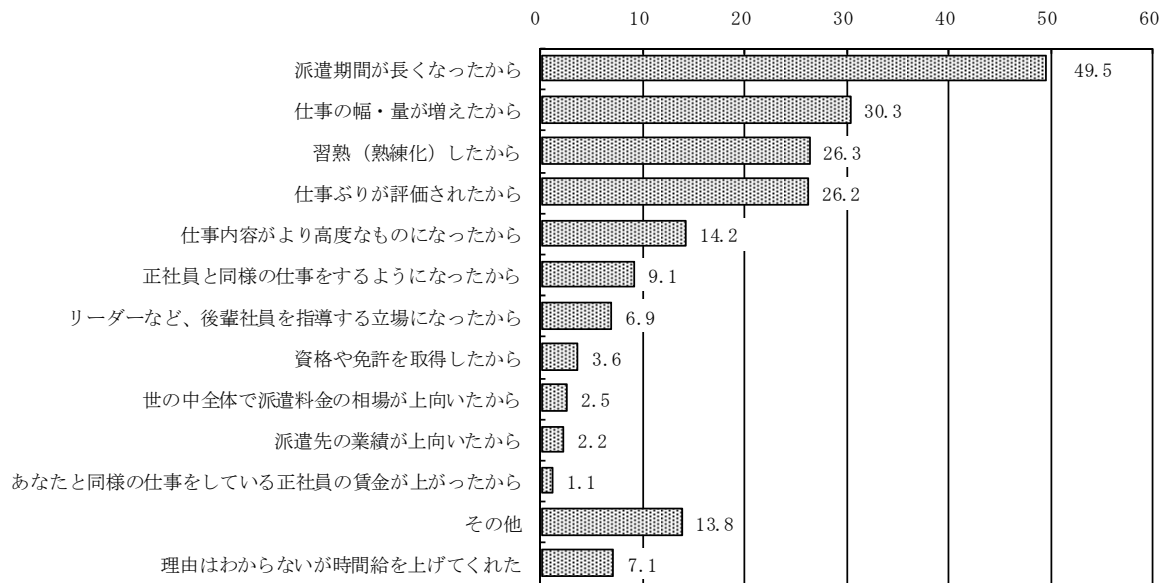
表 7-9：時給の上昇額

（単位＝％）

	n数	30円未満	30～50円未満	50～100円未満	100～200円未満	200円以上
登録型派遣社員・計	727	17.6	16.6	32.5	22.8	10.5
<派遣先の勤続年数別>						
1年以下	48	6.3	6.3	50.0	31.3	6.3
1年超3年以下	294	29.3	21.8	27.2	15.6	6.1
3年超5年以下	227	10.6	15.9	39.6	23.3	10.6
5年超9年以下	99	11.1	13.1	32.3	34.3	9.1
10年以上	46	8.7	4.3	13.0	30.4	43.5
常用型派遣社員（期間の定めあり）・計	378	16.4	13.5	26.2	22.5	21.4
<派遣先の勤続年数別>						
1年以下	25	16.0	8.0	24.0	40.0	12.0
1年超3年以下	140	25.7	12.9	29.3	18.6	13.6
3年超5年以下	102	14.7	22.5	27.5	14.7	20.6
5年超9年以下	61	6.6	9.8	26.2	31.1	26.2
10年以上	42	2.4	0.0	19.0	31.0	47.6
常用型派遣社員（期間の定めなし）・計	215	9.3	8.8	23.3	18.6	40.0
<派遣先の勤続年数別>						
1年以下	19	5.3	5.3	47.4	5.3	36.8
1年超3年以下	63	17.5	17.5	27.0	20.6	17.5
3年超5年以下	49	12.2	6.1	34.7	26.5	20.4
5年超9年以下	48	4.2	2.1	10.4	20.8	62.5
10年以上	26	0.0	7.7	3.8	3.8	84.6

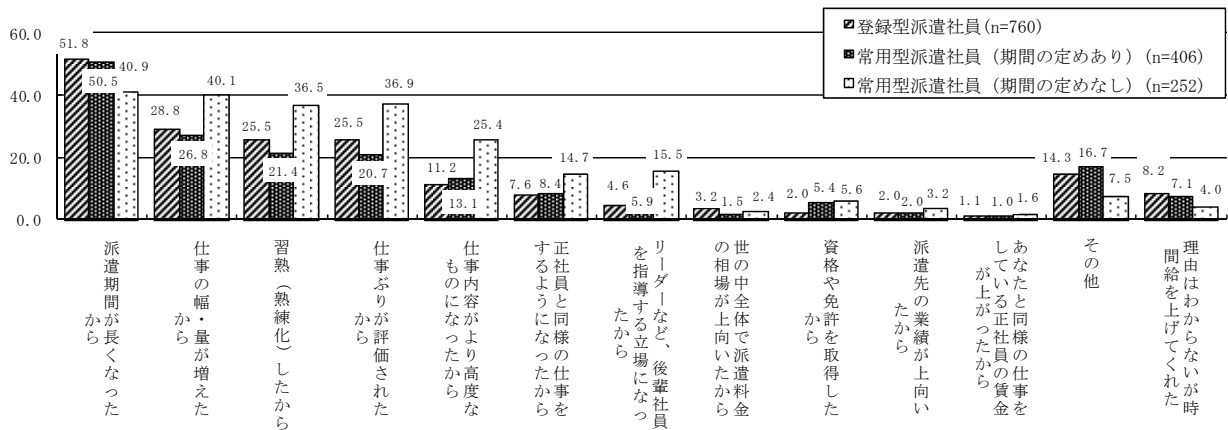
※時給額が「上がった」者を対象に無回答を除き集計。

図 7-5：時給額が上がった理由 (n=1418、複数回答、単位=%)



※時給が「上がった」者を対象に集計。

図 7-6：時給額が上がった理由（複数回答、単位=%)



※時給が「上がった」者を対象に集計。

7-6. 賃金の満足度

現在の派遣先の賃金の満足度は、「満足している」（「満足」「やや満足」の合計。）は47.1%と、半数弱が満足していた。派遣先の時給上昇経験別にみると、「満足している」割合は、時給額が「上がった」で46.8%、「変わらない」で48.9%であり、両者にほとんど差はないが、時給額が「下がった」とする者で「満足している」割合はもっとも低くなっている。そこで、派遣先の時給額別にみると、時給額が上がるほど、賃金の満足度は高まる傾向にある。時給額が上昇するか、変わらなくとも満足度に差はないが、時給額の額そのものの高低は満足度に大きく影響を与えるようである（図 7-7）。派遣先の勤続年数別にみると、勤続年数が長くなるほど、賃金に対する不満が高まる傾向にある（図 7-8）。

派遣形態別にみると、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」の順で「満足している」割合は高い。派遣先の業務別にみると、「満足している」の割合は、「軽作業系」で43.8%ともっとも低くなっている。

自分の賃金の世間相場への意識別にみると、世間相場を「ほとんど意識していない」者よりも「意識している」者のほうが、「満足している」割合は低い（表 7-10）。

図 7-7：賃金の満足度

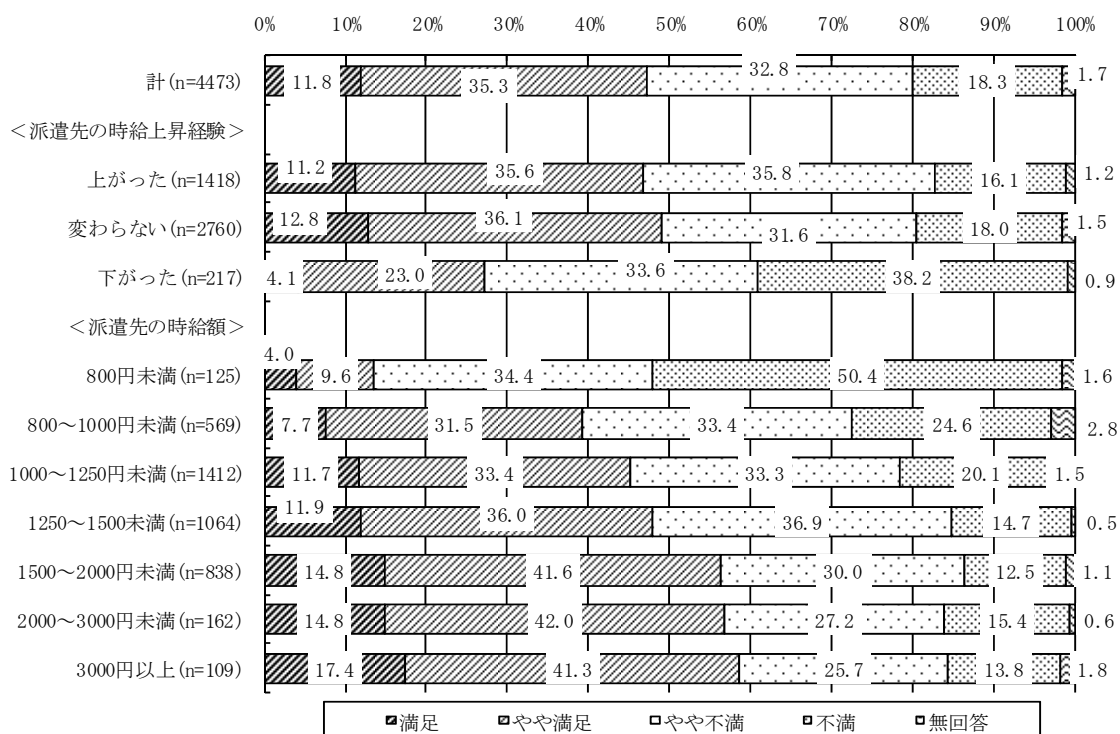


図 7-8：賃金の満足度

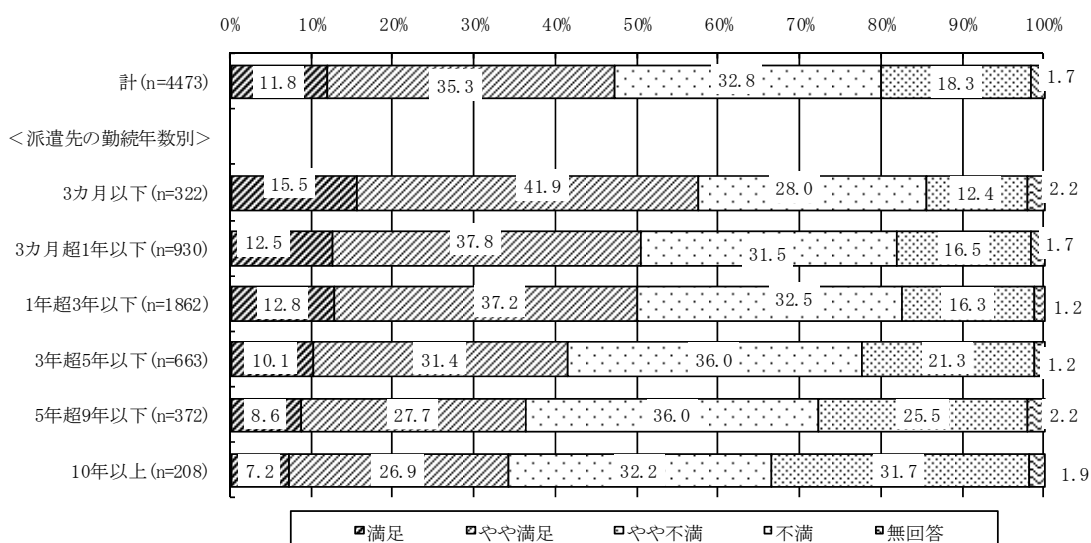


表 7-10：賃金の満足度

(単位＝%)

	n数	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	満足計	不満計
計	4473	11.8	35.3	32.8	18.3	1.7	47.2	51.2
<派遣形態別>								
登録型派遣社員	2529	12.5	38.0	33.1	14.8	1.5	50.6	47.9
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	12.0	32.7	32.2	21.5	1.6	44.7	53.6
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	9.4	30.6	32.7	25.2	2.2	39.9	57.9
<派遣先業務別>								
オフィスワーク系	2344	11.9	35.8	34.7	16.6	1.0	47.7	51.3
26業務	1671	12.6	37.3	33.6	15.3	1.1	50.0	48.9
26業務以外の経理・会計・金融	385	10.4	31.4	35.8	21.6	0.8	41.8	57.4
26業務以外のその他	288	9.7	32.3	39.9	17.4	0.7	42.0	57.3
医療・福祉系	160	8.1	36.9	27.5	26.9	0.6	45.0	54.4
営業・販売系	124	12.9	39.5	32.3	12.9	2.4	52.4	45.2
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	11.6	34.0	31.2	21.5	1.7	45.6	52.7
情報処理システム開発	222	9.5	35.6	32.4	19.8	2.7	45.0	52.3
機械設計	169	6.5	39.1	33.1	20.7	0.6	45.6	53.8
その他	545	14.1	31.7	30.1	22.4	1.7	45.9	52.5
製造業務系	566	11.1	36.9	30.4	19.1	2.5	48.1	49.5
軽作業系	208	13.5	30.3	36.1	18.3	1.9	43.8	54.3
その他	77	15.6	35.1	22.1	20.8	6.5	50.6	42.9
<自分の賃金の世間相場への意識>								
意識している	2461	8.4	30.2	35.0	25.2	1.2	38.6	60.2
ほとんど意識していない	1957	16.3	41.6	30.6	10.0	1.5	57.9	40.5

8. 能力開発

8-1. 現在の派遣先の能力開発の現状

調査では、「現在の派遣先では、あなたのキャリアを伸ばすような仕事を与えることがあるか」尋ねている。それによれば、「よくある」が 9.9%、「たまにある」が 42.6%であり、「ほとんどない」が 46.4%となっている。これを派遣形態別にみると、「登録型派遣社員」から「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」と雇用の安定の度合いが強くなるほど、「よくある」「たまにある」の割合が高まる一方、「ほとんどない」の割合は低下する傾向にある。

派遣先の規模別にみると、規模が大きくなるほど、「よくある」「たまにある」の割合が高まる一方で、「ほとんどない」の割合は低下する。派遣先の業務別にみると、「よくある」の割合は、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」で 21.0%ともっとも高い。これを中分類でみると、「機械設計」で 33.1%ともっとも高くなっている。

仕事の判断業務のレベル別にみると、仕事の判断のレベルが高まるほど、「よくある」とする割合が高くなる（表 8-1）。

そこで、仕事量、仕事の責任、仕事の難易度、仕事の範囲の変化別にそれぞれみると、いずれも、「変化なし・低下（縮小）」とするものよりも、「上昇（拡大）」とする者のほうが「よくある」とする割合が高くなっている（図 8-1）。

次に、「現在の派遣先で、自ら進んで仕事の範囲を広げることがありますか」と尋ねたところ、「よくある」が 12.8%、「たまにある」が 52.5%であり、「ほとんどない」が 33.8%となっていた。これを、派遣先でキャリアを伸ばすような仕事の有無別にみてみると、そのような

仕事があるとする者ほど、自ら仕事を進んで仕事の範囲を広げる傾向にあった（図 8-2）。

表 8-1：派遣先でキャリアを伸ばすような仕事を与えることがあるか（単位＝％）

	n数	よくある	たまにある	ほとんどない	無回答
計	4473	9.9	42.6	46.4	1.1
＜派遣形態別＞					
登録型派遣社員	2529	7.4	39.8	51.6	1.2
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	9.5	42.4	47.2	0.9
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	19.0	52.0	28.1	0.9
＜現在の派遣先の規模別＞					
99人以下	340	7.9	36.2	54.4	1.5
100～299人	1270	9.6	40.9	48.1	1.3
300人～999人	1137	10.3	42.8	46.3	0.6
1000人以上	1723	10.4	44.9	43.6	1.1
＜派遣先業務別＞					
オフィスワーク系	2344	6.4	39.9	52.7	1.0
26業務	1671	6.2	39.6	53.3	1.0
26業務以外の経理・会計・金融	385	9.9	41.6	47.8	0.8
26業務以外のその他	288	3.5	39.6	55.9	1.0
医療・福祉系	160	11.3	50.0	38.8	0.0
営業・販売系	124	8.9	46.0	45.2	0.0
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	21.0	51.7	26.8	0.4
情報処理システム開発	222	19.8	56.8	23.4	0.0
機械設計	169	33.1	52.7	13.6	0.6
その他	545	17.8	49.4	32.3	0.6
製造業務系	566	8.3	40.3	49.5	1.9
軽作業系	208	4.8	34.6	58.7	1.9
その他	77	6.5	36.4	55.8	1.3
＜仕事の判断業務のレベル別＞					
定型的な仕事	1272	4.4	32.2	62.0	1.3
本人の判断もある程度必要な仕事	1917	11.2	49.2	38.9	0.7
おおむね本人の判断による仕事	1045	12.9	45.2	41.0	1.0
本人の判断によって行われる仕事	211	17.5	34.1	46.0	2.4

図 8-1：派遣先でキャリアを伸ばすような仕事を与えることがあるか

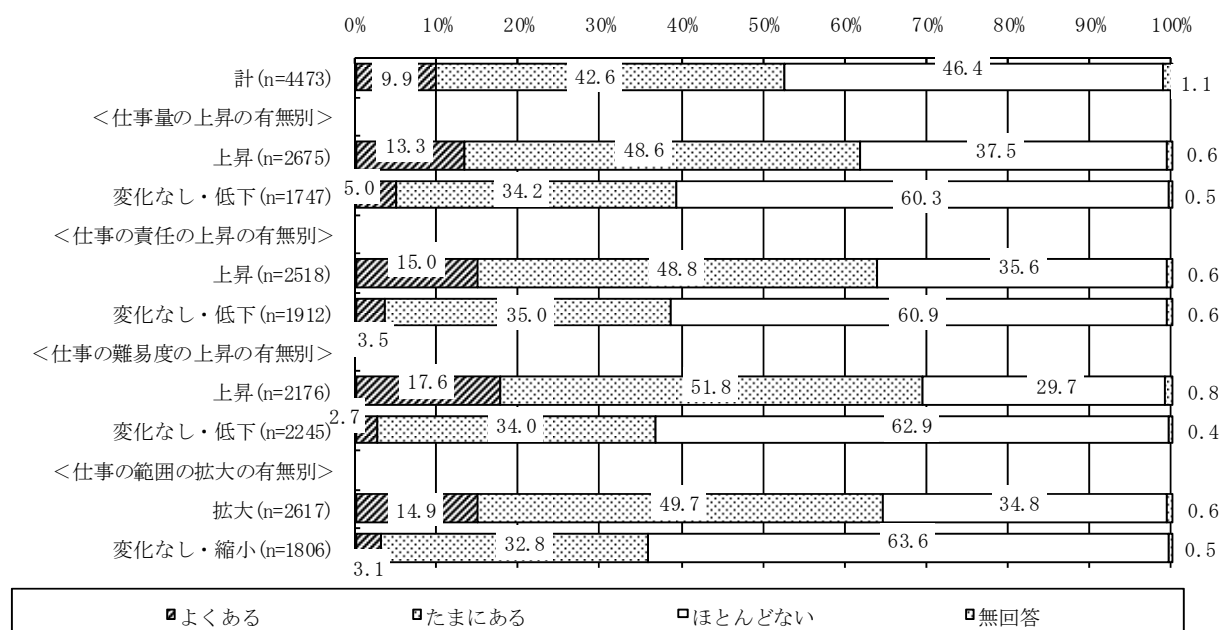
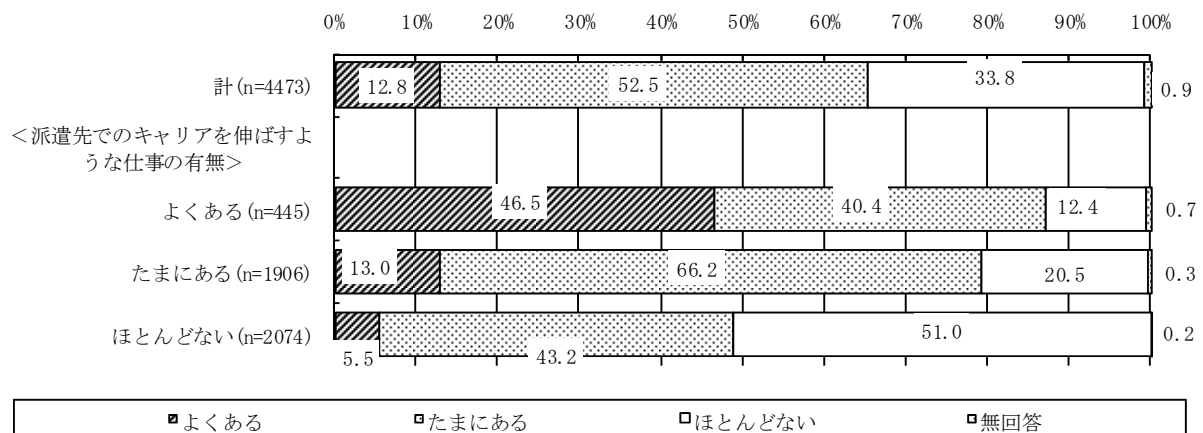


図 8-2：現在の派遣先で自ら進んで仕事の範囲を広げることがあるか



8-2. 現在の派遣先の能力開発の満足度

現在の派遣先の能力開発の満足度は、「満足している」（「満足」「やや満足」の合計。）が56.8%と、半数強が満足していた。派遣形態別にみると、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高い（図 8-3）。

次に、これを派遣先の規模別にみると、規模が大きくなるほど、おおむね「満足している」割合はわずかながら高まる。業務別にみると、「満足している」割合は、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」でもっとも高く、次いで、「営業・販売系」「医療・福祉系」「製造業務系」などが高い。「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」について中分類でみると、「機械設計」で65.7%と高かった。

仕事の判断業務のレベル別にみると、判断業務が多い「本人の判断によって行われている仕事」でもっとも「満足している」割合が低く、「本人の判断もある程度必要な仕事」でもっとも割合が高くなっている。

派遣先の勤続年数別にみると、勤続年数にかかわらず「満足している」割合は5割強程度で変わらない（表 8-2）。

そこで、仕事量、仕事の責任、仕事の難易度、仕事の範囲の変化別にそれぞれみると、いずれも、「変化なし・低下（縮小）」とするものよりも、「上昇（拡大）」とする者のほうが「満足している」割合が高くなっている。キャリアを伸ばす仕事の有無別にみると、そのような仕事が多い者ほど、「満足している」割合は高かった（図 8-4）。

仕事の範囲の拡大の有無で分けたうえで、キャリアを伸ばす仕事の有無別にみると、キャリアを伸ばす仕事が「よくある」「たまにある」については、仕事の範囲が「変化なし・縮小」だった者より、「拡大」した者のほうが、「満足している」割合が高くなっている（とくに仕事の範囲が拡大した者のうち、キャリアを伸ばす仕事が「よくある」とする者の「満足している」割合は84.1%）。一方、キャリアを伸ばす仕事が「ほとんどない」についてみると、

仕事の範囲が「拡大」した者より、「変化なし・縮小」した者のほうが、「満足している」割合がわずかながら高くなっている。仕事の範囲が拡大しても、キャリアを伸ばすような仕事があれば、満足度は高まらないようである（表 8-3）。

図 8-3：現在の派遣先の能力開発の満足度

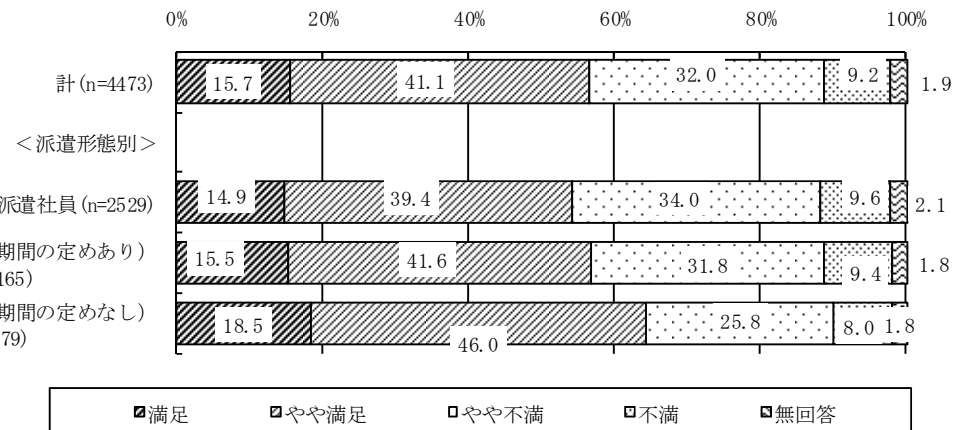


表 8-2：現在の派遣先の能力開発の満足度

（単位＝％）

	n数	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	満足計	不満計
計	4473	15.7	41.1	32.0	9.2	1.9	56.8	41.2
<現在の派遣先の規模別>								
99人以下	340	13.8	41.5	32.1	10.6	2.1	55.3	42.6
100～299人	1270	15.9	39.3	32.8	9.5	2.4	55.2	42.4
300人～999人	1137	15.7	41.4	31.7	9.1	2.2	57.1	40.7
1000人以上	1723	15.9	42.3	31.6	8.8	1.4	58.2	40.5
<派遣先業務別>								
オフィスワーク系	2344	14.0	38.6	35.8	10.0	1.6	52.6	45.8
26業務	1671	14.5	37.9	35.5	10.4	1.7	52.4	45.9
26業務以外の経理・会計・金融	385	10.9	42.9	36.1	8.3	1.8	53.8	44.4
26業務以外のその他	288	15.3	36.5	37.2	10.1	1.0	51.7	47.2
医療・福祉系	160	11.3	49.4	27.5	9.4	2.5	60.6	36.9
営業・販売系	124	12.9	50.0	27.4	7.3	2.4	62.9	34.7
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	21.0	42.8	25.4	9.8	0.9	63.9	35.3
情報処理システム開発	222	18.9	44.6	27.9	7.7	0.9	63.5	35.6
機械設計	169	18.9	46.7	27.2	5.9	1.2	65.7	33.1
その他	545	22.6	40.9	23.9	11.9	0.7	63.5	35.8
製造業務系	566	14.1	45.8	30.0	7.4	2.7	59.9	37.5
軽作業系	208	18.8	39.4	32.2	6.3	3.4	58.2	38.5
その他	77	18.2	39.0	27.3	10.4	5.2	57.1	37.7
<仕事の判断業務のレベル別>								
定型的な仕事	1272	15.5	39.9	32.8	9.4	2.4	55.3	42.2
本人の判断もある程度必要な仕事	1917	16.3	42.8	32.1	7.4	1.5	59.1	39.4
おおむね本人の判断による仕事	1045	14.8	41.2	31.2	10.7	2.0	56.1	41.9
本人の判断によって行われる仕事	211	16.1	33.2	30.8	18.0	1.9	49.3	48.8
<現在の派遣先の勤続年数>								
1年以下	1252	17.5	40.0	30.3	9.9	2.3	57.5	40.2
1年超3年以下	1862	15.4	42.3	32.6	8.1	1.7	57.7	40.7
3年超5年以下	663	14.9	40.0	33.2	10.0	2.0	54.9	43.1
5年超9年以下	372	12.9	40.1	35.5	10.5	1.1	53.0	46.0
10年以上	208	13.0	44.7	28.4	12.0	1.9	57.7	40.4

図 8-4：現在の派遣先の能力開発の満足度

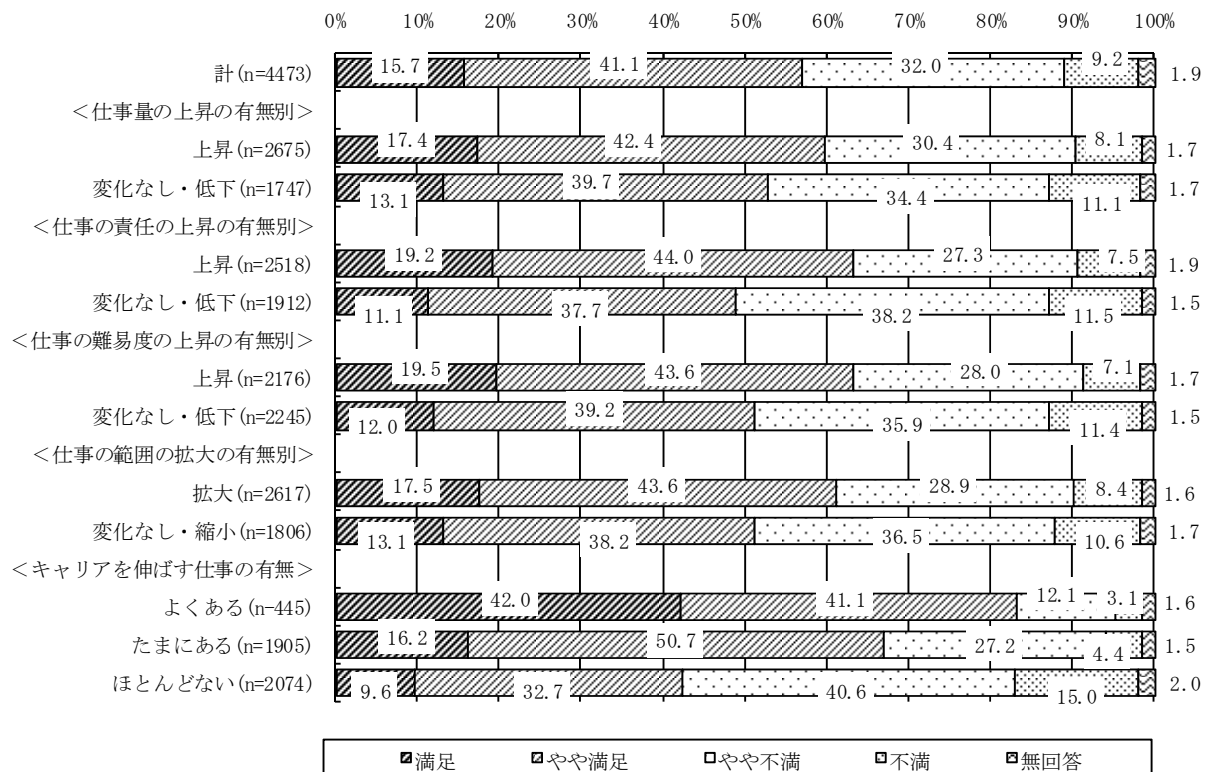


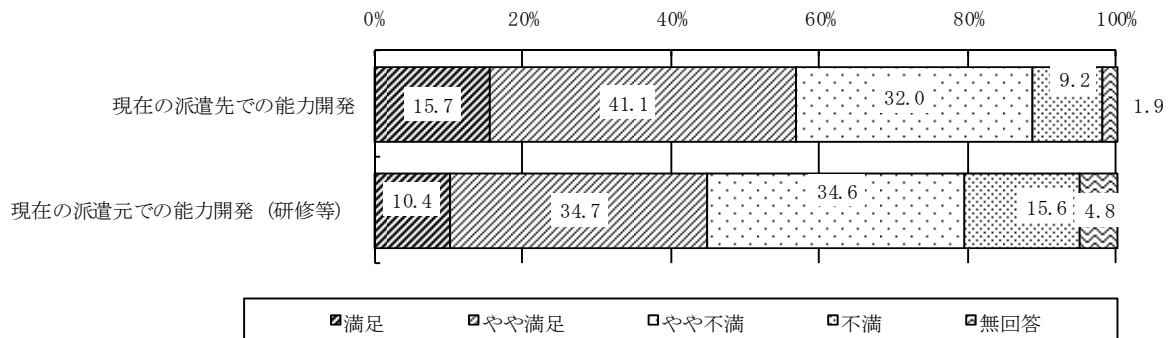
表 8-3：仕事の範囲の拡大の有無別・キャリアを伸ばす仕事の有無別にみた満足度 (単位=%)

		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	満足計	不満計
仕事の範囲拡大・計	2617	17.5	43.6	28.9	8.4	1.6	61.1	37.3
<キャリアを伸ばす仕事の有無別>								
よくある	389	42.9	41.1	11.8	2.6	1.5	84.1	14.4
たまにある	1301	16.0	52.1	26.1	4.5	1.3	68.1	30.6
ほとんどない	910	9.0	32.6	39.9	16.5	2.0	41.6	56.4
仕事の範囲変化なし・縮小・計	1806	13.1	38.2	36.5	10.6	1.7	51.2	47.1
<キャリアを伸ばす仕事の有無別>								
よくある	56	35.7	41.1	14.3	7.1	1.8	76.8	21.4
たまにある	593	16.5	47.9	29.7	4.4	1.5	64.4	34.1
ほとんどない	1148	10.2	32.9	41.1	14.0	1.7	43.1	55.1

8-3. 派遣先と派遣元の能力開発に対する満足度

調査では、派遣先、派遣元双方の能力開発の満足度を尋ねている。現在の派遣元の能力開発の満足度について、「満足している」（「満足」「やや満足」の合計。）のは 45.1%で、前述した派遣先の能力開発と比較すると、「満足している」割合は 11.7 ポイント低くなっている。派遣社員は、能力開発面では、派遣元よりも派遣先の満足度のほうが高いようである（図 8-5）。

図 8-5：派遣先・派遣元の能力開発に対する満足度



8-4. これまでの能力開発手法

調査では、これまでに「自学自習」と「派遣先の OJT」のいずれの方法で能力開発を行ってきたか尋ねている。それによれば、「自学自習」（「A（自学自習を通じて）に近い」「どちらかといえば A に近い」の合計。）が 62.9%、「派遣先の OJT」（「B（派遣先の OJT を通じて）に近い」「どちらかといえば B に近い」の合計。）が 32.0%となっていた。派遣社員の 6 割強は、自学自習によって能力を高めてきたと考えているようだ。

「派遣先 OJT」の割合を正社員経験別にみると、正社員の経験がある者よりもない者のほうがその割合は高い。調査では、初職の就業形態及び正社員経験の有無を尋ねているため、これを踏まえ派遣に至る経歴別にみると、「初職派遣社員で派遣」になった者で「派遣先の OJT」の割合がもっとも高くなっていた（図 8-6）。初職から派遣社員をしている場合、派遣先の OJT によって能力開発ができたとの意識が高くなるのかもしれない。

これを派遣形態別にみると、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」の順で、「自学自習」の割合が高い（図 8-7）。

次に、現在の派遣先の規模別にみると、規模が大きくなるほど「派遣先の OJT」の割合は高まる。派遣先の業務別にみると、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」「製造業務系」で「派遣先の OJT」の割合は高くなっている。「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」について中分類でみると「機械設計」でもっとも高い。

仕事内容の判断業務のレベル別にみると、判断業務が増えるほど、「自学自習」の割合は高まる傾向にある。自らの仕事の範囲を広げる経験の有無別にみると、自ら進んで仕事の範囲を広げる者のほうが「自学自習」の割合は高い。キャリアにつながる仕事の有無別にみると、そのような仕事がよくあるという者ほど「派遣先の OJT」の割合は高まる傾向にある（表 8-4）。

図 8-6：能力開発手法

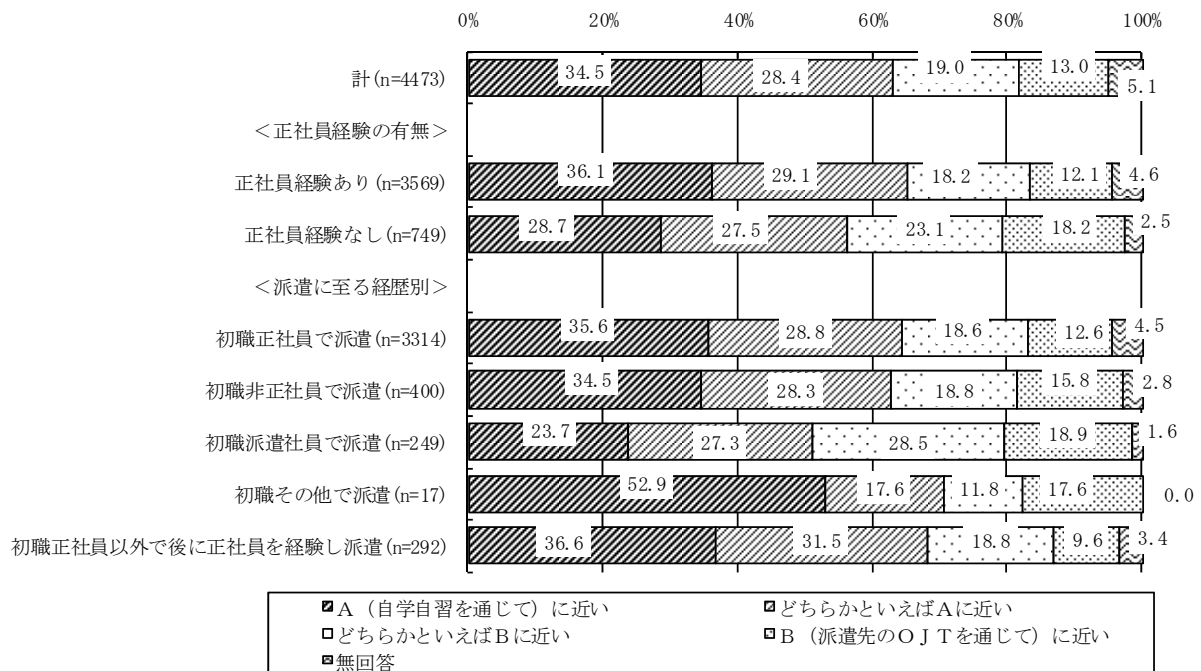


図 8-7：能力開発手法

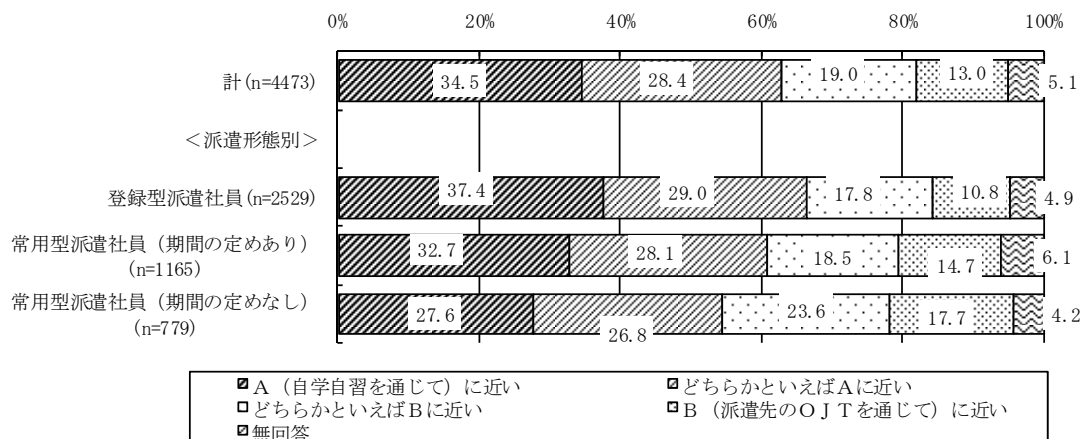


表 8-4：能力開発手法

(単位＝%)

	n数	A（自学 自習を通 じて）に 近い	どちらか といえば Aに近い	どちらか といえば Bに近い	B（派遣 先のO J Tを通じ て）に近 い	無回答	自学自習 計	派遣先の OJT計
計	4473	34.5	28.4	19.0	13.0	5.1	62.9	32.0
<現在の派遣先の規模別>								
99人以下	340	45.0	21.2	15.3	9.4	9.1	66.2	24.7
100～299人	1270	34.6	31.2	16.4	11.7	6.1	65.7	28.1
300人～999人	1137	35.1	29.4	16.8	13.2	5.5	64.5	30.0
1000人以上	1723	32.0	27.1	23.0	14.6	3.3	59.1	37.7
<派遣先業務別>								
オフィスワーク系	2344	38.2	30.8	17.4	11.1	2.6	68.9	28.5
26業務	1671	40.0	30.8	16.9	9.8	2.5	70.9	26.6
26業務以外の経理・会計・金融	385	35.8	29.1	18.4	15.1	1.6	64.9	33.5
26業務以外のその他	288	30.6	32.6	18.8	13.5	4.5	63.2	32.3
医療・福祉系	160	32.5	30.6	21.9	8.1	6.9	63.1	30.0
営業・販売系	124	39.5	25.0	15.3	12.1	8.1	64.5	27.4
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	35.4	23.6	23.5	14.9	2.7	59.0	38.4
情報処理システム開発	222	35.1	23.4	24.3	16.2	0.9	58.6	40.5
機械設計	169	29.0	19.5	30.8	20.1	0.6	48.5	50.9
その他	545	37.4	25.0	20.9	12.7	4.0	62.4	33.6
製造業務系	566	23.7	27.0	20.0	18.2	11.1	50.7	38.2
軽作業系	208	25.5	27.9	14.9	16.8	14.9	53.4	31.7
その他	77	26.0	29.9	13.0	16.9	14.3	55.8	29.9
<仕事の判断業務のレベル別>								
定型的な仕事	1272	30.1	28.5	20.2	14.9	6.3	58.6	35.1
本人の判断もある程度必要な仕事	1917	35.2	28.5	19.8	12.5	4.0	63.7	32.3
おおむね本人の判断による仕事	1045	36.0	28.1	18.2	12.3	5.4	64.1	30.5
本人の判断によって行われる仕事	211	48.8	26.5	9.0	11.4	4.3	75.4	20.4
<自ら仕事の範囲を広げる経験の有無>								
よくある	574	45.5	24.2	15.5	11.0	3.8	69.7	26.5
たまにある	2349	34.2	28.9	19.6	13.1	4.1	63.2	32.7
ほとんどない	1510	30.7	29.3	19.4	13.8	6.7	60.1	33.2
<キャリアにつながる仕事の有無>								
よくある	445	37.3	22.7	22.7	14.6	2.7	60.0	37.3
たまにある	1906	31.5	28.1	21.3	14.8	4.3	59.6	36.1
ほとんどない	2074	36.7	30.1	16.2	11.1	5.9	66.8	27.2

8-5. これまでの派遣会社の研修制度受講経験

これまでの派遣会社の研修制度受講経験では、「派遣会社の研修を受けたことがない」とする者が 39.5%となっており、4 割弱の者が派遣会社の研修を受けていない。具体的に研修受講経験についてみると、「コンプライアンス研修」が 21.3%でもっとも多く、次いで、「情報保護に関する研修」「派遣前研修」「ビジネスマナー研修」「初級 OA スキル研修」などとなっている（図 8-8）。

これを正社員経験別にみると、「派遣会社の研修を受けたことがない」とする者は、正社員の経験がある者よりもない者のほうがその割合は低い（すなわち、正社員経験がない者のほうが何らかの派遣会社の研修を受けたことがある割合が高い）。具体的な研修受講経験をみると、正社員経験がある者に比べ、ない者のほうが、「ビジネスマナー研修」「ビジネススキル研修」「初級 OA スキル研修」「語学研修」「派遣前研修」などが高くなっている。

派遣にいたる経歴別にみると、「初職派遣社員で派遣」になった者で「派遣会社の研修を受けたことがない」とする割合がもっとも低くなっている。「初職派遣社員で派遣」になった者で他の経歴に比べ、もっとも実施割合が高い研修は、「ビジネスマナー研修」「派遣前研修」

「ビジネススキル研修」「語学研修」「通信教育の費用補助」「キャリアカウンセリング・キャリアセミナー」などである。初職から派遣社員をしている者に対して、派遣会社がビジネスマナーや派遣前研修等一定の研修を施したことがうかがえる。

通算の派遣社員年数別にみると、「派遣会社の研修を受けたことがない」は年数が長くなるほど低くなる傾向にある(すなわち、年数が長くなるほど何らかの研修受講割合が高まる。)

次に、派遣形態別にみると、「派遣会社の研修を受けたことがない」の割合は、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員(期間の定めあり)」「常用型派遣社員(期間の定めなし)」の順で高い。具体的な研修受講経験をみると、「コンプライアンス研修」「情報保護に関する研修」「ビジネスマナー研修」「ビジネススキル研修」「職能別研修」などで、「常用型派遣社員(期間の定めなし)」「常用型派遣社員(期間の定めあり)」「登録型派遣社員」の順で研修受講の割合が高い。一方、「初級OAスキル研修」の割合は、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員(期間の定めあり)」「常用型派遣社員(期間の定めなし)」の順で高い。

なお、派遣先の業務別にみると、「派遣会社の研修を受けたことがない」割合が高いのは「軽作業系」「製造業務系」などであり、もっとも低い(すなわち何らかの研修を受けたことのある割合が高い。)のは「IT技術・クリエイティブ、専門職系」「オフィスワーク系」などとなっている。そこで、具体的な研修制度を「IT技術・クリエイティブ、専門職系」「オフィスワーク系」についてみると、「IT技術・クリエイティブ、専門職系」では、「情報保護に関する研修」「コンプライアンスに関する研修」「ビジネスマナー研修」「ビジネススキル研修」などの割合が高い。「オフィスワーク系」では、「コンプライアンス研修」「初級OAスキル研修」などの割合が高い。なお、「オフィスワーク系」を中分類でみると、「26業務以外の経理・会計・金融」でもっとも高いのは、「コンプライアンス研修」(40.3%)だった(表8-5)。

図8-8：派遣会社の研修受講経験（複数回答、単位＝％）

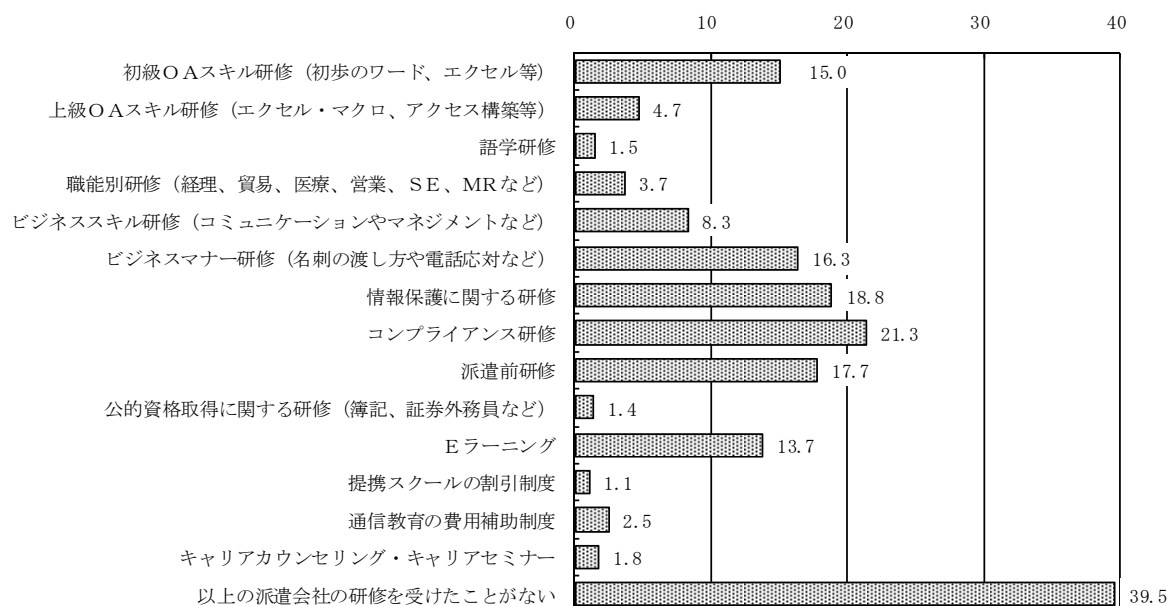


表 8-5：これまでの派遣会社での研修受講経験

(単位＝％、複数回答)

	n数	初級 O A スキル 研 修	上級 O A スキル 研 修	語学 研 修	職能 別研 修	ビジ ネスス キル 研 修	ビジ ネス スマナ ー研 修	情報 保護に 関する 研 修	コン プライ アンス 研 修	派遣 前研 修	公的 資格取 得に関 する研 修	Eラー ニング	提携 スケー ルの割 引制度	通信 教育の 費用補 助制度	リテー ニング ・キャ リアア カウ ン セ リ ン グ	研修 を受け たこと がない	以上 の派遣 会社と の研修 経験	無回 答
計	4473	15.0	4.7	1.5	3.7	8.3	16.3	18.8	21.3	17.7	1.4	13.7	1.1	2.5	1.8	39.5	7.0	
<正社員経験の有無>																		
正社員経験あり	3569	14.7	5.0	1.1	3.9	7.6	15.0	18.7	21.7	17.3	1.4	14.4	1.1	2.3	1.7	41.3	6.5	
正社員経験なし	749	17.5	4.0	3.9	3.5	11.5	23.1	20.3	20.6	19.9	1.3	11.2	0.8	3.6	2.4	32.7	6.0	
<派遣にいたる経歴別>																		
初職正社員で派遣	3314	14.3	5.0	1.2	4.2	7.8	15.5	19.4	22.7	17.8	1.5	14.8	1.2	2.7	1.7	40.7	6.3	
初職非正社員で派遣	400	19.0	3.0	2.3	2.0	7.5	14.5	19.5	19.3	17.0	0.8	12.0	0.5	1.3	1.5	37.5	7.3	
初職派遣社員で派遣	249	17.3	5.2	5.6	3.6	15.3	34.5	18.1	17.3	21.7	1.2	8.0	1.2	5.2	2.8	28.5	3.6	
初職その他で派遣	17	23.5	11.8	0.0	5.9	5.9	17.6	17.6	11.8	5.9	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	52.9	0.0	
初職正社員以外で後に正社員を経験し派遣	292	18.8	4.8	1.4	2.4	8.2	13.4	15.1	17.1	15.4	0.7	11.3	1.0	0.3	2.4	44.5	7.2	
<通算の派遣社員年数>																		
1年以下	596	12.9	2.9	1.0	2.9	7.7	13.6	16.9	15.8	16.8	0.3	8.2	1.2	1.2	1.3	45.3	7.4	
2～3年以下	842	13.7	3.0	1.5	2.3	7.2	15.4	16.0	18.6	18.1	0.6	11.4	0.8	1.9	1.9	44.7	5.5	
4～5年以下	669	15.2	5.5	1.5	3.0	6.1	15.8	17.9	20.6	17.2	1.3	12.4	0.3	1.3	2.4	39.9	4.9	
6～10年以下	814	20.9	6.5	2.3	2.5	7.6	18.2	20.6	23.7	20.3	1.1	18.8	1.8	3.1	1.7	35.6	5.2	
11年～15年以下	196	22.4	9.7	3.1	4.1	10.2	23.0	21.4	31.1	19.4	1.5	21.9	2.6	5.1	1.0	30.6	3.1	
16年以上	72	18.1	8.3	2.8	8.3	11.1	29.2	30.6	33.3	16.7	5.6	27.8	4.2	8.3	6.9	29.2	2.8	
<派遣形態別>																		
登録型派遣社員	2529	17.9	4.9	1.4	1.8	5.4	13.9	15.5	17.2	15.5	0.9	10.7	1.2	1.1	1.7	42.5	7.5	
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	12.1	4.5	1.2	4.3	7.6	15.2	19.8	24.5	21.3	0.9	18.2	1.0	2.3	1.6	38.5	6.9	
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	10.1	4.6	2.6	9.1	18.7	26.1	27.6	30.2	19.5	3.7	16.8	0.6	7.2	2.6	31.6	5.6	
<派遣先業務別>																		
オフィスワーク系	2344	22.6	6.0	1.5	2.3	6.5	17.7	18.5	24.0	16.7	0.7	18.3	1.3	1.5	1.6	36.6	5.3	
26業務	1671	25.3	7.1	1.6	1.8	5.8	16.6	16.6	19.9	13.6	0.4	15.2	1.3	1.1	1.4	38.4	5.6	
26業務以外の経理・会計・金融	385	14.8	2.3	1.0	3.1	6.2	19.5	20.5	40.3	27.5	1.6	31.9	1.8	2.9	1.8	29.9	3.4	
26業務以外のその他	288	17.4	4.9	1.4	4.2	10.8	21.9	27.1	26.0	19.8	1.0	18.1	0.7	1.4	2.1	34.7	6.3	
医療・福祉系	160	6.3	1.3	0.6	10.0	5.0	15.0	20.0	4.4	17.5	1.9	1.3	1.9	2.5	1.9	44.4	10.6	
営業・販売系	124	6.5	1.6	0.8	2.4	8.1	13.7	15.3	16.1	21.8	0.0	4.8	0.8	0.8	3.2	46.0	4.0	
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	10.9	6.3	2.2	8.8	19.2	26.0	31.2	29.9	18.1	3.5	17.4	1.3	7.3	3.2	30.2	5.6	
情報処理システム開発	222	9.5	8.1	3.6	17.1	24.8	33.3	44.1	37.8	9.9	5.0	29.3	0.9	5.0	2.3	22.5	2.7	
機械設計	169	14.8	7.7	4.7	10.1	22.5	27.8	33.1	35.5	27.2	3.6	25.4	1.2	17.2	4.7	22.5	2.4	
その他	545	10.3	5.1	0.9	5.0	16.0	22.4	25.3	25.0	18.5	2.9	10.1	1.5	5.1	3.1	35.8	7.7	
製造業務系	566	1.4	0.9	1.9	1.2	1.9	2.3	6.9	11.3	20.7	1.1	0.7	0.0	0.5	0.2	56.4	11.0	
軽作業系	208	3.8	0.0	0.0	1.0	1.9	3.8	6.3	4.3	16.8	0.5	0.5	0.0	0.0	1.9	59.1	14.4	
その他	77	5.2	1.3	1.3	1.3	2.6	7.8	9.1	7.8	23.4	0.0	3.9	0.0	1.3	0.0	44.2	13.0	

8-6. 派遣社員の能力開発の可能性

調査では、「派遣社員という働き方を通してキャリア開発が可能であると思うか」尋ねており、派遣で能力開発が「できる」（「できる」9.7%、「ある程度できる」49.6%。）と思う割合が59.3%で、「できない」（「できない」9.5%、「あまりできない」31.3%。）が40.8%となっている。

これを派遣形態別にみると、「できる」とする割合は、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」に比べ「常用型派遣社員（期間の定めなし）」のほうが高くなっている。キャリアにつながる仕事の有無別にみると、キャリアにつながる仕事が多いほど、「できる」の割合が高まる（図 8-9）。

派遣先の規模別にみると、規模が大きくなるほど「できる」とする割合が高まる。派遣先の業務別にみると、能力開発が「できる」とする割合が高いのは、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」で69.8%と高く、これを中分類にみると、「機械設計」74.7%、「情報処理開発」74.1%となっている。能力開発が「できない」とする割合が高いのは、「軽作業系」「そ

の他」「製造業務系」などである（表 8-6）。

正社員経験の有無別にみると、正社員経験がない者のほうが「できる」とする割合が高い。派遣にいたる経歴別にみると、「初職その他で派遣」「初職非正社員で派遣」「初職派遣社員で派遣」で「できる」とする割合が高い。通算の派遣社員年数別にみると、年数が長くなるほど「できる」とする割合は上昇するが「6～10 年以下」をピークとして、以降その割合は低下する。稼働した派遣先事業所数別にみると、派遣先数が増えるほど、「できる」と考える割合が高まる傾向にある（表 8-7）。

図 8-9：派遣社員の能力開発の可能性

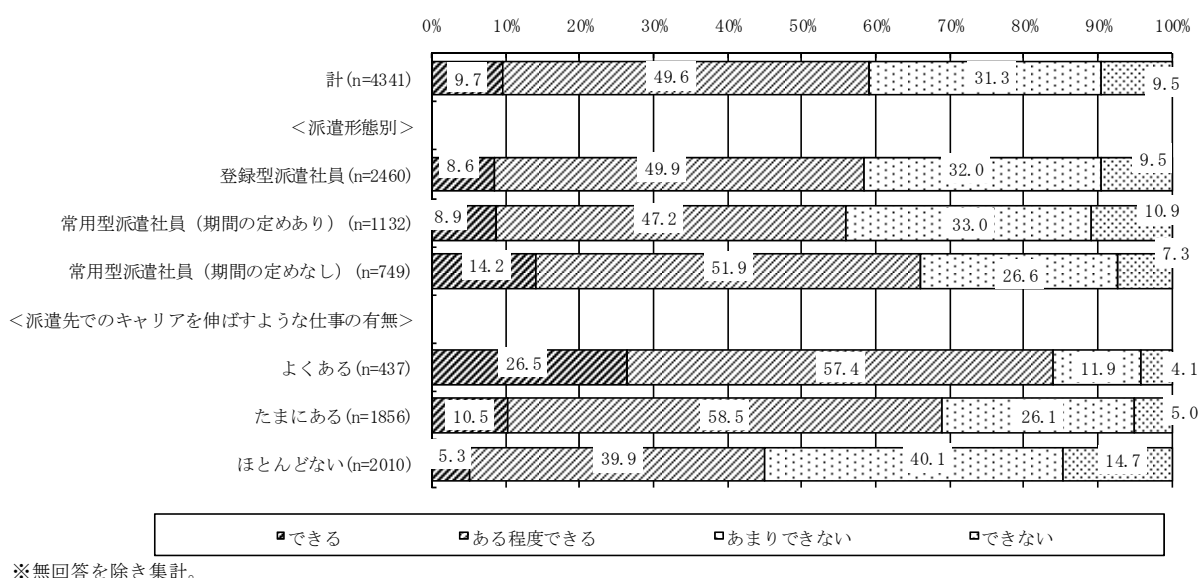


表 8-6：派遣社員の能力開発の可能性

(単位=%)

	n数	できる	ある程度 できる	あまりで きない	できない	できる計	できない 計
計	4341	9.7	49.6	31.3	9.5	59.2	40.8
<現在の派遣先の規模別>							
99人以下	324	9.6	43.5	31.8	15.1	53.1	46.9
100～299人	1220	9.0	48.6	32.1	10.2	57.6	42.4
300人～999人	1101	9.8	50.6	30.7	8.9	60.4	39.6
1000人以上	1693	10.0	50.7	31.0	8.3	60.8	39.2
<派遣先業務別>							
オフィスワーク系	2303	8.0	52.1	31.9	7.9	60.1	39.9
26業務	1648	8.2	52.5	31.5	7.8	60.7	39.3
26業務以外の経理・会計・金融	376	6.9	51.6	32.4	9.0	58.5	41.5
26業務以外のその他	279	8.2	50.9	33.7	7.2	59.1	40.9
医療・福祉系	155	9.7	52.3	28.4	9.7	61.9	38.1
営業・販売系	118	11.9	48.3	33.1	6.8	60.2	39.8
IT技術・クリエイティブ、専門職系	916	15.8	53.9	23.9	6.3	69.8	30.2
情報処理システム開発	220	15.5	58.6	20.9	5.0	74.1	25.9
機械設計	166	19.9	54.8	21.1	4.2	74.7	25.3
その他	530	14.7	51.7	26.0	7.5	66.4	33.6
製造業務系	540	7.2	39.6	36.1	17.0	46.9	53.1
軽作業系	197	8.1	30.5	42.6	18.8	38.6	61.4
その他	69	1.4	37.7	39.1	21.7	39.1	60.9

※無回答を除き集計。

表 8-7：派遣社員の能力開発の可能性

(単位＝%)

	n数	できる	ある程度 できる	あまりで きない	できない	できる計	できない 計
計	4341	9.7	49.6	31.3	9.5	59.2	40.8
＜正社員経験の有無＞							
正社員経験あり	3485	9.3	49.6	31.3	9.9	58.9	41.1
正社員経験なし	732	10.9	51.1	30.6	7.4	62.0	38.0
＜派遣にいたる経歴別＞							
初職正社員で派遣	3235	9.3	49.7	31.2	9.8	59.0	41.0
初職非正社員で派遣	392	9.9	52.3	31.4	6.4	62.2	37.8
初職派遣社員で派遣	243	11.1	50.6	29.6	8.6	61.7	38.3
初職その他で派遣	17	5.9	64.7	29.4	0.0	70.6	29.4
初職正社員以外で後に正社員を経験し派遣	288	10.8	47.6	30.9	10.8	58.3	41.7
＜通算の派遣社員年数＞							
1年以下	587	10.2	47.4	31.9	10.6	57.6	42.4
2～3年以下	820	8.5	50.2	32.9	8.3	58.8	41.2
4～5年以下	664	9.0	54.4	28.8	7.8	63.4	36.6
6～10年以下	803	9.6	54.5	27.4	8.5	64.1	35.9
11年～15年以下	191	13.6	48.7	28.3	9.4	62.3	37.7
16年以上	68	10.3	50.0	30.9	8.8	60.3	39.7
＜稼働した派遣先事業所数＞							
1社	1950	9.0	45.4	33.9	11.6	54.4	45.6
2～4社	1688	9.6	53.9	29.4	7.1	63.4	36.6
5～9社	422	12.6	51.9	25.8	9.7	64.5	35.5
10社以上	87	16.1	50.6	27.6	5.7	66.7	33.3

※無回答を除き集計。

9. 派遣労働の満足度、雇用不安、派遣労働継続希望

9-1. 現在の派遣先・派遣元の満足度

現在の派遣先・派遣元の満足度をみると、「満足している」（「満足」「やや満足」の合計。）とする割合は、「労働時間」「仕事内容」「職場の人間関係」など派遣先に関連する項目で高い。一方、「派遣元での能力開発」がもっとも「満足している」割合が低く、次いで、「賃金」が低くなっている。福利厚生については、派遣先・派遣元ともに同程度の満足度となっている（図 9-1）。

これを派遣形態別にみると、「現在の派遣先での能力開発」について、「満足している」割合は、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高い。一方、「現在の派遣元のフォロー」「賃金」について、「満足している」割合は、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」の順で割合が高い（図 9-2）。

図 9-1：派遣先・派遣元の職場環境に対する満足度（n=4473）

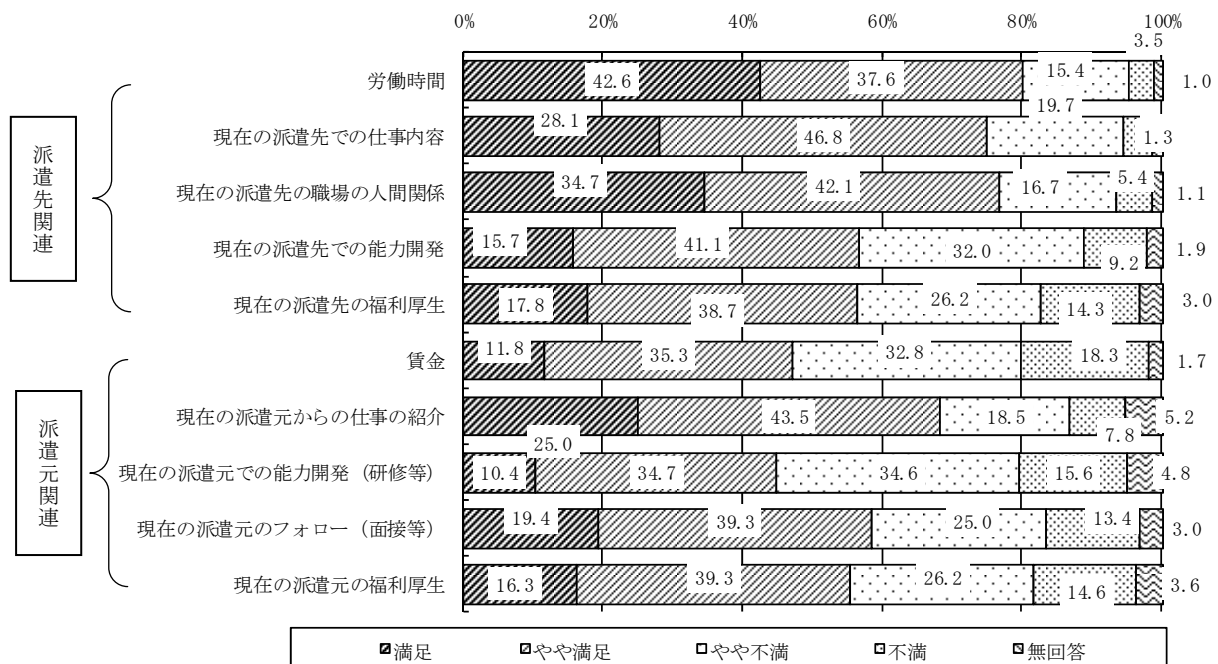
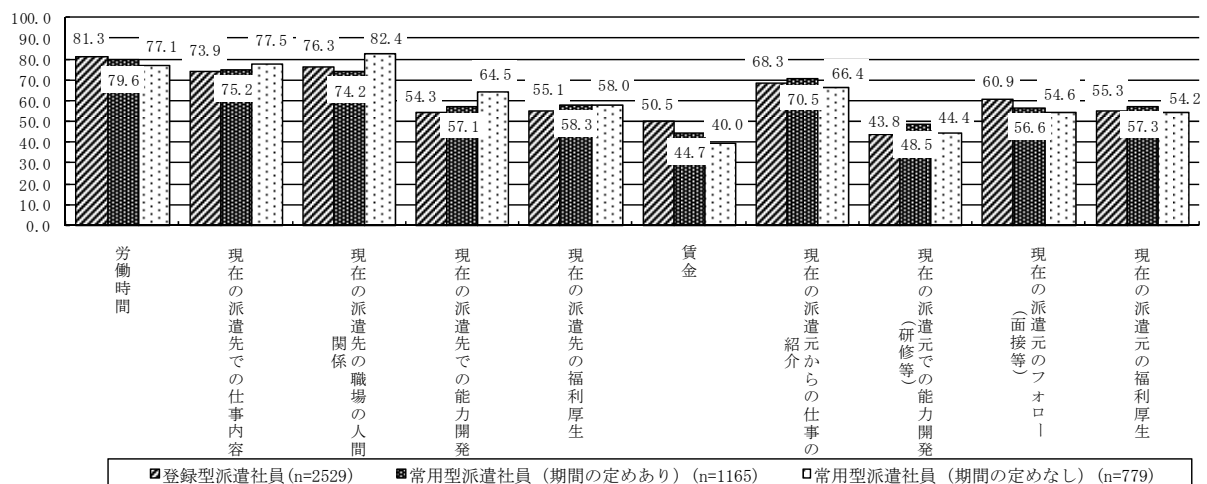


図 9-2：雇用形態別にみた派遣先や派遣元の職場環境に対する満足度
（複数回答、単位＝％）



9-2. 派遣先の問題点

現在の派遣先の問題点について、「賃金が高い」ことを挙げている割合が 30.2%と最も高く、次いで、「有給休暇が取りにくい」「職場の人間関係が煩わしい」「仕事量が多い」「能力や経験を十分に活かさない」などの順となっている（図 9-3）。派遣形態別にみると、「有給休暇が取りにくい」「仕事量が多い」などで、「登録型派遣社員」に比べ「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」のほうが割合が高くなっている。一方、「能力や経験を十分に活かさない」は、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型

派遣社員（期間の定めあり）」に比べ「登録型派遣社員」のほうが割合が高くなっている（表9-1）。

図 9-3：現在の派遣先の問題点（n=4473、複数回答、単位＝％）

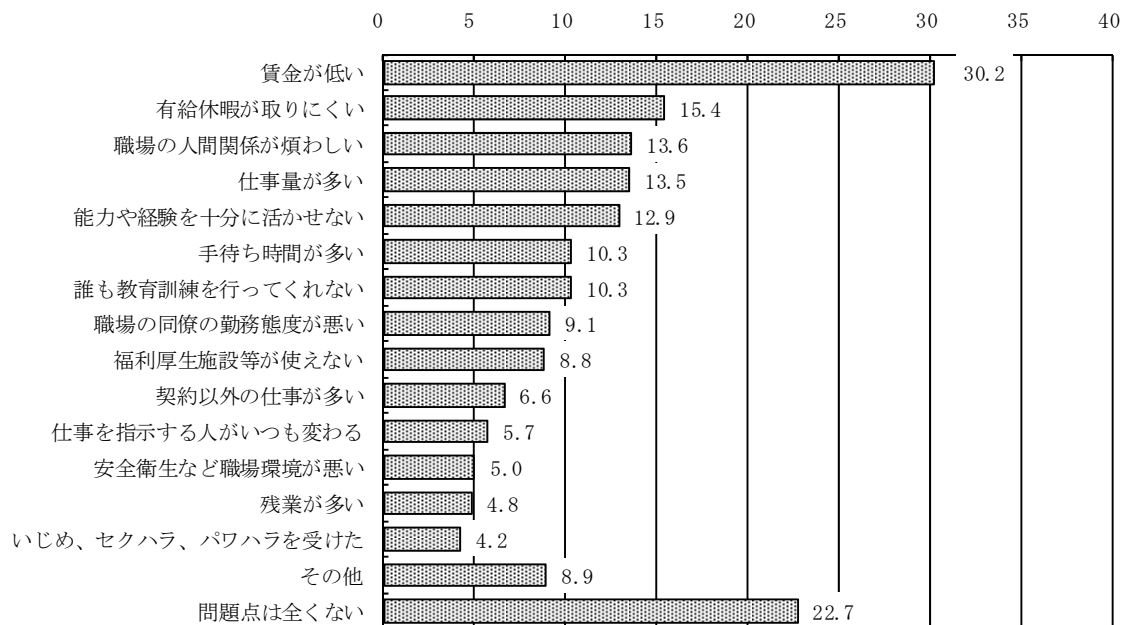


表 9-1：現在の派遣先の問題点（複数回答、単位＝％）

	n数	賃金が低い	有給休暇が取りにくい	職場の人間関係が煩わしい	仕事量が多い	能力や経験を十分に活かさない	手待ち時間が多い	誰も教育訓練を行ってくれない	職場の同僚の勤務態度が悪い	福利厚生施設等が使えない	契約以外の仕事が多い	仕事を指示する人がいつも変わる	安全衛生など職場環境が悪い	残業が多い	いじめ、セクハラ、パワハラを受けた	その他	問題点は全くない	無回答
計	4473	30.2	15.4	13.6	13.5	12.9	10.3	10.3	9.1	8.8	6.6	5.7	5.0	4.8	4.2	8.9	22.7	3.7
<派遣形態別>																		
登録型派遣社員	2529	28.8	13.8	13.6	11.8	14.2	12.3	10.3	9.6	9.3	6.1	6.0	5.6	3.7	3.8	9.8	22.1	3.5
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	34.3	17.4	16.1	15.9	11.9	8.4	10.3	10.0	8.1	8.3	4.7	4.6	6.3	5.4	8.2	20.9	4.2
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	28.4	17.7	9.9	15.3	10.5	6.5	10.0	6.5	8.2	5.4	5.9	3.5	6.3	3.6	6.7	27.1	3.5

9-3. 派遣労働の満足度

派遣で働くこと自体の満足度について、「満足」（「満足している」「ある程度満足している」の合計。）しているのが 56.5%で、「不満」（「かなり不満である」「やや不満である」。）の 42.1%を 14.4 ポイント上回っている（表 9-2）。約半数強は派遣労働に満足しているようである。

これを性別にみると、女性のほうが男性に比べ「満足」の割合が高い。年齢別にみると、おおむね年齢が高くなるほど「不満」の割合が高まっている。性別・未婚婚別にみると、「女性・既婚」で満足の割合がもっとも高く、「男性・未婚」で「不満」の割合がもっとも高くなっている。仕事と私生活の優先度別にみると、生活重視になるほど、「満足」の割合が高まる一方で、仕事重視であるほど「不満」の割合が高まる傾向にある。

正社員経験別にみると、正社員経験がない者のほうが満足の高割合が高い。派遣にいたる経歴別にみると、「初職非正社員で派遣」で「満足」の割合がもっとも高い。通算の派遣社員年数別にみると、おおむね年数が高まるとともに「満足」の割合は高まり、「11～15 年以下」をピークに、それ以降は低下している（表 9-2）。

次に、派遣形態別にみると、「満足」の割合は、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」の順で割合が高い（図 9-4）。

派遣先の規模別にみると、いずれの規模でも「満足」の割合は 5 割程度でほとんど差はない。派遣先の業務別にみると、「営業・販売系」でもっとも「満足」の割合が高くなっている。「不満」の割合が高いのは、「製造業務系」「その他」などである。

今後のキャリアにつながる仕事の有無別にみると、キャリアにつながる仕事が多い者のほうが「満足」の割合が高い。派遣元からの切れ目ない紹介の状況別にみると、「紹介されている」とする者でもっとも「満足」の割合が高い（表 9-3）。

表 9-2：派遣労働の満足度

（単位＝％）

	n数	満足している	ある程度満足している	やや不満である	かなり不満である	無回答	満足計	不満計
計	4473	7.4	49.0	28.2	14.0	1.4	56.5	42.1
＜性別＞								
男性	1273	6.8	43.4	29.1	19.2	1.5	50.2	48.3
女性	3111	7.5	51.7	27.9	11.8	1.1	59.2	39.7
＜年齢別＞								
30歳未満	997	7.5	51.9	26.9	12.9	0.8	59.4	39.8
30～35歳未満	998	7.2	52.3	27.3	12.1	1.1	59.5	39.4
35～40歳未満	793	7.4	48.3	28.5	14.9	0.9	55.7	43.4
40～45歳未満	541	6.5	47.7	29.2	16.1	0.6	54.2	45.3
45歳以上	803	7.2	45.1	30.8	14.8	2.1	52.3	45.6
＜性・未婚別＞								
男性・既婚	541	7.6	46.2	25.5	18.3	2.4	53.8	43.8
男性・未婚	724	6.1	41.3	31.9	19.9	0.8	47.4	51.8
女性・既婚	1277	9.4	53.6	25.5	10.5	1.0	63.0	36.0
女性・未婚	1812	6.0	50.6	29.7	12.6	1.1	56.6	42.3
＜仕事と私生活の優先度別＞								
仕事	290	7.9	37.9	27.2	26.2	0.7	45.9	53.4
どちらかといえば仕事	1651	5.4	44.8	32.4	16.4	1.0	50.2	48.8
どちらかといえば生活	2009	7.8	53.6	27.4	10.7	0.4	61.4	38.1
生活	443	13.8	54.2	18.3	13.1	0.7	67.9	31.4
＜正社員経験別＞								
正社員経験あり	3569	7.5	48.2	28.7	14.5	1.2	55.6	43.2
正社員経験なし	749	7.1	54.5	26.6	11.5	0.4	61.5	38.1
＜派遣にいたる経歴別＞								
初職正社員で派遣	3314	7.5	48.3	28.5	14.4	1.2	55.8	42.9
初職非正社員で派遣	400	7.8	58.3	25.3	8.5	0.3	66.0	33.8
初職派遣社員で派遣	249	6.8	49.4	29.7	13.3	0.8	56.2	43.0
初職その他で派遣	17	0.0	52.9	17.6	29.4	0.0	52.9	47.1
初職正社員以外で後に正社員を経験し派遣	292	6.5	47.3	30.1	15.8	0.3	53.8	45.9
＜通算の派遣社員年数＞								
1年以下	596	6.5	48.5	29.2	15.3	0.5	55.0	44.5
2～3年以下	842	6.9	49.9	30.5	11.9	0.8	56.8	42.4
4～5年以下	669	7.9	50.7	27.2	13.6	0.6	58.6	40.8
6～10年以下	814	7.2	51.2	27.5	13.3	0.7	58.5	40.8
11年～15年以下	196	6.6	56.6	23.0	13.8	0.0	63.3	36.7
16年以上	72	8.3	44.4	25.0	20.8	1.4	52.8	45.8

図 9-4：派遣労働の満足度

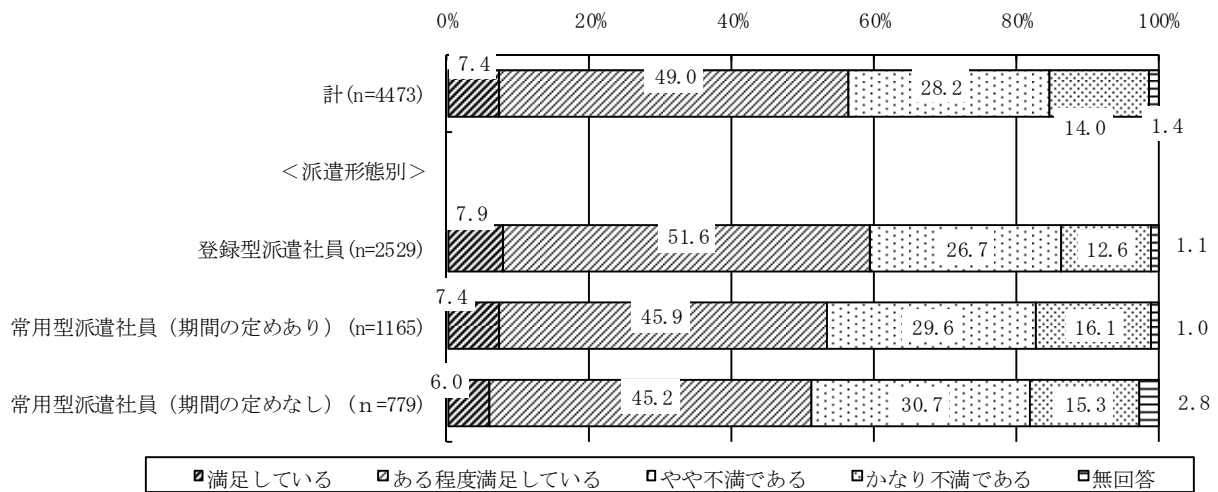


表 9-3：派遣労働の満足度

(単位=%)

	n数	満足している	ある程度満足している	やや不満である	かなり不満である	無回答	満足計	不満計
計	4473	7.4	49.0	28.2	14.0	1.4	56.5	42.1
<現在の派遣先の規模別>								
99人以下	340	7.4	47.6	27.1	15.6	2.4	55.0	42.6
100～299人	1270	7.0	47.4	29.1	14.6	1.9	54.4	43.7
300人～999人	1137	7.5	50.4	27.1	14.1	1.0	57.9	41.2
1000人以上	1723	7.8	49.5	28.4	13.1	1.2	57.3	41.6
<派遣先業務別>								
オフィスワーク系	2344	7.0	51.2	28.7	12.2	0.9	58.2	40.9
26業務	1671	7.0	52.5	27.5	12.3	0.7	59.5	39.8
26業務以外の経理・会計・金融	385	7.3	49.1	29.9	12.5	1.3	56.4	42.3
26業務以外のその他	288	6.9	46.2	33.7	11.5	1.7	53.1	45.1
医療・福祉系	160	5.0	51.9	29.4	11.3	2.5	56.9	40.6
営業・販売系	124	7.3	58.9	21.8	10.5	1.6	66.1	32.3
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	8.0	46.5	27.6	15.9	2.0	54.5	43.5
情報処理システム開発	222	6.3	49.1	30.2	12.6	1.8	55.4	42.8
機械設計	169	5.9	47.3	32.0	14.8	0.0	53.3	46.7
その他	545	9.4	45.1	25.1	17.6	2.8	54.5	42.8
製造業務系	566	7.4	43.5	28.4	19.6	1.1	50.9	48.1
軽作業系	208	12.5	44.7	26.4	14.9	1.4	57.2	41.3
その他	77	6.5	44.2	36.4	11.7	1.3	50.6	48.1
<キャリアにつながる仕事の有無>								
よくある	445	11.7	51.5	22.5	13.0	1.3	63.1	35.5
たまにある	1906	6.5	51.2	28.6	12.0	1.7	57.7	40.6
ほとんどない	2074	7.5	46.3	29.2	16.1	1.0	53.8	45.2
<派遣元からの切れ目ない紹介の状況別>								
紹介されている	1589	9.0	52.9	25.4	11.5	1.2	61.9	36.9
紹介されているが希望に添うものがない	179	5.0	45.8	35.8	13.4	0.0	50.8	49.2
紹介がほとんどされない	529	5.9	41.8	29.5	22.5	0.4	47.6	52.0
わからない	1947	6.8	48.6	29.5	14.0	1.1	55.4	43.5

10. 雇用不安

調査では、「将来的に見て、自分の仕事（雇用）に不安がありますか」と尋ねている。それによれば、「不安あり」（「不安である」（42.9%）、「少し不安である」（27.9%）の合計。）は70.8%で、「不安なし」（「不安はない」（3.5%）、「あまり不安はない」（9.4%）の合計。）は

12.9%だった。

これを派遣形態別にみると、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で「不安なし」の割合は高い。「常用型派遣社員（期間の定めなし）」でも、「不安あり」が 65.2%と半数を超えているものの、「登録型派遣社員」などと比べると、雇用不安を感じずる割合は低下するようである（図 10-1）。

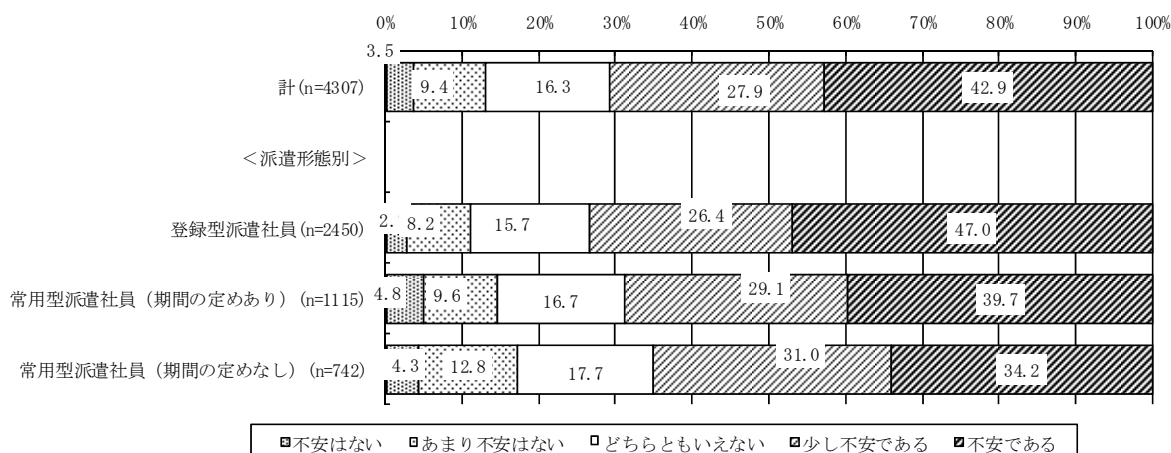
次に、これを性別にみると、男性のほうが「不安なし」の割合が高い。性・未既婚別にみると、「男性・既婚」で「不安なし」の割合がもっとも高く、「女性・未婚」で「不安あり」の割合がもっとも高い。年齢別にみると、年齢が高くなるほど「不安あり」の割合は上昇し「40～45 歳未満」で 80.2%とピークとなり、以降低下し「45 歳以上」では 65.6%となっている。

現在の派遣先の規模別にみると、いずれの規模も「不安あり」の割合は 7 割前後で差はみられない。派遣先の業務別にみると、「不安あり」がもっとも高いのは「オフィスワーク系」（74.1%）であり、次いで「製造業務系」（72.8%）となっている。「オフィスワーク系」を中分類でみると、「26 業務」で 75.0%ともっとも高くなっている。

現在の派遣先の勤続年数別にみると、「不安あり」でもっとも高いのは「3 年超 5 年以下」の 73.7%、次いで「5 年超 9 年以下」の 73.5%となっている。

キャリアにつながる仕事の有無別にみると、キャリアにつながる仕事が多くなるほど「不安なし」の割合が高まる傾向にある。グループ会社の別にみると、「グループ会社である」であるほうが、「不安なし」の割合が高い。派遣元からの切れ目ない紹介の状況別にみると、「紹介されている」者でもっとも「不安なし」の割合が高く、逆に「紹介がほとんどされない」とする者でもっとも「不安あり」の割合が高くなっている（表 10-1）。

図 10-1：将来の雇用不安



※無回答を除き集計。

表 10-1：将来の雇用不安

(単位＝%)

	n数	不安はない	あまり不安はない	どちらともいえない	少し不安である	不安である	不安なし計	不安あり計
計	4307	3.5	9.4	16.3	27.9	42.9	12.9	70.8
<性別>								
男性	1227	5.1	11.2	18.3	28.2	37.2	16.3	65.4
女性	3021	2.5	8.8	15.5	27.8	45.4	11.3	73.2
<性・未婚別>								
男性・既婚	519	7.3	13.1	19.7	27.4	32.6	20.4	59.9
男性・未婚	700	3.4	9.6	17.0	29.1	40.9	13.0	70.0
女性・既婚	1238	2.7	11.9	17.3	27.9	40.3	14.5	68.2
女性・未婚	1762	2.4	6.6	14.2	27.8	49.0	9.0	76.8
<年齢別>								
30歳未満	963	3.8	10.5	19.1	31.6	35.0	14.3	66.6
30～35歳未満	977	2.9	9.9	14.8	27.2	45.1	12.8	72.4
35～40歳未満	772	2.1	6.7	15.2	28.0	48.1	8.8	76.0
40～45歳未満	525	0.8	6.7	12.4	28.0	52.2	7.4	80.2
45歳以上	767	5.9	12.3	16.3	25.3	40.3	18.1	65.6
<現在の派遣先の規模別>								
99人以下	327	4.0	11.3	15.6	24.2	45.0	15.3	69.1
100～299人	1211	3.9	9.5	15.7	26.4	44.5	13.4	70.9
300人～999人	1098	2.7	9.0	16.3	28.6	43.4	11.7	71.9
1000人以上	1668	3.7	9.2	16.8	29.3	41.0	12.9	70.3
<派遣先業務別>								
オフィスワーク系	2272	2.6	8.0	15.3	27.9	46.2	10.6	74.1
26業務	1623	2.4	7.2	15.3	27.5	47.5	9.6	75.0
26業務以外の経理・会計・金融	376	3.7	10.6	13.6	30.9	41.2	14.4	72.1
26業務以外のその他	273	1.8	9.2	17.2	26.4	45.4	11.0	71.8
医療・福祉系	156	4.5	17.3	19.9	25.6	32.7	21.8	58.3
営業・販売系	122	4.9	11.5	17.2	23.8	42.6	16.4	66.4
IT技術・クリエイティブ、専門職系	902	4.4	10.6	17.7	28.6	38.6	15.1	67.2
情報処理システム開発	215	4.7	10.2	18.1	33.5	33.5	14.9	67.0
機械設計	167	2.4	14.4	17.4	32.9	32.9	16.8	65.9
その他	520	5.0	9.6	17.7	25.2	42.5	14.6	67.7
製造業務系	533	3.0	9.0	15.2	25.7	47.1	12.0	72.8
軽作業系	196	5.1	11.2	16.8	34.7	32.1	16.3	66.8
その他	74	10.8	17.6	25.7	23.0	23.0	28.4	45.9
<現在の派遣先の勤続年数>								
3カ月以下	306	3.3	11.1	18.0	23.9	43.8	14.4	67.6
3カ月超1年以下	895	4.2	9.1	16.3	28.9	41.5	13.3	70.4
1年超3年以下	1805	3.6	9.1	17.0	28.2	42.1	12.7	70.3
3年超5年以下	643	3.0	9.8	13.5	27.5	46.2	12.8	73.7
5年超9年以下	354	3.7	9.0	13.8	27.7	45.8	12.7	73.5
10年以上	200	1.5	10.5	18.5	28.0	41.5	12.0	69.5
<キャリアにつながる仕事の有無>								
よくある	430	5.3	15.1	20.0	25.3	34.2	20.5	59.5
たまにある	1827	3.1	10.7	18.2	30.5	37.5	13.8	68.0
ほとんどない	2005	3.2	7.0	13.8	26.2	49.8	10.2	76.0
<グループ会社の別>								
グループ会社である	1067	5.3	10.7	17.2	26.1	40.7	16.0	66.8
グループ会社ではない・わからない	3201	2.8	9.0	15.9	28.5	43.7	11.8	72.2
<派遣元からの切れ目ない紹介の状況別>								
紹介されている	1525	5.4	12.1	16.8	28.9	36.8	17.6	65.6
紹介されているが希望に添うものがない	170	1.8	8.2	13.5	25.9	50.6	10.0	76.5
紹介がほとんどされない	515	3.9	7.4	9.9	25.8	53.0	11.3	78.8
わからない	1897	2.1	7.8	17.6	27.6	45.0	9.9	72.6

※無回答を除き集計。「不安なし計」は「不安はない」「あまり不安はない」の合計。「不安あり計」は「不安である」「少し不安である」の合計。

11. 派遣社員の継続意思の状況

11-1. 派遣社員の継続意思

調査では、「あなたは派遣社員という就業形態で、いつまで働きたいか」尋ねた。それに

よれば、「できるだけ派遣社員として長く働きたい」は 23.5%にとどまり、「ある程度の期間であれば派遣社員として働きたい」46.1%、「できるだけ早く派遣社員を辞めたい」が 30.4%となっていた。これを将来の雇用不安別にみると、不安が高まるほど、「できるだけ早く派遣社員を辞めたい」とする割合が高まる傾向にある。ただし、「少し不安である」「不安である」とする者でも、「できるだけ派遣社員として長く働きたい」との回答は、それぞれ 26.4%、15.8%と 2 割前後あり、「できるだけ派遣社員として長く働きたい」人の中には、不安を抱きつつも現在の派遣の仕事を続けたいと考える人も存在することがわかる（図 11-1）。

派遣形態別にみると、「できるだけ派遣社員として長く働きたい」とする割合は 2 割程度でほとんど差はなく、わずかに「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」の順で割合が高い。現在の派遣先の勤続年数別にみると、勤続年数が長くなるほど「できるだけ派遣社員として長く働きたい」とする割合は高くなる。また、派遣元からの切れ目ない紹介の状況別にみると、「紹介されている」とする者でもっとも「できるだけ派遣社員として長く働きたい」とする割合は高い（図 11-2）。

次に、性別にみると、「できるだけ派遣社員として長く働きたい」は女性のほうが高い。性別・未既婚別にみると、その割合は、「女性・既婚」が 30.3%ともっとも割合が高い一方で、「できるだけ早く派遣社員を辞めたい」は、「男性・未婚」が 42.4%でもっとも高くなっている。年齢別にみると、年齢が高くなるほど「できるだけ派遣社員として長く働きたい」の割合が高まる。仕事と私生活の優先度別にみると、仕事重視であるほど「できるだけ早く派遣社員を辞めたい」の割合が高まる傾向にある。

これを現在の派遣先の規模別にみると、規模が小さくなるほど、「できるだけ早く派遣社員を辞めたい」の割合が高まる傾向にある。また、派遣先の業務別にみると、「できるだけ早く派遣社員を辞めたい」の割合は「製造業務系」でもっとも高く、次いで、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」「軽作業系」などとなっている（表 11-1）。

図 11-1：派遣社員としていつまで働きたいと考えているか

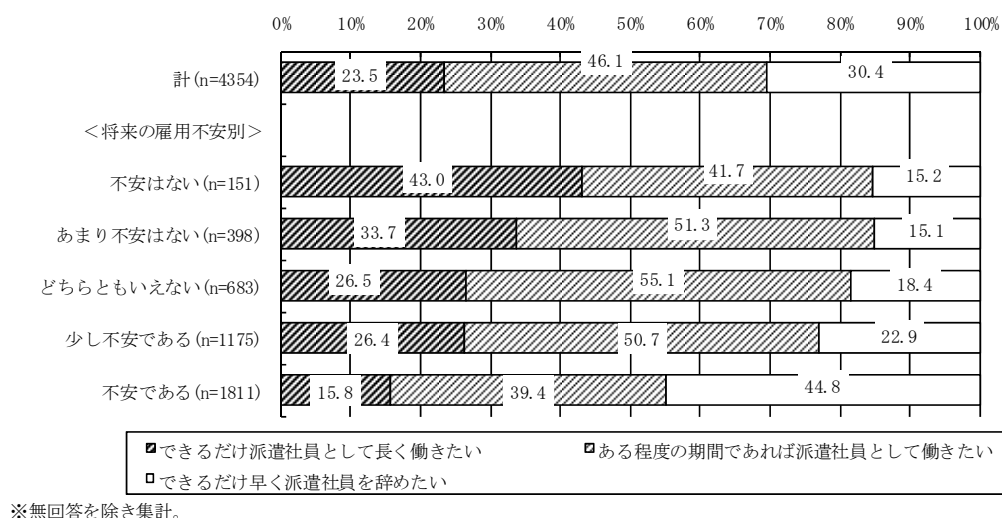
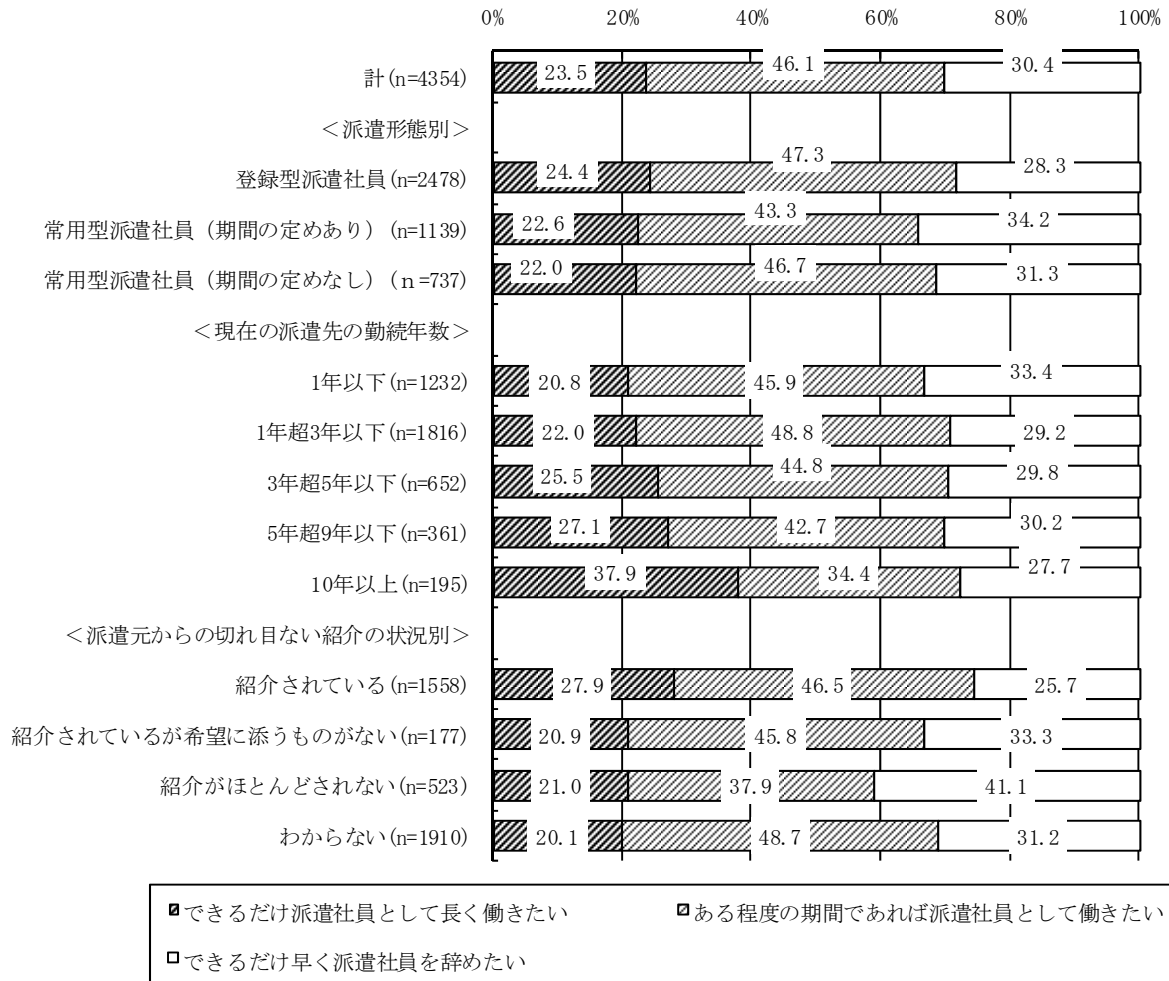


図 11-2：派遣社員としていつまで働きたいと考えているか



※無回答を除き集計。

表 11-1：派遣社員としていつまで働きたいと考えているか

(単位＝%)

	n数	できるだけ派遣社員として長く働きたい	ある程度の期間であれば派遣社員として働きたい	できるだけ早く派遣社員を辞めたい
計	4354	23.5	46.1	30.4
<性別>				
男性	1245	19.0	42.8	38.2
女性	3035	25.2	47.7	27.1
<性・未婚別>				
男性・既婚	522	24.7	42.3	33.0
男性・未婚	715	14.4	43.2	42.4
女性・既婚	1246	30.3	49.4	20.3
女性・未婚	1767	21.7	46.5	31.9
<年齢別>				
30歳未満	984	15.5	51.6	32.8
30～35歳未満	986	20.5	49.5	30.0
35～40歳未満	781	23.4	44.0	32.5
40～45歳未満	529	25.3	42.5	32.1
45歳以上	765	35.9	39.7	24.3
<仕事と私生活の優先度別>				
仕事	285	23.9	33.3	42.8
どちらかといえば仕事	1611	21.8	43.5	34.8
どちらかといえば生活	1986	24.5	49.5	26.0
生活	437	24.7	49.4	25.9

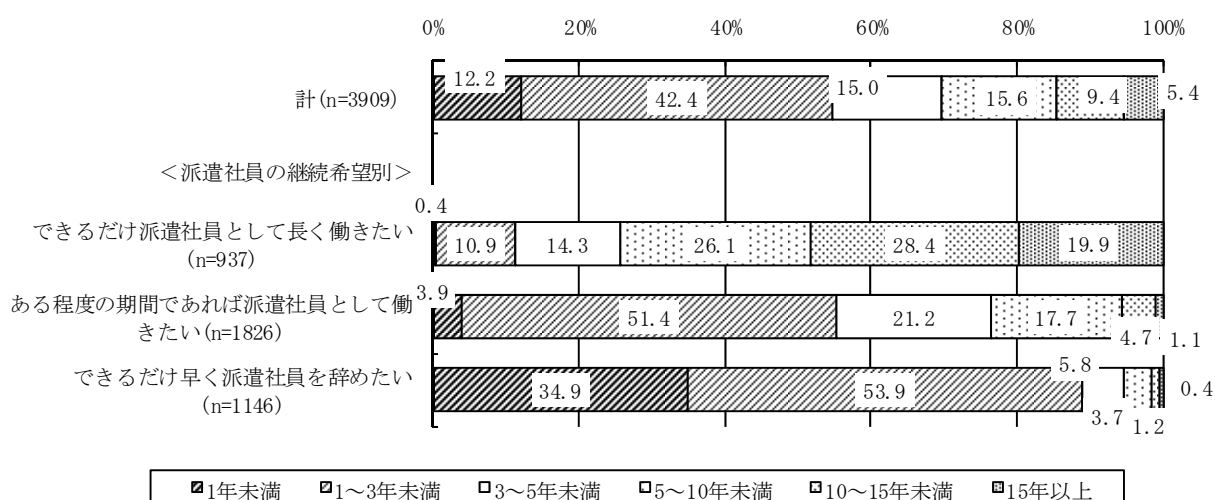
※無回答を除き集計。

11-2. あと何年、派遣社員として働きたいと思うか

調査では「あと何年、派遣社員として働きたいと思うか」を尋ねているが（以下、「派遣社員継続希望年数」と略す。）、その平均値は3.98年だった。そこで、派遣社員の継続希望別にみると、「できるだけ派遣社員として長く働きたい」が「10～15年未満」で28.4%ともっとも割合が高くなっており、「ある程度の期間であれば派遣社員として働きたい」「できるだけ早く派遣社員を辞めたい」では、「1～3年未満」がもっとも割合が高くなっている（「できるだけ早く派遣社員を辞めたい」という者では、「1年未満」34.9%、「1～3年未満」53.9%で、合わせて88.8%が3年未満で派遣社員を辞めたいと考えている。）（図11-3）。

派遣社員継続希望年数に調査時点（現在）の年齢を加算した「派遣社員継続希望年齢」について年齢別にみると、現在「30歳未満」の者では「30歳未満」まで派遣社員として働き続けたいと考えるものが64.8%と半数強を占めており、「30～35歳未満」（29.2%）を含めると94.0%が35歳になる前には派遣社員を辞めたいと考えていることがわかった。現在「30～35歳未満」の者は、「30～35歳未満」（58.4%）、「35～40歳未満」（30.3%）と合わせて88.7%が40歳に達する前に派遣社員を辞めたいと考えており、現在「35～40歳未満」の者も、「35～40歳未満」（52.8%）、「40～45歳未満」（29.9%）と合わせて82.7%が45歳に達する前に派遣社員を辞めたいと考えている。しかし、現在「40～45歳未満」「45歳以上」の者をみると、次第に、派遣社員として働きたいと考える上限年齢は上昇をし続け、「45歳以上」の者では、「50～60歳未満」が42.5%となっており、「60歳以上」も40.8%となっている。年齢が40歳以上になると、より長期に派遣社員を続けたいと考える者が増えることがうかがわれる（表11-2）。

図11-3：あと何年派遣社員として働きたいと思うか



※無回答を除き集計。

表 11-2：年齢階層別にみた、派遣社員として働きたいと考えている年齢

(単位=%)

	n数	30歳未満	30～35歳 未満	35～40歳 未満	40～45歳 未満	45～50歳 未満	50～60歳 未満	60歳以上
計	3668	16.4	21.5	18.3	12.5	8.8	12.7	9.8
<年齢別>								
30歳未満	929	64.8	29.2	3.9	0.2	0.9	0.9	0.2
30～35歳未満	888	0.0	58.4	30.3	6.0	0.8	2.6	1.9
35～40歳未満	693	0.0	0.0	52.8	29.9	9.1	5.3	2.9
40～45歳未満	455	0.0	0.0	0.0	43.1	27.7	21.8	7.5
45歳以上	703	0.0	0.0	0.0	0.0	16.8	42.4	40.8

※派遣社員として働きたいと考えている年齢は、派遣継続希望年齢に現在の年齢を加算して求めた。無回答を除き集計。

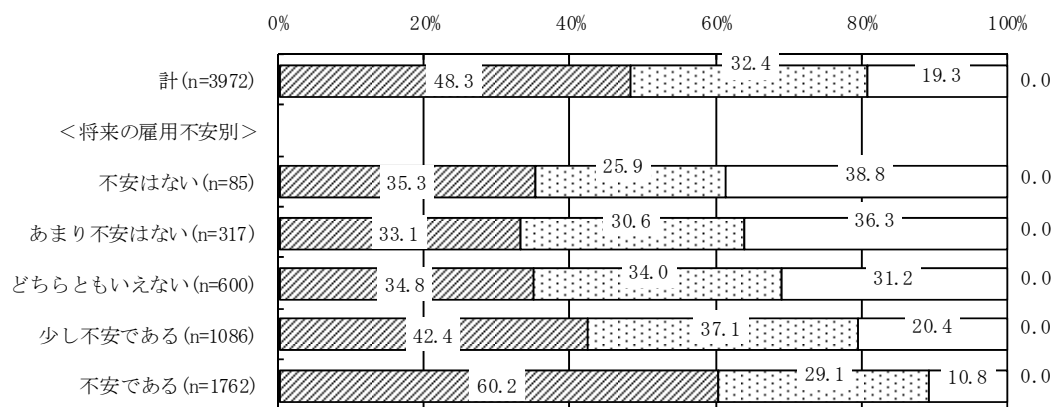
12. 正社員希望の有無

12-1. 雇用不安からみた正社員希望の有無

今後の正社員希望についてみると、「正社員希望」（「是非なりたい」「どちらかといえば、なりたい」の合計。以下、同じ。）の割合は 80.7%となっており、「正社員非希望」（「まったくなりたくない」「どちらかといえば、なりたくない」の合計。以下、同じ。）は 19.3%だった。将来の雇用不安別にみると、雇用不安が高まるほど正社員希望の割合は高まる（図 12-1）。

これを派遣社員の継続希望別にみると、「できるだけ早く派遣社員を辞めたい」とする者では、96.4%とほぼ全数が「正社員希望」だった。「できるだけ派遣社員として長く働きたい」とする者でも、55.7%と過半数が「正社員希望」と答えている（図 12-2）。

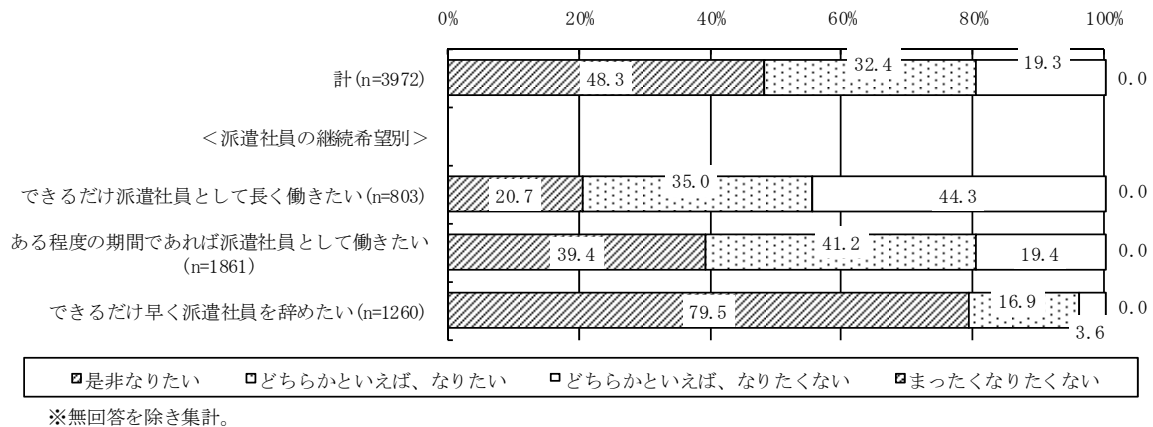
図 12-1：正社員希望



■是非なりたい □どちらかといえば、なりたい □どちらかといえば、なりたくない ■まったくなりたくない

※無回答を除き集計。

図 12-2：正社員希望



12-2. 派遣社員の属性からみた正社員希望

正社員希望の有無を性別にみると、男性のほうが「正社員希望」が多い。性・未婚別にみると、「正社員希望」は「男性・未婚」が85.5%と最も高く、「正社員非希望」では「女性・既婚」が25.9%と最も割合が高い。年齢別にみると、年齢が高くなるほど「正社員非希望」の割合が高くなる。仕事と私生活の優先度別にみると、生活重視のほうが、「正社員非希望」の割合が高くなる。

正社員経験別にみると、わずかながら「正社員経験なし」のほうが「正社員希望」の割合が高い。また、派遣にいたる経歴別にみると、「初職派遣社員で派遣」になった者が最も「正社員希望」の割合が高くなっていた。

次に、派遣形態別にみると、派遣形態で正社員希望に差はほとんどなく、いずれも8割前後が「正社員希望」だった。現在の派遣先の規模別でも、いずれの規模でも8割前後が「正社員希望」であり、ほとんど差はない。派遣先の業務別にみると、「営業・販売系」「医療・福祉系」「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」などで「正社員希望」の割合が高くなっている。現在の派遣先の勤続年数別にみると、「10年以上」のみで「正社員非希望」が23.5%と最も高くなっていた。派遣元からの切れ目ない紹介の状況別にみると、「紹介がほとんどされていない」とする者で「正社員希望」が最も高かった（表 12-1）。

表 12-1：正社員希望

(単位＝％)

	n数	是非なり たい	どちらか といえ ば、なり たい	どちらか といえ ば、なり たくない	まったく なりたく ない	正社員希 望	正社員非 希望
計	3972	48.3	32.4	19.3	0.0	80.7	19.3
＜性別＞							
男性	1066	59.0	25.3	15.7	0.0	84.3	15.7
女性	2849	44.5	34.8	20.7	0.0	79.3	20.7
＜性・未婚別＞							
男性・既婚	405	56.0	26.7	17.3	0.0	82.7	17.3
男性・未婚	656	60.8	24.7	14.5	0.0	85.5	14.5
女性・既婚	1128	38.6	35.5	25.9	0.0	74.1	25.9
女性・未婚	1703	48.3	34.4	17.3	0.0	82.7	17.3
＜年齢別＞							
30歳未満	934	54.9	28.6	16.5	0.0	83.5	16.5
30～35歳未満	924	51.2	32.0	16.8	0.0	83.2	16.8
35～40歳未満	729	48.3	33.7	18.0	0.0	82.0	18.0
40～45歳未満	500	49.2	29.6	21.2	0.0	78.8	21.2
45歳以上	610	34.4	38.0	27.5	0.0	72.5	27.5
＜仕事と私生活の優先度別＞							
仕事	251	62.5	26.7	10.8	0.0	89.2	10.8
どちらかといえば仕事	1500	57.1	29.0	13.9	0.0	86.1	13.9
どちらかといえば生活	1825	40.9	35.4	23.7	0.0	76.3	23.7
生活	360	38.9	34.4	26.7	0.0	73.3	26.7
＜正社員経験＞							
正社員経験あり	3175	48.1	32.2	19.7	0.0	80.3	19.7
正社員経験なし	691	49.6	32.9	17.5	0.0	82.5	17.5
＜派遣にいたる経歴別＞							
初職正社員で派遣	2936	47.6	32.6	19.9	0.0	80.1	19.9
初職非正社員で派遣	371	45.8	34.5	19.7	0.0	80.3	19.7
初職派遣社員で派遣	235	55.3	30.2	14.5	0.0	85.5	14.5
初職その他で派遣	17	35.3	47.1	17.6	0.0	82.4	17.6
初職正社員以外で後に正社員を経験し派遣	268	55.6	28.4	16.0	0.0	84.0	16.0
＜派遣形態別＞							
登録型派遣社員	2301	45.5	33.9	20.6	0.0	79.4	20.6
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1024	52.3	31.0	16.7	0.0	83.3	16.7
常用型派遣社員（期間の定めなし）	647	51.9	29.1	19.0	0.0	81.0	19.0
＜現在の派遣先の規模別＞							
99人以下	302	53.6	25.8	20.5	0.0	79.5	20.5
100～299人	1122	48.5	32.3	19.3	0.0	80.7	19.3
300人～999人	999	49.0	33.1	17.8	0.0	82.2	17.8
1000人以上	1546	46.8	33.2	20.0	0.0	80.0	20.0
＜派遣先業務別＞							
オフィスワーク系	2163	45.4	35.1	19.6	0.0	80.4	19.6
26業務	1555	45.4	35.6	19.0	0.0	81.0	19.0
26業務以外の経理・会計・金融	343	42.6	36.2	21.3	0.0	78.7	21.3
26業務以外のその他	265	48.7	30.9	20.4	0.0	79.6	20.4
医療・福祉系	144	45.8	37.5	16.7	0.0	83.3	16.7
営業・販売系	111	50.5	34.2	15.3	0.0	84.7	15.3
IT技術・クリエイティブ、専門職系	778	54.2	28.0	17.7	0.0	82.3	17.7
情報処理システム開発	181	48.6	32.6	18.8	0.0	81.2	18.8
機械設計	150	52.0	28.7	19.3	0.0	80.7	19.3
その他	447	57.3	26.0	16.8	0.0	83.2	16.8
製造業務系	514	54.9	26.7	18.5	0.0	81.5	18.5
軽作業系	164	42.7	29.3	28.0	0.0	72.0	28.0
その他	59	37.3	35.6	27.1	0.0	72.9	27.1
＜現在の派遣先の勤続年数＞							
3カ月以下	293	53.2	28.0	18.8	0.0	81.2	18.8
3カ月超1年以下	842	53.4	27.2	19.4	0.0	80.6	19.4
1年超3年以下	1653	47.0	34.3	18.7	0.0	81.3	18.7
3年超5年以下	598	46.0	34.6	19.4	0.0	80.6	19.4
5年超9年以下	332	47.3	34.0	18.7	0.0	81.3	18.7
10年以上	166	44.6	31.9	23.5	0.0	76.5	23.5
＜派遣元からの切れ目ない紹介の状況別＞							
紹介されている	1397	46.6	32.6	20.8	0.0	79.2	20.8
紹介されているが希望に添うものがない	165	44.8	36.4	18.8	0.0	81.2	18.8
紹介がほとんどされない	481	55.1	27.7	17.3	0.0	82.7	17.3
わからない	1767	49.2	32.6	18.2	0.0	81.8	18.2

※無回答を除いて集計。

12-3. 正社員になるための具体的行動及び、正社員になりたい理由、なりたくない理由

正社員希望者を対象として、正社員になるための具体的な行動について尋ねたところ、「具体的に求職活動をしている」者は 6.6%、「具体的な求職活動まではしていないが、web 等の情報収集程度はしている（以下、「情報収集程度はしている」と略す。）」は 35.6%となっており、「特段何もしていない」者が 57.7%となっている。正社員を希望しているが、半数の者は「特段何もしていない」状態にあるようだ。これを雇用不安別にみると、「具体的な求職活動をしている」割合は雇用不安にかかわらず 1 割前後であるが、「何らかの取り組みをしている」（「具体的に求職活動をしている」「情報収集程度はしている」の合計。）は雇用不安を感じるほど高まる傾向にある。なお、現在の派遣先の勤続年数別にみると、勤続年数が短いほど、「具体的に求職活動をしている」の割合は高まる傾向にある（図 12-3）。

次に、これを性別にみると、男性のほうが「具体的に求職活動をしている」の割合は高い。性・未既婚別にみると、「男性・未婚」で「具体的に求職活動をしている」の割合がもっとも高く、「特段何もしていない」は、「男性・既婚」「女性・既婚」で高くなっている。年齢別にみると、年齢が高くなるほど、おおむね「特段何もしていない」とする割合が高くなる傾向にある。派遣形態別にみると、登録型派遣社員で「特段何もしていない」とする割合が低い。

現在の派遣先の業務別にみると、「営業・販売系」「製造業務系」「その他」「医療・福祉系」「軽作業系」などで「具体的に求職活動をしている」の割合が高くなっている（表 12-2）。

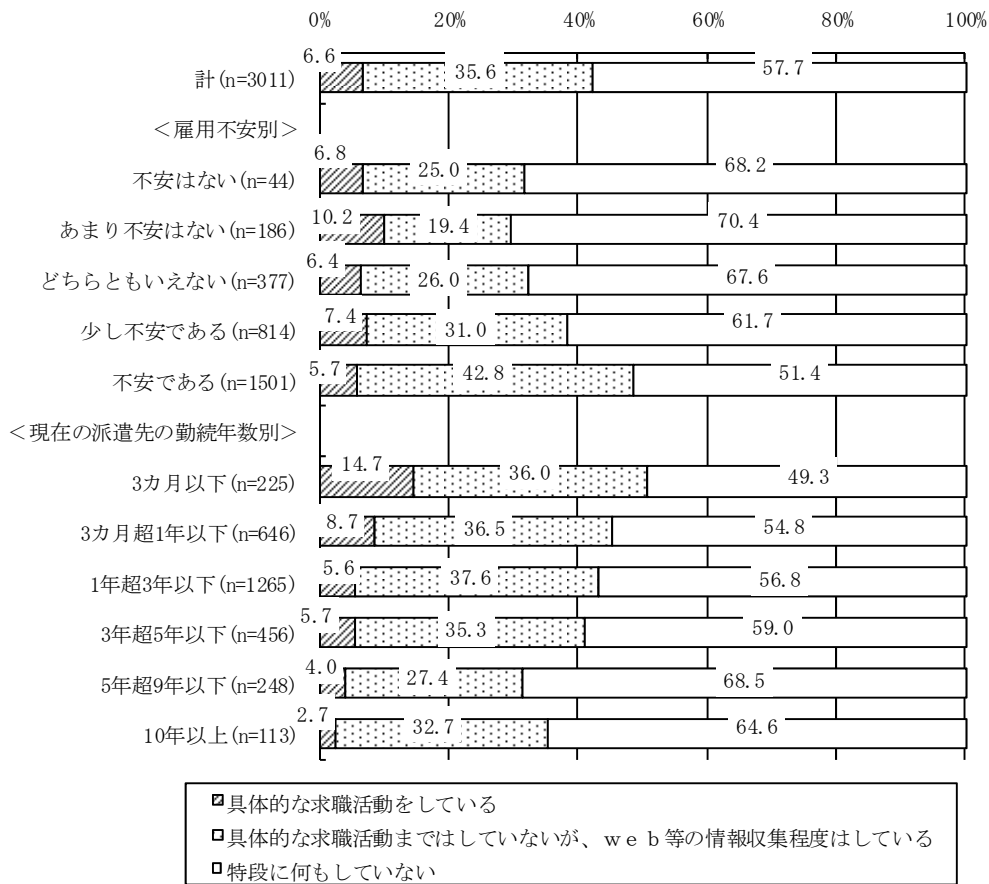
正社員希望者を対象に、正社員で働きたい理由を尋ねたところ、「正社員だと雇用が安定しているから」が 80.8%ともっとも割合が高く、次いで、「賃金が高いから」「労働・社会保険が充実しているから」「福利厚生が充実しているから」などが続く（図 12-4）。

これを派遣形態別にみると、「正社員だと雇用が安定しているから」「賃金が高いから」「労働・社会保険が充実しているから」「福利厚生が充実しているから」などで、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「常用型派遣社員（期間の定めなし）」の順で割合が高い。常用型よりも登録型のほうが正社員を希望するうえでこれらの理由を強く感じているようだ（図 12-5）。

他方、正社員非希望者を対象に、正社員になりたくない理由を尋ねたところ、「仕事と私生活の両立が困難になる」が 47.9%ともっとも多く、次いで、「責任が重くなる」「労働時間が長くなる」「職場の人間関係が面倒」「転勤・異動がある」などとなっている。

これを性別にみると、「仕事と私生活の両立が困難になる」「責任が重くなる」「労働時間が長くなる」「職場の人間関係が面倒」「育児・介護に支障がでる」「辞めづらいから」「有給休暇が取りづらくなる」などで、女性のほうが高くなっている。性・未既婚別にみると、「仕事と私生活の両立が困難になる」「労働時間が長くなる」「育児・介護に支障がでる」などで「女性・既婚」の割合がもっとも高くなっている（表 12-3）。

図 12-3：具体的な求職活動の有無



※無回答を除き集計。

表 12-2：具体的な求職活動の有無

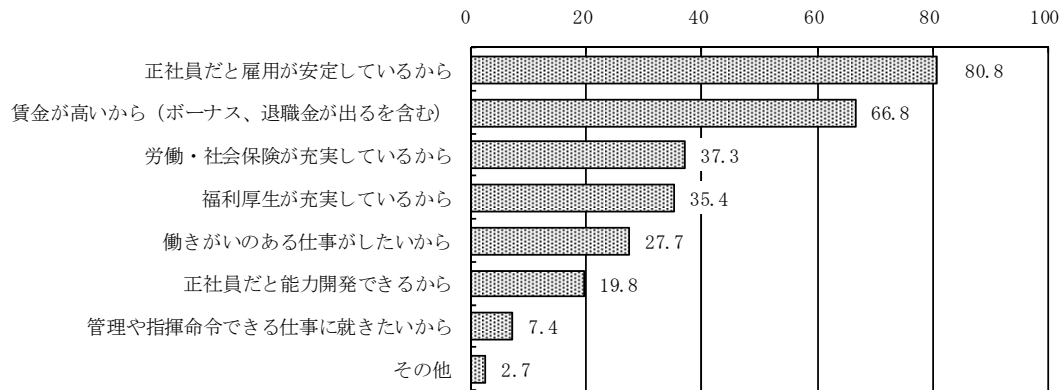
(単位=%)

	n数	具体的な求職活動をしている	具体的な求職活動まではしていないが、web等の情報収集程度はしている	特段に何もしていない
計	3011	6.6	35.6	57.7
<性別>				
男性	842	9.6	34.9	55.5
女性	2128	5.3	36.0	58.6
<性・未婚別>				
男性・既婚	310	8.1	27.1	64.8
男性・未婚	529	10.6	39.1	50.3
女性・既婚	779	4.9	31.2	63.9
女性・未婚	1335	5.5	39.1	55.4
<年齢別>				
30歳未満	742	6.3	36.8	56.9
30～35歳未満	724	7.3	36.7	55.9
35～40歳未満	572	5.6	37.4	57.0
40～45歳未満	374	6.1	35.0	58.8
45歳以上	402	5.5	28.9	65.7
<派遣形態別>				
登録型派遣社員	1736	5.9	38.1	56.0
常用型派遣社員（期間の定めあり）	793	8.3	31.5	60.2
常用型派遣社員（期間の定めなし）	482	6.4	33.6	60.0

※無回答を除き集計。

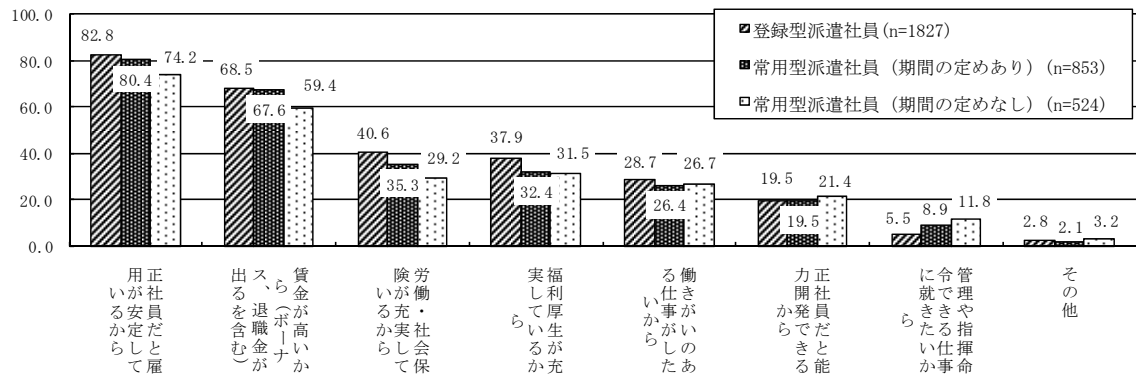
	n数	具体的な求職活動をしている	具体的な求職活動まではしていないが、web等の情報収集程度はしている	特段に何もしていない
計	3011	6.6	35.6	57.7
<現在の派遣先の規模別>				
99人以下	230	9.6	37.8	52.6
100～299人	853	7.3	34.1	58.6
300人～999人	775	5.4	36.1	58.5
1000人以上	1153	6.4	36.0	57.6
<派遣先業務別>				
オフィスワーク系	1648	5.3	37.4	57.3
26業務	1193	4.5	37.1	58.3
26業務以外の経理・会計・金融	257	9.3	33.5	57.2
26業務以外のその他	198	4.5	43.9	51.5
医療・福祉系	111	8.1	29.7	62.2
営業・販売系	89	13.5	44.9	41.6
IT技術・クリエイティブ、専門職系	599	5.5	35.1	59.4
情報処理システム開発	138	3.6	24.6	71.7
機械設計	113	8.0	34.5	57.5
その他	348	5.5	39.4	55.2
製造業務系	386	11.1	30.3	58.5
軽作業系	114	7.9	30.7	61.4
その他	37	10.8	27.0	62.2

図 12-4：正社員になりたい理由（n=3204、複数回答、単位＝％）



※正社員に「是非なりたい」「どちらかといえば、なりたい」と回答した者を対象に集計。

図 12-5：正社員になりたい理由（派遣形態別）
（複数回答、単位＝％）



※正社員に「是非なりたい」「どちらかといえば、なりたい」と回答した者を対象に集計。

表 12-3：正社員希望しない理由

（複数回答、単位＝％）

	n数	仕事と私生活の両立が困難になる	転勤・異動がある	労働時間が長くなる	有給休暇が取りづらくなる	責任が重くなる	職場の人間関係が面倒	体力・体調面が心配だから	育児・介護に支障がでる	辞めづらいため	その他	無回答
計	768	47.9	21.1	30.1	8.9	35.0	21.1	18.1	13.9	15.6	10.8	1.4
<性別>												
男性	167	30.5	29.3	21.6	5.4	32.9	17.4	19.2	1.2	12.6	14.4	3.6
女性	590	53.1	18.8	32.7	10.0	35.6	22.2	18.0	17.8	16.6	10.0	0.5
<性・未婚別>												
男性・既婚	70	28.6	22.9	22.9	2.9	27.1	14.3	22.9	1.4	8.6	14.3	2.9
男性・未婚	95	32.6	32.6	20.0	7.4	37.9	20.0	16.8	1.1	15.8	14.7	4.2
女性・既婚	292	66.1	19.5	40.4	9.2	31.8	13.7	23.3	25.7	9.6	6.2	0.7
女性・未婚	295	40.3	18.0	25.1	10.8	39.7	30.2	12.9	10.2	23.7	13.9	0.3
<年齢別>												
30歳未満	154	46.1	22.7	21.4	12.3	34.4	25.3	11.7	14.3	36.4	11.0	0.6
30～35歳未満	155	54.2	13.5	27.7	9.0	37.4	23.9	11.0	18.1	18.1	10.3	0.6
35～40歳未満	131	51.9	23.7	32.8	9.9	37.4	19.8	21.4	16.8	8.4	11.5	0.8
40～45歳未満	106	50.9	27.4	36.8	11.3	36.8	21.7	18.9	19.8	4.7	12.3	0.9
45歳以上	168	40.5	23.2	33.3	4.8	32.7	15.5	28.0	5.4	7.1	10.7	3.0
<派遣形態別>												
登録型派遣社員	474	53.6	20.9	31.0	9.3	37.1	23.4	18.1	16.0	18.4	8.6	1.1
常用型派遣社員（期間の定めあり）	171	43.9	21.1	31.6	10.5	33.9	18.7	19.3	12.3	14.6	11.1	1.8
常用型派遣社員（期間の定めなし）	123	31.7	22.0	24.4	4.9	28.5	15.4	16.3	8.1	6.5	18.7	2.4

※正社員に「全くなりたくない」「どちらかといえば、なりたくない」と回答した者を対象に集計。

12-4. 3年先の働き方

調査では、「今から3年先に、あなたはどのような働き方をしていると思うか」を尋ねた。それによれば、「派遣社員を続けている」とする割合が31.1%ともっとも高い。「正社員になっている」とした者は16.7%だった。

なお、正社員希望の別にみると、「正社員希望」の22.6%が「正社員になっている」としているが、「派遣社員を続けている」とする者も27.9%となっており、「派遣社員を続けている」とする割合が「正社員になっている」とする割合を上回っていた。そこで、正社員希望者について、求職活動の有無別にみると、「具体的な求職活動をしている」者の56.5%は「正社員になっている」としており、「情報収集程度はしている」とする者では28.6%であり、「特段何もしていない」は15.0%である（「特段何もしていない」者の34.1%は「派遣社員を続けている」としている。）（表12-4）。

次に、3年先の働き方を性別にみると、男性のほうが「正社員になっている」とする割合が高い（ただし、「派遣社員を続けている」は男性30.3%、女性31.9%でほとんど差はない。）。性・未婚別にみると、「派遣社員を続けている」のは「女性・既婚」「男性・既婚」で高くなっている。年齢別にみると、年齢が高くなるほど、3年先であれば「派遣社員を続けている」とする割合が高くなる一方で、「正社員になっている」とする割合が低下する傾向にある。そこで、現在の派遣先の勤続年数別にみると、勤続年数が長くなるほど、「派遣社員を続けている」とする割合が高くなる。とくに3年未満の前後での「正社員になっている」割合をみると、「1年未満」で37.6%、「1～3年未満」で24.2%となっており、勤続が3年以降ではその割合は1割に満たなくなっており、その一方で「派遣社員を続けている」とする割合が上昇している。

派遣形態別にみると、「正社員になっている」とする割合は、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の順で高い。派遣先の業種別にみると、「正社員になっている」とする割合は「営業・販売系」や「医療・福祉系」などで高く、「オフィスワーク系」で低い。「IT技術・クリエイティブ、専門職系」について中分類でみると、「正社員になっている」とする割合は「情報処理システム開発」（22.1%）、「機械設計」（20.7%）が高くなっている。「オフィスワーク系」を中分類でみると、「正社員になっている」とする割合は「26 業務以外の経理・会計・金融」が20.3%と高くなっている（表12-5）。

表 12-4：3 年先の働き方

(単位＝%)

	n数	正社員 になっている	派遣社員 を続けている	契約社員 になっている	パート・アルバイト になっている	自営、 起業している	家業を 継いでいる	（家庭に 入っている 仕事をして いない）	その他	わからない	無回答
計	4473	16.7	31.1	3.7	4.4	2.8	0.2	8.0	0.9	30.3	2.0
＜正社員希望の有無＞											
正社員希望	3204	22.6	27.9	3.9	3.4	1.8	0.1	5.8	0.7	32.4	1.3
正社員非希望	768	1.3	43.5	4.3	7.2	4.6	0.3	12.2	0.8	25.7	0.3
＜具体的な求職活動の有無別＞											
正社員希望 具体的な求職活動をしている	200	56.5	12.0	4.5	1.0	2.5	0.5	2.5	1.5	17.0	2.0
具体的な求職活動まではしていないが、 web等の情報収集程度はしている	1073	28.6	22.1	3.4	3.4	2.0	0.1	3.8	0.7	34.7	1.3
特段に何もしていない	1738	15.0	34.1	4.3	3.5	1.7	0.1	7.1	0.6	32.3	1.2

※具体的な求職活動の有無については、正社員に「是非なりたい」「どちらかといえば、なりたい」と回答した者を対象に集計。

表 12-5：3 年先の働き方

(単位＝%)

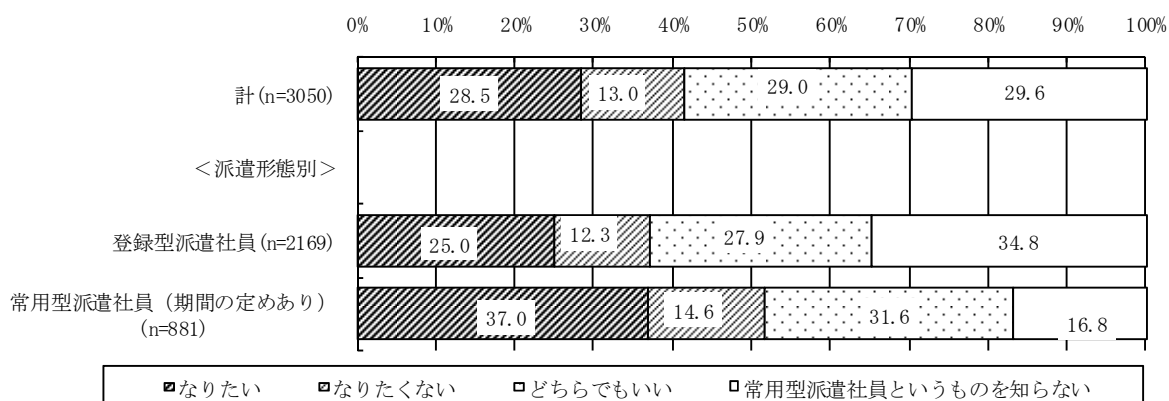
	n数	正社員 になっている	派遣社員 を続けている	契約社員 になっている	パート・アルバイト になっている	自営、 起業している	家業を 継いでいる	家庭に 入っている （仕事をして いない）	その他	わからない	無回答
計	4473	16.7	31.1	3.7	4.4	2.8	0.2	8.0	0.9	30.3	2.0
＜性別＞											
男性	1273	24.4	30.3	2.4	1.3	4.6	0.3	2.0	1.6	30.9	2.0
女性	3111	13.8	31.9	4.2	5.7	2.1	0.1	10.3	0.7	30.0	1.2
＜性・未婚別＞											
男性・既婚	541	19.6	34.2	3.0	1.5	3.9	0.0	4.8	2.2	27.4	3.5
男性・未婚	724	28.0	27.2	1.9	1.2	5.2	0.6	0.0	1.2	33.6	1.0
女性・既婚	1277	11.0	36.6	5.2	7.7	1.7	0.2	10.1	0.5	25.8	1.3
女性・未婚	1812	15.8	28.9	3.6	4.2	2.4	0.1	10.3	0.8	32.7	1.2
＜年齢別＞											
30歳未満	997	24.3	20.9	2.5	5.2	2.1	0.5	10.7	1.3	31.4	1.1
30～35歳未満	998	17.2	28.1	2.6	4.6	3.4	0.2	11.6	0.9	29.8	1.6
35～40歳未満	793	16.8	34.2	2.9	3.8	2.8	0.0	5.0	0.6	32.8	1.1
40～45歳未満	541	14.2	41.2	6.5	2.6	3.0	0.0	3.0	0.6	28.1	0.9
45歳以上	803	8.2	41.5	5.0	5.5	2.5	0.0	6.1	1.2	28.4	1.6
＜現在の派遣先の勤続年数＞											
1年未満	476	37.6	7.8	5.0	3.4	5.7	0.0	6.3	2.1	31.1	1.1
1～3年未満	1664	24.2	12.9	4.1	5.0	4.0	0.3	13.1	1.0	34.0	1.5
3～5年未満	588	8.5	38.6	2.7	5.6	2.6	0.0	10.9	0.5	30.3	0.3
5～10年未満	616	4.4	59.3	2.8	4.1	1.0	0.0	3.4	0.3	23.5	1.3
10～15年未満	367	3.0	73.6	3.0	3.8	0.8	0.3	1.1	0.8	12.5	1.1
15年以上	212	3.3	70.3	3.8	1.9	0.5	0.0	0.9	0.5	18.4	0.5
＜派遣形態別＞											
登録型派遣社員	2529	14.2	30.7	3.8	5.3	3.2	0.1	9.5	0.5	31.1	1.6
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	19.3	29.0	4.8	3.6	2.1	0.3	7.6	1.5	30.0	1.6
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	20.7	35.8	1.5	2.4	2.4	0.0	3.9	1.5	28.0	3.7
＜現在の派遣先の規模別＞											
99人以下	2529	14.2	30.7	3.8	5.3	3.2	0.1	9.5	0.5	31.1	1.6
100～299人	1165	19.3	29.0	4.8	3.6	2.1	0.3	7.6	1.5	30.0	1.6
300人～999人	779	20.7	35.8	1.5	2.4	2.4	0.0	3.9	1.5	28.0	3.7
1000人以上	2344	14.3	32.1	4.9	4.1	2.1	0.1	10.8	0.6	29.4	1.5
＜派遣先業務別＞											
オフィスワーク系	2344	14.3	32.1	4.9	4.1	2.1	0.1	10.8	0.6	29.4	1.5
26業務	1671	12.7	33.2	4.1	3.9	2.5	0.2	12.0	0.6	29.2	1.5
26業務以外の経理・会計・金融	385	20.3	27.8	8.1	4.7	0.5	0.0	7.3	1.0	29.6	0.8
26業務以外のその他	288	15.3	31.3	5.2	4.9	2.1	0.0	8.0	0.3	30.2	2.8
医療・福祉系	160	22.5	24.4	2.5	11.3	0.6	0.0	8.1	0.0	30.0	0.6
営業・販売系	124	24.2	27.4	2.4	4.8	4.8	0.0	8.9	0.8	26.6	0.0
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	18.9	36.1	1.6	1.8	3.2	0.1	4.5	1.7	29.1	3.0
情報処理システム開発	222	22.1	42.3	1.4	0.5	2.7	0.0	1.8	3.2	24.3	1.8
機械設計	169	20.7	47.9	1.2	0.0	1.2	0.0	2.4	0.6	24.9	1.2
その他	545	17.1	29.9	1.8	2.9	4.0	0.2	6.2	1.5	32.3	4.0
製造業務系	566	18.0	25.4	3.0	6.0	3.2	0.2	3.4	0.5	37.6	2.7
軽作業系	208	18.8	28.4	1.9	5.3	8.7	0.5	7.2	1.0	26.4	1.9
その他	77	18.2	16.9	6.5	7.8	2.6	0.0	5.2	3.9	37.7	1.3

13. 「常用型派遣社員（期間の定めなし）」への転換希望

13-1. 「常用型派遣社員（期間の定めなし）」への転換希望

調査では、「登録型派遣社員」「常用型派遣社員（期間の定めあり）」を対象に、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」になりたいか尋ねている。それによれば、28.5%が「になりたい」と回答し、13.0%が「なりたくない」と回答した。29.0%が「どちらでもいい」と回答している。なお、「常用型派遣社員というものを知らない」は 29.6%となっていた。とくに「登録型派遣社員」のほうが、「常用型派遣社員（期間の定めあり）」に比べ、「常用型派遣社員というものを知らない」と回答している割合が高い（「登録型派遣社員」34.8%、「常用型派遣社員（期間の定めあり）」16.8%。）（図 13-1）。

図 13-1：常用型派遣社員（期間の定めなし）への転換希望



※無回答を除き集計。

13-2. 派遣社員の属性別にみた「常用型派遣社員（期間の定めなし）」への転換希望

無回答及び「常用型派遣社員というものを知らない」を除いたうえで（すなわち常用型派遣社員をある程度理解している回答者を対象に）、転換希望をみると、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に「になりたい」とする者は 40.4%と半数弱に及ぶ。「なりたくない」は 18.4%と 2 割程度で、「どちらでもいい」という者が 41.2%である。これを性別にみると、「になりたい」とする割合は女性のほうが高い。性・未婚別に見ると、「女性・既婚」で「になりたい」が 30.3%と他よりも高くなっている。年齢別にみると、年齢が高くなるほど「になりたい」とする割合が上昇し、「45 歳以上」では、52.0%が「になりたい」と回答している。

仕事と私生活の優先度別にみると、仕事重視になるほど「になりたい」とする割合が高まる傾向にある。

派遣形態別にみると、「登録型派遣社員」よりも「常用型派遣社員（期間の定めあり）」のほうが「になりたい」とする割合が高い。派遣先の業務別みると、「オフィスワーク系」で「になりたい」とする割合が高く、これを中分類でみると、「26 業務以外の経理・会計・金融」(53.2%)、「26 業務以外のその他」(47.4%) で「になりたい」とする割合が高い（表 13-1）。

表 13-1：常用型派遣社員（期間の定めなし）への転換希望

(単位＝%)

	n数	なりた い	どちら でもい い	なりた くない
計	2148	40.4	41.2	18.4
<性別>				
男性	503	33.4	45.5	21.1
女性	1605	42.8	39.9	17.3
<性・未婚別>				
男性・既婚	522	24.7	33.0	42.3
男性・未婚	715	14.4	42.4	43.2
女性・既婚	1246	30.3	20.3	49.4
女性・未婚	1767	21.7	31.9	46.5
<年齢別>				
30歳未満	457	30.9	48.4	20.8
30～35歳未満	466	37.1	43.3	19.5
35～40歳未満	379	37.7	40.1	22.2
40～45歳未満	280	48.9	35.4	15.7
45歳以上	408	52.0	36.3	11.8
<仕事と私生活の優先度別>				
仕事	150	54.0	29.3	16.7
どちらかといえば仕事	753	42.9	37.7	19.4
どちらかといえば生活	993	38.7	44.5	16.8
生活	218	29.4	47.2	23.4

※登録型派遣社員と常用型派遣社員（期間の定めあり）を対象に、無回答及び「常用型派遣社員というものを知らない」を除き集計。

	n数	なりた い	どちら でもい い	なりた くない
計	2148	40.4	41.2	18.4
<派遣形態別>				
登録型派遣社員	1415	38.3	42.8	18.9
常用型派遣社員（期間の定めあり）	733	44.5	37.9	17.6
<派遣先業務別>				
オフィスワーク系	1218	44.2	38.5	17.3
26業務	861	41.5	40.0	18.6
26業務以外の経理・会計・金融	203	53.2	32.5	14.3
26業務以外のその他	154	47.4	38.3	14.3
医療・福祉系	65	35.4	38.5	26.2
営業・販売系	68	35.3	38.2	26.5
IT技術・クリエイティブ、専門職系	311	36.3	41.2	22.5
情報処理システム開発	37	29.7	48.6	21.6
機械設計	39	53.8	30.8	15.4
その他	235	34.5	41.7	23.8
製造業務系	324	36.7	46.6	16.7
軽作業系	103	34.0	49.5	16.5
その他	31	22.6	61.3	16.1

13-3. 派遣会社との関係からみた「常用型派遣社員（期間の定めなし）」への転換希望

「常用型派遣社員（期間の定めなし）」への転換希望を現在の派遣会社での継続就労意向別にみると、現在の派遣元で「ずっと働きたい」と考えている者では43.2%が「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に「なりたい」と回答しており、「できるだけ早くやめたい」と考えている者の34.4%を上回っている（なお、現在の派遣元を「できるだけ早くやめたい」とする者の27.7%は「なりたくない」と回答。）。

そこで、登録派遣会社数別にみると、登録している派遣会社が「4社以上」で「なりたい」とする割合が42.1%ともっとも高く、次いで、「1社」とする者の40.5%が「なりたい」としていた。同様に、稼働派遣会社別にみても、「4社以上」で「なりたい」とする割合がもっとも高くなっていた。

グループ会社の別にみると、「グループ会社である」ほうが、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に「なりたい」とする割合が高い。

派遣元からの切れ目ない紹介の状況別にみると、「紹介されている」とする者で「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に「なりたい」とする割合が46.7%ともっとも高く、その一方で、「紹介がほとんどされない」でその割合はもっとも低い（「紹介がほとんどされない」者の28.4%が「なりたくない」と回答しており、他よりもその割合が高くなっている。）。派遣会社から切れ目なく仕事を紹介されている者ほど、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」になりたいと考えるようであり、「紹介がほとんどされない」者では、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」になりたくないとする傾向にあるようである（表13-2）。

表 13-2：常用型派遣社員（期間の定めなし）への転換希望

(単位＝%)

	n数	なりた い	どちら でもい い	なりた くない
計	2148	40.4	41.2	18.4
<現在の派遣元で続けたいか>				
ずっと働きつづけたい	1575	43.2	41.5	15.4
できるだけ早くやめたい	465	34.4	37.8	27.7
<登録派遣会社数別>				
1社	1198	40.5	40.7	18.8
2～3社	539	37.7	44.0	18.4
4社以上	335	42.1	39.1	18.8
<稼働派遣会社数別>				
1社	1448	40.5	41.2	18.2
2～3社	457	37.4	43.5	19.0
4社以上	63	46.0	36.5	17.5
<グループ会社の別>				
グループ会社である	584	49.1	36.5	14.4
グループ会社ではない・わからない	1551	37.1	42.8	20.1
<派遣元の紹介に対する評価別>				
紹介されている	762	46.7	36.7	16.5
紹介されているが希望に添うものがない	96	37.5	44.8	17.7
紹介がほとんどされない	261	34.1	37.5	28.4
わからない	951	37.5	45.3	17.1

※登録型派遣社員と常用型派遣社員（期間の定めあり）を対象に、無回答及び「常用型派遣社員というものを知らない」を除き集計。

13-4. 将来の雇用不安等からみた「常用型派遣社員（期間の定めなし）」への転換希望

「常用型派遣社員（期間の定めなし）」への転換希望を将来の雇用不安別にみると、雇用不安が高まるほど、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に「なりたい」とする割合が高まる（ただし、「不安はない」とする者の 41.6%は「なりたくない」と回答。）。雇用不安が高まるほど、雇用の安定度を高めるために、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」への転換希望の割合は高まるようである。また、現在の派遣先の勤続年数が高まるほど、「なりたい」とする割合が高まる（図 13-2）。現在の派遣先での勤続が長くなるほど、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」への転換希望の割合は高まるようだ。

そこで、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」への転換希望を正社員希望別みると、正社員になりたいと考えている者ほど、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に「なりたい」とする割合が高まる傾向にある。

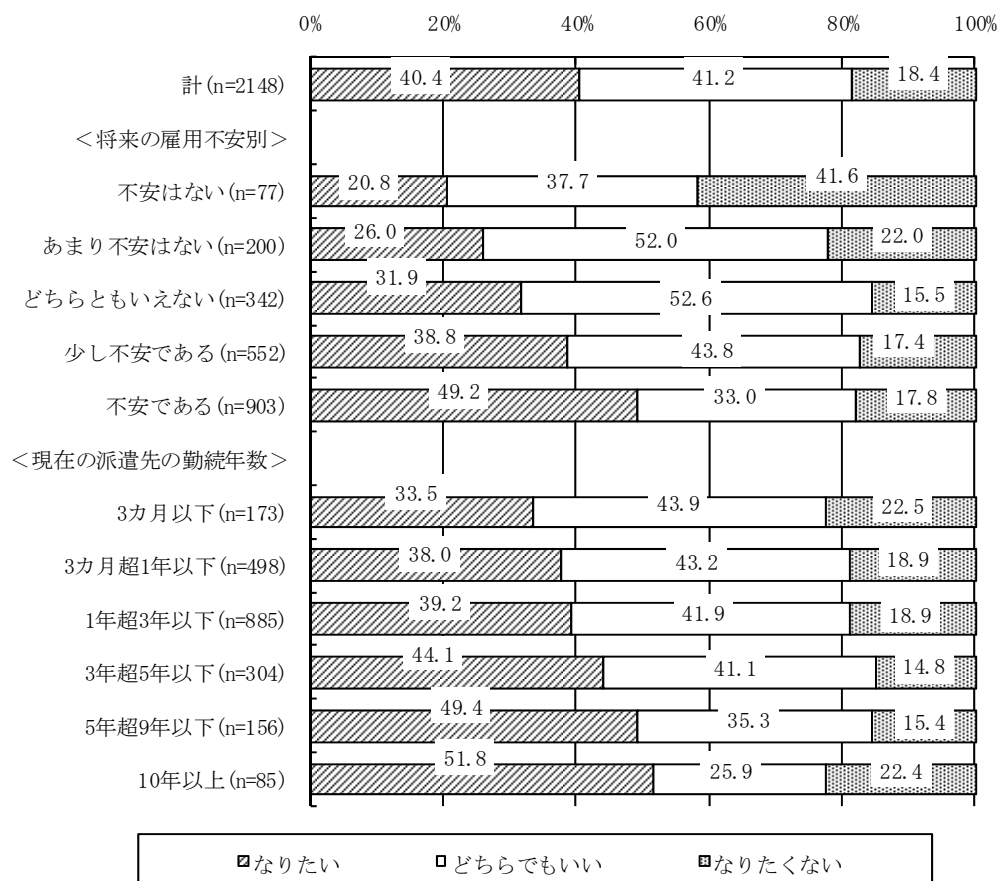
次に、派遣社員の継続希望別にみると、継続希望にかかわらず、4 割前後は「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に「なりたい」と考えている。その一方で、「できるだけ早く派遣社員を辞めたい」とする者の 27.2%は「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に「なりたくない」としており、他の形態と比べて割合が高い。

そこで、正社員希望の有無別に分けたうえで、派遣社員の継続希望別にみると、正社員希望者で「できるだけ派遣社員として長く働きたい」という者の 56.5%が「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に「なりたい」と回答していた。「できるだけ早く派遣社員を辞めたい」と

する者の27.5%は「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に「なりたくない」と回答している。

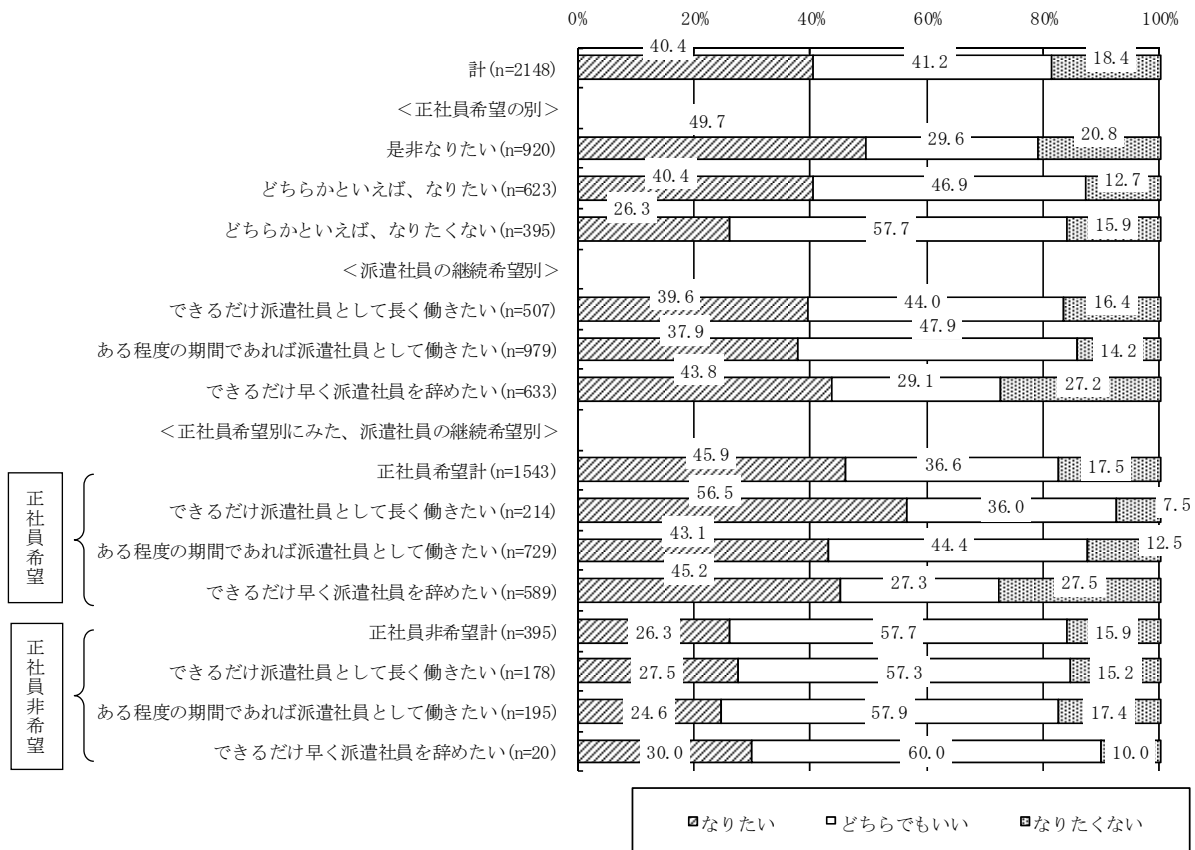
一方、正社員非希望者で、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に「なりたい」とする割合は、継続希望に係らず3割前後である。正社員非希望で「できるだけ派遣社員として長く働きたい」とする者では、27.5%が「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に「なりたい」と回答しており、むしろ「どちらでもいい」とする割合が57.7%となっている。本来、正社員非希望で派遣社員を長く続けたいという場合、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」になることで雇用の安定度を高めることが考えられるが、正社員非希望で派遣労働を長期的に続けたい者では、期間の定めのない派遣社員でも、期間の定めのある派遣社員でもどちらでもよいと考えているようである（むしろ、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に対する転換希望は、正社員希望者で「できるだけ派遣社員として長く働きたい」と考えているタイプでもっとも高い。）（図13-3）。

図13-2：常用型派遣社員（期間の定めなし）への転換希望



※登録型派遣社員と常用型派遣社員（期間の定めあり）を対象に、無回答及び「常用型派遣社員というものを知らない」を除き集計。

図 13-3：常用型派遣社員（期間の定めなし）への転換希望



※登録型派遣社員と常用型派遣社員（期間の定めあり）を対象に、無回答及び「常用型派遣社員というものを知らない」を除き集計。

14. 派遣先による直接雇用と可能性

14-1. 直接雇用の希望

調査では、現在の派遣先での直接雇用の希望状況を「正社員」「契約社員」「パート・アルバイト」——の3種類の就業形態で尋ねている。それによれば、「正社員を希望する」が48.3%、「契約社員を希望する」が30.1%、「パート・アルバイトを希望する」が10.7%となっている。

これを将来の雇用不安別にみると、「正社員」「契約社員」については、おおむね雇用不安が高まるほど希望する割合が高まる傾向にある。

正社員の希望別にみると、正社員を希望するほど、現在の派遣先での直接雇用を希望する割合が高い。ただし、「是非なりたい」とする者の74.5%は派遣先での正社員の直接雇用を希望するが、「希望しない」も22.2%であり、正社員であれば、すべてが希望するというものではないようである。

派遣社員の継続希望別にみると、派遣社員として長く働きたいと考えるほど、正社員を希望する割合は低下する。とくに「できるだけ派遣社員として長く働きたい」と考えている者では、「正社員」希望が28.5%、「契約社員」希望が29.4%であり、わずかながら「契約社員」

が「正社員」を上回っている（表 14-1）。

次に、これを性別にみると、男性のほうが「正社員」の直接雇用希望割合が高い一方で、女性のほうが「契約社員」「パート・アルバイト」の希望割合が高い。性・未既婚別にみると、「女性・既婚」で「正社員」の直接雇用希望割合が他に比べ低い一方で、「契約社員」「パート・アルバイト」の希望割合は高くなっている。年齢別にみると、「正社員」の直接雇用希望は45歳未満であれば、5割前後が希望しているが、「45歳以上」で39.1%と希望割合は低くなっている。

派遣形態別にみると、「契約社員」「パート・アルバイト」については、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に比べ、「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」の割合が高くなっている。グループ会社の別にみると、「正社員」「契約社員」については、「グループ会社である」ほうが希望割合は高い。

派遣先の規模別にみると、規模が大きくなるほど、「正社員」「契約社員」の直接雇用希望割合は高まる傾向にある。派遣先の業務別にみると、「正社員」については、「製造業務系」「オフィスワーク系」などで直接雇用希望割合が高い。「契約社員」については、「オフィスワーク系」の希望割合が高くなっている。現在の派遣先の勤続年数別にみると、「正社員」については勤続年数の上昇とともに、希望割合はおおむね高まり、「5年超9年以下」でもっとも高くなっていた。なお、「契約社員」については、「1年超3年以下」でもっとも希望割合が高くなっており、それ以降、希望割合は徐々に低下している。

現在の派遣先の仕事内容の満足度別にみると、「契約社員」については、仕事内容に満足しているほど希望割合が高まる傾向にある。職場の人間関係別にみると、「正社員」「契約社員」については、人間関係が良好なほど希望割合は高まる。仕事内容に満足していたり、職場の人間関係が良好であることは、「契約社員」の直接雇用を希望する傾向を高めるようである。なお、キャリアにつながる仕事の有無別にみると、「正社員」のみ、キャリアにつながるような仕事が多いほど希望割合が高まる（表 14-2）。

表 14-1：直接雇用希望

（単位＝％）

	n数	(1) 直接雇用希望 (正社員)			(2) 直接雇用希望 (契約社員)			(3) 直接雇用希望 (パート・アルバイト)		
		希望する	希望しない	無回答	希望する	希望しない	無回答	希望する	希望しない	無回答
計	4473	48.3	42.8	8.9	30.1	51.3	18.6	10.7	67.6	21.7
<将来の雇用不安別>										
不安はない	152	20.4	64.5	15.1	11.8	69.7	18.4	7.9	71.1	21.1
あまり不安はない	404	33.2	56.7	10.1	19.3	61.6	19.1	12.6	65.1	22.3
どちらともいえない	701	36.2	52.5	11.3	27.5	55.3	17.1	10.6	68.0	21.4
少し不安である	1202	47.8	43.3	8.9	31.3	50.2	18.5	10.2	67.2	22.5
不安である	1848	60.0	34.5	5.5	34.7	47.8	17.5	11.0	69.7	19.3
<正社員の希望別>										
是非なりたい	1919	74.5	22.2	3.3	32.8	46.4	20.8	8.6	67.6	23.8
どちらかといえば、なりたい	1285	48.6	41.9	9.5	37.6	46.2	16.2	10.8	68.6	20.5
どちらかといえば、なりたくない	768	8.5	81.4	10.2	23.6	65.9	10.5	15.1	70.6	14.3
<派遣社員の継続希望別>										
できるだけ派遣社員として長く働きたい	1024	28.5	61.0	10.4	29.4	54.2	16.4	12.5	67.0	20.5
ある程度の期間であれば派遣社員として働きたい	2008	47.1	44.8	8.1	33.4	51.3	15.3	11.7	69.7	18.7
できるだけ早く派遣社員を辞めたい	1322	67.5	27.8	4.7	27.3	51.4	21.3	8.2	68.2	23.6

表 14-2：直接雇用希望

(単位＝%)

		(1) 直接雇用希望 (正社員)			(2) 直接雇用希望 (契約社員)			(3) 直接雇用希望 (パート・アルバイト)		
	n数	希望する	希望しない	無回答	希望する	希望しない	無回答	希望する	希望しない	無回答
計	4473	48.3	42.8	8.9	30.1	51.3	18.6	10.7	67.6	21.7
<性別>										
男性	1273	51.6	37.9	10.4	20.8	54.4	24.8	6.5	63.8	29.7
女性	3111	47.3	44.8	7.8	34.1	50.2	15.7	12.5	69.4	18.0
<性・未婚別>										
男性・既婚	541	50.3	35.5	14.2	20.3	48.6	31.1	5.7	56.7	37.5
男性・未婚	724	52.8	39.6	7.6	21.1	58.8	20.0	7.2	69.1	23.8
女性・既婚	1277	43.1	48.2	8.7	34.5	48.5	17.0	17.4	63.4	19.2
女性・未婚	1812	50.2	42.6	7.2	33.8	51.6	14.6	9.3	73.7	17.0
<年齢別>										
30歳未満	997	51.5	43.0	5.5	28.5	58.7	12.8	9.9	74.1	15.9
30～35歳未満	998	53.0	42.5	4.5	32.7	53.8	13.5	11.2	73.5	15.2
35～40歳未満	793	48.0	45.1	6.8	31.8	52.7	15.5	10.5	70.9	18.7
40～45歳未満	541	52.3	41.2	6.5	32.9	48.6	18.5	12.0	68.0	20.0
45歳以上	803	39.1	41.5	19.4	26.9	41.3	31.8	12.5	50.4	37.1
<派遣形態別>										
登録型派遣社員	2529	46.7	45.3	8.0	32.9	50.4	16.7	11.7	69.2	19.1
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	52.4	37.3	10.2	32.0	46.4	21.5	10.6	62.9	26.5
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	47.4	42.7	9.9	18.2	61.5	20.3	7.6	69.6	22.8
<派遣元からの切れ目ない紹介の状況別>										
紹介されている	1589	49.8	41.7	8.5	29.7	51.4	18.9	9.8	67.4	22.8
紹介されているが希望に添うものがない	179	40.8	49.7	9.5	29.6	54.7	15.6	10.6	69.8	19.6
紹介がほとんどされない	529	46.7	45.9	7.4	28.4	55.6	16.1	11.9	70.1	18.0
わからない	1947	49.5	43.1	7.3	32.0	51.2	16.8	11.6	68.8	19.7
<グループ会社の別>										
グループ会社である	1111	53.8	35.8	10.4	32.8	43.7	23.6	10.5	60.9	28.5
グループ会社ではない・わからない	3310	46.7	45.3	8.0	29.4	54.2	16.4	10.8	70.3	18.9
<現在の派遣先の規模別>										
99人以下	340	37.9	50.6	11.5	27.4	51.5	21.2	15.6	60.6	23.8
100～299人	1270	45.5	44.5	10.0	28.3	52.3	19.4	11.4	66.8	21.8
300人～999人	1137	46.4	43.8	9.8	30.0	52.9	17.2	10.8	69.4	19.8
1000人以上	1723	53.7	39.2	7.1	32.1	49.4	18.5	9.1	68.4	22.5
<派遣先業務別>										
オフィスワーク系	2344	50.4	42.9	6.7	36.8	48.5	14.7	10.5	71.2	18.3
26業務	1671	50.7	42.9	6.3	37.0	49.1	13.9	10.1	73.0	16.9
26業務以外の経理・会計・金融	385	50.1	42.3	7.5	37.4	44.7	17.9	11.7	66.0	22.3
26業務以外のその他	288	48.6	43.4	8.0	35.1	50.0	14.9	11.1	68.4	20.5
医療・福祉系	160	40.6	45.0	14.4	19.4	54.4	26.3	18.1	56.9	25.0
営業・販売系	124	37.1	53.2	9.7	20.2	62.1	17.7	11.3	70.2	18.5
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	49.4	43.7	6.9	19.7	62.8	17.5	5.6	75.1	19.3
情報処理システム開発	222	44.1	50.0	5.9	13.1	73.0	14.0	1.8	80.6	17.6
機械設計	169	58.6	37.3	4.1	14.2	68.0	17.8	3.0	78.7	18.3
その他	545	48.6	43.1	8.3	24.0	57.1	18.9	7.9	71.7	20.4
製造業務系	566	53.7	35.3	11.0	30.2	44.5	25.3	13.8	54.8	31.4
軽作業系	208	31.3	50.0	18.8	20.2	47.1	32.7	19.7	46.6	33.7
その他	77	24.7	49.4	26.0	18.2	51.9	29.9	16.9	55.8	27.3
<現在の派遣先の勤続年数>										
3カ月以下	322	43.5	48.1	8.4	28.9	53.7	17.4	12.7	66.5	20.8
3カ月超1年以下	930	45.3	47.5	7.2	29.0	54.5	16.5	12.8	67.6	19.6
1年超3年以下	1862	49.2	42.2	8.6	32.6	50.3	17.1	11.0	68.6	20.5
3年超5年以下	663	51.1	41.0	7.8	30.3	51.6	18.1	8.9	70.0	21.1
5年超9年以下	372	52.7	39.0	8.3	28.0	50.5	21.5	9.4	65.3	25.3
10年以上	208	51.0	36.5	12.5	22.6	49.5	27.9	3.8	67.8	28.4
<現在の派遣先の仕事内容>										
満足	1256	48.0	42.9	9.1	32.6	47.3	20.1	12.2	64.2	23.6
やや満足	2095	49.1	42.3	8.6	31.6	51.3	17.2	10.6	68.8	20.6
やや不満	883	49.5	42.7	7.8	26.7	55.6	17.7	8.9	70.4	20.6
不満	181	38.7	52.5	8.8	16.6	64.1	19.3	9.9	72.4	17.7
<現在の派遣先の職場の人間関係>										
満足	1552	50.9	40.3	8.8	33.9	47.7	18.4	12.5	65.9	21.6
やや満足	1884	48.4	43.2	8.5	29.3	52.2	18.5	8.8	69.0	22.2
やや不満	745	45.2	46.0	8.7	27.4	54.2	18.4	12.5	67.2	20.3
不満	241	44.0	49.0	7.1	23.2	61.8	14.9	9.1	73.4	17.4
<キャリアにつながる仕事の有無>										
よくある	445	55.5	38.0	6.5	29.2	52.1	18.7	9.7	68.5	21.8
たまにある	1906	52.6	38.6	8.8	31.3	48.3	20.4	10.3	65.9	23.8
ほとんどない	2074	43.2	47.7	9.1	29.4	54.1	16.6	11.1	69.4	19.5

14-2. 各就業形態の直接雇用希望

調査では、現在の派遣先での「正社員」「契約社員」「パート・アルバイト」の直接雇用の希望についてそれぞれ尋ねている。そこで、各就業形態の直接雇用の希望の回答を組み合わせ、「正社員だけでなく非正社員も希望する」「正社員だけ希望する」「非正社員だけ希望する」「いずれの就業形態も希望しない」に分けて集計したところ（非正社員希望は契約社員もしくは、パート・アルバイトのいずれかを回答した者としている。）、「正社員だけでなく非正社員も希望する」が 25.3%と最も高く、次いで「正社員だけ希望する」（22.4%）、「非正社員だけ希望する」（13.1%）、「いずれの就業形態も希望しない」（39.1%）の順となった。

これを派遣先の規模別にみると、「正社員だけでなく非正社員も希望する」「正社員だけ希望する」は規模が大きくなるほど高まる傾向にある。

派遣先の業務別にみると、「正社員だけでなく非正社員も希望する」割合は、「オフィスワーク系」「製造業務系」で高い。「オフィスワーク系」や「製造業務系」は、直接雇用されるのなら正社員だけでなく非正社員も希望する傾向にあるようだ。「正社員だけ希望する」は、「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」で 33.5%と最も高くなっている。「IT 技術・クリエイティブ、専門職系」を中分類でみると、とくに「機械設計」で「正社員だけ希望する」の割合が高い。「機械設計」では直接雇用されるなら正社員がよいとの考えが強いようだ。

派遣形態別にみると、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」は、「正社員だけ希望する」割合が他よりも高い。「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」は「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に比べ、「正社員だけでなく非正社員も希望する」とする割合が高くなっている。

性別にみると、男性のほうが「正社員だけ希望する」割合が高い。一方、女性は、「正社員だけでなく非正社員も希望する」「非正社員だけ希望する」で男性よりも高くなっている。そこで、性・未既婚別にみると、「非正社員だけ希望する」で「女性・既婚」がもっとも割合が高くなっている。「正社員だけでなく非正社員も希望する」は、「女性・未婚」で割合がもっとも高い。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど、おおむね「正社員だけ希望する」割合が低くなっている。「45 歳以上」では、「非正社員を希望する」が 19.0%でもっとも高くなっており、「いずれの就業形態にも希望しない」も 41.9%でもっとも高い。「45 歳以上」は正社員での直接雇用に対する希望が薄れ、非正社員の直接雇用か、あるいは直接雇用を希望しない割合が高いようである。

現在の派遣先の勤続年数別にみると、「正社員だけ希望する」割合は、勤続が長くなるほど高くなる一方で、「いずれの就業形態も希望しない」は低くなる傾向にある（表 14-3）。

表 14-3：就業形態の組み合わせごとに直接雇用希望

(単位＝%)

	n数	正社員だけでなく 非正社員も希望する	正社員だけ希望する	非正社員だけ希望する	いずれの 就業形態も希望しない
計	3414	25.3	22.4	13.1	39.1
<派遣先の規模別>					
99人以下	250	18.4	18.4	22.8	40.4
100～299人	957	24.7	19.7	12.3	43.3
300人～999人	884	25.7	20.6	12.3	41.4
1000人以上	1320	26.9	26.4	12.4	34.2
<派遣先業務別>					
オフィスワーク系	1884	29.5	19.9	14.6	36.0
26業務	1365	29.7	20.1	14.0	36.2
26業務以外の経理・会計・金融	293	30.4	18.1	17.1	34.5
26業務以外のその他	226	27.0	20.8	15.0	37.2
医療・福祉系	112	18.8	20.5	13.4	47.3
営業・販売系	98	16.3	18.4	14.3	51.0
IT技術・クリエイティブ、専門職系	744	16.8	33.5	8.1	41.7
情報処理システム開発	180	11.1	32.2	3.9	52.8
機械設計	137	11.7	46.7	4.4	37.2
その他	427	20.8	29.7	11.0	38.4
製造業務系	377	28.4	23.3	14.1	34.2
軽作業系	126	19.8	4.0	15.1	61.1
その他	48	12.5	12.5	18.8	56.3
<派遣形態別>					
登録型派遣社員	1994	27.1	18.3	14.8	39.8
常用型派遣社員（期間の定めあり）	834	27.8	24.9	13.1	34.2
常用型派遣社員（期間の定めなし）	586	15.5	33.1	7.5	43.9

※無回答を除き集計。

	n数	正社員だけでなく 非正社員も希望する	正社員だけ希望する	非正社員だけ希望する	いずれの 就業形態も希望しない
計	3414	25.3	22.4	13.1	39.1
<性別>					
男性	872	18.8	32.9	7.9	40.4
女性	2487	27.7	18.9	15.0	38.4
<性・未婚別>					
男性・既婚	325	16.9	33.8	9.5	39.7
男性・未婚	542	20.1	32.5	6.6	40.8
女性・既婚	996	25.9	16.4	20.0	37.8
女性・未婚	1477	28.8	20.6	11.7	38.9
<年齢別>					
30歳未満	828	23.3	27.7	10.3	38.8
30～35歳未満	836	28.6	22.2	11.5	37.7
35～40歳未満	634	25.4	21.0	14.7	39.0
40～45歳未満	422	30.6	19.0	13.7	36.7
45歳以上	468	19.7	19.4	19.0	41.9
<現在の派遣先の勤続年数>					
1年以下	982	24.6	17.7	13.5	44.1
1年超3年以下	1443	27.4	21.9	12.8	38.0
3年超5年以下	512	25.0	25.0	12.9	37.1
5年超9年以下	273	22.0	28.9	13.9	35.2
10年以上	142	18.3	37.3	12.7	31.7

14-3. 直接雇用の可能性

調査では、現在の派遣先での直接雇用の可能性について尋ねている。それによれば、直接雇用の可能性が「あると思う」について、「正社員」11.2%、「契約社員」11.8%、「パート・アルバイト」9.7%となっている。いずれの就業形態も直接雇用の可能性は1割程度の人があると考えているようだ。

派遣先の業務別にみると、直接雇用が「あると思う」割合は、「医療・業務系」の「正社員」で22.5%と高くなっており、「営業・販売系」も「契約社員」で16.1%と高くなっている。「オフィスワーク系」は「正社員」で11.3%、「契約社員」で13.1%だが、中分類でみると、「26業務以外の経理・会計・金融」で「正社員」が25.2%、「契約社員」が24.4%と高い。

派遣先の勤続年数別にみると、「正社員」「契約社員」とともに勤続年数の上昇とともに、「あると思う」割合が増加する傾向にある。仕事の判断業務のレベル別にみると、いずれの就業形態も、判断業務が増えるほど、おおむね「あると思う」割合が高まる傾向にある（表14-4）。

次に、現在の派遣先で同じ仕事をしている就業形態の有無別にみてみると、派遣先で同じ仕事をしている者が「正社員でいる」のほうが「正社員でない」に比べ、正社員の直接雇用の可能性が「あると思う」割合が高くなっていた（図14-1）。「契約社員」「パート・アルバイト」でも同様の傾向が見られた（図14-2、図14-3）。

表 14-4：現在の派遣先の状況からみた直接雇用の可能性

(単位＝%)

	n数	直接雇用可能性 (正社員)				直接雇用可能性 (契約社員)				直接雇用可能性 (パート・アルバイト)			
		あると思 う	ないと思 う	わからな い	無回答	あると思 う	ないと思 う	わからな い	無回答	あると思 う	ないと思 う	わからな い	無回答
計	4473	11.2	58.3	22.5	8.0	11.8	47.4	23.1	17.7	9.7	45.7	23.7	21.0
<派遣形態別>													
登録型派遣社員	2529	9.8	62.0	21.2	6.9	11.1	50.6	22.9	15.5	10.3	47.7	24.0	18.0
常用型派遣社員（期間の定めあり）	1165	13.7	54.8	22.0	9.4	14.8	41.5	22.8	20.9	9.9	40.4	23.4	26.3
常用型派遣社員（期間の定めなし）	779	11.9	51.1	27.7	9.2	9.6	45.7	24.3	20.4	7.3	47.0	23.0	22.7
<派遣先の規模別>													
99人以下	340	10.9	56.5	22.4	10.3	10.3	45.9	25.0	18.8	13.8	42.4	22.4	21.5
100～299人	1270	9.3	58.3	22.8	9.7	9.8	46.9	24.0	19.3	9.7	43.8	25.2	21.3
300人～999人	1137	9.1	58.3	24.4	8.2	9.7	50.1	24.3	15.9	9.7	46.2	25.5	18.6
1000人以上	1723	14.1	58.6	21.2	6.2	15.0	46.1	21.2	17.6	8.8	47.4	21.6	22.2
<派遣先業務別>													
オフィスワーク系	2344	11.3	64.1	19.1	5.5	13.1	51.9	21.1	13.9	9.6	50.4	22.4	17.6
26業務	1671	7.9	67.3	20.0	4.8	9.6	55.3	21.8	13.2	8.1	53.0	22.4	16.5
26業務以外の経理・会計・金融	385	25.2	51.4	16.6	6.8	24.4	40.0	19.2	16.4	12.5	43.6	21.8	22.1
26業務以外のその他	288	12.5	62.5	17.4	7.6	18.4	47.9	19.4	14.2	13.9	44.4	23.6	18.1
医療・福祉系	160	22.5	38.1	26.9	12.5	13.1	35.0	28.8	23.1	18.1	34.4	26.3	21.3
営業・販売系	124	8.1	62.1	19.4	10.5	16.1	43.5	21.0	19.4	14.5	40.3	22.6	22.6
IT技術・クリエイティブ、専門職系	936	10.6	55.9	27.6	6.0	8.9	47.3	26.9	16.9	6.0	49.8	24.9	19.3
情報処理システム開発	222	9.0	55.4	31.1	4.5	8.1	49.1	27.5	15.3	4.5	50.5	25.7	19.4
機械設計	169	12.4	49.7	33.1	4.7	7.7	51.5	24.3	16.6	3.0	53.8	24.9	18.3
その他	545	10.6	58.0	24.4	7.0	9.5	45.3	27.5	17.6	7.5	48.3	24.6	19.6
製造業務系	566	11.1	51.2	26.5	11.1	10.1	40.1	25.1	24.7	10.2	33.6	26.5	29.7
軽作業系	208	9.1	41.8	31.7	17.3	12.5	32.2	25.0	30.3	19.7	26.0	24.5	29.8
その他	77	6.5	54.5	14.3	24.7	10.4	45.5	16.9	27.3	6.5	44.2	22.1	27.3
<現在の派遣先の勤続年数>													
3カ月以下	322	7.1	58.1	25.5	9.3	6.5	48.1	27.6	17.7	5.3	44.7	29.5	20.5
3カ月超1年以下	930	8.5	58.1	26.3	7.1	9.9	48.5	25.8	15.8	9.1	46.3	25.3	19.2
1年超3年以下	1862	11.4	58.8	22.7	7.1	12.2	48.2	23.6	16.0	10.5	45.9	24.2	19.3
3年超5年以下	663	11.9	61.4	19.3	7.4	12.2	49.9	20.4	17.5	8.6	48.3	22.3	20.8
5年超9年以下	372	14.5	61.0	18.0	6.5	15.9	44.1	20.4	19.6	12.1	45.4	18.5	23.9
10年以上	208	20.2	49.5	19.2	11.1	16.8	38.5	16.3	28.4	10.1	41.8	18.3	29.8
<仕事の判断業務のレベル別>													
定型的な仕事	1272	6.2	63.0	21.9	8.9	8.9	51.4	23.4	16.3	8.3	47.7	25.0	18.9
本人の判断もある程度必要な仕事	1917	11.8	56.7	24.4	7.1	11.5	46.4	24.9	17.2	10.0	44.5	25.1	20.4
おおむね本人の判断による仕事	1045	15.5	56.7	20.2	7.7	15.1	45.6	20.9	18.5	10.0	45.9	21.4	22.7
本人の判断によって行われる仕事	211	15.2	54.0	21.3	9.5	17.1	42.2	15.2	25.6	14.7	44.1	14.2	27.0

図 14-1：現在の派遣先での正社員としての直接雇用の可能性

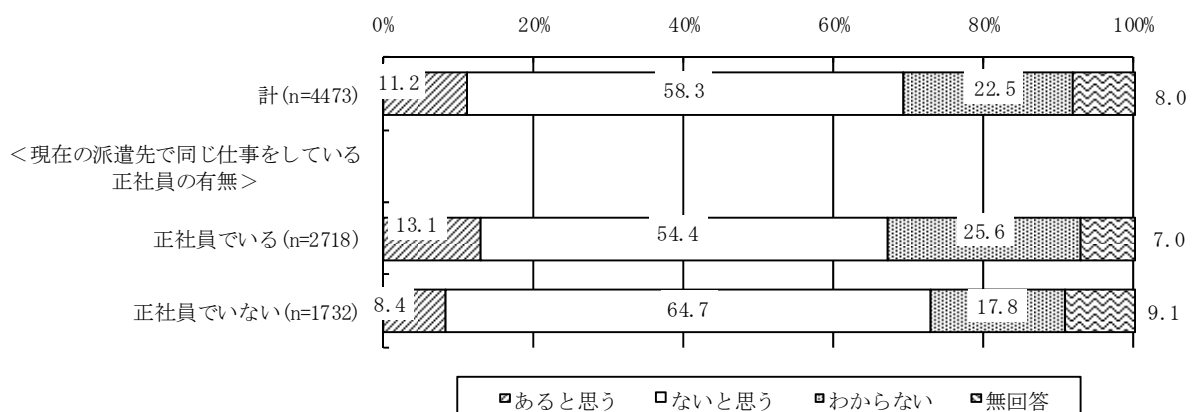


図 14-2：現在の派遣先での契約社員としての直接雇用の可能性

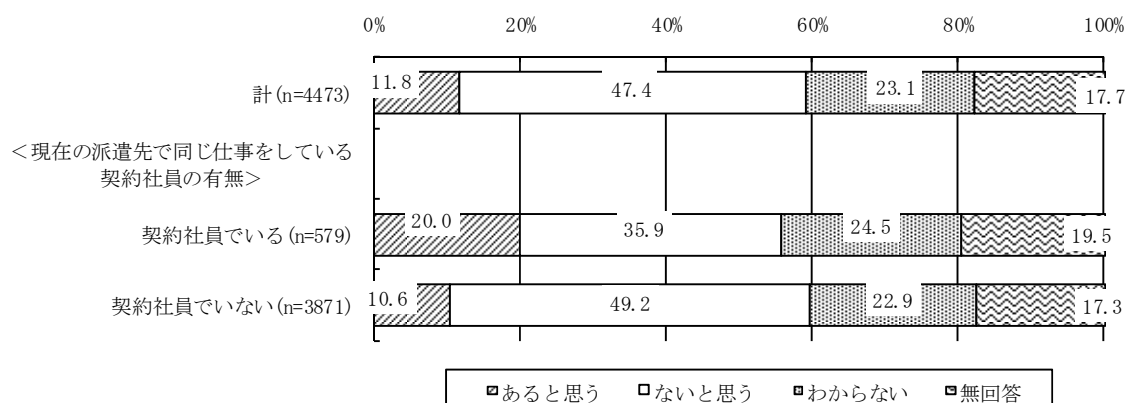
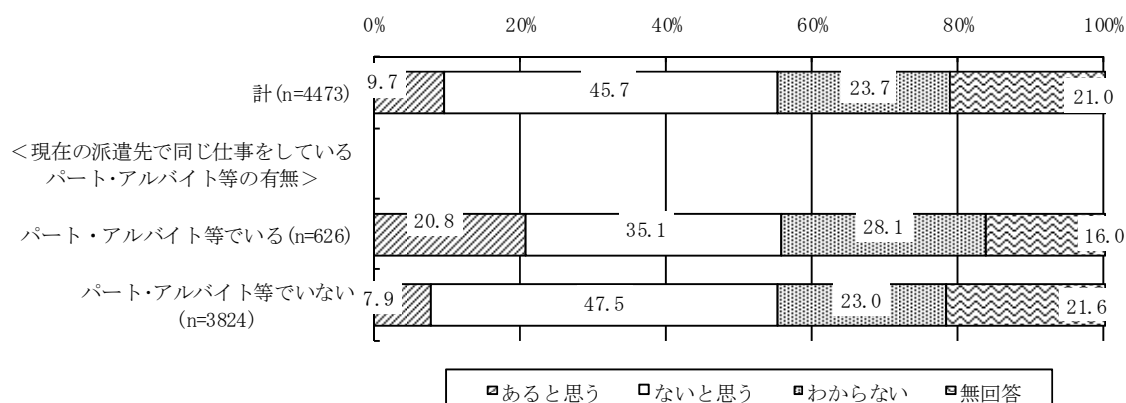


図 14-3：現在の派遣先でのパート・アルバイトとしての直接雇用の可能性



15. 直接雇用の打診経験

15-1. これまでの派遣先による直接雇用の打診経験

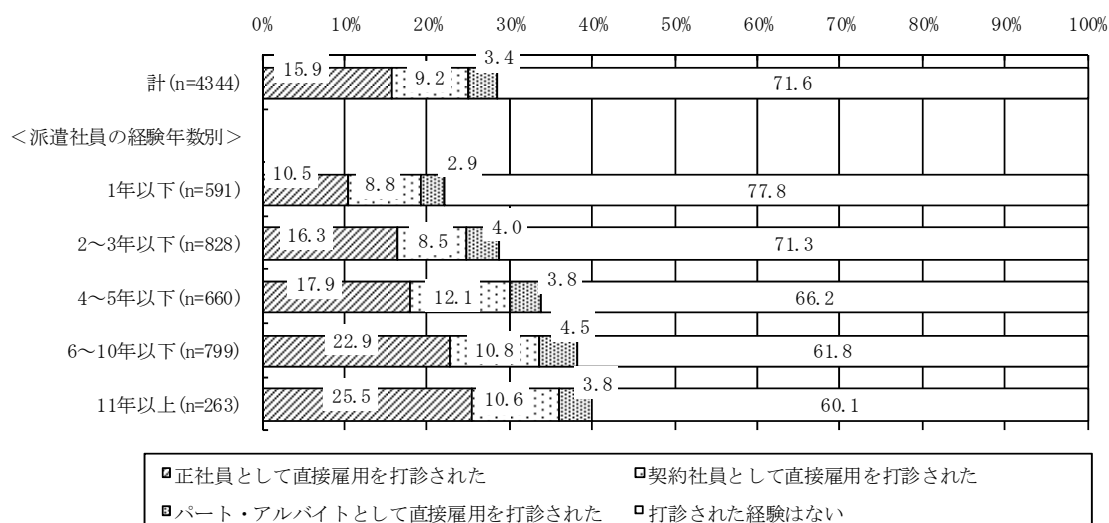
調査では、これまでの派遣先から、直接雇用の打診を受けた経験について尋ねている。それによれば、これまでに「打診された経験はない」が 71.6%でもっとも割合が高く、次いで、「正社員として直接雇用を打診された」が 15.9%、「契約社員として直接雇用を打診された」が 9.2%、「パート・アルバイトとして直接雇用を打診された」が 3.4%となっている。派遣社員の経験年数別にみると、経験年数が長くなるほど、「打診された経験はない」の割合が低下する傾向にある。とくに、「正社員として直接雇用を打診された」とする割合は、派遣社員の経験年数が長くなるほど、高くなる傾向にある（図 14-4）。

これまでの直接雇用の打診への対応をみると、「断った」58.3%、「打診を受けた」27.1%となっている。これを直接雇用の打診状況別にみると、「契約社員として直接雇用を打診された」者でもっとも「打診を受けた」割合が高くなっている（図 14-5）。

これまでの直接雇用の打診に対して「断った」者を対象に、その理由を尋ねたところ、「賃

金（年収）が下がる」が 38.2% ともっとも割合が高く、次いで、「勤めたい業界ではない」「責任が重くなる」「労働時間が長くなる」「仕事と私生活の両立が困難になる」などの順となっている（図 14-6）。これを打診の就業形態別にみると、「賃金（年収）が下がる」は、「パート・アルバイトとして直接雇用を打診」「契約社員として直接雇用を打診」「正社員として直接雇用を打診」の順で割合が高い。一方、「勤めたい業界ではない」「仕事と私生活の両立が困難になる」「職場の人間関係が面倒」「仕事内容が変わる」「転勤・異動がある」「有給休暇が取りづらくなる」「派遣元から引き抜きを受けないように言われているから」などでは、「正社員として直接雇用を打診」「契約社員として直接雇用を打診」「パート・アルバイトとして直接雇用を打診」の順で割合が高い。なお、「正社員採用ではない」を理由に打診を断ったのは、「契約社員として直接雇用を打診」で 33.9%、「パート・アルバイトとして直接雇用を打診」で 29.1% だった（図 14-7）。

図 14-4：これまでの直接雇用の打診経験



※無回答を除き集計。

図 14-5：これまでの直接雇用の打診への対応

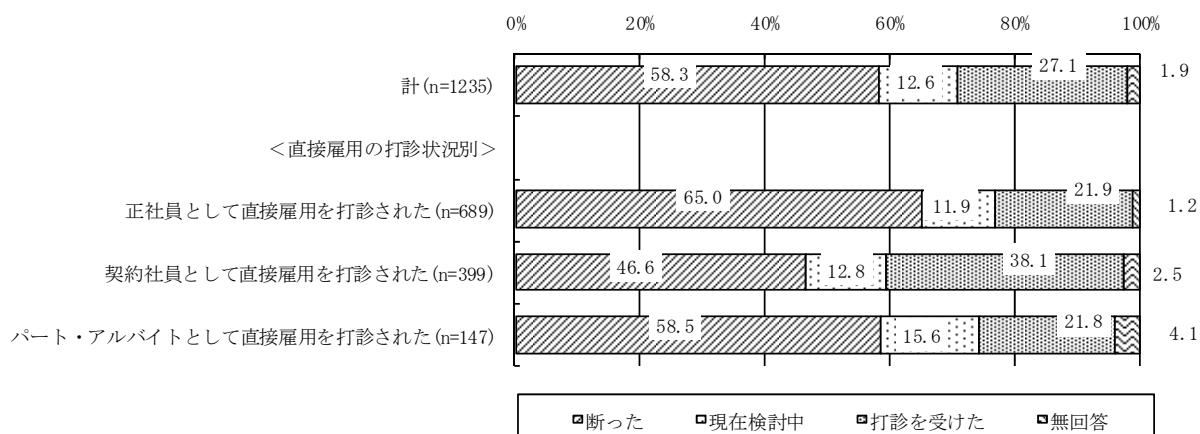
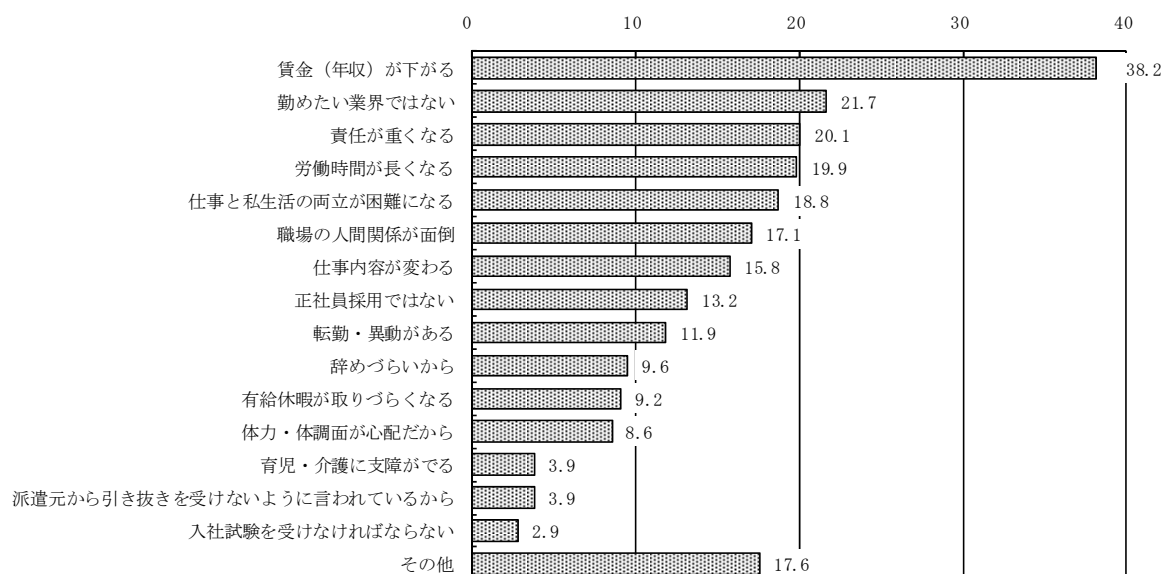
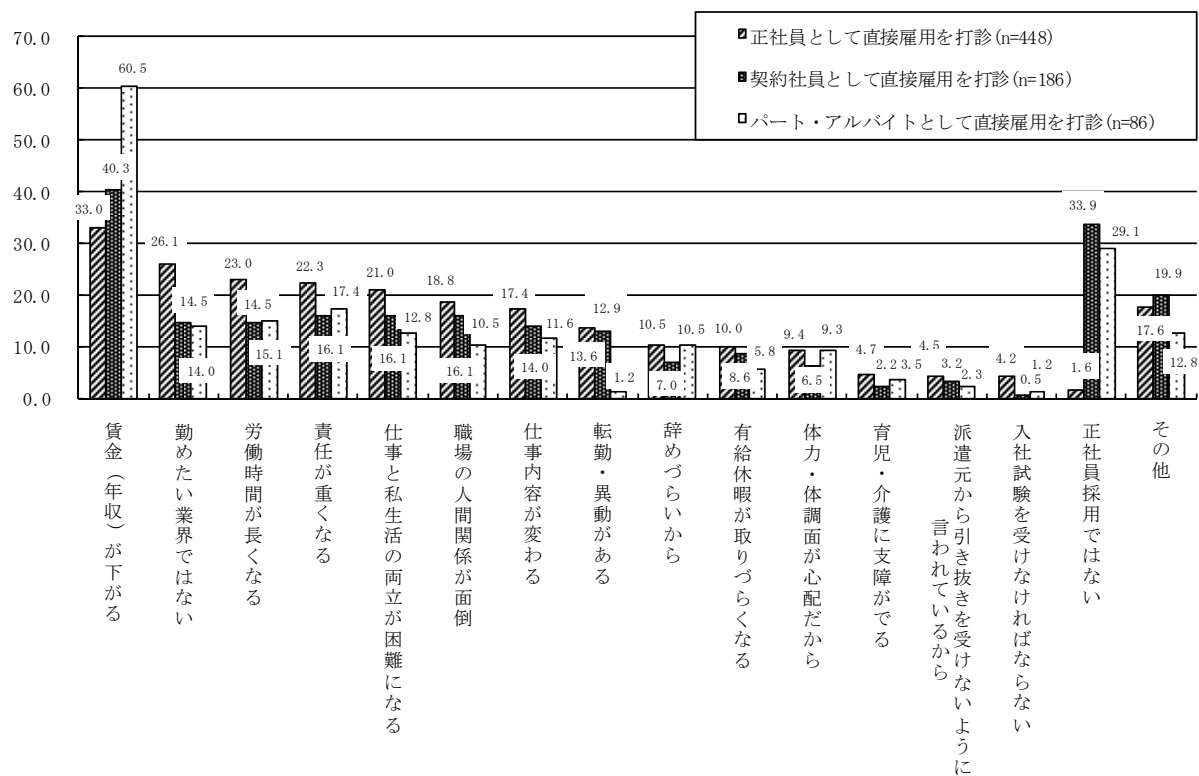


図 14-6：これまでの派遣先で直接雇用の打診を断った理由
(n=720、複数回答、単位=%)



※これまでの派遣先での直接雇用の打診を「断った」者を対象に集計。

図 14-7：これまでの派遣先で直接雇用の打診を断った理由
(複数回答、単位=%)



※これまでの派遣先での直接雇用の打診を「断った」者を対象に集計。

15-2. 現在の派遣先による直接雇用の打診経験

(1) 現在の派遣先による直接雇用の打診経験

調査では、派遣先による直接雇用の打診が現在の派遣先によるかいないかについても尋ねている。そこで、現在の派遣先に絞って、直接雇用の打診経験をみると、現在の派遣先から「打診された経験はない」が 83.6%でもっとも割合が高く、次いで、「正社員として直接雇用を打診された」が 8.9%、「契約社員として直接雇用を打診された」が 5.5%、「パート・アルバイトとして直接雇用を打診された」が 2.0%となっている。これを現在の派遣先の勤続年数別にみると、勤続年数が長くなるほど、「打診された経験はない」の割合が低下する傾向にある。とくに、「正社員として直接雇用を打診された」とする割合は、勤続年数が長くなるほど、高くなる傾向にある（図 14-8）。

これを派遣形態別にみると、「常用型派遣社員（期間の定めあり）」で、「正社員として直接雇用を打診された」が 11.3%、「契約社員として直接雇用を打診された」が 8.0%と他より高くなっている。派遣先の規模別にみると、規模が大きくなるほど「正社員として直接雇用を打診された」割合が高まる。

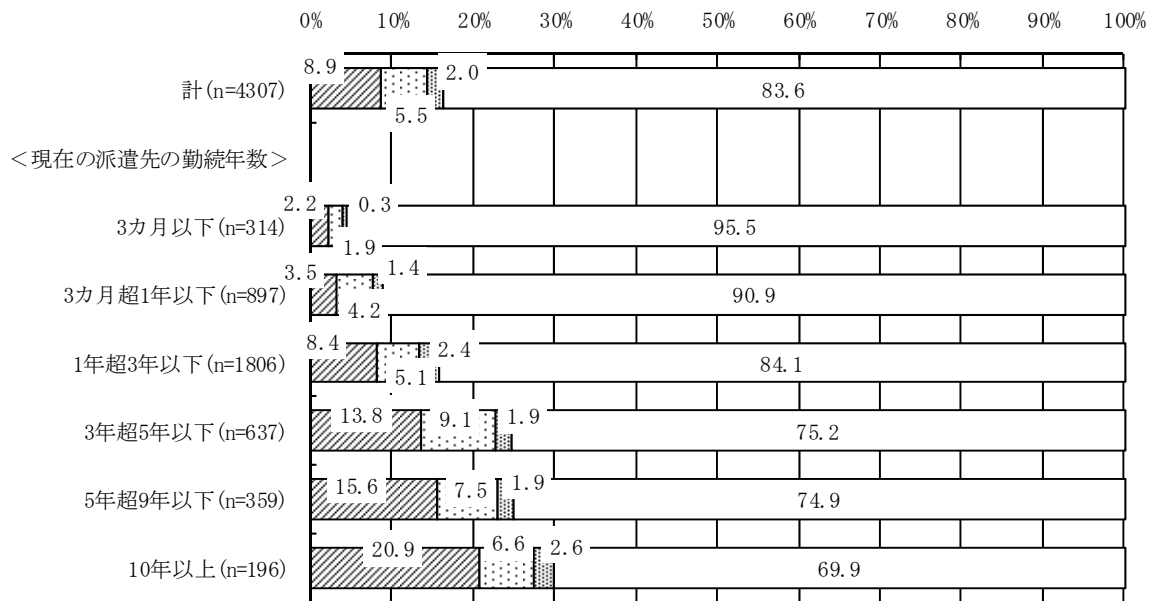
派遣先の業務別にみると、「正社員として直接雇用を打診された」は、「医療・福祉系」で 14.2%と高くなっており、次いで「オフィスワーク系」などとなっている。「契約社員として直接雇用を打診された」では、「営業・販売系」で 10.1%と高くなっており、次いで「軽作業系」「オフィスワーク系」などとなっている。「パート・アルバイトとして直接雇用を打診された」では、「軽作業系」が 8.7%と高くなっており、次いで、「営業・販売系」「医療・福祉系」などとなっている。「オフィスワーク系」を中分類でみると、「26 業務以外の経理・会計・金融」で、「正社員として直接雇用を打診された」が 18.6%、「契約社員として直接雇用を打診された」が 12.4%となっていた。

仕事の判断業務のレベル別にみると、判断業務が多くなるほど、「正社員として直接雇用を打診された」の割合が高くなる。

キャリアを伸ばす仕事の有無別にみると、キャリアを伸ばすような仕事をしているほうが、「正社員として直接雇用を打診された」「契約社員として直接雇用を打診された」とする割合が高くなっている。また、自ら進んで仕事を広げることの有無別にみると、仕事を広げるタイプのほうが「正社員として直接雇用を打診された」「契約社員として直接雇用を打診された」とする割合が高い（表 14-5）。

次に、現在の派遣先で同じ仕事をしている者の就業形態の有無別にみてみると、派遣先で同じ仕事をしている者が「正社員でいる」のほうが「正社員でない」に比べ、「正社員として直接雇用を打診された」の割合が高くなっている。同様に、「契約社員でいる」ほうが、「契約社員として直接雇用を打診された」の割合が高い。また、「パート・アルバイト等でいる」ほうも、「パート・アルバイトとして直接雇用を打診された」の割合が高い（表 14-6）。

図 14-8：現在の派遣先での直接雇用の打診経験



- 正社員として直接雇用を打診された
- 契約社員として直接雇用を打診された
- パート・アルバイトとして直接雇用を打診された
- 打診された経験はない

※無回答を除き集計。

表 14-5：現在の派遣先での直接雇用の打診状況

(単位=%)

	n数	正社員として直接雇用を打診された	契約社員として直接雇用を打診された	パート・アルバイトとして直接雇用を打診された	打診された経験はない
計	4307	8.9	5.5	2.0	83.6
<派遣形態別>					
登録型派遣社員	2443	8.1	4.9	2.3	84.7
常用型派遣社員 (期間の定めあり)	1121	11.3	8.0	1.8	78.9
常用型派遣社員 (期間の定めなし)	743	7.7	3.9	1.2	87.2
<現在の派遣先の規模別>					
99人以下	318	7.2	5.3	2.5	84.9
100～299人	1219	7.5	3.7	2.3	86.5
300人～999人	1103	7.9	4.3	2.4	85.5
1000人以上	1664	10.9	7.8	1.3	79.9
<派遣先業務別>					
オフィスワーク系	2283	10.1	6.4	1.4	82.1
26業務	1633	8.3	4.7	1.5	85.5
26業務以外の経理・会計・金融	371	18.6	12.4	1.3	67.7
26業務以外のその他	279	9.3	7.9	1.1	81.7
医療・福祉系	148	14.2	4.7	3.4	77.7
営業・販売系	119	5.0	10.1	5.9	79.0
IT技術・クリエイティブ、専門職系	904	9.0	3.1	1.1	86.8
情報処理システム開発	217	7.8	2.8	0.5	88.9
機械設計	166	10.2	1.2	0.0	88.6
その他	521	9.0	3.8	1.7	85.4
製造業務系	542	5.7	5.0	1.7	87.6
軽作業系	195	3.1	6.7	8.7	81.5
その他	70	5.7	5.7	1.4	87.1

※無回答を除き集計。

	n数	正社員として直接雇用を打診された	契約社員として直接雇用を打診された	パート・アルバイトとして直接雇用を打診された	打診された経験はない
計	4307	8.9	5.5	2.0	83.6
<仕事の判断業務のレベル別>					
定型的な仕事	318	7.2	5.3	2.5	84.9
本人の判断もある程度必要な仕事	1219	7.5	3.7	2.3	86.5
おおよそ本人の判断による仕事	1103	7.9	4.3	2.4	85.5
本人の判断によって行われる仕事	1664	10.9	7.8	1.3	79.9
<キャリアを伸ばす仕事の有無>					
よくある	431	13.5	7.0	0.7	78.9
たまにある	1825	11.0	5.5	1.9	81.6
ほとんどない	2012	6.2	5.3	2.2	86.3
<自ら進んで仕事範囲を広げること>					
よくある	553	13.0	6.0	2.4	78.7
たまにある	2255	9.9	5.8	2.0	82.4
ほとんどない	1466	5.9	5.0	1.8	87.2

表 14-6：現在の派遣先での直接雇用の打診状況（単位＝％）

	n数	正社員として直接雇用を打診された	契約社員として直接雇用を打診された	パート・アルバイトとして直接雇用を打診された	打診された経験はない
計	4307	8.9	5.5	2.0	83.6
<現在の派遣先で同じ仕事をしている正社員の有無>					
正社員でいる	2628	10.1	5.7	1.7	82.5
正社員でない	1662	7.0	5.3	2.4	85.3
<現在の派遣先で同じ仕事をしている契約社員の有無>					
契約社員でいる	551	4.5	10.5	1.3	83.7
契約社員でない	3739	9.5	4.8	2.1	83.6
<現在の派遣先で同じ仕事をしているパート・アルバイト等の有無>					
パート・アルバイト等である	594	5.7	4.7	7.6	82.0
パート・アルバイト等でない	3696	9.4	5.7	1.1	83.8

※無回答を除き集計。

(2) 現在の派遣先での直接雇用の打診への対応

現在の派遣先からの直接雇用の打診への対応をみると、「断った」45.0%、「現在検討中」19.3%、「打診を受けた」34.4%となっている。直接雇用の打診状況別にみると、「打診を受けた」とする割合が「契約社員として直接雇用を打診された」で48.5%と最も高くなっている一方で、「断った」とするのは「正社員として直接雇用を打診された」で52.0%、「パート・アルバイト打診」で51.2%となっている（図 14-9）。

次に、派遣先の規模別にみると、おおむね規模が小さくなるほど「断った」¹³とする割合が高まる傾向にある。派遣先の業務別にみると、「打診を受けた」とする割合は、「その他」「製造業務系」「オフィスワーク系」で高い。「オフィスワーク系」を中分類でみると、「26 業務以外の経理・会計・金融」で「打診を受けた」が51.7%と他より高くなっている。派遣形態別にみると、「常用型派遣社員（期間の定めあり）」で「打診を受けた」とする割合が最も高い。

これを性別にみると、女性のほうが「打診を受けた」とする割合が高い。性・未婚別に見ると、「女性・既婚」で「打診を受けた」とする割合が最も高い。年齢別にみると、「打診を受けた」割合はおおむね年齢が上昇するほど高くなる傾向にある。ところが、派遣先の勤続年数別にみると、勤続年数が長くなるほど「打診を受けた」割合は低くなった（表 14-7）。

そこで、直接雇用の打診状況で分けて、まず性・未婚別に見ると、「女性・既婚」で「打診を受けた」のは、「正社員」打診で31.4%であるが、「契約社員」打診で58.2%と高くなっている（表 14-8）。同様に、年齢別にみると、「契約社員」打診で、年齢が高くなるほど「打診を受けた」割合が高くなる傾向にある（表 14-9）。派遣先の勤続年数別にみると、「正社員」打診では勤続年数が高まるとともに「打診を受けた」割合は上昇するが、「3 年超 5 年以下」

¹³ ただし、現在の派遣先の直接雇用の場合、調査時点で、「現在検討中」が19.1%いるため、現在検討中の者が「断った」か「打診を受けた」かがわからないことに留意。

をピークに低下し、「5年超」では18.6%となっている。「契約社員」打診では、「5年超」が62.5%と最も高くなっていた（表14-10）。

現在の派遣先からの直接雇用の打診に対して「断った」者を対象に、その理由をみると、「賃金（年収）が下がる」が39.6%と最も多く、次いで、「責任が重くなる」「労働時間が長くなる」「仕事と私生活の両立が困難になる」「仕事内容が変わる」などが続く（図14-10）。

次に、派遣形態別にみると、「賃金（年収）が下がる」「責任が重くなる」「労働時間が長くなる」「仕事と私生活の両立が困難になる」「仕事内容が変わる」「職場の人間関係が面倒」「辞めづらいから」「有給休暇が取りづらくなる」「勤めたい業界ではない」「体力・体調面が心配だから」「育児・介護に支障がでる」などで、「常用型派遣社員（期間の定めなし）」に比べ「常用型派遣社員（期間の定めあり）」「登録型派遣社員」のほうが割合が高くなっている（図14-11）。

これを直接雇用の打診の状況別にみると、「賃金（年収）が下がる」は、「パート・アルバイトとして直接雇用を打診」「契約社員として直接雇用を打診」「正社員として直接雇用を打診」の順で割合が高い。一方、「責任が重くなる」「労働時間が長くなる」「仕事内容が変わる」「転勤・異動がある」「勤めたい業界ではない」「有給休暇が取りづらくなる」「育児・介護に支障がでる」「派遣元から引き抜きを受けないように言われているから」などでは、「正社員として直接雇用を打診」「契約社員として直接雇用を打診」「パート・アルバイトとして直接雇用を打診」の順で割合が高い。なお、「正社員採用ではない」を理由に打診を断ったのは、「契約社員として直接雇用を打診」で35.5%、「パート・アルバイトとして直接雇用を打診」で32.6%と、契約社員、パート・アルバイトで直接雇用を打診された者のうち約3割は打診が非正社員だったことを理由に直接雇用の打診を断っていた（図14-12）。

図14-9：現在の派遣先の直接雇用の打診への対応

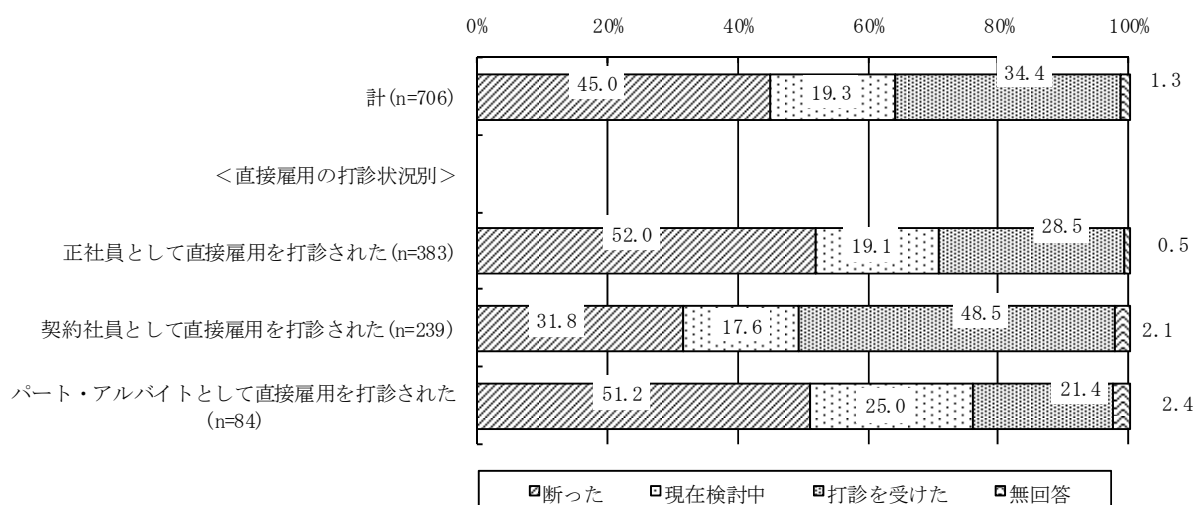


表 14-7：現在の派遣先の直接雇用打診への対応

(単位＝%)

	n数	断った	現在検討中	打診を受けた	無回答
計	706	45.0	19.3	34.4	1.3
<派遣先の規模別>					
99人以下	48	60.4	18.8	20.8	0.0
100～299人	164	53.0	21.3	23.2	2.4
300人～999人	160	53.1	26.9	19.4	0.6
1000人以上	334	35.0	14.7	49.1	1.2
<派遣先業務別>					
オフィスワーク系	408	43.1	15.2	40.2	1.5
26業務	237	48.5	14.3	35.0	2.1
26業務以外の経理・会計・金融	120	34.2	14.2	51.7	0.0
26業務以外のその他	51	39.2	21.6	37.3	2.0
医療・福祉系	33	60.6	18.2	15.2	6.1
営業・販売系	25	44.0	20.0	32.0	4.0
IT技術・クリエイティブ、専門職系	119	55.5	22.7	21.8	0.0
情報処理システム開発	24	62.5	20.8	16.7	0.0
機械設計	19	42.1	31.6	26.3	0.0
その他	76	56.6	21.1	22.4	0.0
製造業務系	67	28.4	31.3	40.3	0.0
軽作業系	36	55.6	30.6	13.9	0.0
その他	9	22.2	22.2	55.6	0.0
<派遣形態別>					
登録型派遣社員	374	51.3	17.1	30.2	1.3
常用型派遣社員（期間の定めあり）	237	34.2	16.9	47.3	1.7
常用型派遣社員（期間の定めなし）	95	47.4	33.7	18.9	0.0

	n数	断った	現在検討中	打診を受けた	無回答
計	706	45.0	19.3	34.4	1.3
<性別>					
男性	178	41.0	30.3	28.1	0.6
女性	523	46.5	15.7	36.5	1.3
<性・未婚別>					
男性・既婚	69	43.5	21.7	33.3	1.4
男性・未婚	109	39.4	35.8	24.8	0.0
女性・既婚	236	44.9	14.4	40.3	0.4
女性・未婚	283	48.4	16.6	32.9	2.1
<年齢別>					
30歳未満	134	46.3	27.6	24.6	1.5
30～35歳未満	133	48.9	28.6	21.8	0.8
35～40歳未満	140	57.1	12.9	29.3	0.7
40～45歳未満	110	38.2	19.1	41.8	0.9
45歳以上	145	35.9	11.0	52.4	0.7
<現在の派遣先の勤続年数>					
1年以下	96	30.2	28.1	39.6	2.1
1年超3年以下	288	43.1	21.9	34.4	0.7
3年超5年以下	158	46.8	17.1	34.2	1.9
5年超	149	57.7	10.1	31.5	0.7

表 14-8：直接雇用の打診状況別・性・未婚別にみた直接雇用の打診への対応

(単位＝%)

		n数	断った	現在検討中	打診を受けた	無回答
正社員として 直接雇用を打診された	計	383	52.0	19.1	28.5	0.5
	男性・既婚	40	52.5	20.0	27.5	0.0
	男性・未婚	63	41.3	38.1	20.6	0.0
	女性・既婚	118	55.1	13.6	31.4	0.0
	女性・未婚	157	54.8	15.9	28.0	1.3
契約社員として 直接雇用を打診された	計	239	31.8	17.6	48.5	2.1
	男性・既婚	21	19.0	33.3	47.6	0.0
	男性・未婚	33	42.4	30.3	27.3	0.0
	女性・既婚	91	26.4	14.3	58.2	1.1
	女性・未婚	90	36.7	12.2	47.8	3.3
パート・アルバイトとして 直接雇用を打診された	計	84	51.2	25.0	21.4	2.4
	男性・既婚	8	62.5	0.0	25.0	12.5
	男性・未婚	13	23.1	38.5	38.5	0.0
	女性・既婚	27	63.0	18.5	18.5	0.0
	女性・未婚	36	50.0	30.6	16.7	2.2

表 14-9：直接雇用の打診状況別・年齢別にみた直接雇用の打診への対応

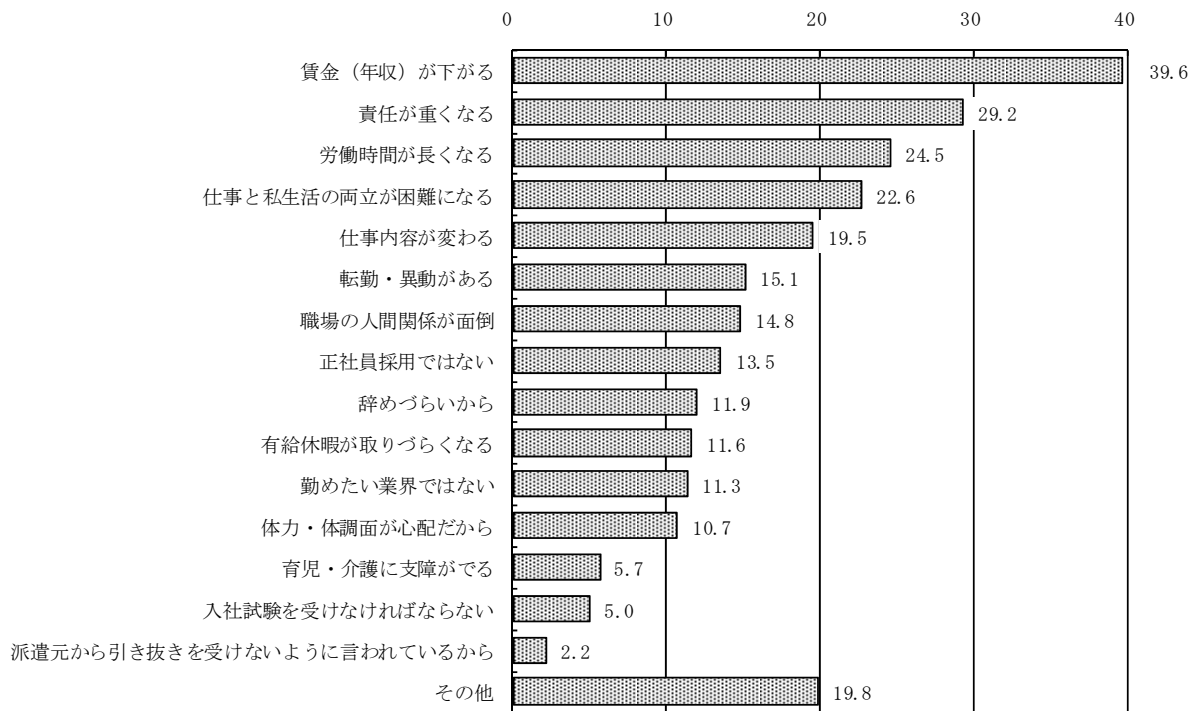
(単位＝%)

		n数	断った	現在検討 中	打診を受 けた	無回答
正社員として 直接雇用を打 診された	計	383	52.0	19.1	28.5	0.5
	30歳未満	72	51.4	25.0	22.2	1.4
	30～35歳未満	76	51.3	30.3	17.1	1.3
	35～40歳未満	92	62.0	10.9	27.2	0.0
	40～45歳未満	54	46.3	20.4	33.3	0.0
	45歳以上	64	48.4	9.4	42.2	0.0
契約社員とし て直接雇用を 打診された	計	239	31.8	17.6	48.5	2.1
	30歳未満	45	46.7	24.4	28.9	0.0
	30～35歳未満	41	41.5	26.8	31.7	0.0
	35～40歳未満	35	40.0	17.1	40.0	2.9
	40～45歳未満	43	23.3	14.0	60.5	2.3
	45歳以上	59	15.3	13.6	71.2	0.0
パート・アル バイトとして 直接雇用を打 診された	計	84	51.2	25.0	21.4	2.4
	30歳未満	17	23.5	47.1	23.5	5.9
	30～35歳未満	16	56.3	25.0	18.8	0.0
	35～40歳未満	13	69.2	15.4	15.4	0.0
	40～45歳未満	13	53.8	30.8	15.4	0.0
	45歳以上	22	54.5	9.1	31.8	4.5

表 14-10：直接雇用の打診状況別・派遣先の勤続年数別にみた直接雇用の打診への対応
(単位＝%)

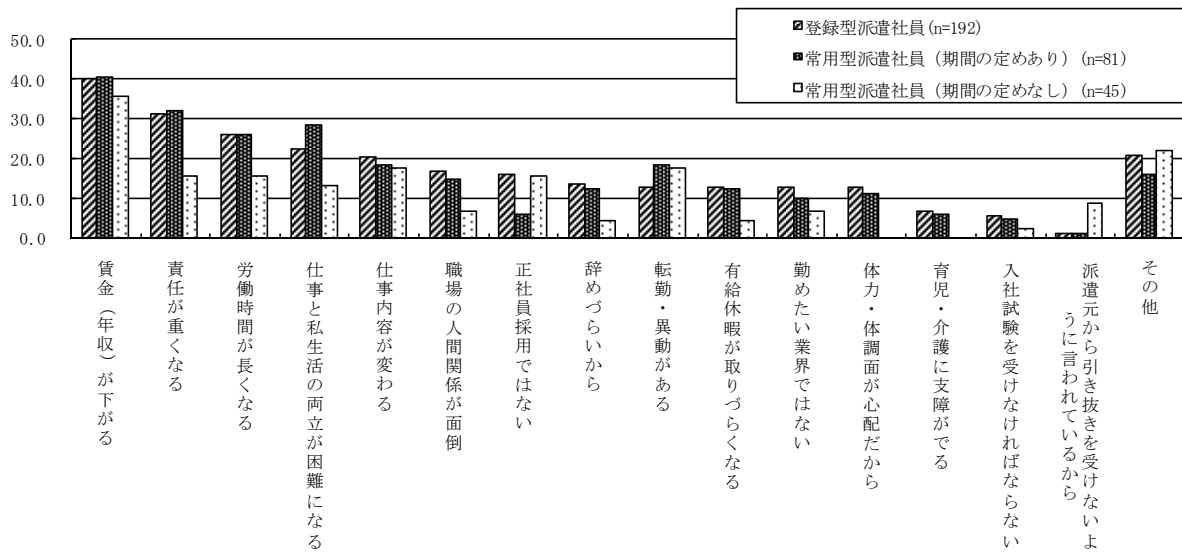
		n数	断った	現在検討中	打診を受けた	無回答
正社員として 直接雇用を打 診された	計	383	52.0	19.1	28.5	0.5
	1年以下	38	34.2	36.8	28.9	0.0
	1年超3年以下	151	46.4	20.5	32.5	0.7
	3年超5年以下	88	53.4	13.6	33.0	0.0
	5年超	97	67.0	13.4	18.6	1.0
契約社員とし て直接雇用を 打診された	計	239	31.8	17.6	48.5	2.1
	1年以下	44	18.2	22.7	54.5	4.5
	1年超3年以下	93	36.6	19.4	44.1	0.0
	3年超5年以下	58	34.5	20.7	41.4	3.4
	5年超	40	35.0	2.5	62.5	0.0
パート・アル バイトとして 直接雇用を打 診された	計	84	51.2	25.0	21.4	2.4
	1年以下	14	57.1	21.4	21.4	0.0
	1年超3年以下	44	45.5	31.8	20.5	2.3
	3年超5年以下	12	58.3	25.0	8.3	8.3
	5年超	12	58.3	8.3	33.3	0.0

図 14-10：現在の派遣先で直接雇用の打診を断った理由
(n=318、複数回答、単位＝%)



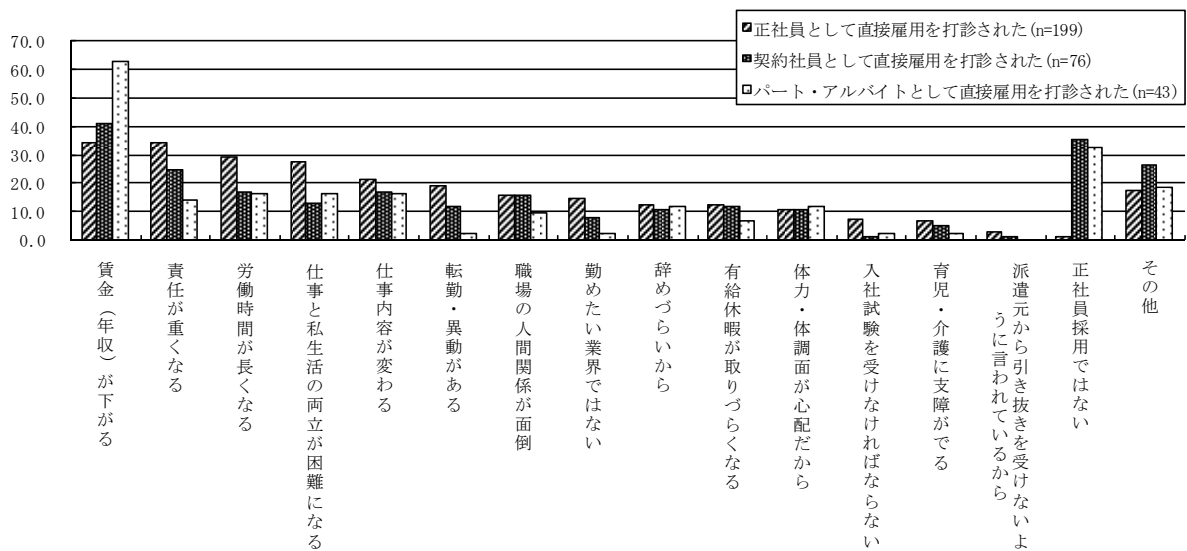
※現在の派遣先での直接雇用の打診を「断った」者を対象に集計。

図 14-11：現在の派遣先で直接雇用の打診を断った理由
(複数回答、単位＝%)



※現在の派遣先での直接雇用の打診を「断った」者を対象に集計。

図 14-12：現在の派遣先で直接雇用の打診を断った理由
(複数回答、単位＝%)



※現在の派遣先での直接雇用の打診を「断った」者を対象に集計。

